DS magic for Canon

Ver.5.0.1 取扱説明書

ブラザー工業株式会社

《ご注意》

■ この取扱説明書はDS Magicのインストール及び操作に関して記したものです。
Windows並びに使用する他社のソフトウェアもしくはハードウェアについては最小限の説明に留めております。それらの製品について詳しくお知りになりたい場合はそれぞれのマニュアルを参照し、分からない部分に関しましては各製造元までお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

■ 本書に記載の対応環境以外での使用については、ブラザー工業㈱はいかなる責任、債務も負いません。
■ ブラザー工業㈱およびブラザー販売㈱は本ソフトウェアの使用または使用不能、その他の原因により生じた損害(遺失利益、機密情報やその他の情報の喪失、事業の中断、その他の金銭的損失等をはじめとするあらゆる損害を含みます)に関して一切責任を負いません。
■ 本書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としており、予告なしに変更されることがあります。これらの情報についてブラザー工業㈱およびブラザー販売㈱はいかなる責任も負いません。また、本書に誤りや不正確な記述があった場合にも、ブラザー工業㈱およびブラザー販売㈱はいかなる責任、債務も負わないものとします。
■ 本書に記載の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。

本取扱説明書では、製品名を次のように表記します。

表記	製品名
DS Magic	DS Magic for Canon Ver.5.0.1 および DS Magic for Canon の総称

DS MagicのCDに添付されている画像データは、テスト印字サンプルとしてDS Magicから出力使用することのみに限定して、その使用が許諾されているものです。
商用、非商用を問わず、上記目的以外での出力物の配布・提示、及び画像データ自体の配布・複製等は、第三者が保有する著作権の侵害行為に該当いたしますのでご注意下さい。

■ DS Magicはブラザー工業㈱の登録商標です。

■ Core2Duoはインテル社の登録商標または商標です。
■ Illustrator,PhotoShop,PageMaker,PostScript,InDesign,Adobe Reader,Macromedia FreeHandはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
■ Macintosh,LaserWriter,AppleTalkは米国またはその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
■ Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。また、Microsoft Corporationのガイドラインに従って画像写真を使用しています。
■ CorelDrawはCorel社の登録商標です。
■ QuarkXpressは、米国ならびに各国で登録されたQuark,Inc.の商標です。
■ PC MACLANはCA,Inc(旧Miramar Systems Inc)、株式会社ディアイティの登録商標です。
■ Java及びすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における
Sun Microsystems,inc.の商標または登録商標です。
■ その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

～はじめに～

このたびはブラザーDS Magic をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書には DS Magic の操作方法、使用上の注意および簡単な保守の方法等について記載されております。
ご使用の前、また使用中お困りになられた際にはこの取扱説明書をよくお読みいただき、DS Magic の機能を十分理解していただくとともに、より効果的にお使いいただけるようお手元に大切に保管して下さい。

本書の内容につきましては万全を記しておりますが、お気づきの点がございましたらご連絡下さい。

DS Magic の CD-ROM ディスクを、音楽再生用プレーヤーでは絶対に再生しないで下さい。

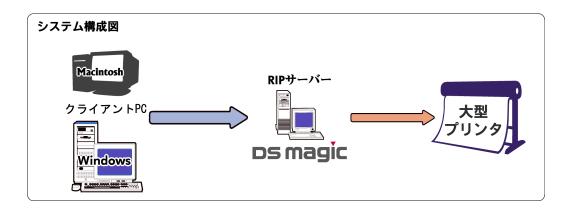
目　次

第 1 章

概要

DS Magic for Canon の概要

DS Magic は以下の特長を備えています。

- ■ Adobe 社の日本語 PostScript3 に対応するブラザー独自開発の BR-Script™ コントローラ搭載
- ■ ブラザー独自のスプライン補間による拡大処理によりカラー画像データを高品質のまま拡大印刷
- ■ ブラザーオリジナルの和文 9 書体と欧文 68 書体のアウトラインフォントを標準搭載
- ■ PS、EPS、TIFF、JPEG、BMP、PDF 形式の入力データに対応
  (EPS、TIFF、JPEG、BMP、PDF 形式のファイルはドロッププリントによる印刷に対応)
- ■ ネットワーク対応のため、複数台のMacintoshやWindows PCのクライアントからの印刷指示が可能
- ■ ICC 準拠のカラーマネジメント機構により、安定した色再現を実現。

- ■ DS Magic for Canon は、キヤノン製プリンタのみに対応したキヤノンプリンタ専用バージョンです。
  - • ポストスクリプトやPDF形式のデータを受け取り、各プリンタの性能を活かした高速・高品質なプリントが可能です。
  - • DS Magic for Canon では、いずれか 1 機種のプリンタを選んでインストールすることが出来ます。
  - ・ DS Magic for Canon Premium では標準機能に加えて、以下の追加機能 / ツールがインストールされます。

    ・複数プリンタインストール機能

    ・TIFFOUT ドライバインストール機能

    ・ColorSymphony

    ・FTP ツール

注意

Mac OS X に関し、バージョンが 10.0、10.1、10.4.0 の Macintosh クライアントからの印刷には対応していません。

注意

■ ディスク面に手を触れないよう気をつけ、汚れ、キズ、指紋等を付けないように気をつけて取り扱って下さい。

■ ディスクにはシール等を貼付したり、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を描いたりしないで下さい。

■ ディスクが汚れた時は、柔らかい布で内側から外側に向かって軽く拭き取って下さい。

■ レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないで下さい。

■ 変形やひび割れ、接着剤等で補修したディスクは絶対に使用しないで下さい。

■ 直射日光の当たる場所や、高温、多湿の場所を避けて保管して下さい。

■ 使用後は、元のディスクケースに収納して保管して下さい。

■ プラスチックケースの上に重い物を置いたり落としたりすると、ケースが破損しけがをすることがあります。

CD-ROM ディスクを音楽再生用プレーヤーでは絶対に再生しないで下さい！！

DS Magic for Canon(Ver.5.0.1) の概要

DS Magic for Canon (Ver.5.0.1) は、iPF8100/iPF9100/iPF8000S/iPF9000S/iPF5100/iPF6100/iPF5000/iPF8000/iPF9000/iPF510/iPF610/iPF710/iPF500/iPF600/iPF700/W8400/W6400 モデルに対応したバージョンです。

Windows Server 2003 (R2) Standard Edition 上で DS Magic を使用する場合にのみ、Macintosh からのフォントダウンロードに対応します。

旧バージョンへの対応

旧バージョン からのアップデートをサポートしておりませんので、本製品インストール前に、旧バージョンをアンインストールしていただく必要があります。オプションツールを御使用の場合は、合わせてアンインストールして下さい。

旧バージョン (DS Magic for Canon Ver.5.0.0) からの変更点

■ プリンタ

- iPF8100/iPF9100 モデルを新規に対応しました。

■ メディア

- iPF8000S/iPF9000Sに「フォト光沢紙」、「フォト半光沢紙」、「フォト半光沢紙（厚口）２」、「フォト半光沢紙（ポスター）」、「ファインアート（フォト厚口）」を追加しました。

第 2 章

インストールしましょう

DS Magic を動作させるために

DS Magic をお使いになるには、インストールするコンピュータの環境を予め整えておく必要があります。
使用する OS の種類により、必要なサービス、プロトコルが異なりますので、以下の項目を参照して環境を整えて下さい。

指示があるまでハードウェアキーを PC に取り付けないで下さい！

ハードウェア環境

CPU：Intel Core2Duo 相当以上

推奨 RAM：2GB 以上

HDD 空き容量:20GB 以上

Video:1024x768pixel 65536 色以上推奨

USB ポート:1 個以上

LAN ポート:

以上のスペックを有し、次に示す OS が動作する PC

ソフトウェア環境

OS

Windows Vista Business、Windows XP Professional、Windows Server 2003 (R2) Standard Edition のいずれか

ネットワークプロトコル

- インターネットプロトコル（TCP/IP）
- AppleTalk プロトコル　(Windows Server 2003 のみ)

ネットワークサービス

Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有

Windows コンポーネント

- インターネットインフォメーションサービス（IIS）
- Macintosh 用ファイルサービス　(Windows Server 2003 のみ)
- Macintosh 用印刷サービス　(Windows Server 2003 のみ)
- LPD 印刷サービス (必要時のみ)

Web ブラウザ

Internet Explorer 6 SP1 以上

全 OS 共通の設定

使用ユーザ権限の確認

DS Magic をインストールする PC 上で、インストール及び全機能操作するユーザーを管理者権限(“Administrators”グループ)に所属させて下さい。

また、このユーザーのパスワードには空のパスワードを使用しないで下さい。

一部管理機能を除く、印刷操作に関しては一般ユーザ権限で実行することができますが、このユーザにもパスワードを設定し、空のパスワードを使用しないで下さい。

Java 仮想マシンのインストール

DSMagic を実行させるためには、指定バージョン以上の Java 仮想マシンがインストールされている必要があるます。以下の手順で、Java 仮想マシンの insu インストールされていない、またはバージョンが古い場合には以下の手順でイントールを行ってください。

以下に、インストールの確認方法と、インストール方法を記述します。

Java 仮想マシンのインストール確認方法

Windows の「スタート」-「プログラム」-「アクセサリ」-「コマンドプロンプト」を選択してコマンドプロンプトを開き、以下のように入力します。

C:\>java -version

以下のように表示された場合、適切な JAVA 仮想マシンがインストールされています。

java version "1.6.0_02"

Java(TM) SE Runtime Environment (build 1.6.0_02-b06)

Java HotSpot(TM) Client VM (build 1.6.0_02-b06, mixed mode, sharring)

version 番号が "1.6" よりも古かったり、エラー表示された場合は、適切な JAVA 仮想マシンがインストールされていないため、次の方法で Sun の Java 仮想マシンをインストールして下さい。

Java 仮想マシンのインストール手順

1. DS Magic の CD-ROM を CD ドライブに挿入して下さい。

   「DS Magic インストール」画面が表示されます。

   (表示されない場合は、DS Magic の CD-ROM 内の“setupmain.exe”をダブルクリックします)

2. [Sun の Java のインストール]を押して下さい。
3. 画面に表示される指示に従い、インストールして下さい。

4. インストールが完了したら　CD-ROM　を抜き、コンピュータを再起動して下さい。

インターネット接続ウィザードの設定

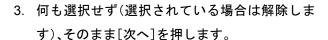
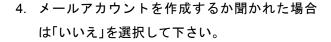
Windows OS インストール後にログインした時などに「インターネット接続ウィザード」が自動で起動してくることがあります。

そのような場合は以下を参考に設定して下さい。

1. 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択し、[次へ]を押します。

2. 「ローカルエリアネットワーク（LAN）を使ってインターネットに接続します」を選択し、[次へ]を押します。

3. 何も選択せず（選択されている場合は解除します）、そのまま[次へ]を押します。

4. メールアカウントを作成するか聞かれた場合は「いいえ」を選択して下さい。

5. ［完了］を押します。

これでインターネット接続ウィザードの設定は完了です。

Web ブラウザの設定

DS Magic をインストールして使用するには、Web ブラウザの設定を「LAN にプロキシーサーバーを使用しない」にするか、LAN にプロキシーサーバーを使用する場合は、「ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しない」にする必要があります。

1. Windows の「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択します。
   ご使用の OS が Vista の場合には、「スタート」-「コントロールパネル」を選択します。
2. 「インターネットオプション」を選択しダブルクリックします。
3. 接続タブを選択し、[LAN の設定]を押します。

4. LAN にプロキシーサーバーを使用しない場合は、「LAN にプロキシサーバーを使用する」のチェックを外し、[ＯＫ]を押して画面を閉じます。

LANにプロキシサーバーを使用する場合は、「LANにプロキシサーバーを使用する」と「ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しない」のチェックを入れて、[ＯＫ]を押して画面を閉じます。

これで Web ブラウザの設定は完了です。

（プロキシサーバーや LAN 環境の設定等については、この商品のサポート外とさせていただきます。ネットワーク管理者などにご確認の上、正しくご設定下さい。）

これで全 OS 共通の設定は完了です。引き続き、ご使用の OS 個別の設定を行ってください。

Windows Vista Business の場合

OSがインストールされた時点でDSMagicが必要とする機能がインストールされない場合があります。ご使用の環境に合わせて機能の追加インストールをしてください。
その際OSまたはサービスパックのCDをインストールするよう要求される場合があります。事前に準備していただき、画面の指示に従ってCDを入れてください。
また一部の追加機能は既にインストールされていても、動作するよう設定されない場合がありますので、動作設定の確認をしてください。

IIS 機能の追加

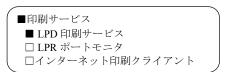
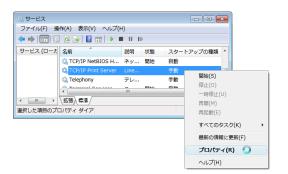
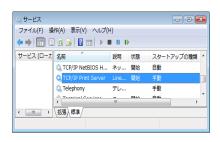
DSMagic が動作する上で必須機能です。

1. Windows の「スタート」-「コントロールパネル」を選択します。
2. 「プログラムと機能」を押します。
3. 「Windowsの機能の有効化または無効化」を押します。
4. 「Internet Information Service」項目を右の通りに設定します。右の必要オプション項目(■で始まっている行)に関して、追加対象になっていない場合はチェックを選択追加して下さい。
5. [OK] を押して下さい。
   追加処理が開始します。
6. 「プログラムと機能」画面の右上にある [×] を押して画面を閉じます。

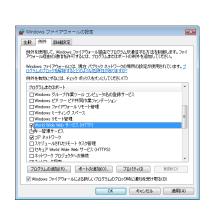
■ Internet Information Service
　□ FTP 発行サービス
　■ Web 管理ツール
　　■ IIS6 と互換性のある管理
　　　■ IIS6 WMI 互換性
　　　■ IIS6 スクリプトツール
　　　□ IIS6 管理コンソール
　　　■ IIS メタベースおよび IIS 構成との互換性
　　□ IIS 管理コンソール
　　□ IIS 管理サービス
　　□ IIS 管理スクリプトおよびツール
　■ WorldWideWeb サービス
　　■ HTTP 共通機能
　　　■ HTTP エラー
　　　□ HTTP リダイレクト
　　　■ディレクトリの参照
　　　■既定のドキュメント
　　　■静的コンテンツ
　　■アプリケーション開発機能
　　　□ .NET 拡張機能
　　　□ ASP.NET
　　　■ CGI
　　　□ ISAPI フィルタ
　　　□ ISAPI 拡張機能
　　　□サーバ側インクルード
　　■セキュリティ
　　　□ IIS クライアント証明書マッピング認証
　　　□ URL 認証
　　　□ Windows 認証
　　　□クライアント証明書マッピング認証
　　　□ダイジェスト認証
　　　■基本認証
　　　□要求のフィルタリング
　　□健常性と診断
　　■性能機能
　　　■ HTTP 動的圧縮
　　　■静的コンテンツ圧縮

LPD 印刷サービスの追加

1. MacOS 上で LPD 接続を使用してプリンタ作成する場合には、この機能追加をして下さい。
   Windows の「スタート」-「コントロールパネル」を選択します。
2. 「プログラムと機能」を押します。
3. 「Windows の機能の有効化または無効化」を押します。
4. 「印刷サービス」項目を右の通りに設定します。
5. [OK] を押して下さい。
   追加処理が開始します。
6. 「プログラムと機能」画面の左上にある [←] を押します。
7. 「管理ツール」を選択します。
8. 「サービス」を選択します。
9. 「TCP/IP　Print　Server」の「状態」が「開始」、「スタートアップの状態」が「自動」になっていることを確認します。なっていない場合は、その上でマウスの右ボタンをクリックし、「プロパティ」を選択して下さい。

10. 「スタートアップの状態」で「自動」を選択した後、[適用] を押して下さい。
    「サービスの状態」で「停止」と表示されていたら「開始」を押して下さい。
    [OK] を押して下さい。

11. 右図のような表示になったことを確認して、画面左上の [×] を押します。
12.「管理ツール」画面も同様に画面左上の [×] を押します。

Windows ファイアウォールの設定

1. Windows の「スタート」-「コントロールパネル」を選択します。
2. 「Windows ファイアウォール」を押します。
3. 「設定の変更」を押します。

4. [WorldWideWeb サービス]をチェックします。
   Macintosh との接続のために、LPD 印刷サービスをインストールした場合には、
   [TCP/IP Print Server]もチェックして下さい。

5. 「適用」を押します。
6. 「OK」を押して完了させます。

Windows Server 2003 (R2) Standard Edition の場合

Windows Server 2003 は Macintosh と AppleTalk プロトコルで接続する機能があります。

IIS 機能の追加

DSMagic が動作する上で必須機能です。

予め以下で追加する機能以外の詳細機能が選択された状態になっている場合がありますが、そのままで支障ありません。

1. Windows の「スタート」-「コントロールパネル」を選択します。
2. 「プログラムの追加と削除」を押します。
3. 「Windows コンポーネントの追加と削除」を押します。
4. ［アプリケーションサーバー］をチェックします。
5. 選択状態のまま、[詳細] を押します。

6. [インターネットインフォーメーションサービス (IIS)] をチェックします。
7. 選択状態のまま、[詳細] を押します。

8. [WWW (World Wide Web) サービス] をチェックします。
9. 選択状態のまま [詳細] を押します。

10. [WWW (World Wide Web) サービス] をチェックします。
11. [OK] を押して画面を閉じます。

12. [OK] を押して画面を閉じます。
13. [OK] を押して画面を閉じます。
14. 「Windows コンポーネントウィザード」画面で [次へ] を押すと追加処理が開始されます。
    処理中、OS のインストール CD を挿入するよう案内画面が表示されることがありますが、その場合は画面の指示に従って下さい。
    この際、Windows Server 2003 のインストール画面が表示されることがありますが、[終了] を押して画面を閉じます。
15. 「Windows コンポーネントウィザードの完了」と表示された画面が表示されたら、[完了]
    を押します。
16. 「プログラムの追加と削除」画面の右上にある [×]
    を押して画面を閉じます。

Macintosh 接続機能の追加

Macintosh をクライアントとして、AppleTalk プロトコルにより接続する場合には、以下の設定を行います。

AppleTalk プロトコルの追加

1. Windows の「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワーク接続」-「ローカルエリア接続」を選択します。
2. [プロパティ]を押します。

3. 選択リスト中に「AppleTalk プロトコル」が存在する場合は、4. へ進みます。
   存在しない場合は、5. へ進みます。
4. 「AppleTalk プロトコル」がチェックされていない場合は、チェックします。
   ［OK］を押します。
   8. へ進みます。
5. ［インストール］を押します。
6. 「プロトコル」を選択し、[追加] を押します。
7. 「AppleTalk プロトコル」を選択し、[OK] を押します。
8. 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面へ戻ったら、［閉じる］を押します。
9. 「ローカルエリア接続の状態」画面で [閉じる] を押します。

Macintosh 用ファイルサービス 、Macintosh 用印刷サービスの追加

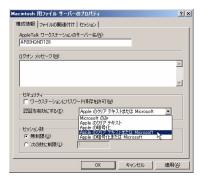
1. Windows の「スタート」-「コントロールパネル」を選択します。
2. 「プログラムの追加と削除」を押します。
3. 「Windows コンポーネントの追加と削除」を押します。
4. 「そのほかのネットワークファイルと印刷サービス」を選択して、[詳細] を押します。
5. [Macintosh 用ファイルサービス] と [Macintosh 用印刷サービス] をチェックします。
6. [OK] を押して、画面を閉じます。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

7. 「Windows コンポーネントウィザード」画面で [次へ] を押すと追加処理が開始されます。
   処理中、OS のインストール CD を挿入するよう案内画面が表示されることがありますが、その場合は画面の指示に従って下さい。
   この際、Windows Server 2003 のインストール画面が表示されることがありますが、[終了] を押して画面を閉じます。
8. 「Windows コンポーネントウィザードの完了」と表示された画面が表示されたら、[完了] を押します。
9. 「プログラムの追加と削除」画面の右上にある [×] を押して画面を閉じます。

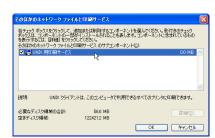
共有フォルダの設定

1. 管理ツールから「コンピュータの管理」を起動します。
2. 「共有フォルダ」を右クリックし、「Macintosh 用ファイルサーバーの構成」を選択します。

3. セキュリティの中の「認証を有効にする」で、「Apple のクリアテキストまたは Microsoft」を選択します。

UNIX 用印刷サービス機能の追加

MacOS 上で LPD 接続を使用してプリンタ作成する場合には、この機能追加をして下さい。

1. Windows の「スタート」-「コントロールパネル」を選択します。
2. 「プログラムの追加と削除」を押します。
3. 「Windows コンポーネントの追加と削除」を押します。
4. [そのほかのネットワークファイルと印刷サービス] をチェックします。
5. 選択状態のまま [詳細] を押します。

6. [UNIX 用印刷サービス] をチェックします。

7. [OK] を押します。
8. 「Windows コンポーネントウィザード」画面で [次へ] を押すと追加処理が開始されます。
   処理中、OS のインストール CD を挿入するよう案内画面が表示されることがありますが、その場合は画面の指示に従って下さい。
   この際、Windows Server 2003 のインストール画面が表示されることがありますが、[終了] を押して画面を閉じます。
9. 「Windows コンポーネントウィザードの完了」と表示された画面が表示されたら、[完了]
   を押します。

10.「プログラムの追加と削除」画面の右上にある [×]
を押して画面を閉じます。

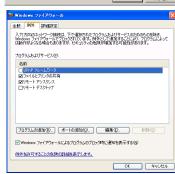
Windows ファイアウォールの設定

Windows Update で SP1 をあてた場合は以下の設定を行って下さい。

11. Windows の「スタート」-「設定」
-「コントロールパネル」を選択します。
12.「Windows ファイアウォール」を押します。
13. [全般]タブを選択し、[有効(推奨)]を選択します。
14. [例外を許可しない]はチェックしないで下さい。

15. [例外]タブを選択し、[ポートの追加]を押します。

16.「名前 (N)」に“http ポート (80)”
「ポート番号 (P) 」に“80”と入力して、
「TCP (T) 」を選択し、[スコープの変更 (C)]を
押します。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

17. 「ユーザーのネットワーク（サブネット）のみ (M)」を選択し、[ＯＫ]を押します。

18. UNIX 用印刷サービスを追加した場合には、再度[ポートの追加]を押します
19. 「名前 (N)」に“LPD ポート (515)”
「ポート番号 (P) 」に“515”と入力して、
「TCP (T) 」を選択し、[スコープの変更 (C)]を押します。
20. 「ユーザーのネットワーク（サブネット）のみ (M)」を選択し、[ＯＫ]を押します。
21. すべてのダイアログの[ＯＫ]を押して完了します。

Windows XP Professional の場合

IIS 機能の追加

DSMagic が動作する上で必須機能です。

予め以下で追加する機能以外の詳細機能が選択された状態になっている場合がありますが、そのままで支障ありません。

1. Windowsの「スタート」-「コントロールパネル」を選択します。
2. 「プログラムの追加と削除」を押します。
3. 「Windows コンポーネントの追加と削除」を押します。
4. [インターネットインフォメーションサービス(IIS)]をチェックします。
5. 選択状態のまま、[詳細] を押します。

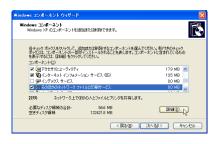
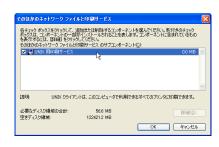
6. [WWW(World Wide Web) サービス] をチェックします。
7. 選択状態のまま、[詳細] を押します。

8. [WWW(World Wide Web) サービス] をチェックします。
9. [OK] を押して、「インターネットインフォメーションサービス (IIS)」画面を閉じます。

10.「Windows コンポーネントウィザード」画面で [次へ] を押すと追加処理が開始されます。
処理中、OS のインストール CD を挿入するよう案内画面が表示されることがありますが、その場合は画面の指示に従って下さい。
この際、WindowsXP のインストール画面が表示されることがありますが、[終了] を押して画面を閉じます。
11.「Windows コンポーネントウィザードの完了」と表示された画面が表示されたら、[完了] を押します。
12.「プログラムの追加と削除」画面の右上にある [×] を押して画面を閉じます。

UNIX 用印刷サービス機能の追加

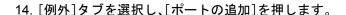
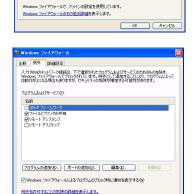
MacOS 上で LPD 接続を使用してプリンタ作成する場合には、この機能追加をして下さい。

1. Windows の「スタート」-「コントロールパネル」を選択します。
2. 「プログラムの追加と削除」を押します。
3. 「Windows コンポーネントの追加と削除」を押します。
4. [そのほかのネットワークファイルと印刷サービス] をチェックします。
5. 選択状態のまま [詳細] を押します。

6. [UNIX 用印刷サービス] をチェックします。

7. [OK] を押します。
8. 「Windows コンポーネントウィザード」画面で [次へ] を押すと追加処理が開始されます。
   処理中、OS のインストール CD を挿入するよう案内画面が表示されることがありますが、その場合は画面の指示に従って下さい。
   この際、WindowsXP のインストール画面が表示されることがありますが、[終了] を押して画面を閉じます。
9. 「Windows コンポーネントウィザードの完了」と表示された画面が表示されたら、[完了]
   を押します。
10. 「プログラムの追加と削除」画面の右上にある [×] を押して画面を閉じます。

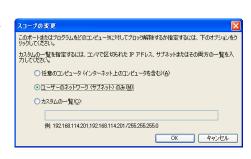
目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

Windows ファイアウォールの設定

Service Pack2 が適用されている場合は、更に以下の設定を行って下さい。

11. Windows　の「スタート」-「コントロールパネル」を選択します。
12. 「セキュリティセンター」を押し、「Windows ファイアウォール」を押します。
13. [全般]タブを選択し、[有効（推奨）]を選択します。
    [例外を許可しない]はチェックしないで下さい。

14. [例外]タブを選択し、[ポートの追加]を押します。

15. 「名前 (N)」に“http ポート (80)”
    「ポート番号 (P) 」に“80”と入力して、
    「TCP (T) 」を選択し、[スコープの変更 (C)]を押します。

16. 「ユーザーのネットワーク(サブネット)のみ(M)」を選択し、[ＯＫ]を押します。

17. UNIX 用印刷サービスを追加した場合には、再度[ポートの追加]を押します
18. 「名前 (N)」に"LPD ポート (515)"
「ポート番号 (P) 」に"515"と入力して、
「TCP (T) 」を選択し、[スコープの変更 (C)]を押します。
19. 「ユーザーのネットワーク(サブネット)のみ(M)」にチェックを入れ、[ＯＫ]を押します。
20. すべてのダイアログの[ＯＫ]を押して完了します。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

DS Magic のインストール

以下、インストールの途中で CD-ROM の読み出しに問題が生じた時は、コンピュータから CD-ROM を取り出し、柔らかい布でディスクを拭き再度インストールを行って下さい。

注意

指示があるまでハードウェアキーを PC に取り付けないで下さい。

注意

Windows Vista へインストールする場合、途中右図のような警告または確認画面が表示されることがあります。
表示内容に同意した上で、DS Magic のインストール作業を継続する場合は、赤丸側を選択して下さい。

1. 管理者権限 (Administrators) があるユーザで Login して下さい。
2. DS Magic の CD-ROM を挿入して下さい。

   インストールする PC が、DS Magic の動作環境を満たしていない場合、右の画面が表示されることがあります。その場合はインストールする PC を変更して下さい。

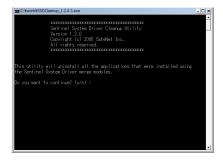
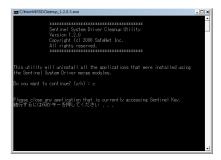
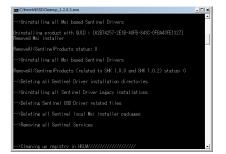
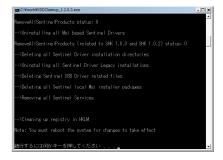
   「DS Magic インストール」画面が表示されるので[DS Magic のインストール]を押します。
   (表示されない場合は、DS Magic の CD-ROM 内の“setupmain.exe”をダブルクリックします)

3. 右図の警告が表示される場合、「OK」を押して一旦終了した後、上記の通り、再度「DS Magicインストール」画面を表示させて下さい。

   7 ページの「Java 仮想マシンのインストール」を参照してインストールを行って下さい。
   インストール終了後は、再度上記の通り 1. からインストールを行ってください。

4. ハードウェアキーの旧ドライバがインストールされている場合、右図の画面が表示されますのでハードウェアキーが取り付けられていないことを確認した後、「OK」を押して下さい。
   表示されない場合は、13. へ進みます。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

5. 右の画面が表示されたら、「Y」キーを押した後、Enter キーを押して下さい。

6. 右の画面が表示されたら、何かキー（スペースキー等）を押して下さい。

7. 右のような画面が表示されますので、しばらくお待ち下さい。

8. 右の画面が表示されたら、何かキー（スペースキー等）を押して下さい。

9. 右の画面が表示されたら「Next」を押して下さい。

10. 右の画面が表示されたら、ライセンスに同意しインストールを継続するする場合は、「I accept the terms in the license agreement」を選択し、「Next」を押して下さい。

11. 右の画面が表示されたら「Complete」を選択し、「Next」を押して下さい。

12. 右の画面が表示されたら「Install」を押して下さい。

13. 右の画面が表示されたら「Finish」を押して下さい。

14. 「DS Magic 動作環境の調査」画面が表示されます。

画面の指示に従い、同梱のハードウェアキーを USB ポートに取り付けて、[ＯＫ]を押します。

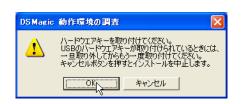
すでにハードウェアキーが取り付けられているときには、一旦取り外してからもう一度取り付けて下さい。

15. 「DS Magic 動作環境の調査中」画面が表示され、DS Magic を動作させるための環境を調査します。

16. 「DS Magic 動作環境のセットアップ」画面が表示されるので[次へ]を押します。

尚、表示内容に従って作業する場合は、[キャンセル]を押して、DS Magic のインストールを一旦終了します。

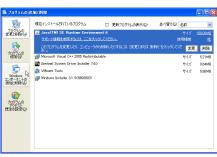
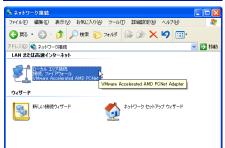
17. 「DS Magic 動作環境のセットアップ中」画面が表示され、DS Magic 動作環境の準備状態によって、1) ～ 3) のように動作します。

1) 必要な環境が整っている場合は、17. に進みます。

2) Windows コンポーネントの環境が不足している場合は、「DS Magic 動作環境のセットアップ」画面が表示され、不足しているコンポーネント名が表示されます。

［ＯＫ］を押すと、アプリケーションを追加するためのウインドウと、不足しているコンポーネントの追加方法が表示されます。

説明に従い不足しているコンポーネントの追加を行って下さい。
追加後、画面の指示に従い、1 に戻ります。

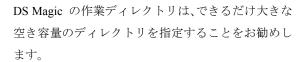
3) ネットワークの環境が不足している場合は、「DS Magic 動作環境のセットアップ」画面が表示され、不足しているコンポーネント名が表示されます。

［ＯＫ］を押すと、「ネットワークとダイヤルアップ接続」ウインドウと、不足しているコンポーネントの追加方法が表示されます。
説明に従い不足しているコンポーネントの追加を行って下さい。

追加後、画面の指示に従い、1 に戻ります。

18. 「DS Magic セットアップ」画面が表示されるので[次へ]を押します。

19. ご使用になるユーザ情報を入力し、[次へ]を押します。

20. DS Magic の作業ディレクトリを作成する場所を指定します。

DS Magic の作業ディレクトリは、できるだけ大きな空き容量のディレクトリを指定することをお勧めします。

デフォルトでは C:\DSMagic が指定されますが、図は D:\DSMagic と変更した例です。

ご使用の OS が Vista の場合、C:\Program Files 以下を指定しないで下さい。

21. DS Magic の識別番号として 3 桁の数※を入力し､[次へ]を押します。

※ 同一ネットワーク内で DS Magic を 2 台以上お使いの場合は重複しない番号を付けて下さい。

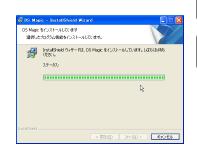
22. [次へ]を押します。

23.「インストール」を押します。

24. インストール中は右のような画面が表示されます。

25. 右の画面が表示されますので､引き続きDSプリンタのインストールを行います。

表示されないときはDS Magic の CD-ROM を挿入し､CD-ROM の｢DSUpdate｣フォルダ内の“DSUpdate.exe”をダブルクリックします。

[ＯＫ]を押します。

26.「プリンタ機種」欄からインストールする。プリンタを選択します。

必要に応じて「プリンタ名称」欄の表示用名称を変更します。

「出力先プリンタ」欄から“DSMagicOut”を選択します。

［追加］を押します。

27.［ＯＫ］を押します。

これで DS プリンタのインストールは完了です。

28. これで DS Magic のインストールは完了です。

引き続き「第３章　印刷する前に」に進んで下さい。

DS Magic の識別番号について

以降の説明では、DS Magic の識別番号は“000”として説明します。

例えばプリンタの名前として“DSMag000”や共有フォルダの名前として“PPD(000)”があれば、“000”の部分をお使いの DS Magic の識別番号に読み替えて下さい。

DS Magic のアンインストール

注意

本操作は PC へ設定した DS Magic を削除するためのものです。
ご使用の PC から DS Magic を削除したい場合、またはメンテナンス上 DS Magic の入れ直しが必要になった場合に、本操作を行います。

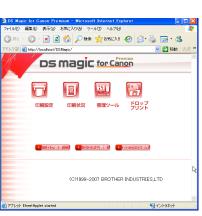
DS Magic をアンインストールする場合は、次の手順でアンインストールします。

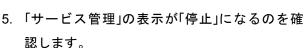
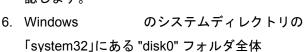
フォントのバックアップ

市販 Postscript フォントが DS Magic にダウンロードされている場合は、DS Magic をアンインストールする前に、**必ず**フォントのバックアップを行って下さい。
ダウンロードされていない場合は、フォントのバックアップは不要です。

1. デスクトップにある「DSMagic」アイコンをダブルクリックします。

2. 管理者 (Administrators) 権限を持つユーザー名とパスワードを入力し、[このパスワードを保存する]にチェックを入れて、[ＯＫ]を押します。

3. [管理ツール]を押します。

4. ［メンテナンス］タブを押し、「サービス管理」の［停止］を押します。

5. 「サービス管理」の表示が「停止」になるのを確認します。

6. Windows　のシステムディレクトリの「system32」にある "disk0" フォルダ全体 (例 :C:\Windows\system32\disk0) を適当な場所へコピーします。

   コピー先に出来た "disk0" フォルダがバックアップデータとなります。

7. 「サービス管理」の「開始」を押します。
8. 「サービス管理」の表示が「動作中」になるのを確認します。

   これでフォントのバックアップ作業は完了です。

DS Magic のアンインストール

1. 「スタート」-「コントロールパネル」を選択します。
2. Vista の場合には、「プログラムと機能」、その他のOSの場合は「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。
3. 「DS Magic」を選択し Vista の場合には、「アンインストール」、その他の OS では［変更と削除］を押します。
4. 画面の指示に従って、アンインストールします。
5. Windows Server 2003 の場合は、ダウンロードしたフォントの削除確認画面が表示されます。
   残す場合には、「いいえ」を選択して下さい。
6. 処理が終了すれば、DS Magic のアンインストールは完了です。
   この後 OS を再起動させて下さい。

バックアップフォントのもどし方

DS Magic の再インストール後に、バックアップしたフォントをもどすことが出来ます。
以下の手順で作業を行って下さい。

1. デスクトップにある「DSMagic」アイコンをダブルクリックします。

2. 管理者 (Administrators) 権限を持つユーザー名とパスワードを入力し、[このパスワードを保存する]にチェックを入れて、[ＯＫ]を押します。

3. [管理ツール]を押します。

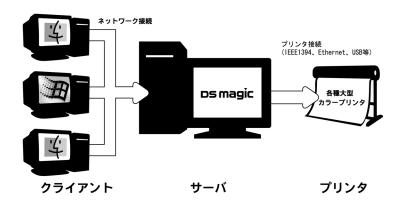
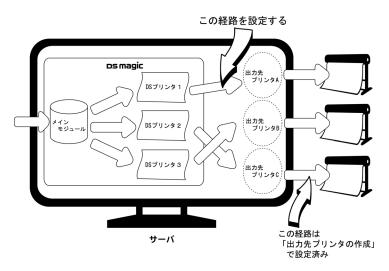
4. [メンテナンス]タブを押し、「サービス管理」の[停止]を押します。

5. 「サービス管理」の表示が「停止」になるのを確認します。
6. Windows のシステムディレクトリの「system32」にある“disk0”フォルダを削除します。
7. バックアップとして保管した“disk0”フォルダ全体を、Windows のシステムディレクトリの「system32」へ移動します。

第 3 章

印刷する前に

システム構成

DS Magic がインストールされている PC を「サーバ」と呼び、サーバに印刷データを送る PC を「クライアント」と呼びます。
印刷データはクライアントからサーバに送られ、DS Magic により RIP 処理され、RIP 済データがプリンタ本体に送られます。

サーバ内の処理としては、DS Magic のメインモジュールと DS Magic としてインストールしたプリンタ（以降 **DS プリンタ**と呼ぶ）により RIP 処理し、RIP 済データが Windows プリンタ（以降**出力先プリンタ**と呼ぶ）を通って（※）プリンタ本体に送られます。

※ DS Magic では Windows のプリンタ機能を利用して RIP 済データをプリンタ本体に送ります。

プリンタの接続設定

プリンタ本体と接続するためには、以下の 2 つの作業が必要です。
「出力先プリンタの作成」
「出力先プリンタの設定」

出力先プリンタの作成

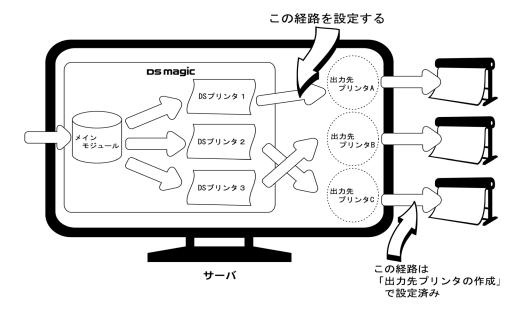
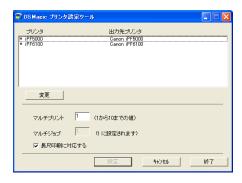
RIP 済みのデータは Windows プリンタ(出力先プリンタと呼ぶ)を通ってプリンタ本体に送られるため、出力先プリンタを作成する必要があります。

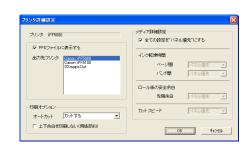
プリンタ本体に付属の「User Software」CD を使用して以下の 2 つをインストールし、
「GARO プリンタドライバ」
「GARO Status monitor」
「Canon ･･･」プリンタを作成して下さい。
(･･･には、プリンタ機種名が入ります)

具体的なインストール方法は、プリンタ本体に付属のマニュアルを参照して下さい。

出力先プリンタの作成が完了したら、引き続き「出力先プリンタの設定」を行って下さい。

出力先プリンタの設定

DSプリンタから出力されるRIP済みデータを、どの出力先プリンタを経由してプリンタ本体に送信するかを、プリンタ設定ツールを用いて設定します。

1. DS Magic で印刷していないことを確認して下さい。
2. Windows の「スタート」-「プログラム」-
   「DSMagic」-「プリンタ設定ツール」を選択します。
3. 設定する DS プリンタを選択し、[変更]を押
   します。

4. 「PPD　ファイルに表示する」のチェックを確認する。

このチェックにより、プリンタが対応しているインク名とメディア名などがPPDファイルに書き込まれるので、アプリケーションから印刷するときのオプション選択リストにインク名などが表示されます。

5. 出力先プリンタを選択します。

必ず、プリンタの機種が一致する「Canon ･･･」プリンタを選択して下さい。

例:「iPF9000」プリンタを設定する場合は、「Canon iPF9000」を選択します。

6. ［ＯＫ］を押します。

7. 出力先プリンタが選択したものになっていること、DS　プリンタ名の左側に「＊」印が表示されていることを確認して[設定]を押して下さい。

「＊」印が表示されていない場合は、上記４の「PPD　ファイルに表示する」がチェックされていません。再度上記４からやり直して下さい。

これで設定は完了です。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

PPD ファイルの更新とクライアント PC への登録

DS Magic の以下の作業により環境を変更した場合、クライアント PC からドライバ印刷するためには、PPD ファイルを更新し、クライアント PC へ登録する必要があります。

■ プリンタ設定ツールの「PPD ファイルに表示する」を切り替えたとき

■ 色調整ファイルを作成したとき

■ フォントダウンロードを行ったとき（この場合のみ、PPD ファイルは自動更新されます）

PPD ファイルの更新

1. デスクトップにある「DS Magic」アイコンをダブルクリックします。

2. 管理者 (Administrators) 権限を持つユーザー名とパスワードを入力し、[このパスワードを保存する]にチェックを入れて、[ＯＫ]を押します。
3. [管理ツール]を押します。

4. [メンテナンス]タブを押し、「ファイルメンテナンス」の[PPD の更新]を押します。

PPD を更新したら、更新した PPD ファイルをシステムに認証させるために、サーバ(DS Magic をインストールした PC)を再起動して下さい。

引き続き「PPD ファイルのクライアント PC への登録」を行って下さい。

PPD ファイルのクライアント PC への登録

クライアント PC からドライバ印刷する場合は、PPD ファイルをクライアント PC へ登録する必要があります。DS Magic インストール直後や、PPD ファイルを更新した場合は、必ず登録して下さい。
サーバ(DS Magic をインストールした PC)とクライアント PC の電源を入れ、ネットワーク接続して下さい。
お使いのクライアント PC に合わせて以下の手順で登録して下さい。

注意

PageMaker などのアプリケーションによっては、PPD ファイルをアプリケーション専用のフォルダに置いて使用するものもあります。そのようなアプリケーションを使用する場合は、以下の手順の PPD 登録に加えて、アプリケーションのマニュアルに従い PPD ファイルを登録して下さい。

Windows PC

Windows Vista の場合

1. Windows の「スタート」メニューから「ネットワーク」を選択します。
2. DS Magic のインストールされたコンピュータを選択します。
3. 「PPD」フォルダを選択し、ダブルクリックします。

   DSMAG000.ppd ファイルが表示されます。

4. 次に Windows の「スタート」メニューから「コンピュータ」を選択し、Windows がインストールされているドライブ(通常は C: です)をクリックします。

   仮に「ファイルは表示されていません。」と表示されたら「このフォルダの内容を表示する」をクリックします。

5. 「WINDOWS」フォルダ、さらに「system32」ー「spool」ー「drivers」ー「w32x86」ー「3」のフォルダを開きます。

6. ３で開いた「PPD」フォルダの中の「DSMAG000.ppd」ファイルを、５で開いた「3」フォルダへコピーします。
7. Windows を再起動します。

引き続き「クライアント PC の設定」を行って下さい。

「Windows Server 2003 の場合

1. 「マイネットワーク」を表示します。

マイネットワークは次のように表示させます。

1) デスクトップを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

2) 「デスクトップ」タブの[デスクトップのカスタマイズ]を押します。

3) 「全般」タブの「マイ　ネットワーク」をチェックし、[ＯＫ]を押します。

4) [ＯＫ]を押して「画面のプロパティ」を閉じます。

5) デスクトップの「マイネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

2. 「ネットワーク全体」を選択し、DS Magic のインストールされたコンピュータを選択します。

3. 「PPD」フォルダを選択し、ダブルクリックします。

DSMAG000.ppd ファイルが表示されます。

4. 次に Windows の「スタート」メニューから「マイコンピュータ」を選択し、Windows Server 2003 がインストールされているドライブ（通常は C: です）をダブルクリックします。

仮に「ファイルは表示されていません。」と表示されたら「このフォルダの内容を表示する」をクリックします。

5. 「WINDOWS」フォルダ、さらに「system32」－「spool」－「drivers」－「w32x86」－「3」の フォルダを開きます。

6. ３で開いた「PPD」フォルダの中の「DSMAG000.ppd」ファイルを、５で開いた「3」フォルダへコピーします。
7. Windows Server 2003 を再起動します。

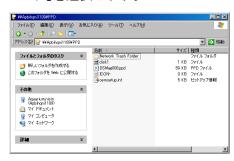
引き続き「クライアント PC の設定」を行って下さい。

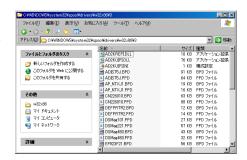
目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

Windows XP の場合

（標準的な GUI の場合で説明します）

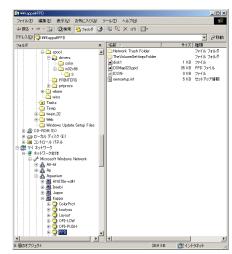
1. Windows の「スタート」メニューから「マイネットワーク」を選択します。
2. 画面左側の「その他」の「ネットワーク全体」を選択し、画面右側からDS Magicのインストールされたコンピュータを選択します。
3. 「PPD」フォルダを選択し、ダブルクリックします。

   DSMAG000 ファイル（標準の設定では拡張子は表示されません）が表示されます。

4. 次にWindowsの「スタート」メニューから「マイコンピュータ」を選択し、Windows XP がインストールされているドライブ（通常は C: です）をダブルクリックします。

   仮に「ファイルは表示されていません。」と表示されたら「このフォルダの内容を表示する」をクリックします。
5. 「WINDOWS」フォルダ、さらに「system32」-「spool」-「drivers」-「w32x86」-「3」とフォルダを開きます。

6. ３で開いた「PPD」フォルダの中の「DSMAG000」ファイルを、５で開いた「3」フォルダへコピーします。
7. Windows XP を再起動します。

引き続き「クライアント PC の設定」を行って下さい。

Windows 2000 の場合

1. Windows の「スタート」-「プログラム」-「アクセサリ」-「エクスプローラ」を選択します。
2. 画面左側の「フォルダ」から「マイネットワーク」の「＋」を押して中を開いて下さい。
3. そこに表示されたコンピュータの中から DS Magic のインストールされたコンピュータを選択します。
4. 画面右側の「PPD」フォルダを選択し、クリックします。
   「DSMAG000.PPD」が表示されます。
5. 次に画面左側の「フォルダ」の「マイコンピュータ」の中から、Windows　のシステムがあるドライブ（通常は C: です）を探し、「＋」を押して中を開き「WINNT」フォルダを探します。
6. 「＋」を押しながら「WINNT」-「system32」-「spool」-「drivers」-「w32x86」-「3」フォルダを開いて下さい。

7. ６の状態で、画面右側に表示されている「DSMAG000.PPD」を、画面左側の「フォルダ」に表示されている「3」フォルダへコピーします。
8. Windows 2000 を再起動します。

引き続き「クライアント PC の設定」を行って下さい。

Macintosh

Mac OS X 10.0、10.1、10.4.0 の Macintosh クライアントからの印刷には対応していません。

Mac OS X 10.5 の場合

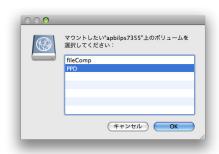
1. 移動」ー「サーバへの接続」を選択します。

   ネットワークアドレスを直接入力するか、[ブラウズ]を押して、リストから選択してください。

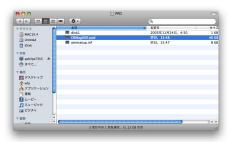
   ネットワークアドレスを直接指定する際、SMB 接続の場合は、「smb:// コンピュータ名」もしくは「smb://IP　アドレス」もしくは「smb://DNS 名」、AFP 接続の場合は、「afp://IP アドレス」もしくは「afp://DNS 名」となります。

   詳細はネットワーク管理者へお問合せください。

2. 接続時にユーザ名とパスワードの入力画面が表示された際には、入力をして[接続]を押してください。

3. 接続先フォルダは「PPD」を選択して [OK] を押してください。

フォルダ中の「DSMag000.ppd」ファイルを、「書類」フォルダへコピーしてください。

引き続き「クライアント PC の設定」を行って下さい。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

Mac OS X 10.4 および 10.3 の場合

1. DS Magic のインストールされたコンピュータの「PPD フォルダ」を共有します。

共有方法としては、「ブラウズ」を使用して行う方法と、ネットワークアドレスを直接指定して行う方法があります。

■ ブラウズを使用する方法

1) 「移動」-「サーバへの接続」を選択します。

2) [ブラウズ]を押して、リストから DS Magic のインストールされたコンピュータを選択し、[接続]を押します。

3) 必要に応じて、ユーザー名とパスワードを入力します。

4) 共有フォルダのリストから「PPD」(もしくは「PPD(000)」)を選択し、[O K]を押します。

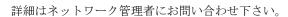
■ ネットワークアドレスを直接指定する方法

1) 「移動」-「サーバへの接続」を選択します。

2) 「サーバアドレス」に DS Magic のインストールされたコンピュータのネットワークアドレスを入力し、[接続]を押します。

ネットワークアドレスには、SMB もしくは AFP 接続するためのアドレスを指定して下さい。

SMB 接続の場合は、「smb:// コンピュータ名」もしくは「smb://IPアドレス」もしくは「smb://DNS名」、AFP 接続の場合は、「afp://IP アドレス」もしくは「afp://DNS 名」となります。

詳細はネットワーク管理者にお問い合わせ下さい。

3) 必要に応じて、ユーザー名とパスワードを入力します。

4) 共有フォルダのリストから「PPD」(もしくは「PPD(000)」)を選択し、[O K]を押します。

注意

DS Magic を Windows Server 2003 (R2) Standard Edition へインストールした場合にのみ AFP 接続することが出来ます。

2. 「移動」ー「ホーム」を選択し、さらにその中の「書類」を選択します。
3. 共有した「PPD」フォルダの中の「DSMag000.ppd」ファイルを、「書類」フォルダへコピーします。
4. Macintosh を再起動します。

引き続き「クライアント PC の設定」を行って下さい。

Mac OS X 10.2 の場合

1. 「移動」-「サーバへ接続」を選択します。
2. リストから DS Magic のインストールされたコンピュータを選択し、[接続]を押します。
3. 共有選択のリストから「PPD(000)」を選択し[ＯＫ]を押します。
4. デスクトップ上にマウントされた「PPD(000)」フォルダを開きます。
5. 「移動」-「ホーム」を選択し、さらにその中の「書類」を選択します。
6. 「PPD(000)」フォルダの中の「DSMag000.PPD」ファイルを「書類」フォルダへコピーします。
7. Macintosh を再起動します。

引き続き「クライアント PC の設定」を行って下さい。

Mac OS 9 の場合

DS Magic を Windows Server 2003 (R2) Standard Edition へインストールした場合にのみ MacOS9 と接続することが出来ます。

1. 「アップル」メニューの「セレクタ」を選択します。
2. 「AppleShare」を選択し、「ファイルサーバの選択」リストからDS Magicのインストールされたコンピュータを選び[ＯＫ]ボタンを押します。
3. リストの中から「PPD(000)」を選択し[ＯＫ]を押します。
4. デスクトップ上にマウントされた「PPD(000)」フォルダを開きます。
5. Mac の「システムフォルダ」の中の「機能拡張」-「プリンタ記述ファイル」フォルダを開きます。
6. 「PPD(000)」フォルダの中の「DSMAG000.PPD」ファイルを「プリンタ記述ファイル」フォルダへコピーします。
7. Macintosh を再起動します。

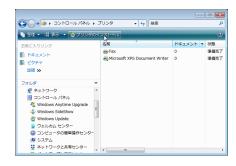
引き続き「クライアント PC の設定」を行って下さい。

クライアント PC の設定

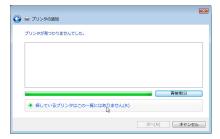
クライアント PC に PPD ファイルを登録したら、ドライバ印刷するためのプリンタを作成します。サーバ(DS Magic をインストールした PC)とクライアント PC の電源を入れ、ネットワーク接続して下さい。

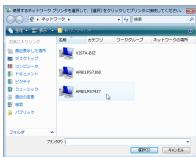
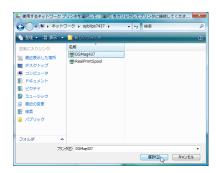
Windows

Windows Vista の場合

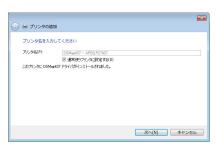
1. Windows の「スタート」-「コントロールパネル」-「プリンタ」をダブルクリックします。
2. 「プリンタのインストール」を選択します。

3. 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」を選択します。

4. [停止]を押します。

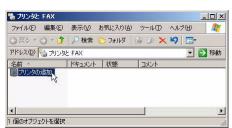
5. 「探しているプリンタはこの一覧にはありません」を選択します。

6. ［参照］を押します。

7. DSMagic サーバ機の PC 名を選択して［選択］を押します。

8. DSMagic　プリンタ名を選択して［選択］を押します。

9. ［次へ］を押します。

10. インストール開始後､右のようなプリンタドライバインストール画面が表示されたときは、[インストール]を押して下さい。

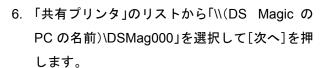
11. [次へ]を押して下さい。

12. [完了]を押して下さい。

Windows Server 2003 の場合

1. Windows の｢スタート｣-｢プリンタと FAX｣を選択します。
2. [プリンタの追加]をダブルクリックします。

3. [次へ]を押します。

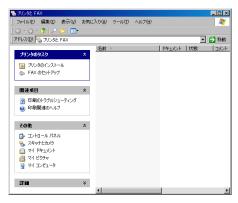
4. 「ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ」を選択し、[次へ]を押します。

5. 「プリンタを参照する」を選択し、[次へ]を押します。

6. 「共有プリンタ」のリストから「\\(DS Magic の PC の名前)\DSMag000」を選択して[次へ]を押します。

7. 「いいえ」を選択し、[次へ]を押します。

8. [完了]を押します。

Windows XP の場合

1. Windows の「スタート」-「プリンタと FAX」を選択します。
2. ［プリンタのインストール］を押します。

3. ［次へ］を押します。

4. 「ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ」を選択し、［次へ］を押します。

5. 「プリンタを参照する」を選択し、［次へ］を押します。

6. 「共有プリンタ」のリストから「\\（DS Magic の PC の名前）\DSMag000」を選択して［次へ］を押します。

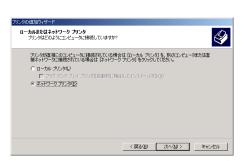
7. 「いいえ」を選択し、［次へ］を押します。

8. ［完了］を押します。

Windows 2000 の場合

1. Windows の「スタート」-「設定」-「プリンタ」を選択します。
2. 「プリンタの追加」を選択し、ダブルクリックします。

3. ［次へ］を押します。

4. 「ネットワークプリンタ」を選択し、[次へ]を押します。

5. 「プリンタ名を入力するか[次へ]をクリックしてプリンタを参照します」を選択し、[次へ]を押します。

6. 「共有プリンタ」リストから「\\ (DS Magic の PC の名前)\DSMag000」を選択して[次へ]を押します。

パスワードを要求された場合は、DS Magic の PC で使用しているユーザ名、パスワードを入力して下さい。

7. 「いいえ」を選択し、[次へ]を押します。

8. [完了]を押します。

Macintosh（LPD での接続）

DS Magic を Windows Vista へインストールした場合はこの接続方法を推奨します。

クライアントPCの設定を始める前にDS MagicをインストールしたPCに対して、6ページの「DS Magicを動作させるために」に従い、LPD 印刷サービス（UNIX 用印刷サービス）の追加インストールとWindows ファイアウォールの設定をして下さい。

以下の説明は、固定 IP アドレスが割り当てられた PC に対して DS Magic をインストールされた場合を例として説明しています。事前に IP アドレスを確認しておいてください。
設置されるネットワーク上で DNS が稼動している場合は、PC の名前で登録することが出来ます。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。

Mac OS X 10.0、10.1、10.4.0 の Macintosh クライアントからの印刷には対応していません。

Mac OS X 10.5 の場合

1. 「アップル」メニューの「システム環境設定」から「プリントとファックス」を選択します。
2. 「プリント」を選択します。
3. すでに「DSMag000」プリンタが作成されているときは削除します。
4. ［＋］を押します。

5. プロトコルは「LPD(Line Printer Daemon)」のままで、以下の項目を入力します。

   アドレス：　DS Magic をインストールした PC の IP アドレス

   キュー：　DSMag000

   名前：　DSMag000

6. 「使用するドライバ」で[その他]を選択します。
7. 「書類」フォルダにコピーした「DSMag000.ppd」ファイルを選択して[選択]を押します。
8. 「プリンタの種類」に「DSMag000.ppd」が選択されていることを確認して[追加]を押します。

Mac OS X 10.4 の場合

1. 「アップル」メニューの「システム環境設定」から「プリントとファックス」を選択します。
2. 「プリント」を選択します。
3. すでに「DSMag000」プリンタが作成されているときは削除します。
4. [＋]を押します。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

5. プロトコルは「LPD(Line Printer Daemon)」のままで、以下の項目を入力します。

   アドレス:　DS Magic をインストールした PC の IP アドレス

   キュー:　DSMag000

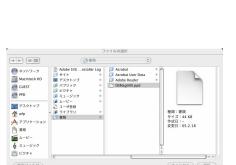
   名前:　DSMag000

6. 「使用するドライバ」で[その他]を選択します。
7. 「書類」フォルダにコピーした「DSMag000.ppd」ファイルを選択して[選択]を押します。
8. 「プリンタの種類」に「DSMag000.ppd」が選択されていることを確認して[追加]を押します。

Mac OS X 10.3 の場合

1. 「アップル」メニューの「システム環境設定」から「プリントとファクス」を選択します。
2. 「プリント」を選択し、「プリンタを設定」を選択します。
3. すでに「DSMag000」プリンタが作成されているときは削除します。
4. ［追加］を押します。

5. 最上の選択リストから「IP プリント」を選択すると表示画面が変わります。
以下の項目を入力します。
アドレス: DS Magic をインストールした PC の IP アドレス
キュー: DSMag000
名前: DSMag000

6. プリンタの機種で「その他」を選択して下さい。
7. 「書類」フォルダにコピーした「DSMag000.PPD」ファイルを選択して［選択］を押します。

8. プリンタの名前に「DSMag000」、プリンタの機種に「DSMag000.PPD」が選択されていることを確認して［追加］を押します。

Mac OS X 10.2 の場合

1. 「移動」-「アプリケーション」を選択し、「ユーティリティー」-「プリントセンター」を押します。
2. すでに「DSMag000」プリンタが作成されているときは削除します。
3. ［追加］を押します。

4. 「サーバ上のデフォルトのキューを使う」のチェックを外してください。
以下の項目を入力します。
アドレス：DS Magic をインストールした PC の IP アドレス
キュー：DSMag000
名前：DSMag000

5. 「プリンタの機種」で「その他」を選択します。
6. 「DSMAG000.PPD」ファイルを選択して［選択］を押します。

7. プリンタの名前に「DSMag000」、プリンタの機種に「DSMAG000.PPD」が選択されていることを確認して［追加］を押します。

Macintosh（Windows プリンタでの接続）

DS Magic を Windows Vista へインストールした場合は、64 ページの「Macintosh（LPD での接続）」による接続を推奨します。

Mac OS X 10.0、10.1、10.4.0 の Macintosh クライアントからの印刷には対応していません。

Mac OS X 10.4 の場合

1. 「アップル」メニューの「システム環境設定」から「プリントとファックス」を選択します。
2. 「プリント」を選択します。
3. すでに「DSMag000」プリンタが作成されているときは削除します。
4. ［＋］を押します。

5. ［ほかのプリンタ］を押します。

6. 上から１番目の選択リストで「Windows プリント」を選択し、２番目の選択リストおよびウインドウリストから DS Magic インストール PC を選択し、［選択］を押します。

注意

文字化けが発生した場合は、Macintosh を再起動し最初から作業を行って下さい。

7. 必要に応じて、ユーザー名とパスワードを入力します。
8. プリンタリストから「DSMag000」を選択し、「プリンタの機種」で[その他]を選択します。

9. 「書類」フォルダにコピーした「DSMag000.ppd」ファイルを選択して[選択]を押します。
10. 「プリンタの種類」に「DSMag000.ppd」が選択されていることを確認して[追加]を押します。

Mac OS X 10.3 の場合

1. 「アップル」メニューの「システム環境設定」から「プリントとファクス」を選択します。
2. 「プリント」を選択し、「プリンタを設定」を選択します。
3. すでに「DSMag000」プリンタが作成されているときは削除します。
4. ［追加］を押します。

5. 最上の選択リストから「AppleTalk」もしくは「windows プリント」を選択します。

6. プリンタのリストの中から「DSMag000」を選択し、「プリンタの機種」で「その他」を選択します。

7. 「書類」フォルダにコピーした「DSMag000.PPD」ファイルを選択して［選択］を押します。

8. プリンタの名前に「DSMag000」、プリンタの機種に「DSMag000.PPD」が選択されていることを確認して［追加］を押します。

Macintosh（AppleTalk での接続）

この接続方式は DS Magic を Windows Server 2003(R2) 上でインストールしたときのみ使用できます。

Mac OS X 10.0、10.1、10.4.0 の Macintosh クライアントからの印刷には対応していません。

Mac OS X 10.2 の場合

1. 「移動」-「アプリケーション」を選択し、「ユーティリティー」-「プリントセンター」を押します。
2. すでに「DSMag000」プリンタが作成されているときは削除します。
3. ［追加］を押します。

4. プリンタのリストから「DSMag000」プリンタを選択し、「プリンタの機種」で「その他」を選択します。

5. 「DSMAG000.PPD」ファイルを選択して［選択］を押します。

6. プリンタの名前に「DSMag000」、プリンタの機種に「DSMAG000.PPD」が選択されていることを確認して[追加]を押します。

Mac OS 9 の場合

1. 「アップル」メニューの「セレクタ」を選択します。
2. 「LaserWriter」を選択し、「Postscript プリンタの選択」リストから「DSMag000」を選択して[作成]もしくは[再設定]を押します。

3. 「DSMag000.PPD」ファイルを選択し、[選択]を押します。

PostScript™ プリンタ記述（PPD）ファイルの選択：
DSMag000.ppd
情報
他の PPD...
キャンセル
選択
プリンタモデル：
DSMAG000

4. セレクタを閉じます。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

環境設定ツールによるデフォルト値の設定

DS Magic の「環境設定ツール」を用いて、使い方に応じたデフォルト値を設定しておくと、DS Magic の操作がより簡単になります。
Windows の「スタート」-「プログラム」-「DSMagic」-「環境設定ツール」を選択して、「環境設定ツール」を起動します。
各タブの内容を簡単に以下に説明しますが、詳細については「第８章　ツール」の「環境設定ツール」を参照して下さい。

「レイアウト印刷」タブ

ドキュメントをレイアウトして、トリミング、タイリングなどを行い印刷する場合のデフォルト値を設定します。
よく使用するプリンタ、メディアなどを指定して下さい。

「カラーマネジャ」タブ

ドロッププリントやアプリケーションから印刷する場合に、色調整方法として「自動」もしくは「標準の設定を使用」を選択した場合は、ここで設定した色調整が使用されます。

「BR-Script」タブ

特に変更する必要はありません。

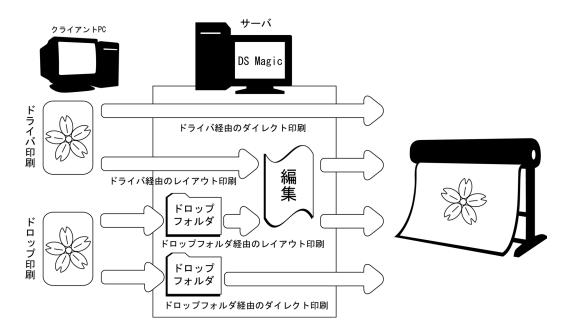
「PPD 設定補助」タブ

アプリケーションから印刷する場合に、アプリケーションによっては印刷時のオプション設定が正しく印刷データに反映されないことがあります。
この場合に備え、オプションのデフォルト値を設定します。

第 4 章

印刷してみましょう

印刷方法

DS Magic を使った印刷は以下の 4 通りの方法があります。

■　**ドライバ経由のダイレクト印刷**

アプリケーションから直接プリンタに印刷する方法。

■　**ドライバ経由のレイアウト印刷**

アプリケーションから印刷を行った後､DS Magic で簡単な編集を行いプリンタに印刷する方法。

■　**ドロップフォルダ経由のレイアウト印刷**

ファイルをドロップフォルダにコピーした後､DS Magic で簡単な編集を行いプリンタに印刷する方法。

■　**ドロップフォルダ経由のダイレクト印刷**

ファイルをドロップフォルダにコピーして､直接プリンタに印刷する方法。

以降、各印刷方法について説明します。

また、印刷中に「印刷状況」画面を表示すると進行状況が分かります。
表示方法は、この章の「印刷状況の表示」を参照してください。

印刷したいドキュメントのデータフォーマットが、ドロップ印刷に対応したフォーマットの場合は、ドライバ印刷よりもドロップ印刷の方がより簡単に印刷出来ます。

ドロップフォルダにコピー可能なデータフォーマットは以下の5種類です。

EPS: 特に制限なし。

PDF: Ver1.4 対応。
セキュリティー設定されたデータには未対応。
OPI、オーバープリント、透明オブジェクトには未対応。
埋め込み ICC プロファイルはカラーイメージのみに対応。

TIFF: 16bit の CMYK、RGB、グレースケールの非圧縮、LZW 圧縮に対応。
8bit の CMYK、RGB、グレースケールの非圧縮、PackBits 圧縮、LZW 圧縮に対応。
1bit のモノクロの非圧縮、PackBits 圧縮、G3 圧縮、G4 圧縮、LZW 圧縮に対応(ダイレクト印刷のみ対応)。

JPEG: ベースラインフォーマットに対応。
プログレッシブフォーマットには未対応。

BMP: RGB24bit の非圧縮に対応。

ドライバ経由のダイレクト印刷

クライアントのアプリケーションから直接プリンタに印刷します。

1. **印刷したいドキュメントをアプリケーションで開きます。**
2. **印刷するプリンタとして「DSMag000」を選択します。**
3. **用紙設定を適切に行います。**

   合わせて、プリンタ本体のパネル上でも、セットした用紙の種類及びサイズを設定して下さい。

4. **「DSMag000」プリンタのオプションを設定します。**

   「レイアウト設定」:「しない」

   他の項目も印刷したい条件に合わせて設定します。

   各項目の内容についてはこの章の「ドライバ印刷時のオプション設定項目」を参照して下さい。

注意

「解像度」は、クライアント OS やドライバの種類によって、表示名や表示される場所が異なります。

例えば、Windows2000/XP/Vista では「グラフィックス」内の「印刷品質」に表示されます。

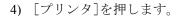
注意

項目内の選択肢が1個しか存在しない場合、もしくは選択肢として「標準」しか存在しない場合は、クライアント OS やドライバの種類によっては、この項目が表示されない場合があります。

注意

ダイレクト印刷の場合は、「解像度」「インク」「メディア」「多階調処理」の組み合わせが間違っていると正しく印刷できません。

以下の手順で、この組み合わせ表を表示させ確認するか、この章の「プリンタ対応表」を参照して下さい。

1) サーバ(DS Magic がインストールされた PC)のデスクトップにある「DS Magic」アイコンをダブルクリックします。
2) 管理者(Administrators)権限を持つユーザー名とパスワードを入力し、[このパスワードを保存する]にチェックを入れて、[ＯＫ]を押します。
3) DS Magic のスタート画面で、[システム情報]を押します。

4) [プリンタ]を押します。
5) [プリンタ一覧]から参照したいプリンタを選択します。
これで対応表が表示されます。

対応表

赤文字で表示されている組み合わせは、
ドライバ印刷においてインクとメディアで「標準」を
選択した場合に使用される組み合わせです

解像度	インク	メディア	多階調処理	プロファイル識別名 / RGBデバイスリンク / CMYKデバイスリンク	インク総量	備考
1200×1200	顔料インク(速い)(RGB)	普通紙	入	iPF6100-R121L-0344	400	標準
1200×1200	顔料インク(速い)(RGB)	厚口コート紙	入	iPF6100-R121P-251D	400	フチ無し印刷可
1200×1200	顔料インク(速い)(RGB)	フォト光沢紙	入	iPF6100-R121P-2719	400	フチ無し印刷可
1200×1200	顔料インク(速い)(RGB)	フォト半光沢紙	入	iPF6100-R121P-2626	400	フチ無し印刷可
1200×1200	顔料インク(速い)(RGB)	プルーフ用紙2	入	iPF6100-R121P-262B	400	
1200×1200	顔料インク(速い)(RGB)	ファインアート(フォト厚口)	入	iPF6100-R121P-343A	400	フチ無し印刷可

5. 印刷します。

しばらくすると印刷が始まります。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

ドライバ経由のレイアウト印刷

クライアントのアプリケーションから「DSMag000」プリンタに対して印刷した後、DS Magic で簡単な編集を行い印刷します。

＜クライアント側＞

1. 印刷したいドキュメントをアプリケーションで開きます。
2. 印刷するプリンタとして「DSMag000」を選択します。
3. 用紙設定を適切に行います。
4. 「DSMag000」プリンタのオプションを設定します。

   「レイアウト設定」:「する」

   他の項目は設定する必要はありません。

5. 印刷します。

   これで、DS Magic 上でプレビューが作成され（印刷はされません）、DS Magic で簡単な編集を行い印刷することが出来ます。

＜サーバ側＞

1. MagicがインストールされたPCのデスクトップにある「DS Magic」アイコンをダブルクリックします。

2. 管理者 (Administrators) 権限を持つユーザー名とパスワードを入力し、[このパスワードを保存する]にチェックを入れて、[ＯＫ]を押します。

3. DS Magicのスタート画面で、[印刷設定]を押します。

「ドキュメント選択」画面が表示されるまでしばらく待ちます。

4. クライアントから印刷により送り込まれたドキュメントを選択し、[新規配置]を押します。

プレビューが表示されます。

5. 配置情報などが表示された左側のウインドウで、「レイアウト」タブの「プリンタ」タブにおいて、印刷する「プリンタ」、「解像度」、「インク」、「メディア」、「多階調処理」を設定します。

6. その他のタブにおいて、「用紙サイズ」や「大きさ」などを設定して、[印刷]を押します。

設定の詳細については「第6章　操作の方法」を参照して下さい。

「トリミング」、「タイリング」タブを選択している場合は、[印刷]を押すことができません。他のタブに切り替えて下さい。

7. 最終確認画面で[印刷]を押します。

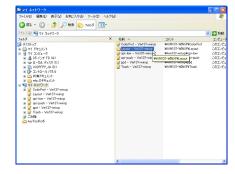
しばらくすると印刷が始まります。

ドロップフォルダ経由のレイアウト印刷

ドキュメントをアプリケーションで開くことなく印刷出来ます。
ドキュメントファイルをレイアウト印刷用のドロップフォルダ「Layout」にコピーした後、DS Magic で簡単な編集を行い印刷します。

＜クライアント側＞

1. DS Magic をインストールした PC にある「Layout」フォルダを表示します。

   Windows クライアントでは、「マイネットワーク」を使用して下さい。

注意

「Layout」フォルダはプレビュー表示させないで下さい。
「ツール」-「フォルダオプション」の「全般」タブの「Web 表示」で「従来の Windows フォルダを使う」をチェックして下さい。

プレビュー表示させない

Macintosh OS X では、Finder の「移動」-「サーバーへ接続」を使用して下さい。

OS X 以外では、アップルメニューの「セレクタ」-「AppleShare」を使用して下さい。

2. 「Layout」フォルダにドキュメントファイルをコピーして下さい。

注意

■ ドキュメントファイル名には、先頭のスペース、表示されない Windows の制御文字、以下の特殊文字は使用できません。
\ / : * ? " < > |

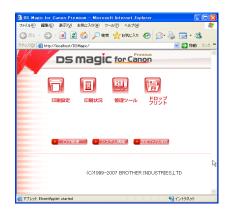
■ 「Layout」フォルダにアプリケーションから直接ファイル保存 (作成) しないで下さい。

これで、DS Magic 上でプレビューが作成され(印刷はされません)、DS Magic で簡単な編集を行い印刷することが出来ます。

＜サーバ側＞

1. DS Magic がインストールされた PC のデスクトップにある「DS Magic」アイコンをダブルクリックします。

2. 管理者 (Administrators) 権限を持つユーザー名とパスワードを入力し、[このパスワードを保存する]にチェックを入れて、[ＯＫ]を押します。

3. DS Magic のスタート画面で、[印刷設定]を押します。
「ドキュメント選択」画面が表示されるまでしばらく待ちます。

4. クライアントから送り込まれたドキュメントを選択し、[新規配置]を押します。

   プレビューが表示されます。

5. 配置情報などが表示された左側のウインドウで、「レイアウト」タブの「プリンタ」タブにおいて、印刷する「プリンタ」、「解像度」、「インク」、「メディア」、「多階調処理」を設定します。

6. その他のタブにおいて、「用紙サイズ」や「大きさ」などを設定して、[印刷]を押します。

   設定の詳細については「第６章　操作の方法」を参照して下さい。

注意

「トリミング」、「タイリング」タブを選択している場合は、[印刷]を押すことができません。他のタブに切り替えて下さい。

7. 最終確認画面で[印刷]を押します。

   しばらくすると印刷が始まります。

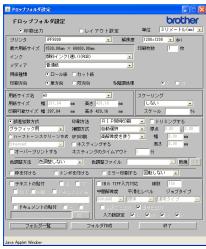
ドロップフォルダ経由のダイレクト印刷

ドキュメントをアプリケーションで開くことなく印刷出来ます。
ドキュメントファイルをダイレクト印刷用のドロップフォルダ(ユーザーが作成します)にコピーして直接プリンタに印刷します。

＜サーバー側＞

ダイレクト印刷用のドロップフォルダを作成します。

1. DS Magic がインストールされた PC のデスクトップにある「DS Magic」アイコンをダブルクリックします。
2. 管理者 (Administrators) 権限を持つユーザー名とパスワードを入力し、[このパスワードを保存する]にチェックを入れて、[ＯＫ]を押します。
3. DS Magic のスタート画面で[ドロッププリント]を押します。

4. 「印刷出力」を選択し、「プリンタ」、「解像度」、「インク」、「メディア」などを設定し、[フォルダ作成]を押します。
   設定の詳細については「第６章　操作の方法」を参照して下さい。

5. 「ドロップフォルダ名」を入力し、[作成]を押します。

注意

■ ドロップフォルダ名には、先頭のスペース、表示されない Windows の制御文字、以下の特殊文字は使用できません。
\ / : * ? " < > |

■ 「Layout」フォルダにアプリケーションから直接ファイル保存 (作成) しないで下さい。

6. [決定]を押します。

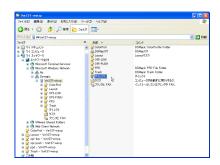
これで、ダイレクト印刷用のドロップフォルダが作成できました。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

<クライアント側>

1. DS Magic をインストールした PC にある「ダイレクト印刷用のドロップフォルダ」を表示します。

   Windows クライアントでは、「マイネットワーク」を使用して下さい。

注意

「ダイレクト印刷用のドロップフォルダ」はプレビュー表示させないで下さい。

「ツール」-「フォルダオプション」の「全般」タブの「Web 表示」で「従来の Windows フォルダを使う」をチェックして下さい。

プレビュー表示させない

Macintosh OS X では、Finder の「移動」-「サーバーへ接続」を使用して下さい。

OS X 以外では、アップルメニューの「セレクタ」-「AppleShare」を使用して下さい。

2. 「ダイレクト印刷用のドロップフォルダ」にドキュメントファイルをコピーして下さい。

注意

- ドキュメントファイル名には、先頭のスペース、表示されない Windows の制御文字、以下の特殊文字は使用できません。
  \ / : * ? " < > |
- 「ダイレクト印刷用のドロップフォルダ」に、アプリケーションから直接ファイル保存（作成）しないで下さい。

しばらくすると印刷が始まります。

ドライバ印刷時のオプション設定項目

アプリケーションから「DSMag000」プリンタに対して印刷する時の、オプション設定項目について説明します。

〔項目〕 デフォルト値	内　　容
〔レイアウト設定〕 しない	「しない」:ダイレクト印刷します。 「する」:レイアウト印刷します。 「しない」を選択した場合は、他の項目も設定して下さい。 「する」を選択した場合は、他の項目の設定は不要です。
〔解像度〕 該当なし	インストールしたDSプリンタの全ての解像度が表示されます。 適切な解像度を指定して下さい。 「プリンタ」「インク」「メディア」「解像度」の適切な組み合わせは、「システム情報」-「プリンタ」-「対応表」を参照して下さい。
〔プリンタ〕 該当なし	インストールした全てのDSプリンタが表示されます。 「プリンタ」「インク」「メディア」「解像度」の適切な組み合わせは、「システム情報」-「プリンタ」-「対応表」を参照して下さい。
〔用紙サイズ〕 A0	定型サイズ、カスタムサイズを指定します。
〔用紙トレイ〕 自動選択	カセットからの給紙に対応したプリンタがインストールされている場合のみ、この項目が表示されます。 「自動選択」 「カセット１」 「カセット２」 「手差し」
〔用紙種類〕 ロール紙	「ロール紙」 「カット紙」 プリンタ本体に設定した用紙種類を指定します。

〔四辺フチなし〕 切	四辺ふちなしプリンタがインストールされている場合のみ、この項目は表示されます。 「切」 「入」
〔インク〕 標準	「標準」と、プリンタ設定ツールで「PPD　ファイルに表示する」をチェックした全ての DS プリンタのインクが表示されます。 [インク]で「標準」を選択した場合は、[メディア]でも「標準」を選択して下さい。 「標準」が示すインク名、および「プリンタ」「インク」「メディア」「解像度」の適切な組み合わせは、「システム情報」-「プリンタ」-「対応表」を参照して下さい。
〔メディア〕 標準	「標準」と、プリンタ設定ツールで「PPD　ファイルに表示する」をチェックした全ての DS プリンタのメディアが表示されます。 [メディア]で「標準」を選択した場合は、[インク]でも「標準」を選択して下さい。 「標準」が示すメディア名、および「プリンタ」「インク」「メディア」「解像度」の適切な組み合わせは、「システム情報」-「プリンタ」-「対応表」を参照して下さい。
〔多階調処理〕 切	「切」 「入」 「プリンタ」「インク」「メディア」「解像度」の組み合わせにより、多階調処理が一方(「入」または「切」)にしか対応していない場合には、この指定にかかわらず対応している処理で印刷が行われます。 「プリンタ」「インク」「メディア」「解像度」「多階調処理」の組み合わせは、「システム情報」-「プリンタ」-「対応表」を参照して下さい。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

〔印刷方向〕 双方向	「双方向」 「単方向」 印刷方向が一方(「双方向」または「単方向」)にしか対応していない場合には、この指定にかかわらず対応している方向で印刷が行われます。 対応状況は、「システム情報」-「プリンタ」-「印字方向設定」を参照して下さい。
〔色調整方法〕 標準の設定を使用	「標準の設定を使用」:環境設定ツールの「カラーマネージャ」タブの設定に従って色調整を行ないます。環境設定ツールにおいてデフォルトの変換方式に「プルーフ変換」「デバイスリンク変換」を選択した場合は、印刷できない場合があります。 「色調整しない」:「色変換」「色調調整」「階調調整」「インク総量規制」を無効にして印刷します。 ただし、RGB → CMYK 変換、K → CMY 変換、CMYK → CMYKLcLm 変換、キャリブレーションは実行されます。 「色調整ファイルを使用」:この項目は色調整ファイルが作成された場合のみ表示されます。 指定された色調整ファイルの設定内容に従って印刷を行ないます。 この項目を指定した場合は、[色調整ファイル]において、使用する「色調整ファイル」を指定する必要があります。
〔色調整ファイル〕	色調整ファイルが作成された場合のみ、この項目は表示されます。 作成された色調整ファイルが表示されます。 [色調整方法]で「色調整ファイルを使用」を選択した場合には、ここで使用する色調整ファイルを指定します。 ここで指定する色調整ファイルに関し、色調整ファイル作成時の「プリンタ」、「解像度」、「インク」、「メディア」、「多諧調処理」と、ドライバー印刷する際のオプション設定項目「プリンタ」、「解像度」、「インク」、「メディア」、「多諧調処理」の値は一致している必要があります。値が異なっていると正しい色で印刷されません。

〔階調方式〕 誤差拡散	「誤差拡散」 「ハーフトーンスクリーン」
〔誤差拡散方式〕 グラフィック用	「グラフィック用」:強い濃淡差が存在するグラフィック系のドキュメントを印刷する時に指定します。 「イメージ用」:写真などイメージ系のドキュメントを印刷する時に指定します。 「高速用」:1200dpi 以上の高解像度で高速印刷する時に指定します。
〔ハーフトーンスクリーン方式〕 Enhanced Screen	「Enhanced Screen」: 「Traditional Screen」: 「アプリケーションの設定優先」:アプリケーションで設定したスクリーンを使用します。
〔印刷方法〕 RIP 同時印刷	「RIP 同時印刷」:RIP しながら印刷します。 「RIP 後印刷」:RIP を終了してから印刷します。 低スペックの PC をお使いの場合など、「RIP 同時印刷」ではプリンタ本体のヘッドが止まりながら印刷する場合があります。その場合は「RIP後印刷」を使用することをお勧めします。但し、RIP処理が終了するまで印刷は開始されないので、印刷開始までに時間を要します。 また、「RIP 後印刷」では、1 ページドキュメントの 1 部印刷のみに対応しています。
〔補間方式〕 自動選択	「自動選択」:最適な補間方式を自動で選択します。 「最近傍法補間」:最近傍法補間でドット間を補います。 「線形補間」:線形補間でドット間を補います。 「双 3 次補間」:双 3 次補間でドット間を補います。 「BR-Interpolation」:ブラザー独自処理でドット間を補います。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

〔OPI 印刷〕 高解像度を使う	「高解像度を使う」:OPI 登録された画像を使用します。 「低解像度を使う」:OPI登録された画像を低解像度化した画像を使用します。 「しない」:OPI 登録された画像を使用しません。 印刷ドキュメントにOPI情報が含まれない場合には、この指定は無視されます。
〔PS オーバープリント〕 しない	「しない」:オーバープリント OFF で印刷します。 「する」:オーバープリント ON で印刷します。 印刷ドキュメントにオーバープリント情報が含まれない場合には、この指定にかかわらずオーバープリント OFF で印刷されます。

注意

[インク][メディア]に「標準」しか表示されないときや、色調整ファイルを作成したにもかかわらず、[色調整ファイル]が表示されないときは、「第 3 章　印刷する前に」の「PPD ファイルの更新とクライアント PC への登録」を行って下さい。

注意

[多階調処理]を「入」に設定したときは、[階調方式]、[誤差拡散方式]、[ハーフトーン方式]の設定は無効となり、規定の階調方式で印刷されます。

目次
概要
インストール しましょう
印刷する 前に
印刷して みましょう
機能の 紹介
操作の 方法
便利な 使い方
ツール
困った ときに
添付資料

プリンタ別対応表

アプリケーションから直接プリントする場合は、必ず以下の「プリンタ別対応表」の「○」の組み合わせの「メディア」「用紙サイズ」「解像度」「インク」を設定して下さい。

iPF8100

＜普通紙＞

本体パネル設定:**普通紙**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	入	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	入	×
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	入	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	入	×
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	入	×

＜厚口コート紙＞

本体パネル設定:**厚口コート紙**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	入	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	入	○

＜フォト光沢紙＞

本体パネル設定:**フォト光沢紙**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	入	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	入	○

＜フォト半光沢紙＞

本体パネル設定:**フォト半光沢紙**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	入	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	入	○

＜フォト光沢紙(厚口)２＞

本体パネル設定:**フォト光沢紙(厚口)２**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い) (RGB)	入	○
1200 × 1200	顔料インク(速い) (CMYK)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準) (RGB)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準) (CMYK)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい) (RGB)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい) (CMYK)	入	○

＜フォト半光沢紙(厚口)２＞

本体パネル設定:**フォト半光沢紙厚口２**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い) (RGB)	入	○
1200 × 1200	顔料インク(速い) (CMYK)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準) (RGB)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準) (CMYK)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい) (RGB)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい) (CMYK)	入	○

＜フォト半光沢紙(ポスター)＞

本体パネル設定:**フォト半光沢紙ポスター**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い) (RGB)	入	○
1200 × 1200	顔料インク(速い) (CMYK)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準) (RGB)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準) (CMYK)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい) (RGB)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい) (CMYK)	入	○

＜合成紙(糊無し)＞

本体パネル設定:**合成紙(糊無し)**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い) (RGB)	入	○
1200 × 1200	顔料インク(速い) (CMYK)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準) (RGB)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準) (CMYK)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい) (RGB)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい) (CMYK)	入	○

＜合成紙（糊付き）＞

本体パネル設定：**合成紙（糊付き）**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	入	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	入	○

＜バックライトフィルム＞

本体パネル設定：**バックライトフィルム**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	入	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	入	○

＜プルーフ用紙２＞

本体パネル設定：**プルーフ用紙２**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	入	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	入	○

＜新聞プルーフ用紙２＞

本体パネル設定：**新聞プルーフ用紙２**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	入	×
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	入	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	入	×
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	入	×
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	入	○

<ファインアート（フォト厚ロ）>

本体パネル設定：**ファインアート フォト厚ロ**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	入	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	入	○

<和紙>

本体パネル設定：**和紙**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	入	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	入	○

iPF9100

＜普通紙＞

本体パネル設定:**普通紙**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	入	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	入	×
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	入	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	入	×
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	入	×

＜厚口コート紙＞

本体パネル設定:**厚口コート紙**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	入	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	入	○

＜フォト光沢紙＞

本体パネル設定:**フォト光沢紙**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	入	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	入	○

＜フォト半光沢紙＞

本体パネル設定:**フォト半光沢紙**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	入	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	入	○

＜フォト光沢紙（厚口）２＞

本体パネル設定:**フォト光沢紙（厚口）２**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	入	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	入	○

＜フォト半光沢紙（厚口）２＞

本体パネル設定:**フォト半光沢紙厚口２**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	入	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	入	○

＜フォト半光沢紙（ポスター）＞

本体パネル設定:**フォト半光沢紙ポスター**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	入	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	入	○

＜合成紙（糊無し）＞

本体パネル設定:**合成紙（糊無し）**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	入	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	入	○

＜合成紙（糊付き）＞

本体パネル設定：**合成紙（糊付き）**

解像度［dpi］	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	入	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	入	○

＜バックライトフィルム＞

本体パネル設定：**バックライトフィルム**

解像度［dpi］	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	入	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	入	○

＜プルーフ用紙２＞

本体パネル設定：**プルーフ用紙２**

解像度［dpi］	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	入	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	入	○

＜ファインアート（フォト厚口）＞

本体パネル設定：**ファインアート フォト厚口**

解像度［dpi］	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	入	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	入	○

＜和紙＞

本体パネル設定:**和紙**

解像度［dpi］	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	入	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	入	○

iPF8000S

＜普通紙＞

本体パネル設定:**普通紙**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)	入	○

＜厚口コート紙＞

本体パネル設定:**厚口コート紙**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)	入	○

＜フォト光沢紙＞

本体パネル設定:**フォト光沢紙**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)	入	○

＜フォト半光沢紙＞

本体パネル設定:**フォト半光沢紙**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)	入	○

＜フォト光沢紙(厚口)2＞

本体パネル設定:**フォト光沢紙(厚口)2**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)	入	○

＜フォト半光沢紙(厚口)2＞

本体パネル設定:**フォト半光沢紙厚口 2**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)	入	○

＜フォト半光沢紙(ポスター)＞

本体パネル設定:**フォト半光沢紙ポスター**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)	入	○

＜合成紙(糊無し)＞

本体パネル設定:**合成紙(糊無し)**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)	入	○

＜ファインアート（フォト厚ロ）＞

本体パネル設定:**ファインアート フォト厚ロ**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）	入	○

＜プルーフ用紙２＞

本体パネル設定:**プルーフ用紙２**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）	入	○

iPF9000S

＜普通紙＞

本体パネル設定:**普通紙**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)	入	○

＜厚口コート紙＞

本体パネル設定:**厚口コート紙**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)	入	○

＜フォト光沢紙＞

本体パネル設定:**フォト光沢紙**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)	入	○

＜フォト半光沢紙＞

本体パネル設定:**フォト半光沢紙**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)	入	○

＜フォト光沢紙(厚口)2＞

本体パネル設定:**フォト光沢紙(厚口)2**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)	入	○

＜フォト半光沢紙(厚口)2＞

本体パネル設定:**フォト半光沢紙厚口 2**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)	入	○

＜フォト半光沢紙(ポスター)＞

本体パネル設定:**フォト半光沢紙ポスター**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)	入	○

＜合成紙(糊無し)＞

本体パネル設定:**合成紙(糊無し)**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)	入	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)	入	○

<ファインアート（フォト厚口）>

本体パネル設定: **ファインアート フォト厚口**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）	入	○

<プルーフ用紙２>

本体パネル設定: **プルーフ用紙２**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）	入	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）	入	○

iPF5100

インク名に含まれる「(RGB)」、「(CMYK)」は使用するインクの種類を示し、「(RGB)」では、RGBインクを含む11色のインクを使用し、「(CMYK)」では、RGBインクを除く8色のインクを使用します。

＜普通紙＞

本体パネル設定:**フツウシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	×
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	×
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜厚口コート紙＞

本体パネル設定:**アツクチコートシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜フォト光沢紙＞

本体パネル設定:**フォトコウタクシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜フォト半光沢紙＞

本体パネル設定:**フォトハンコウタクシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜フォト光沢紙(厚口)2＞

本体パネル設定:**フォトコウタクシ アツクチ2**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜フォト半光沢紙(厚口)2＞

本体パネル設定:

フォトハンコウタクシアツクチ2

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜フォト半光沢紙(ポスター)＞

本体パネル設定:**フォトコウタクポスター**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜バックライトフィルム＞

本体パネル設定:**バックライトフィルム**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜プルーフ用紙２＞

本体パネル設定：**プルーフヨウシ２**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜ファインアート（フォト厚口）＞

本体パネル設定：

ファインアート フォトアツクチ

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜和紙＞

本体パネル設定：**ワシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

iPF6100

インク名に含まれる「(RGB)」、「(CMYK)」は使用するインクの種類を示し、「(RGB)」では、RGBインクを含む 11 色のインクを使用し、「(CMYK)」では、RGB インクを除く 8 色のインクを使用します。

＜普通紙＞

本体パネル設定:**普通紙**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	×
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	×
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜厚口コート紙＞

本体パネル設定:**厚口コート紙**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜フォト光沢紙＞

本体パネル設定:**フォト光沢紙**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜フォト半光沢紙＞

本体パネル設定:**フォト半光沢紙**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜フォト光沢紙(厚口)２＞

本体パネル設定:**フォト光沢紙(厚口)２**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜フォト半光沢紙(厚口)２＞

本体パネル設定:**フォト半光沢紙厚口２**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜フォト半光沢紙（ポスター）＞

本体パネル設定：**フォト半光沢紙ポスター**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜バックライトフィルム＞

本体パネル設定：**バックライトフィルム**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜合成紙（糊無し）＞

本体パネル設定：**合成紙（糊無し）**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜合成紙（糊付き）＞

本体パネル設定：**合成紙（糊付き）**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

＜プルーフ用紙２＞

本体パネル設定:**プルーフ用紙２**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜新聞プルーフ用紙２＞

本体パネル設定:**新聞プルーフ用紙２**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	×
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	×

＜和紙＞

本体パネル設定:**和紙**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

ファインアート(フォト厚口)

本体パネル設定:**ファインアート フォト厚口**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

iPF5000

インク名に含まれる「(RGB)」、「(CMYK)」は使用するインクの種類を示し、「(RGB)」では、RGBインクを含む11色のインクを使用し、「(CMYK)」では、RGBインクを除く8色のインクを使用します。

＜普通紙＞

本体パネル設定:**フツウシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	×
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	×
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜コート紙＞

本体パネル設定:**コートシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	×
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	×
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜厚口コート紙＞

本体パネル設定:**アツクチコートシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	×
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	×
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜プレミアムマット紙＞

本体パネル設定:**プレミアムマットシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	×
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	×
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜高品位専用紙＞

本体パネル設定:**コウヒンイセンヨウシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜フォト光沢紙＞

本体パネル設定:**フォトコウタクシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜フォト半光沢紙＞

本体パネル設定:**フォトハンコウタクシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜フォト光沢紙（厚口）＞

本体パネル設定:**フォトコウタクシ　アツクチ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	×
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	×

＜フォト半光沢紙(厚口)＞

本体パネル設定:**フォトハンコウタクシ　アツクチ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	×
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	×

＜スーパーフォトペーパー＞

本体パネル設定:**スーパーフォトペーパー**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜スーパーフォトペーパー(シルキー)＞

本体パネル設定:**スーパーフォト　シルキー**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜プルーフ用紙２＞

本体パネル設定:**プルーフヨウシ２**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	○
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜新聞プルーフ用紙３＞

本体パネル設定：**シンブンプルーフ３**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	×
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	×

＜ファインアート（フォト厚口）＞

本体パネル設定：**ファインアートフォトアツクチ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜ファインアート（版画）＞

本体パネル設定：**ファインアートハンガ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜ファインアート（水彩）＞

本体パネル設定：**ファインアートスイサイ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜フォト光沢紙（厚口）２＞

本体パネル設定：**フォトコウタクシアツクチ２**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜フォト半光沢紙（厚口）２＞

本体パネル設定：

フォトハンコウタクシアツクチ２

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜和紙＞

本体パネル設定：**ワシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜ＰＯＰ ボード＞

本体パネル設定：**ＰＯＰ ボード**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

iPF8000

インク名に含まれる「(RGB)」、「(CMYK)」は使用するインクの種類を示し、「(RGB)」では、RGBインクを含む 11 色のインクを使用し、「(CMYK)」では、RGB インクを除く 8 色のインクを使用します。

＜普通紙＞

本体パネル設定:**普通紙**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	×
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	×
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜コート紙＞

本体パネル設定:**コート紙**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	×
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	×
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜厚口コート紙＞

本体パネル設定:**厚口コート紙**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	×
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	×
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜プレミアムマット紙＞

本体パネル設定:**プレミアムマット紙**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	×
1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	×
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	×
1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	○
1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	×
2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	○
2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	○

＜フォト光沢紙＞

本体パネル設定:**フォト光沢紙**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜フォト半光沢紙＞

本体パネル設定:**フォト半光沢紙**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜フォト光沢紙（厚口）＞

本体パネル設定:**フォト光沢紙（厚口）**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	×
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	×

＜フォト半光沢紙（厚口）＞

本体パネル設定:**フォト半光沢紙厚口**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	×
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	×

＜合成紙（糊無し）＞

本体パネル設定：**合成紙（糊無し）**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜バックライトフィルム＞

本体パネル設定：**バックライトフィルム**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜防炎クロス＞

本体パネル設定：**防炎クロス**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜ポンジクロス＞

本体パネル設定：**ポンジクロス**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜プルーフ用紙２＞

本体パネル設定：**プルーフ用紙２**

解像度［dpi］	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜新聞プルーフ用紙３＞

本体パネル設定：**新聞プルーフ用紙３**

解像度［dpi］	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	×
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	×

＜ファインアート（フォト厚口）＞

本体パネル設定：**ファインアート　フォト厚口**

解像度［dpi］	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜ファインアート（版画）＞

本体パネル設定：**ファインアート（版画）**

解像度［dpi］	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜ファインアート（水彩）＞

本体パネル設定：**ファインアート（水彩）**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い） （CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準） （CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準） （CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい） （CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い） （RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準） （RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準） （RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい） （RGB）	○

＜フォト光沢紙（厚口）２＞

本体パネル設定：**フォト光沢紙（厚口）２**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い） （CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準） （CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準） （CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい） （CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い） （RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準） （RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準） （RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい） （RGB）	○

＜フォト半光沢紙（厚口）２＞

本体パネル設定：**フォト半光沢紙厚口２**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い） （CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準） （CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準） （CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい） （CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い） （RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準） （RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準） （RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい） （RGB）	○

＜和紙＞

本体パネル設定：**和紙**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い） （CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（標準） （CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準） （CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（きれい） （CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（速い） （RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準） （RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準） （RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい） （RGB）	○

iPF9000

インク名に含まれる「（RGB）」、「（CMYK）」は使用するインクの種類を示し、「（RGB）」では、RGBインクを含む 11 色のインクを使用し、「（CMYK）」では、RGB インクを除く 8 色のインクを使用します。

＜普通紙＞

本体パネル設定：**普通紙**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜コート紙＞

本体パネル設定：**コート紙**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜厚口コート紙＞

本体パネル設定：**厚口コート紙**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜プレミアムマット紙＞

本体パネル設定：**プレミアムマット紙**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜合成紙（糊無し）＞

本体パネル設定：**合成紙（糊無し）**

解像度［dpi］	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜フォト光沢紙＞

本体パネル設定：**フォト光沢紙**

解像度［dpi］	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜フォト半光沢紙＞

本体パネル設定：**フォト半光沢紙**

解像度［dpi］	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜フォト光沢紙（厚口）＞

本体パネル設定：**フォト光沢紙（厚口）**

解像度［dpi］	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	×
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	×

＜フォト半光沢紙（厚口）＞

本体パネル設定：**フォト半光沢紙（厚口）**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	×
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	×

＜バックライトフィルム＞

本体パネル設定：**バックライトフィルム**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜防炎クロス＞

本体パネル設定：**防炎クロス**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜ポンジクロス＞

本体パネル設定：**ポンジクロス**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

＜プルーフ用紙２＞

本体パネル設定:**プルーフ用紙２**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜ファインアート（フォト厚口）＞

本体パネル設定:**ファインアート フォト厚口**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜ファインアート（版画）＞

本体パネル設定:**ファインアート（版画）**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜ファインアート（水彩）＞

本体パネル設定:**ファインアート（水彩）**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜フォト光沢紙（厚口）２＞

本体パネル設定：**フォト光沢紙（厚口）２**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜フォト半光沢紙（厚口）２＞

本体パネル設定：**フォト半光沢紙厚口２**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	○
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

＜和紙＞

本体パネル設定：**和紙**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	×
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	×
1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	○
1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	×
2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	○
2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	○

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

iPF510

＜普通紙（高発色）＞

本体パネル設定：**フツウシコウハッショク**

解像度［dpi］	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜コート紙＞

本体パネル設定：**コートシ**

解像度［dpi］	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜厚口コート紙＞

本体パネル設定：**アツクチコートシ**

解像度［dpi］	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜高品位専用紙＞

本体パネル設定：**コウヒンイセンヨウシ**

解像度［dpi］	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜フォト光沢紙＞

本体パネル設定：**フォトコウタクシ**

解像度［dpi］	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜フォト光沢紙（厚口）２＞

本体パネル設定：**フォトコウタクシアツクチ２**

解像度［dpi］	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜フォト半光沢紙＞

本体パネル設定：**フォトハンコウタクシ**

解像度［dpi］	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜フォト半光沢紙（厚口）２＞

本体パネル設定：

フォトハンコウタクシアツクチ２

解像度［dpi］	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

<フォト半光沢紙（ポスター）２>

本体パネル設定: **フォトハンコウタクポスター２**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

<プルーフ用紙２）>

本体パネル設定: **プルーフヨウシ２**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

<ＰＯＰ ボード>

本体パネル設定: ＰＯＰ ボード

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

iPF610

＜普通紙(高発色)＞

本体パネル設定:**フツウシコウハッショク**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

＜コート紙＞

本体パネル設定:**コートシ**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

＜厚口コート紙＞

本体パネル設定:**アツクチコートシ**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

＜高品位専用紙＞

本体パネル設定:**コウヒンイセンヨウシ**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

＜フォト光沢紙＞

本体パネル設定:**フォトコウタクシ**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

＜フォト光沢紙(厚口)２＞

本体パネル設定:**フォトコウタクシアツクチ２**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

＜フォト半光沢紙＞

本体パネル設定:**フォトハンコウタクシ**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

＜フォト半光沢紙(厚口)２＞

本体パネル設定:

フォトハンコウタクシアツクチ２

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

<フォト半光沢紙（ポスター）２>

本体パネル設定:フォトハンコウタクポスター２

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

<プルーフ用紙２>

本体パネル設定:プルーフヨウシ２

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

<ＰＯＰ ボード>

本体パネル設定:ＰＯＰ ボード

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

iPF710

＜普通紙（高発色）＞

本体パネル設定：**普通紙(高発色)**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜コート紙＞

本体パネル設定：**コート紙**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜厚口コート紙＞

本体パネル設定：**厚口コート紙**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜フォト光沢紙＞

本体パネル設定：**フォト光沢紙**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜フォト光沢紙（厚口）２＞

本体パネル設定：**フォト光沢紙厚口２**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜フォト半光沢紙＞

本体パネル設定：**フォト半光沢紙**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜フォト半光沢紙（厚口）２＞

本体パネル設定：**フォト半光沢紙厚口２**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜フォト半光沢紙（ポスター）２＞

本体パネル設定：**フォト半光沢ポスター２**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜プルーフ用紙２＞

本体パネル設定:プルーフ用紙２

解像度［dpi］	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

iPF500

＜普通紙(高発色)＞

本体パネル設定:**フツウシコウハッショク**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

＜コート紙＞

本体パネル設定:**コートシ**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

＜厚口コート紙＞

本体パネル設定:**アツクチコートシ**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

＜高品位専用紙＞

本体パネル設定:**コウヒンイセンヨウシ**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

＜フォト光沢紙＞

本体パネル設定:**フォトコウタクシ**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

＜フォト半光沢紙＞

本体パネル設定:**フォトハンコウタクシ**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

＜フォト光沢紙(厚口)＞

本体パネル設定:**フォトコウタクシアツクチ**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

＜プルーフ用紙２＞

本体パネル設定:**プルーフヨウシ２**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

＜新聞プルーフ用紙３＞

本体パネル設定:シンブンプルーフ３

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

＜ POP ボード＞

本体パネル設定:POP ボード

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

＜フォト光沢紙 (厚口) ２＞

本体パネル設定:フォトコウタクシアツクチ２

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

＜フォト半光沢紙 (厚口) ２＞

本体パネル設定:

フォトハンコウタクシアツクチ２

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

iPF600

＜普通紙（高発色）＞

本体パネル設定：**フツウシコウハッショク**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜コート紙＞

本体パネル設定：**コートシ**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜厚口コート紙＞

本体パネル設定：**アツクチコートシ**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜高品位専用紙＞

本体パネル設定：**コウヒンイセンヨウシ**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜フォト光沢紙＞

本体パネル設定：**フォトコウタクシ**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜フォト半光沢紙＞

本体パネル設定：**フォトハンコウタクシ**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜フォト光沢紙（厚口）＞

本体パネル設定：**フォトコウタクシアツクチ**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜プルーフ用紙２＞

本体パネル設定：**プルーフヨウシ２**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜新聞プルーフ用紙３＞
本体パネル設定:シンブンプルーフ３

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

＜ POP ボード＞
本体パネル設定 :POP ボード

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

＜フォト光沢紙 (厚口) ２＞
本体パネル設定:フォトコウタクシアツクチ２

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

＜フォト半光沢紙 (厚口) ２＞
本体パネル設定:
フォトハンコウタクシアツクチ２

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

iPF700

＜普通紙（高発色）＞

本体パネル設定：**普通紙（高発色）**

解像度［dpi］	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜コート紙＞

本体パネル設定：**コート紙**

解像度［dpi］	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜厚口コート紙＞

本体パネル設定：**厚口コート紙**

解像度［dpi］	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜フォト光沢紙＞

本体パネル設定：**フォト光沢紙**

解像度［dpi］	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜フォト半光沢紙＞

本体パネル設定：**フォト半光沢紙**

解像度［dpi］	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜フォト光沢紙（厚口）＞

本体パネル設定：**フォト光沢紙（厚口）**

解像度［dpi］	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜プルーフ用紙２＞

本体パネル設定：**プルーフ用紙２**

解像度［dpi］	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜新聞プルーフ用紙３＞

本体パネル設定：**新聞プルーフ用紙３**

解像度［dpi］	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク（速い）	入	○
1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	切	○

＜フォト光沢紙(厚口)２＞

本体パネル設定:**フォト光沢紙(厚口)２**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

＜フォト半光沢紙(厚口)２＞

本体パネル設定:**フォト半光沢紙厚口２**

解像度[dpi]	インク	多階調処理	成否
1200 × 1200	染顔料インク(速い)	入	○
1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	切	○

W8400 顔料モデル

インク名の「PB」はフォトブラックインクを、「MB」はマットブラックインクを示します。

＜普通紙＞

本体パネル設定:**フツウシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	×

＜普通紙(上質)＞

本体パネル設定:**フツウシ　ジョウシツ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	×

＜コート紙＞

本体パネル設定:**コートシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜厚口コート紙＞

本体パネル設定:**アツクチコートシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜特厚コート紙＞

本体パネル設定:**トクアツコートシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜フォト光沢紙＞

本体パネル設定:**フォトコウタクシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	×

＜フォト半光沢紙＞

本体パネル設定:**フォトハンコウタクシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	×

＜フォト光沢紙(厚口)＞

本体パネル設定:**フォトコウタクシ　アツクチ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	×

＜フォト半光沢紙(厚口)＞

本体パネル設定:**フォトハンコウタクシ　アツクチ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	×

＜合成紙(糊無し)＞

本体パネル設定:**ゴウセイシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜合成紙(糊付き)＞

本体パネル設定:**ゴウセイシ　ノリツキ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜バックライトフィルム＞

本体パネル設定:**バックライトフィルム**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜防炎クロス＞

本体パネル設定:**ボウエンクロス**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜クロス＞

本体パネル設定:**クロス**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜プルーフ用紙２＞

本体パネル設定:**プルーフヨウシ２**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	×

＜新聞プルーフ用紙１＞

本体パネル設定:**シンブンプルーフヨウシ１**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	×

＜新聞プルーフ用紙２＞

本体パネル設定:シンブンプルーフヨウシ２

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	×

＜新聞プルーフ用紙３＞

本体パネル設定:シンブンプルーフヨウシ３

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	×

＜ファインアート(フォト)＞

本体パネル設定:ファインアート　フォト

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜ファインアート(フォト厚口)＞

本体パネル設定:ファインアートフォト　アツクチ

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜ファインアート（画材）＞

本体パネル設定：**ファインアート　ガザイ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜キャンバス（マット）＞

本体パネル設定：**キャンバス　マット**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜キャンバス（半光沢）＞

本体パネル設定：**キャンバス　ハンコウタク**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜和紙＞

本体パネル設定：**ワシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

W8400 染料モデル

＜普通紙＞

本体パネル設定:**フツウシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	染料インク(速い)	○
1200 × 1200	染料インク(標準)	○

＜普通紙(上質)＞

本体パネル設定:**フツウシ　ジョウシツ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	染料インク(速い)	○
1200 × 1200	染料インク(標準)	○

＜再生コート紙＞

本体パネル設定:**サイセイコートシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	染料インク(速い)	○
1200 × 1200	染料インク(標準)	○
1200 × 1200	染料インク(きれい)	×

＜コート紙＞

本体パネル設定:**コートシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	染料インク(速い)	○
1200 × 1200	染料インク(標準)	○
1200 × 1200	染料インク(きれい)	×

＜厚口コート紙＞

本体パネル設定:**アツクチコートシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	染料インク(速い)	○
1200 × 1200	染料インク(標準)	○
1200 × 1200	染料インク(きれい)	×

＜特厚コート紙＞

本体パネル設定:**トクアツコートシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	染料インク(速い)	○
1200 × 1200	染料インク(標準)	○
1200 × 1200	染料インク(きれい)	×

＜フォト光沢紙＞

本体パネル設定:**フォトコウタクシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	染料インク(速い)	○
2400 × 1200	染料インク(標準)	○
2400 × 1200	染料インク(きれい)	○

＜フォト半光沢紙＞

本体パネル設定:**フォトハンコウタクシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	染料インク(速い)	○
2400 × 1200	染料インク(標準)	○
2400 × 1200	染料インク(きれい)	○

＜プルーフ用紙２＞

本体パネル設定:**プルーフヨウシ２**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	染料インク(速い)	○
2400 × 1200	染料インク(標準)	○
2400 × 1200	染料インク(きれい)	○

W6400

インク名の「PB」はフォトブラックインクを、「MB」はマットブラックインクを示します。

＜普通紙＞

本体パネル設定：**フツウシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	×

＜普通紙(上質)＞

本体パネル設定：**フツウシ　ジョウシツ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	×

＜コート紙＞

本体パネル設定：**コートシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜厚口コート紙＞

本体パネル設定：**アツクチコートシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜特厚コート紙＞

本体パネル設定：**トクアツコートシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×

＜フォト光沢紙＞

本体パネル設定：**フォトコウタクシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×

解像度[dpi]	インク	成否
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

解像度[dpi]	インク	成否
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	×

＜フォト半光沢紙＞

本体パネル設定:**フォトハンコウタクシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	×

＜フォト光沢紙(厚口)＞

本体パネル設定:**フォトコウタクシ　アツクチ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	×

＜フォト半光沢紙(厚口)＞

本体パネル設定:**フォトハンコウタクシ　アツクチ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	×

＜合成紙(糊無し)＞

本体パネル設定:**ゴウセイシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜合成紙（糊付き）＞

本体パネル設定：**ゴウセイシ　ノリツキ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜バックライトフィルム＞

本体パネル設定：**バックライトフィルム**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜防炎クロス＞

本体パネル設定：**ボウエンクロス**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜プルーフ用紙２＞

本体パネル設定：**プルーフヨウシ２**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	×

＜新聞プルーフ用紙１＞

本体パネル設定：**シンブンプルーフヨウシ１**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	×

＜新聞プルーフ用紙２＞

本体パネル設定：**シンブンプルーフヨウシ２**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	×

＜新聞プルーフ用紙３

本体パネル設定:**シンブンプルーフヨウシ３**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	×

＜ファインアート(フォト)＞

本体パネル設定:**ファインアート　フォト**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜ファインアート(フォト厚口)＞

本体パネル設定:**ファインアート　フォトアツクチ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜ファインアート(画材)＞

本体パネル設定:**ファインアート　ガザイ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜キャンバス(半光沢)＞

本体パネル設定:**キャンバス　ハンコウタク**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

＜和紙＞

本体パネル設定:**ワシ**

解像度[dpi]	インク	成否
1200 × 1200	顔料インク(PB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(PB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(PB)(きれい)	○
1200 × 1200	顔料インク(MB)(速い)	×
1200 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	○
2400 × 1200	顔料インク(MB)(標準)	×
2400 × 1200	顔料インク(MB)(きれい)	○

印刷状況の表示

印刷中のドキュメントの印刷状況を表示することが出来ます。
（２種類の表示方法があります）

方法１

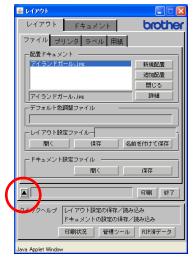
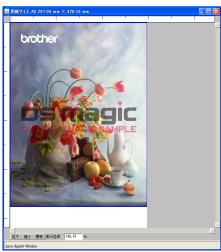
1. DS Magic がインストールされた PC のデスクトップにある「DS Magic」アイコンをダブルクリックします。

2. 管理者 (Administrators) 権限を持つユーザー名とパスワードを入力し、[このパスワードを保存する]にチェックを入れて、[ＯＫ]を押します。
3. DS Magic のスタート画面で[印刷状況]を押します。

4. 参照したい印刷中のドキュメントを選択します。

方法２

すでにプレビュー画面が表示されている場合はこの方法が便利です。

1. 配置情報などが表示された左側のウインドウで、左下にある「▼」を押します。

2. ［印刷状況］を押します。

3. 参照したい印刷中のドキュメントを選択します。

第５章

機能の紹介

機能の紹介

DS Magic の代表的な機能をいくつか紹介します。
機能に応じて、取扱説明書の該当箇所を参照して下さい。

色調整関連		
色調整	階調調整、色調調整、原色保持、墨100% 保持などを設定して色調整出来ます。	192 ページの第 6 章「ドキュメントタブ : 色調整タブ」を参照してください。
色変換	ICC 準拠のプロファイルを使って色変換出来ます。	192 ページの第 6 章「ドキュメントタブ : 色調整タブ」を参照してください。
色調整ファイル保存	色調整条件をファイル保存し、印刷に使用出来ます。	192 ページの第 6 章「ドキュメントタブ : 色調整タブ」を参照してください。
色調整ファイルのバックアップ	作成した色調整ファイルを別ファイルとして保存、サーバーへ復元出来ます。	268 ページの第 6 章「設定ファイル保存」を参照してください。

色調整に関しては、「ツール関連」にも他の項目が記載してあります。

印刷関連		
拡大･縮小印刷	ドキュメントの大きさを変更して印刷出来ます。	182ページの第6章「ドキュメントタブ:配置タブ」を参照してください。
トリミング印刷	不要な部分をトリミングして印刷出来ます。	185ページの第6章「ドキュメントタブ:トリミングタブ」を参照してください。
タイリング印刷	大きなドキュメントを印刷する場合に、タイリングして一括印刷出来ます。	187ページの第6章「ドキュメントタブ:タイリングタブ」を参照してください。
オーバープリント印刷	オーバープリント情報を持つデータの場合に、オーバープリントで印刷出来ます。	206ページの第6章「ドキュメントタブ:印刷形式タブ」を参照してください。
ラベル印刷	ラベルを付けて印刷出来ます。	178ページの第6章「レイアウトタブ:ラベルタブ」を参照してください。
リピート･ステップ印刷	1つのドキュメントを縦･横に並べて印刷出来ます。	210ページの第6章「印刷ダイアログ」を参照してください。
RIP済プリントデータ	印刷せずにRIPのみ行いRIP済プリントデータとして残します。 RIP 済プリントデータの印刷はRIP 不要のため高速印刷出来ます。	210ページの第6章「印刷ダイアログ」を参照してください。
レイアウト設定保存	レイアウトした状態を保存出来ます。	166ページの第6章「レイアウトタブ:ファイルタブ」を参照してください。
ドキュメント設定保存	各ドキュメントの印刷条件を保存出来ます。	166ページの第6章「レイアウトタブ:ファイルタブ」を参照してください。
マルチプリント･マルチジョブ	同時に複数のデータを印刷出来ます。	288ページの第8章「プリンタ設定ツール」を参照してください。

印刷状況	印刷したドキュメントの進行状況を見たり、キャンセルなどの印刷ジョブの制御が出来ます。	215 ページの第 6 章「印刷状況」を参照してください。

ドロッププリント関連		
ドロップフォルダ作成	ネスティング、トリミング、用紙中央印刷などの設定が出来るダイレクト印刷用の、ドロップフォルダを作成することが出来ます。	234 ページの第 6 章「ドロッププリント」を参照してください。
1Bit TIFF	1Bit TIFFデータを受け、各版ごと、もしくは合成して印刷出来ます。	234 ページの第 6 章「ドロップフォルダ設定」を参照してください。
ネスティング	連続してドロップされたファイルを用紙の横幅に配置可能な分だけ自動的に配置して印刷出来ます。	234 ページの第 6 章「ドロップフォルダ設定」を参照してください。

管理関連		
ログ	印刷処理などのログを見ることが出来ます。	251 ページの第 6 章「ログ管理」を参照してください。
ドキュメントの整理	印刷に使用し不要となったドキュメントを削除出来ます。	222 ページの第 6 章「ドキュメントタブ」を参照してください。
ディスクの整理	印刷キャンセルなどでできた不要な作業ファイルを削除し、ディスクを整理出来ます。	228 ページの第 6 章「メンテナンスタブ」を参照してください。
初期化	DS Magic の作業フォルダを初期化出来ます。	228 ページの第 6 章「メンテナンスタブ」を参照してください。
PPD **更新**	PPD ファイルを最新の状態に更新出来ます。	228 ページの第 6 章「メンテナンスタブ」を参照してください。

システム情報関連		
バージョン情報	OS や DS Magic のバージョンを見ることが出来ます。	265 ページの第 6 章「バージョン情報」を参照してください。
ハードディスクの空き容量	ハードディスクの空き容量を見ることが出来ます。	266 ページの第 6 章「ディスクの使用状況」を参照してください。
プリンタ情報	印刷可能なプリンタの解像度・インク・メディアなどの対応表を見ることが出来ます。	266ページの第6章「プリンター一覧」を参照してください。
アップデート	DS Magic のアップデート状態を見ることが出来ます。	267 ページの第 6 章「アップデート情報」を参照してください。

その他		
フォントダウンロード	Macintosh からフォントダウンロード出来ます。	279 ページの第 7 章「フォントダウンロード」を参照してください。
OPI 印刷	OPI 用の画像を登録して OPI 印刷出来ます。	282 ページの第 7 章「OPI 機能を使った印刷」を参照してください。
長尺印刷	最大 60m まで長尺印刷出来ます。（プリンタ本体に上限がある場合は除く）	288 ページの第 8 章「プリンタ設定ツール」を参照してください。
環境設定	DS Magic のデフォルト環境値を設定出来ます。	291 ページの第 8 章「環境設定ツール」を参照してください。
出力先プリンタ設定	出力先プリンタを切り替えることが出来ます。	288 ページの第 8 章「プリンタ設定ツール」を参照してください。

ツール関連		
TIFFOUT	印刷結果を TIFF ファイルに保存出来ます。	320 ページの第 8 章「TIFFOUT ドライバ」を参照してください。
キャリブレーション	プリンタの個体差、経時変化を補正出来ます。	297 ページの第 8 章「Calibrator」を参照してください。
デバイスリンクプロファイル	レンダリングインテント、墨版保持など詳細な色変換方法を設定した、デバイスリンクプロファイルを作成出来ます。	328ページの第8章「デバイスリンクプロファイル」を参照してください。
ピンポイント調整	ベストチョイス機能を使用して、ピンポイント調整が出来ます。	339 ページの第 8 章「色調整」を参照してください。
特色置き換え	CMYKの各版を任意の色に置き換えて特色印刷出来ます。	339 ページの第 8 章「色調整」を参照してください。
メディア情報登録	新たなメディア情報を作成、登録出来ます。	376ページの第8章「MediaRegister」を参照してください。
FTP ツール	CTP 用フロントエンド RIP からのデータを自動的に DS Magic に転送出来ます。	380 ページの第 8 章「FTP ツール」を参照してください。

第６章

操作の方法

DS Magic の持つ様々な機能を設定するための画面とボタンの説明を行います。

スタートウィンドウ

スタート画面はサーバ（DS Magic がインストールされた PC）のデスクトップにある「DS Magic」アイコンをクリックして、「ユーザ名」と「パスワード」を入力して起動します。

スタート画面には以下の 7 つのボタンがあります。

［印刷設定］	［ログ管理］
［印刷状況］	［システム情報］
［管理ツール］	［設定ファイル保存］
［ドロッププリント］	

それぞれのボタンはDS Magicで印刷を行う際の設定や確認、ドキュメントや環境の管理のためのウィンドウを開きます。

[印刷設定]ボタン

「ドキュメント選択ダイアログ」、「プレビューウィンドウ」、「オプション設定ウィンドウ」が開きます。

[印刷状況]ボタン

「印刷状況ウィンドウ」が開きます。

[管理ツール]ボタン

「管理ツールウィンドウ」が開きます。

[ドロッププリント]ボタン

「ドロップフォルダウィンドウ」が開きます。

[ログ管理]ボタン

「ログ管理ウィンドウ」が開きます。

[システム情報]ボタン

「システム情報ウィンドウ」が開きます。

[設定ファイル保存]ボタン

「設定ファイル保存ウィンドウ」が開きます。

印刷設定

ドキュメント選択ダイアログ

DS Magic に送信されたドキュメントを選択し開きます。

※ DS Magic の操作画面では、いろいろなウィンドウの中でリストボックスが表示されます。
　各リストボックス上の項目名はボタンになっておりますので、これらのボタンを押すことにより
　各項目を基準としてリストボックス内のドキュメントをソート出来ます。

［ドキュメント］

ドキュメント名

［オーナー］

ドキュメントを DS Magic へ送信したユーザーの名前

［日付　時間］

ドキュメントが DS Magic に送信された日付と時間

［状況］

そのドキュメントの現在の状況を表示

「準備中」	データの準備中
「ファイルサイズ」	準備完了→ドキュメントの配置が可能です。
「エラー」	データに不備があります。

※ オプション設定ウィンドウで配置されたことがないドキュメントは、ドキュメント名の前に＊マークが表示されます。
※「更新」ボタンを押すことで強制的にリストのデータを更新出来ます。
送ったドキュメントがなかなか表示されない場合などに使用します。
※ ドキュメントを配置せずに作業出来るのは「レイアウトタブ」にある設定のみです。

ドキュメントを配置する

次の2通りの方法があります。

1. 配置したいドキュメントを選択し[新規配置]ボタンを押す。ドキュメントがオープンしたら「オプション設定ウィンドウ」で作業を行います。
2. 最初に[閉じる]ボタンを押しドキュメント選択ダイアログを閉じ、「オプション設定ウィンドウ」で作業を行います。レイアウト設定が終わった段階でドキュメントを配置します。

ドキュメントの詳細を見る

ドキュメントを選択し[ドキュメント詳細]ボタンを押します。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

ドキュメント詳細ダイアログ

選択されたドキュメントの詳細情報を表示します。

ドキュメント詳細ダイアログウィンドウは次の操作をしたときに開きます。

■ [印刷設定]→ドキュメント選択ダイアログがオープン→[ドキュメント詳細]を押した時

■ 「オプション設定ウィンドウ」のレイアウトタブ→ファイルタブ→[新規配置]あるいは[追加配置]→ドキュメント選択ダイアログがオープン→[ドキュメント詳細]を押した時

■ オプション設定ウィンドウのレイアウトタブ→ファイルタブ→"配置ドキュメント"を選び、[詳細]を押した時

■ [管理ツール]→ドキュメントタブ→[ドキュメント詳細]を押した時

「ドキュメント名」

選択したドキュメント名

「オーナー名」

ドキュメントを保存したユーザ名

「最終使用日時」

ドキュメントが最後にレイアウトされた日付と時間

「最終使用者名」

ドキュメントを最後にレイアウトしたユーザ名

「作成日時」

ドキュメントが保存された日付と時間

「データサイズ」

選択したドキュメントの容量

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

プレビュー表示ウィンドウ

用紙上にドキュメントがどのようにレイアウトされているか、そのオプション設定状況をプレビューして表示します。

表示ドキュメントのサイズ変更

[拡大]ボタン

1 回押すごとにドキュメントサイズを 1 ステップずつ拡大します。

(最大 800%)

[縮小]ボタン

1 回押すごとにドキュメントサイズを 1 ステップずつ縮小します。(最小 1%)

[標準]ボタン

現在のウィンドウサイズに合わせ、そのウィンドウ内にドキュメント全体が収まるサイズでドキュメントを表示します。

「表示倍率」

0 より大きい値で表示倍率を数値入力出来ます。

「定規表示」

オプション設定ウィンドウで選択した単位

・ポイント、ミリの場合		・インチの場合	
黒短い目盛り→	50 単位	黒短い目盛り→	5 単位
黒長い目盛り→	100 単位	黒長い目盛り→	10 単位
赤目盛り→	500 単位	赤目盛り→	50 単位
青目盛り→	1000 単位	青目盛り→	100 単位

オプション設定ウィンドウ

レイアウトタブ：ファイルタブ

ドキュメントの呼び出しや設定ファイルの呼び出し、保存などを行います。

配置ドキュメントボックス

ドキュメントを配置します。

「リストボックス」

現在用紙上に配置されているすべてのドキュメントのリストを表示します。

「ドキュメント名」

現在選択されているドキュメント名を表示します。

ドキュメントが選択されていない場合は何も表示されません。

[新規配置]ボタン

今まで配置されていたドキュメントを全て閉じ、新規に配置したいドキュメントを「ドキュメント選択ダイアログ」から選択します。

[追加配置]ボタン

「ドキュメント選択ダイアログ」から今用紙上に配置してあるドキュメントに、追加して配置したいドキュメントを選択します。

既に配置されているドキュメントと同一のドキュメントを追加配置することも可能です。

その場合、別々のドキュメントとして扱いますので、各々のドキュメント単位での設定操作ができ、それぞれがお互いに影響を及ぼすことはありません。

[閉じる]ボタン

選択されているドキュメントを閉じ、用紙上から削除します。

[詳細]ボタン

「ドキュメント詳細ダイアログ」が開き、選択されているドキュメントの詳細情報を表示します。

デフォルト色調整ファイルボックス

環境設定ツールの「カラーマネジメント」タブで、「色調整ファイルを選択して設定する」が選択され色調整ファイルが指定されている場合、デフォルト色調整ファイルとして表示されます。ドキュメントを新規配置、追加配置したときに、設定されている色調整ファイルを読み込みます。

「色調整ファイル名」

デフォルトに設定されている色調整ファイルの名前を表示します。

レイアウト設定ファイルボックス

プリンタの設定、ラベルの設定、用紙の設定、配置されているドキュメントの情報などのオプション設定ウィンドウで設定出来る内容を、レイアウト設定ファイルとして管理します。

「レイアウト設定ファイル名」

現在オープンされているレイアウト設定ファイルの名前を表示します。

レイアウト設定ファイルがオープンしていない、またはレイアウト設定ファイルが保存されたことのない場合は何も表示されません。

[開く]ボタン

「レイアウト設定ファイル選択ダイアログ」がオープンします。そこで必要なレイアウト設定ファイルを選択し、開きます。

レイアウト設定ファイルを開くと、それまで設定していた内容はファイルから読み込まれた設定にすべて置き換えられます。

[保存]ボタン

オープンされているレイアウト設定ファイルに、変更したオプション設定内容を上書き保存します。

レイアウト設定ファイル名が表示されていない場合に上書き保存すると「レイアウト設定ファイル保存ダイアログ」がオープンします。

[名前を付けて保存]ボタン

「レイアウト設定ファイル保存ダイアログ」がオープンします。オープンされているレイアウト設定ファイルとは別のファイルとしてオプション設定内容を保存します。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

レイアウト設定ファイル選択ダイアログ

[設定ファイル]

すでに DS Magic に保存されているレイアウト設定ファイル名

[オーナー]

レイアウト設定ファイルを保存したユーザ名

[日付　時間]

レイアウト設定ファイルが保存された日付と時間

[更新]ボタン

強制的にリストの更新を行います。サーバからのデータの受信中に★マークが表示されます。

レイアウト設定ファイル

選択したファイルの名前が自動的に表示されます。

[設定ファイル詳細]ボタン

「レイアウト設定ファイル詳細ダイアログ」がオープンし、選択されている既存の設定ファイルの詳細情報を表示します。

配置されているドキュメント数、名前、印刷用紙のサイズ等を見ることが出来ます。

[開く]ボタン

設定ファイルの呼び出し作業を実行します。

呼び出す前に設定していたオプションでの設定は全て変更されます。

[閉じる]ボタン

レイアウト設定ファイルの呼び出し作業を中止します。

レイアウト設定ファイル保存ダイアログ

［設定ファイル］

すでに DS Magic に保存されているレイアウト設定ファイル名

［オーナー］

レイアウト設定ファイルを保存したユーザ名

［日付　時間］

レイアウト設定ファイルが保存された日付と時間

［更新］ボタン

強制的にリストの更新を行います。サーバからのデータの受信中に★マークが表示されます。

レイアウト設定ファイル

選択したファイルの名前が自動的に表示されます。

■ すでにレイアウト設定されているファイルに上書き保存したい場合はそのファイル名をクリックして下さい。

■ 新規に保存したい場合はレイアウト設定ファイル名を 127 文字以内で入力して下さい。

［設定ファイル詳細］ボタン

「レイアウト設定ファイル詳細ダイアログ」がオープンし、選択されている既存の設定ファイルの詳細情報を表示します。

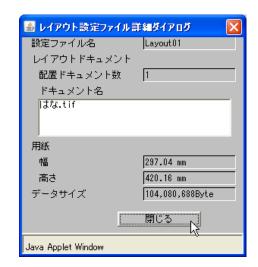
配置されているドキュメント数、名前、印刷用紙のサイズ等を見ることが出来ます。

［保存］ボタン

DS Magic への設定ファイルの保存作業を実行します。

［閉じる］ボタン

レイアウト設定ファイルへの保存作業を中止します。

レイアウト設定ファイル詳細ダイアログ

「設定ファイル名」

選択されたレイアウト設定ファイル名

「レイアウトドキュメント」

選択されたレイアウト設定ファイルに配置されているドキュメントの数とその名前を表示します。

「用紙」

選択されたレイアウト設定ファイルを使用した場合の印刷用紙の幅と高さを表示します。

「データサイズ」

選択されたレイアウト設定ファイルを使用した場合の容量をバイト数で表示します。

[閉じる]ボタン

詳細表示を終了します。

ドキュメント設定ファイルボックス

ドキュメントタブで設定出来る内容をドキュメント設定ファイルとして管理します。

選択したドキュメント のスケールや、タイリング、トリミング、色調整、印刷形式の情報を保存します。同じドキュメントを繰り返しさまざまに加工するときに便利です。

但し、ドキュメント設定ファイルの読み込み(適用)は設定時に使用したドキュメント以外には正確に適用できませんのでご注意下さい。

[開く]ボタン

「ドキュメント設定ファイル選択ダイアログ」が開きます。現在選択されているドキュメントに対して、保存されている印刷オプションの設定(「ドキュメントタブ」で設定します)をファイルから「オプション設定ウィンドウ」に読み込ん出来ます。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

[保存]ボタン

「ドキュメント設定ファイル保存ダイアログ」が開きます。選択されているドキュメントに対して、「ドキュメントタブ」で設定した印刷オプションの設定をファイルに保存します。

ドキュメント設定ファイルへの保存はドキュメント単位で行うため、選択されていないドキュメントのオプション設定は同一用紙上にあっても保存されません。

ドキュメント設定ファイル選択ダイアログ

[設定ファイル]

すでに DS Magic に保存されているドキュメント設定ファイル名

[オーナー]

ドキュメント設定ファイルを保存したユーザ名

[日付　時間]

ドキュメント設定ファイルを保存した日付と時間

[更新]ボタン

強制的にリストの更新を行います。サーバからのデータの受信中に★マークが表示されます。

ドキュメント設定ファイル

選択したファイルの名前が表示されます。

[開く]ボタン

DS Magic からの設定ファイルの呼び出し作業を実行します。

呼び出したいドキュメント設定ファイル名を選択し､｢開く｣を押して下さい。

呼び出す前に設定していたオプション設定は変更されます

[閉じる]ボタン

ドキュメント設定ファイルの呼び出し作業を中止します。

ドキュメント設定ファイル保存ダイアログ

[設定ファイル]

すでにDS Magicに保存されているドキュメント設定ファイル名

[オーナー]

ドキュメント設定ファイルを保存したユーザ名

[日付　時間]

ドキュメント設定ファイルが保存された日付と時間

ドキュメント設定ファイル

選択したファイルの名前が自動的に表示されます。

■ すでにドキュメント設定されているファイルに上書き保存したい場合はファイル名をクリックして下さい。

■ 新規に保存したい場合はドキュメント設定ファイル名を127文字以内で入力して下さい。

[更新]ボタン

強制的にリストの更新を行います。サーバからのデータの受信中に★マークが表示されます。

[保存]ボタン

DS Magicへの設定ファイルの保存作業を実行します。

[閉じる]ボタン

ドキュメント設定ファイルへの保存作業を中止します。

[印刷]ボタン

印刷ダイアログを開いて印刷の実行指示をします。

本章の「印刷ダイアログ」を参照して下さい。

[終了]ボタン

オプション設定ウィンドウとプレビューウィンドウを閉じ、印刷設定を終了します。

レイアウトタブ：プリンタタブ

DS Magic に登録されているプリンタの選択を行います。

プリンタ情報ボックス

「プリンタ」

印刷に使用するプリンタを選択します。

使用するプリンタが 1 種類の場合は、選択することはできません。

オプションの追加プリンタドライバをインストールすると選択が可能になります。

「解像度」

印刷する解像度を選択します。

使用するプリンタで選択可能な解像度が表示されます。

「最大用紙サイズ」

選択されたプリンタが印刷出来る最大の用紙サイズを表示します。

「インク」

印刷に使用するインクの種類を選択します。

「メディア」

印刷に使用するメディアの種類を選択します。

「印刷方向」

印刷方向が設定可能なプリンタでは､単方向印刷､双方向印刷の切り替えが可能です。
「プリンタの設定で印刷する」と表示されている場合には､DS Magicから印刷方向の切り替えが設定できません｡プリンタの設定をご確認下さい。

「多階調処理」

多階調処理の切り替えを行います。切り替えが可能なときには、入、切のラジオボタンが操作出来ます。切り替えができないときにはラジオボタンが操作できません。

ただし、ラジオボタンに多階調処理の状態を表示します。

「色調整パラメータを自動変更」

プリンタ、解像度、インク、メディア、多階調処理設定に基づいて最適なプリンタプロファイルと、インク総量規制の値が自動的に選択されます。

[テスト印刷]ボタン

テスト印刷を実行します。

「四辺フチなし」

四辺フチなしで印刷を行います。このチェックボックスのほかに、プリンタのパネル設定が必要です。

(「第１０章　添付資料」の「DS Magic 対応プリンタ」参照)

「四辺フチなし」のチェックボックスは四辺フチ無し対応のプリンタのときのみに表示されます。

非対応のプリンタでは表示されません。

「用紙トレイ」

用紙トレイを選択します。

自動、手差し、カセット１、カセット２の項目が選択可能です。

用紙トレイの項目は、用紙選択が可能なプリンタを選択しているときのみ表示されます。

レイアウトタブ：ラベルタブ

用紙に付ける様々なラベルの設定を行います。

テキストの貼付ボックス

指定したテキストを用紙に印刷します。

貼付したい場合はチェックボックスをチェックし貼付け位置を指定して下さい。「上」「下」2 つの位置が指定出来ます。上下両方に同じテキストを貼付けることも出来ます。

「定型テキスト」

■ 「日付」………印刷を実行した日付を貼付します。

■ 「時間」………印刷を実行した時間を貼付します。

■ 「ドキュメント名」…配置されているドキュメント名を貼付します。

■ 「タイリング番号」…タイリングで分割されたドキュメントを一括印刷した場合にどの位置なのかを特定出来る番号を貼付します。

■ 「プリンタ情報」……印刷を実行した時のプリンタタブの設定を貼付します。

「貼付文字列」

定型テキスト以外のテキストを貼付したい場合はここに入力します。

127 文字までのテキストが貼付出来ます。

用紙の裁断線ボックス

用紙の外側に裁断用の印をつけます。以下の 2 種類があります。

「トンボをつける」

用紙の四隅に印をつけます。

「枠をつける」

用紙の外側に枠をつけます。

[初期値に戻す]ボタン

この画面の設定値をデフォルトの設定に戻します。

[前の状態に戻す]ボタン

ラベルタブ画面を開いた時の設定値に戻します。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

レイアウトタブ：用紙タブ

印刷用紙の選択を行います。

用紙サイズの単位は画面右上で選択出来ます。(mm、inch、point)

用紙サイズボックス

「用紙サイズ」

プリンタで使うことの出来る定型用紙のサイズが一覧表示されます。

自分が使いたい用紙のサイズを選択します。但し、プリンタタブで選択されているプリンタの最大用紙サイズを超えるサイズは選択できません。

定型サイズ以外の用紙に印刷したい場合は、「カスタム」に設定して下さい。

「幅、高さ」

「用紙サイズ」で選択した用紙サイズに応じた幅、高さの数値が表示されます。

用紙サイズが「カスタム」の時に入力可能です。

但し、プリンタタブで選択されているプリンタの最大用紙サイズを超える幅、高さは入力できません。

また、カット紙が給紙可能なプリンタの場合には、余白が設定されますので、幅、高さは余白を減じた値になります。

「用紙を横向きにする」

チェックすると、自動的に幅と高さの数値が入れ換わります。

用紙種類ボックス

印刷したい用紙の給紙タイプを､以下の 2 種類から選択します｡

｢ロール紙｣､｢カット紙｣

｢カット紙｣を選択した場合､余白が設定されているプリンタではその余白が｢プレビュー表示ウィンドウ｣に表示されます｡

[初期値に戻す]ボタン

ボタンこの画面の設定値をデフォルトの設定に戻します｡

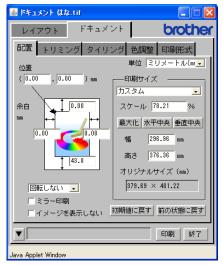
[前の状態に戻す]ボタン

用紙タブ画面を開いた時の設定値に戻します｡

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

ドキュメントタブ：配置タブ

ドキュメントの用紙上の位置を設定します。

設定の単位は画面右上で選択出来ます。(mm、inch、point)

「位置」

用紙の左上隅を原点とした場合のドキュメントの左上隅の位置を表示します。

複数のドキュメントを配置した際、配置したドキュメントが他のドキュメントと重なるようなスケールになった場合は、重ならない範囲でそのドキュメントのスケールを自動変更します。

また、位置も自動的に変更され、重ならない位置までドキュメントは移動されます。

「余白」

用紙の端とドキュメントの間の間隔を表示します。

「位置」「余白」を変更するには、次の２通りの方法があります。

■ 「位置」「余白」に希望の数値を入力して下さい。

　入力した数値に応じてプレビュー表示ウィンドウの表示が変更されます。

■ プレビュー表示ウィンドウを操作して下さい。

1. 位置を変更したいドキュメントをマウスでクリックし、選択します。
2. 選択したドキュメントをマウスを使ってドラッグ＆ドロップし、配置位置を変更します。
3. 変更した位置に応じた数値がオプション設定ウィンドウの「位置」、「余白」に表示されます。

「回転リストボックス」

「回転しない」:回転しません。

「90 度回転(左)」:用紙に対してドキュメントを左 90 度回転します。

「180 度回転」:用紙に対してドキュメントを 180 度回転します。

「90 度回転(右)」:用紙に対してドキュメントを右 90 度回転します。

モニタの解像度の設定によっては、画面のドットサイズが縦横で異なる場合があるため、90 度回転させるとプレビューイメージが延びて見える場合がありますが、実際の印刷では 90 度回転させても同一のサイズで正しく印刷されます。

「ミラー印刷」

ドキュメントを左右反転させます。

(対称軸は常に用紙に対して垂直)

選択ドキュメントの枠線について

プレビュー表示ウィンドウでは、選択ドキュメントを示す枠線が各設定により以下のように変化します。

「通常」…青色

「90 度回転のみ」…マゼンタ

「ミラー印刷のみ」…シアン

「90 度回転&ミラー印刷」…赤色

未選択のドキュメントでは、上記の色の枠線の内側が黒く表示されます。

「イメージを表示しない」

プレビュー表示ウィンドウにプレビューイメージを表示しません。ドキュメントの枠と、その方向を示すための丸印(●)がドキュメントの上方向に表示されます。もともとプレビューイメージをもたないドキュメントではあらかじめこの項目がチェックされています。

印刷サイズボックス

印刷されるドキュメントのサイズを設定します。

印刷サイズを指定するには次の 4 通りの方法があります。

■ ドキュメントを定型サイズの大きさで出力するには、プルダウンメニューに表示される一覧から変更したいサイズを選択します。

■ 定型サイズ以外のサイズに変更したい場合は、「幅、高さ」に必要なサイズの幅、高さを入力します。それに応じてスケールの数値も変更され、サイズは自動的に“カスタム”と表示されます。

■ 「スケール」を変更し、オリジナルと比較した印刷サイズを%で指定します。

■「最大化」ボタンを押します。

「スケール」

スケールは縦横の寸法に対する倍率で、縦横に同じ値が適用されます。

スケールの変更の仕方

■「スケール」に直接数値を入力する

1 以上 10000 以下の数値を入力して下さい。

入力した数値に応じてプレビュー表示画面の表示が変更されます。

■ プレビュー表示画面を操作する

1. スケールを変更したいドキュメントをマウスでクリックし、選択します。
2. 選択したドキュメントの四隅のいずれかにカーソルを移動させマウスを使ってドラッグ＆ドロップします。
3. 変更したスケールに応じた数値が「印刷サイズ（スケール、幅、高さ）」に表示されます。

[最大化]ボタン

設定されている用紙の枠内に収まる範囲で最大サイズにドキュメントのスケールを変更します。変更されたスケールに合わせて、位置、余白、幅、高さ、サイズの値が変更されます。

注意

ドキュメントと用紙の縦横の比率が違う場合、ドキュメントの印刷サイズと用紙サイズはぴったり一致しません。

複数のドキュメントが配置されている場合は、他のドキュメントに重ならない範囲で最大サイズに変更します。

[水平中央]ボタン

設定されている用紙の水平方向の中央に、ドキュメントを配置します。

[垂直中央]ボタン

設定されている用紙の垂直方向の中央に、ドキュメントを配置します。

「オリジナルサイズ」

オリジナルのドキュメントのサイズを幅、高さ（定型サイズの場合はサイズ名）で表示します。

[初期値に戻す]ボタン

この画面の設定値をデフォルトの設定に戻します。

[前の状態に戻す]ボタン

配置タブ画面を開いた時の設定値に戻します。

ドキュメントタブ：トリミングタブ

ドキュメントのトリミング操作によりトリミング領域の設定をします。

「トリミングをする」チェックボックスがチェックされていることを確認して下さい。

チェックをはずした場合、トリミングを実行せず、ドキュメント全体が印刷される対象になります。

設定の単位は画面右上で選択出来ます。(mm、inch、point)

「位置」

ドキュメントの左上隅を原点とした場合の、トリミング領域の左上隅の位置を表示します。

「余白」

トリミング領域とドキュメントの端との間の間隔を表示します。

余白を指定するには、次の 2 通りの方法があります。

■ 直接数値を入力する

　入力した数値に応じてプレビューウィンドウの表示が変更されます。

■ プレビュー表示ウィンドウを操作する

1. 選択した領域をマウスを使ってドラッグし位置を変更します。
2. 変更した位置に応じた数値がオプション設定ウィンドウの「位置」「余白」に表示されます。

トリミングサイズ

トリミングサイズを指定するには、次の 3 通りの方法があります。

■ トリミングサイズを定型サイズで行う。

プルダウンメニューに表示される一覧の中から自分がトリミングしたいサイズを選択します。

但しドキュメントより大きなサイズは表示されません。

こんな時に便利

印刷用紙と同じ系列（A、B 等）のサイズでトリミング領域を設定し、配置タブの「最大化ボタン」を使うと、印刷用紙一杯のサイズまで拡大して印刷することが出来ます。

■ 「幅、高さ」に直接数値を入力する。

トリミング領域のサイズを定型サイズ以外にしたい場合はトリミングしたい領域の幅、高さを1以上の数値を直接入力します。

サイズは自動的に「カスタム」と表示されます。

■ プレビュー表示ウィンドウを操作する。

1. トリミング領域の枠線のいずれかにカーソルを移動させマウスを使ってドラッグし、サイズを変更します。
2. 変更したトリミング領域サイズに応じた数値が「トリミングサイズ（スケール、幅、高さ）」に表示されます

トリミングボックス

「幅と高さの比率を保存」

トリミング領域の幅と高さの比率を一定に保ちます。ここをチェックした時点での幅と高さの比率が保存され、トリミング領域の幅あるいは高さが変更入力された場合、保存されている幅と高さの比率を元に変更されなかった側の数値を自動計算して変更します。

こんな時に便利

用紙と同じ系列の定型サイズでトリミングした後、ここをチェックしておくと幅や高さを変更しても配置タブの「最大化ボタン」を使えば印刷用紙一杯に拡大印刷出来る状態が保てます。

「オリジナルサイズ」

オリジナルのドキュメントのサイズを幅、高さで表示します。

「切り出しサイズ」

トリミングされた領域が実際に印刷される大きさを幅、高さで表示します。

このサイズは「トリミングサイズ×配置タブのスケール設定」によって計算されたサイズになります。

[初期値に戻す]ボタン

この画面の設定値をデフォルトの設定に戻します。

[前の状態に戻す]ボタン

トリミングタブ画面を開いた時の設定値に戻します。

ドキュメントタブ：タイリングタブ

タイリングによるドキュメントの分割の設定をします。

「タイリングする」チェックボックスがチェックされていることを確認して下さい。

チェックをはずした場合は、ドキュメントのタイリングを実行しません。

設定の単位は画面右上で選択出来ます。(ミリメートル(mm)、インチ(inch)、ポイント(point))

プレビュー表示画面

ドキュメントの画面が表示されます。

タイリングされている場合には、格子状にタイリングの線が表示され、選択領域は枠が太く表示されます。また、トリミングされている領域は反転表示されます。

操作パネル

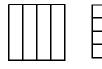
「横分割数」「縦分割数」

横分割　　縦分割

横分割とは縦長の短冊状に分割することを意味します。

縦分割とは横長の短冊状に分割することを意味します。

横分割のボックスには、横分割の分割数が表示されます。

縦分割のボックスには、縦分割の分割数が表示されます。

その下のリストには、列や行の幅が以下のように表示されます。

　100%スケールの時の幅(配置タブで設定されたスケールを適用した幅)

限界サイズを越えている幅には＊印が先頭に表示されます。

限界サイズより小さくしないと、出来上がりサイズを満たす印刷が行えません。

リストで反転表示されている項目の幅がリスト左下のボックスに表示されます。

このボックスに数値入力し幅を変更出来ます。

「追加」ボタン

選択されている幅を 2 つに等分割します。

「削除」ボタン

選択されている幅を削除します。

「出来上がりサイズ」

配置タブに設定されているスケールで、一括印刷を行った場合に一括印刷の出来上がりサイズを表示します。

「限界サイズ」

サイズ算出ダイアログで出来上がりサイズを設定した場合に表示されます。

このサイズを超える幅、高さを設定した場合には出来上がりサイズが変更されます。

「糊代」

縦方向と、横方向の糊代がそれぞれ設定出来ます。

配置タブのスケールを変えても、糊代幅は変化しません。

タイリング方法

タイリングの方法として次の 4 つの方法があります。

■　プレビュー表示画面を操作して行う

分割線をドラッグ＆ドロップで移動出来ます。

水平線は上下に移動出来ます。垂直線は左右に移動出来ます。角や交差点は上下左右に移動出来ます。

ドキュメントの上下左右の辺をドラッグすると新しい分割線が生成されます。トリミングされている場合には、トリミング内の上下左右の辺をドラッグすると新しい分割線が生成されます。

但し、移動中に隣の線を越えた場合には移動している線は削除されます。

■　横分割数、縦分割数で設定

横分割数の列のボックス、縦分割数の行のボックスに、分割したい1以上の数値を入力して下さい。

ドキュメントを指定された数値で等分割します。

横分割とは縦長の短冊状に分割することを意味します。

縦分割とは横長の短冊状に分割することを意味します。

■　列 , 行の幅を設定

リストで選択されている項目の幅を、数値入力で変更出来ます。

■ 出来上がりサイズで設定

1. 「サイズ算出」ボタンを押し、「サイズ算出ダイアログ」を開きます。
2. 「サイズ算出ダイアログ」に幅、高さ、スケールの中から指定したいものを一つだけ入力します。
   （ドキュメントを 90 度回転させたいときには、「90°回転」をチェックします。）
3. 幅、高さ、スケール、分割数が算出されます。
4. 算出された値を適用するときには[ＯＫ]ボタン、算出された値を適用しないときには[閉じる]ボタンを押します。

注 意

「プレビュー表示画面」で印刷対象としたい領域の内側をクリックすると、選択領域を変更することが出来ます。
1 度に印刷対象と出来るのは、一括印刷の場合を除きドキュメント 1 つにつき 1 つの領域だけで、複数の領域を 1 度に印刷対象とすることはできません。また、選択領域がない、あるいは選択領域が印刷の対象になっていない場合には他のタブへ移ることができません。その場合には印刷可能な部分を含む領域を選択して下さい。

■ 複数の領域を扱いたい場合

1. １つのドキュメントで行った設定を「ドキュメント設定ファイル」として保存しておきます。
2. 同じドキュメントを追加配置し、保存した「ドキュメント設定ファイル」を読み込み、別の選択領域を選んで下さい。

[初期値に戻す]ボタン

この画面の設定値をデフォルトの設定に戻します。

[前の状態に戻す]ボタン

タイリングタブ画面を開いた時の設定値に戻します。

[一括印刷]ボタン

用紙上にレイアウトされているドキュメントが 1 つだけの場合、タイリングした領域を一括して連続印刷することが出来ます。但し、トリミングされている場合は、トリミング領域が印刷対象となります。

「一括印刷ダイアログ」ウィンドウが開くので、そこで印刷作業を行って下さい。

注意

一括印刷はタイリングした領域すべてに対して同じ印刷設定で印刷を行います。そのため現在選択されている領域が他の領域より小さい場合、他の領域を印刷する際に印刷用紙からはみ出す恐れがあります。一括印刷を行う前には一番大きな領域(中央を含む領域)を選択し配置タブで印刷サイズなどを確認してから一括印刷を行うことをお勧めします。

一括印刷ダイアログ

[一括印刷]ボタン

一括印刷を実行します。

[閉じる]ボタン

一括印刷ダイアログを終了します。

「プリンタ」

印刷するプリンタを表示します。

「解像度」

印刷する解像度を表示します。

「単位」

このダイアログ内での単位を選択します。(mm、inch、point)

「レイアウト名」

印刷状況をリスト表示する際にドキュメントを識別するための名前です。デフォルトでは現在配置されているドキュメントの名前が表示されています。他のドキュメントと区別するために名前を変更したい場合は 127 文字以内で入力して下さい。

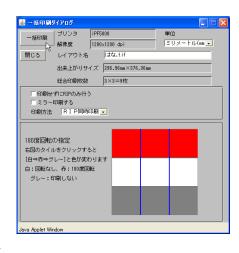
「出来上がりサイズ」

一括印刷によって印刷された物をすべて貼り合わせた場合のドキュメントの印刷サイズを幅×高さで表示しています。

「総合印刷枚数」

一括印刷によって印刷される用紙の枚数を表示しています。

「印刷せずに RIP のみ行う」

印刷せずに RIP のみ行い、RIP 済データとして残します。RIP 済データを印刷するときは、RIP 処理が不要なので高速印刷出来ます。

「ミラー印刷する」

印刷時にドキュメントを左右反転して印刷したい場合チェックして下さい。

「印刷方法」

■ RIP 同時印刷…RIP と印刷を同時に行います。

■ RIP 後印刷…すべての RIP を終了してから印刷を行います。

180 度回転・印刷指定

■ タイル表示について

タイルをクリックすると色が変わり、色ごとに以下のように処理されます。

- 白色タイル

  回転せずに印刷されます。

  配置タブの回転の指定どおりに印刷します。

- 赤色タイル

  180 度回転で印刷されます。

  配置タブの回転の指定に対して、180 度回転した設定で印刷します。

- グレータイル

  印刷されません。

■ タイルの位置関係と表示形式について

位置関係はタイリングウィンドウと同じで、タイルの表示形状は常に正方形で表現されます。

また、タイルの青線はプリンタから出てくるときの左右両端に該当する辺であることを表します(右図の青線に該当します)。

「回転なし」、「180 度回転」の時には縦方向に、「90 度回転(左)」、「90 度回転(右)」の時には横方向に青線が引かれます。

■ 一括印刷における印刷順序について

横方向を先に印刷します。

例えば、右図のように３×３に分割されている場合には、右図のタイル内の数字順に印刷されます。

1	2	3
4	5	6
7	8	9

ドキュメントタブ：色調整タブ

ドキュメントの色調整操作を行います。

色調整パラメータボックス

[設定]ボタン

「色調整ダイアログ」が開きます。

[全てに反映]ボタン

このドキュメントの設定内容を、用紙に配置された全てのドキュメントに適用します。

色調整ファイルボックス

[開く]ボタン

「色調整ファイル選択ダイアログ」がオープンします。色調整に使用したい色調整ファイルを選んで下さい。

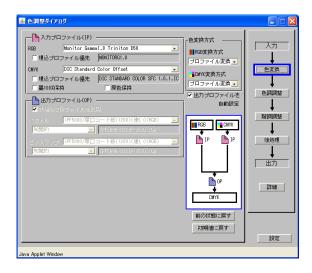
[保存]ボタン

「色調整ファイル保存ダイアログ」がオープンします。設定した色調整の保存を行います。

[初期値に戻す]ボタン

設定を全てデフォルトの設定に戻します。

色調整ダイアログ

ドキュメントの色調整を行います。

「色変換」「色調調整」「階調調整」「後処理」「詳細」の５種類が行えます。

■「色変換」:カラープロファイルをベースに、カラーマッチング処理を行います。

■「色調調整」:出力インクの混合比をダイレクトに設定します。

■「階調調整」:トーンカーブによる調整を行います。

■「後処理」:シャープネスやインク総量の設定を行います。

■「詳細」:色調整の詳細設定を行います。

「色調整ダイアログ」右側には色調整の行われる順序がフローチャートの形式で表示されています。チャート上のボタンを押すと、各処理段階での色調整の設定を行うことが出来ます。

(設定作業中のものは青い枠で囲まれています。)

[設定]ボタン

設定を確定しダイアログを閉じます。

■「色変換」

ICC カラープロファイル(以下、ICC プロファイルと呼びます。)を使用し、入力データと出力画像とのカラーマッチング処理を行います。色変換の方法は、入力データが RGB の場合と、入力データが CMYK の場合とで各々独立に設定可能です。

色変換処理として、以下の方法が指定出来ます。

- 「プロファイル変換」…入力プロファイルで指定されたデバイスへのカラーマッチングを行います。
- 「プルーフ変換」…印刷プロファイルで指定されたデバイスへのカラーマッチングを行います。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

- 「デバイスリンク変換」…デバイスリンクプロファイルで指定された色変換を行います。デバイスリンク変換を行うためには ColorSymphony が必要です。
- 「墨版調整変換」…入力データが RGB の場合にのみ指定出来ます。RGB データから墨版を生成して CMYK データに変換します。
- 「無変換」…入力データが CMYK の場合にのみ指定出来ます。入力データに対する色変換は行われません。

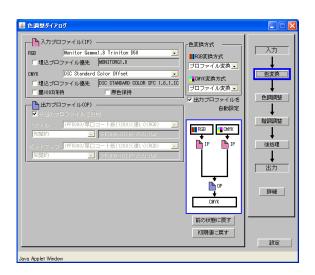
[前の状態に戻す]ボタン

色変換を表示したときの設定値に戻します。

[初期値に戻す]ボタン

色変換の設定値をデフォルトの値に戻します。

- **「プロファイル変換」**

入力プロファイルで指定されたデバイスへのカラーマッチングを行います。

色変換方式ボックス

「プロファイル変換」を指定します。入力データが RGB の場合と CMYK の場合で独立して指定出来ます。

「出力プロファイルを自動設定」

この項目をチェックしておくと、「プリンタ」タブで指定されたプリンタ、インク、メディア、解像度、多階調処理の設定から出力プロファイルが自動的に設定されます。

入力プロファイル(IP)ボックス

RGB…RGB 入力デバイスの ICC プロファイルを選択します。

CMYK…CMYK 入力デバイスの ICC プロファイルを選択します。※

※ DS Magic では、標準的な CMYK 入力プロファイルとして、次のプロファイルを搭載しております。

- ■ 雑誌広告基準カラー(DS Magic)
- ■ DIC Standard Color Sheet-Fed Coated 1.0.3
- ■ DIC Standard Sheet-Fed Mat Coated 1.0.3
- ■ DIC Standard Sheet-Fed uncoated 1.0.3
- ■ DIC Standard Color Sheet-Fed Coated 1.0.2
- ■ DIC Standard Web Coated 1.0.1
- ■ DIC Standard Color Sheet-Fed Coated FM 1.0.2
- ■ DIC4C Wakimizu Am 1.2
- ■ DIC4C Wakimizu FM 1.2
- ■ TOYO Offset Coated 2.1
- ■ TOYO Offset Matte Coated 2.1
- ■ TOYO Offset Uncoated 2.1

「埋込プロファイル優先」

PS、EPS、TIFF の各データに ICC プロファイルが埋め込まれている場合、埋め込まれた ICC プロファイルを入力プロファイルとして優先的に使用します。

「墨 100% 保持」

チェックをすると墨 100% の情報を保持します。墨 100% 保持とは、「CMY が 0% かつ K100% の時、K100% 単色で出力する」機能です。この機能は CMYK 変換に適用されます。

「原色保持」

チェックをすると、原色情報を保持します。原色保持とは「CMY のべた色の原色に、補色インクの混入を防止する」機能です。この機能は CMYK 変換に適用されます。

出力プロファイル(OP) ボックス

「ベクトル」

入力データのグラフィック部分に使用する出力プロファイルを選択します。

「ビットマップ」

入力データの画像部分に使用する出力プロファイルを選択します。

「共通のプロファイルを使用」

この項目をチェックしておくと、ベクトル、ビットマップの出力プロファイルが自動的に同一になります。

「レンダリングインテント」

出力プロファイルの適用方法を、以下の４種類から選択出来ます。

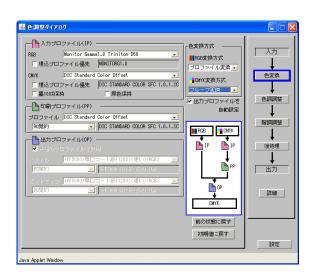
「知覚的」　入力データの相対的なカラー値を保持する場合に指定します。
カラー値は変更されてもカラー間の相対関係は保持されます。
ビットマップ(写真画像)データに適しています。

「彩度」　入力データの相対的な彩度値を保持する場合に指定します。
色域外の色は、彩度の同じプリンタ色域内の色に変換されます。
グラフィックデータに適しています。

「相対的」　プリンタの色域内の色を変更しない場合に指定します。
色域外の色は、明度の同じプリンタの色域内の色に変換されます。

「絶対的」　色変換時に白色点を一致させなくても良い場合に指定します。
通常は指定しません。

- **プルーフ変換**

印刷プロファイルで指定されたデバイスへのカラーマッチングを行います。
ターゲットとなる印刷機、インクなどの ICC プロファイルがある場合は、プルーフ変換を行うことによりターゲットへのカラーマッチングが可能です。

色変換方式ボックス

「プルーフ変換」を指定します。

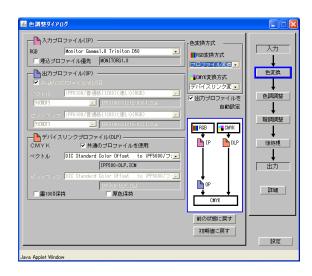
印刷プロファイル(PP) ボックス

色合わせしたいデバイス(印刷機、プリンタ、インクなど)の ICC プロファイルを選択します。
入力プロファイル(IP)ボックス、出力プロファイル(OP)ボックスはプロファイル変換の説明を参照して下さい。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

- **デバイスリンク変換**

  デバイスリンクプロファイルで指定されたプロファイルを用いて色変換を行います。

  デバイスリンクプロファイルは ColorSymphony で作成することが出来ます。

色変換方式ボックス

「デバイスリンク変換」を指定します。

デバイスリンクプロファイル(DLP)ボックス

「RGB」

入力カラースペースが RGB のデバイスリンクプロファイルを選択します。

「CMYK」

入力カラースペースが CMYK のデバイスリンクプロファイルを選択します。

「ベクトル」

入力データのグラフィック部分に使用するデバイスリンクプロファイルを選択します。

「ビットマップ」

入力データの画像部分に使用するデバイスリンクプロファイルを選択します。

「共通のプロファイルを使用」

この項目をチェックしておくと ,ベクトル、ビットマップの出力プロファイルが同一になります。

墨 100% 保持、原色保持については、プロファイル変換の説明を参照して下さい。

- **墨版調整変換**

  入力データが RGB の場合にのみ指定出来ます。RGB データから墨版を生成して CMYK データに変換します。

  色変換方式ボックス

  「RGB 変換方式」

  「墨版調整変換」を指定します。

  墨版調整（BG）ボックス

  「下色除去率」

  RGB（CMY）の重なり部分を除去する割合を指定します。

  -100 〜 100% の数値が入力出来ます。

  「墨版合成率」

  RGB（CMY）の重なり部分から墨（K）版を生成する割合を指定します。

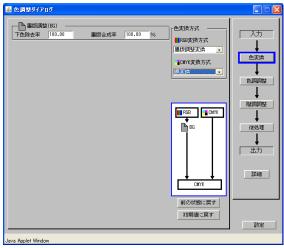
  0 〜 100% の数値が入力出来ます。

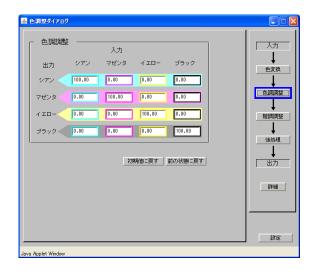
- **無変換**

  入力データがCMYKの場合にのみ指定出来ます。入力データに対する色変換は行われません。入力データが、既に色調整が完了した CMYK データであり、DS Magic で色変換をしない場合に使用します。

  色変換方式ボックス

  「CMYK 変換方式」

  「無変換」を指定します。

RGB 墨版調整変換　　CMYK 無変換

■ 色調調整

テーブルではシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのそれぞれの入力(In)に対し、4 色をどのような割り合いで混ぜて出力するかを指定します。プラス・マイナス何れの指定も行なえます。

マイナスの値は、ある原色に含まれる他原色の色味を押さえる役割をはたすものです。

(例)

赤(=100% マゼンタ +100% イエロー)の色味が朱色っぽい場合(イエローが強い)、マゼンタ(In)に対するイエロー(Out)の値をマイナスに設定すると、この不具合は効果的に改善出来ます。

※ イエロー(In)- イエロー(Out)の値を低めに設定することで、朱色の問題は解消出来ますが、この手法ではイエローベタが再現できなくなってしまいます。

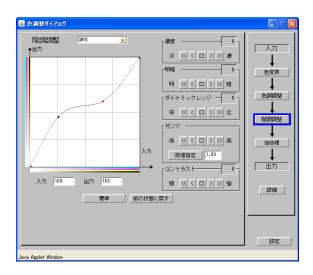
※ デフォルトでは上のテーブルのように指定されており、これは 4 色の入力に対して、それぞれの色を入力した量そのまま 100%で印刷する、つまり色調を全く変化させずに印刷することを意味しています。

[初期値に戻す]ボタン

色調調整の設定値をデフォルトの値に戻します。

[前の状態に戻す]ボタン

色調調整を表示したときの設定値に戻します。

■ 階調調整

画像の階調を調整します。次の 2 つの方法があります。

- **ボタン操作で行う方法**

「＜＜」「＞＞」で大幅に変化し、「＜」「＞」で微少に変化します。「□」で標準に戻ります。

「濃度」ボックス

出力画像の濃度調整を行うことが出来ます。

「明暗」ボックス

全体的な明暗調整を行います。ハイライト部が濁っている、シャドウ部の締まりが無いという時に利用すると効果的です。

「ダイナミックレンジ」ボックス

再現階調幅の拡大縮小を行います。デジカメやスキャナで取得した画像の様に、全ての階調を利用していない画像に対して階調幅の拡大を行うとコントラストが向上した画像を得ることが出来ます。

「ガンマ」ボックス

ハイライト部やシャドウ部の階調欠落を防止しながら明暗調整を行います。

すなわち中間調域に対する明暗調整ということも出来ます。

「コントラスト」ボックス

ハイライト部やシャドウ部の階調欠落を防止しながら、画像にコントラストをつけることが出来ます。

すなわち中間調域のコントラストを調整するということも出来ます。

- **直接マウスで操作して変更する方法**

  制御点を動かすことにより曲線を制御します。動かしている制御点は赤点で表示され、その座標もキーボードで細かく設定出来ます。

  入力、出力の欄に赤点の座標が表示されます。座標を数値入力も出来ます。

  ※ 座標は 0 ～ 255 の範囲で入力出来ます。

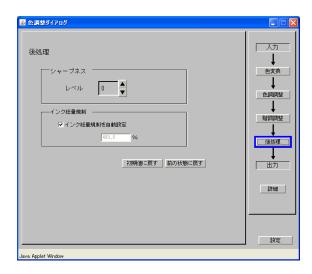
  また、隣の制御点に近づけると制御点は消去されます。

[標準]ボタン

階調調整の設定値をデフォルトの値に戻します。

[前の状態に戻す]ボタン

階調調整を表示したときの設定値に戻します。

■ 後処理

シャープネスボックス

シャープネスのレベルを変更することにより、画像の鮮明さを変えられます。

（0 ～ 10 の数値が選べます。▲▼で数値を選んで下さい。）

デフォルトは、レベル 0 に設定されており処理は行いません。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

インク総量規制ボックス

単位面積当たりのインク最大吐出量を調整することが出来ます。

記録紙の種類に応じてインクの吸収具合が異なるため、同じ吐出量であってもインクが乗り過ぎてにじみが発生したり、逆に不足気味で淡い眠い画像になってしまうことがあります。インク総量規制によりこれらの不具合を解消することが出来ます。

インク総量規制の設定範囲は 0% ～ 400% です。400% は CMYK 4 色とも 100% ベタで印刷出来ること示しているものであり、それ以下の設定値は CMYK のインク吐出量の総和がその設定値以上にならないように制限されていることを示します。

※ インク総量規制は、「インク総量規制を自動設定」がチェックされている場合は、プリンタ、解像度、インク、メディア、多階調処理に基づいて最適な値が自動的に設定されます。「インク総量規制を自動設定」のチェックをはずすことにより設定値が変更出来ます。

[初期値に戻す]ボタン

後処理の設定値をデフォルトの設定に戻します。

[前の状態に戻す]ボタン

後処理画面を開いた時の設定値に戻します。

■ 詳細

色調整の詳細設定を行います。

全項目のチェックを外すと、DS Magic による色調整は一切行われません。

「色変換を有効にする」

チェックすると「色変換」の設定が行われます。

「色調調整を有効にする」

チェックすると「色調調整」の設定が行われます。

「階調調整を有効にする」

チェックすると「階調調整」の設定が行われます。

「インク総量規制を有効にする」

チェックすると「インク総量規制」の設定が有効になります。

「K を CMY に変換する処理を有効にする」

チェックすると、K を CMY に変換します。フォトインク（ライトシアン、ライトマゼンタ）を使用して 6 色で印刷を行う場合、K の粒状感を軽減させるのに有効です。

「CMYK 以外のインクの使用を有効にする」

チェックすると CMYK 以外のインクを使用するように処理します。

「カラーキャリブレーションを有効にする」

チェックすると、プリンタの固体差、経時変化を吸収するキャリブレーション処理を有効にします。

［初期値に戻す］ボタン

詳細の設定値をデフォルトの設定に戻します。

［前の状態に戻す］ボタン

詳細画面を開いた時の設定値に戻します。

色調整ファイル選択ダイアログ

DS Magic に保存されている、色調整に関するオプション設定の内容を呼び出し、選択されているドキュメントの色調整パラメータとして設定します。

[設定ファイル]

すでに DS Magic に保存されている色調整ファイル名

[オーナー]

色調整ファイルを保存したユーザ名

[日付　時間]

色調整ファイルが保存された日付と時間

色調整ファイル

呼び出したい色調整ファイル名をリストから選択して下さい。選択したファイルの名前が自動的に表示されます。

[更新]ボタン

強制的にリストのデータを更新出来ます。サーバからのデータ受信中に★マークが表示されます。

[開く]ボタン

DS Magic からのファイルの呼び出し作業を実行します。

[閉じる]ボタン

呼び出し作業を中止します。

色調整ファイル保存ダイアログ

色調整に関するオプション設定の内容を DS Magic に保存します。

保存される設定は選択されているドキュメントの色調整パラメータのみです。

[設定ファイル]

すでに DS Magic に保存されている色調整ファイル名

[オーナー]

色調整ファイルを保存したユーザ名

[日付　時間]

色調整ファイルが保存された日付と時間

色調整ファイル

選択したファイルの名前が自動的に表示されます。

※ すでに保存してある色調整ファイルに上書き保存したい場合はそのファイル名をクリックして下さい。

※ 新規に保存したい場合は色調整ファイル名を 127 文字以内で入力して下さい。

[更新]ボタン

強制的にリストのデータを更新出来ます。サーバからのデータ受信中に★マークが表示されます。

[保存]ボタン

DS Magic へのファイルの保存作業を実行します。

[閉じる]ボタン

保存作業を中止します。

ドキュメントタブ：印刷形式タブ

ドキュメントの印刷形式の設定を行います。

階調方式ボックス

「誤差拡散方式」

誤差拡散方式で印刷したい場合に選択します。次の３種類から選択して下さい。

■ グラフィック用

　強い濃淡差が存在する、グラフィック系のドキュメント印刷時に選択します。

■ イメージ用

　写真などの、イメージ系のドキュメント印刷時に選択します。

■ 高速用

　1200dpi 以上の高解像度で高速印刷する場合にします。

「ハーフトーンスクリーン方式」

ハーフトーンスクリーン方式で印刷したい場合に選択し、以下の 4 種類からスクリーン形状を選択します。

　「Traditional」、「Enhanced」、「アプリケーション優先」、「Custom」

「アプリケーション優先」を選択した場合、印刷ドキュメント内にアプリケーションで設定したスクリーンが含まれる時は、その設定されたスクリーンで印刷します。

含まれない時は、「Enhanced」で印刷されます。

「Custom」を選択した場合、色ごとに線数・角度を設定して下さい。

注意

印刷可能な線数は、(水平解像度 /90)～(水平解像度× 0.4)です。
水平解像度:「レイアウト:プリンタ」タブで設定した解像度「a×b」のaがこれに相当します。

注意

DS Magic for Canon では「レイアウト:プリンタ」タブの「多階調処理」が「切」の時のみ、「ハーフトーンスクリーン方式」が有効になります。

「色」

設定対象にしたい色名を表示させます。

「線数」「角度」「形状」

ハーフトーンスクリーン方式で Custom を選択した場合に入力出来ます。(各色毎に設定可能)

「スクリーン設定ファイル」

[開く]ボタン

「スクリーン設定ファイル選択ダイアログ」がオープンします。使用したいスクリーン設定ファイルを選んで下さい。

[保存]ボタン

「スクリーン設定ファイル保存ダイアログ」がオープンします。保存作業を行って下さい。

「補間方式」

拡大縮小時にドット間の補間方式としてどの方式を使うかを選択します。

「自動選択」　「最近傍法補間」
「線形補間」　「双３次補間」
「BR-Interpolation」

以上の 5 つのパターンから選択出来ます。

「OPI 印刷」

OPI 印刷を行うかどうか、またどのレベルで行うかを選択します。

「OPI 印刷しない」…OPI 印刷機能を使いません。

「低解像度を使う」…OPI 登録されている低解像度画像を使って印刷します。

「高解像度を使う」…OPI 登録されている高解像度画像を使って印刷します。

ドキュメントの裁断線ボックス

ドキュメントの外側に裁断用の印をつけることが出来ます。

「トンボをつける」「枠をつける」

の２種類から選択出来ます。

「オーバープリントする」

オーバープリント形式で印刷したい時には、チェックボックスをチェックして下さい。

オーバープリント形式で印刷するためには、オーバープリント機能に対応しているアプリケーションにてデータを作成しておく必要があります。

なお、オーバープリントするにチェックをしても、プレビュー画面はオーバープリントしていない画像になりますが実際の印刷ではオーバープリントされます。

[初期値に戻す]ボタン

この画面での設定値をデフォルトの設定に戻します。

[前の状態に戻す]ボタン

この画面での設定値を印刷形式タブ画面を開いた時の設定値に戻します。

スクリーン設定ファイル選択ダイアログ

印刷形式としてハーフトーンスクリーン方式を選んだ際に、DS Magic に保存していたスクリーン設定ファイルからその内容を呼び出し、選択されているドキュメントのスクリーンのパラメータとして設定します。

[設定ファイル]

すでに DS Magic に保存されているスクリーン設定ファイル名

[オーナー]

スクリーン設定ファイルを保存したユーザ名

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

[日付　時間]

保存された日付と時間

スクリーン設定ファイル

選択したファイルの名前が自動的に表示されます。

[更新]ボタン

強制的にリストのデータを更新出来ます。サーバからのデータ受信中に★マークが表示されます。

[開く]ボタン

DS Magic からのファイルの呼び出し作業を実行します。

[閉じる]ボタン

呼び出し作業を中止します。

スクリーン設定ファイル保存ダイアログ

印刷形式としてハーフトーンスクリーン方式を選んだ際に設定したスクリーンの内容を DS Magic に保存します。

保存される設定は選択されているドキュメントのスクリーン調整パラメータのみです。

[設定ファイル]

すでに DS Magic に保存されているスクリーン設定ファイル名

[オーナー]

スクリーン設定ファイルを保存したユーザ名

[日付　時間]

保存された日付と時間

スクリーン設定ファイル

選択したファイルの名前が自動的に表示されます。

※ すでに保存してあるスクリーン設定ファイルに上書き保存したい場合はそのファイル名をクリックして下さい。

※ 新規に保存したい場合はスクリーン設定ファイル名を 127 文字以内で入力して下さい。

[更新]ボタン

強制的にリストのデータを更新出来ます。サーバからのデータ受信中に★マークが表示されます。

[保存]ボタン

DS Magic へのファイルの保存作業を実行します。

[閉じる]ボタン

保存作業を中止します。

印刷ダイアログ

印刷の実行指示をします。

「オプション設定ウィンドウ」で「印刷」ボタンを押した時に印刷ダイアログウィンドウが開きます。

※タイリングタブ、トリミングタブが表示されている状態では、印刷ボタンを押すことはできません。

プリンタ、解像度

印刷するプリンタと解像度を表示します。

単位

このダイアログで使う単位を選択出来ます。

（mm、inch、point）

レイアウト名

印刷状況をリスト表示する際にドキュメントを識別するための名前です。

デフォルトでは、現在配置されているドキュメントの名前が表示されています。

(複数ドキュメントが配置されている場合は、便宜上ドキュメントリストで1番上に挙がっているものが表示されます)

また、レイアウト設定ファイルが設定されている場合は、レイアウト設定ファイル名がデフォルト表示されています。

名前を変更してサーバに送信したい場合はその名前を127文字以内で入力して下さい。

> **注意**
>
> カンマ「,」を使用すると印刷ログの表示が乱れることがありますが、ログの表示が乱れるのみで印刷動作には一切影響はありません。

印刷せずにRIPのみ行う

同じ設定での印刷を何度か行う場合には、チェックをお勧めします。

印刷は行わずに、指定された印刷条件で生成した印刷データをRIP済データとして保存します。次頁の「RIP済データ選択ダイアログ」から、保存したRIP済データを選択して印刷するとRIPはすでに完了しているため、高速に印刷出来ます。

印刷枚数ボックス

印刷したい枚数を入力して下さい。

「印刷後にドキュメントを消去する」

印刷終了時にDS Magic上から、プリントアウトしたドキュメントを消去したい場合にチェックして下さい。

「ミラー印刷」

印刷時にドキュメントを左右反転して印刷したい場合チェックして下さい。

「印刷方法」

■ RIP同時印刷 … RIPしながら印刷を行ないます。

RIP後印刷 … すべてのRIPを終了してから印刷を行ないます。
この場合、RIP同時印刷に比べて印刷開始までの時間が長くなりますが、安定した品質が得られます。

くり返し印刷ボックス

1つのドキュメントを用紙上に繰り返して印刷する機能について設定します。

（複数のドキュメントが配置されている場合は設定できません）

「リピート」

横方向に印刷をくり返したい場合チェックします。

「ステップ」

縦方向に印刷をくり返したい場合チェックします。

「くり返し間隔」

印刷をくり返す際のドキュメント同士の間隔を指定します。

「くり返し回数」

印刷をくり返す回数を指定します。

※ 最大回数を超える数値は指定できません。

「最大回数」

用紙とドキュメントの幅、指定されたくり返し間隔から、くり返すことが可能な最大回数を計算し表示します。

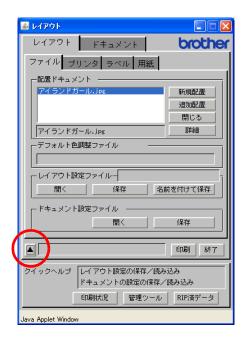
「合計印刷回数」

リピート回数（横方向のくり返し数）×ステップ回数（縦方向のくり返し数）で同一ドキュメントの総印刷数を表示します。

［印刷］ボタン

印刷を実行します。

［閉じる］ボタン

印刷ダイアログを終了します。

拡張画面

左下の[▼]ボタンを押すと、印刷設定の画面が拡大され、クイックヘルプ及び[印刷状況]ボタン、[管理ツール]ボタン、[RIP 済データ]ボタンが表示されます。

[▲]ボタンを押すと、印刷設定の画面が元に戻ります。

RIP 済データ選択ダイアログ

RIP 済データのプリントを指示します。

拡張画面の「RIP 済データ」を押した時に、RIP 済データダイアログウィンドウが開きます。

[RIP 済データ]

RIP 済データとして保存してあるデータ名が表示されます。

[オーナー]

RIP 済データを作成したユーザの名前が表示されます。

[データタイプ]

RIP 済データの種別が表示されます。

[日付　時間]

RIP 済データが作成された日付と時間が表示されます。

[更新]ボタン

強制的にリストのデータを更新出来ます。

サーバからのデータ受信中に★マークが表示されます。

RIP 済データ名

リストで選択したデータ名が表示されます。

プリンタ

RIP 済データを出力するプリンタを選択します。

「AUTO」が選択されている場合は、RIP 済データを作成したときのプリンタが自動的に選択されます。

RIP 済データを作成したときと異なるプリンタを選択した場合は解像度、インク、メディアが選択したプリンタに連動して変わらないため、正しく印刷できないことがあります。

解像度

RIP 済データを作成したときの解像度が表示されます。

インク

RIP 済データを作成したときのインク名が表示されます。

メディア

RIP 済データを作成したときのメディアが表示されます。

印刷枚数

印刷部数を設定します。

[印刷]ボタン

選択されている RIP 済データを印刷します。

[削除]ボタン

選択されている RIP 済データを削除します。

[閉じる]ボタン

RIP 済選択ダイアログを閉じ、作業を中止します。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

印刷状況

印刷状況ウィンドウ

印刷実行指示を出したドキュメントの印刷状況を見ることが出来ます。

印刷状況ウィンドウは次の操作をしたときに開きます。

■ [印刷設定]→「オプション設定ウィンドウ」の[▼]ボタン→[印刷状況]ボタンを押した時

■ DS Magic スタート画面の[印刷状況]を押した時

リストボックス

リストボックス内のドキュメントをクリックするとそのドキュメントの選択状態を切り替えることが出来ます。

複数のドキュメントをクリックすると、ドキュメントを複数選択する事が出来ます。「CTRL」+「A」キーを押すと、リストボックスのドキュメントを全て選択する事が出来ます。

複数のドキュメントを選択した状態で、「削除」「再開」「一時停止」が可能です。「ドキュメント詳細」「RIP、準備、印刷の進行状況」においては選択されたドキュメントの中で、最上位に有るドキュメントに対する表示を行います。

ドキュメントボックス

ドキュメントボックス内の項目は｢状況｣が印刷中のドキュメントを選択した場合にのみ表示を行います。

｢RIP｣

レイアウトされているドキュメント1つに対して、DS Magicでの展開処理の進行状況をバーと数値で表示します。

■ PSデータの場合

ドキュメントの展開が進む毎にピンク色のバーが表示され進捗の度合いが表示されます。ピンク色のバーが100%まで進むとドキュメントの展開処理は終了です。

印刷のためのデータ変換が進む毎に赤色のバーがピンク色のバーの上に表示されその進捗の度合いが表示されます。赤色のバーが100%まで進むと印刷のためのデータ変換は終了です。

■ イメージデータの場合

印刷のためのデータ変換が進む毎に赤色のバーがピンク色のバーの上に表示されその進捗の割合が表示されます。

赤色のバーが100%まで進むと印刷のためのデータ変換は終了です。

｢準備｣

選択されているドキュメント全体の印刷準備の進行状況を緑色のバーと数値で表示します。100%まで処理が進むと準備は終了し、実際の印刷にかかります。

｢印刷｣

選択されたドキュメントのプリンタでの印刷の進行状況を青色のバーと数値で表示します。100%まで処理が進むと印刷は終了します。

印刷時間ボックス

■ **｢開始時間｣**…　DS Magicで印刷データの展開を開始した時間を表示します。

■ **｢終了予想｣**…　印刷が終了する予想時間を計算して表示します。

■ **｢経過時間｣**…　**展開開始からどれ位時間がたったかを表示します。**

予想時間の表示について、DS Magicの動作状況により実際の時間との間に差が生じることがあります。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

「プリンタ」

DS Magic に登録されているプリンタの機種名一覧の中から、印刷状況をみたい機種名を選択します。デフォルトの状態では「ALL」になっています。「ALL」が選択されている場合、サーバにスプールされている全てのドキュメントがリストボックスに表示されます。

[プリンタの停止]ボタン

プリンタの停止／再開を行います。プリンタが動作中には「プリンタの停止」、プリンタの停止中には「プリンタの再開」と表示されます。なお、リストボックスにドキュメントがあるときには「プリンタの停止」はできません。

[更新]ボタン

強制的にリストのデータを更新出来ます。

サーバからのデータ受信中に★マークが表示されます。

印刷状況リストボックス

「ドキュメント」

ドキュメント名（印刷される順番に従って並んでいます）

「プリンタ」

ドキュメントを印刷するプリンタ名

「オーナー」

ドキュメントを DS Magic へ送信したユーザーの名前

「作成日時」

ドキュメントが DS Magic に送信された日付と時間

「状況」

そのドキュメントの現在の状況を表示

- ■ 正常に印刷を待っている場合→何も表示されません。
- ■ フォントダウンロードサービスが開始され、ドキュメントの印刷が停止している場合→「待機中」と表示
- ■ ドキュメントのデータに不備があった場合→「エラー」と表示
- ■ Windows スプールフォルダのハードディスク空容量が少なくなった場合→「待機中」と表示

空容量が増えると自動的に印刷が再開されます。

その他、「停止中」「印刷中」「削除中」などが状況として表示されます。

「終了予想」

印刷が終了する時刻を計算して表示

但し、DS Magic の動作状況により実際の終了時間との間に差が生じることがあります。

「ドキュメント」

選択されたドキュメント名が表示されます。

こんな時に便利

選択したドキュメントの印刷順序を変更出来ます。状況が「印刷中」のドキュメントは印刷順序変更はできません。

[一番上へ]ボタン…選択したドキュメントを先頭に移動します。但し、状況が「印刷中」のドキュメントは追い越しません。

[上へ]ボタン…選択したドキュメントの順序をひとつ上に移動します。但し、状況が「印刷中」のドキュメントは追い越しません。

[下へ]ボタン…選択したドキュメント順序をひとつ下に移動します。

[一番下へ]ボタン…選択したドキュメントを最後に移動します。

「残り印刷長」

リストボックスに表示されているドキュメントの合計印刷長を選択されたプリンタに応じて計算し表示します。表示単位はｍ（メートル）です。

実際に印刷に必要な用紙の長さは表示される長さよりも、印刷終了後のプリンタの用紙送り量だけ長くなります。

[ドキュメント詳細]ボタン

印刷状況用の「ドキュメント詳細ダイアログ」が開き、詳細情報を表示します。

[再開]ボタン

選択されているドキュメントの印刷を再開します。

[一時停止]ボタン

選択されているドキュメントの印刷を一時停止します。

印刷待機中のドキュメントを「一時停止」させると、それ以降に送信されたドキュメントが一時停止されたドキュメントを追い越して先に印刷されます。

また、「印刷中」のドキュメントを一時停止させた場合には[再開]を押しても継続して正常な印刷を続ける事は出来ません。この場合「一時停止」したドキュメントは[削除]で削除して下さい。

[削除]ボタン

選択されているドキュメントを印刷スプーラから削除し、印刷指示を中止します。

「プリンタ設定ツール」で「長尺印刷に対応する」をチェックしていない環境において、印刷中のドキュメントを削除した場合は、プリンタの操作パネルからプリンタのリセットを行って下さい。

プリンタをリセットしてない状態で次の印刷を送った場合、プリンタが誤作動する場合がありますので、ご注意下さい。

複数のドキュメントが印刷状況のリストにある場合は以下の手順で印刷の削除を行って下さい。

1. 削除するドキュメント以外のドキュメントをすべて選択し、一時停止します。
2. 削除するドキュメントを選択し、削除を行います。
3. プリンタの操作パネルからプリンタをリセットします。
4. 手順１で一時停止させたドキュメントを再開させます。

[終了]ボタン

印刷状況の表示を終了し、ウィンドウを閉じます。

ドキュメント詳細ダイアログ

「配置ドキュメント数」

配置されているドキュメントの数

「ドキュメント名」

配置されているドキュメントの名前

「プリンタ」

出力するプリンタ名

「用紙」「幅･高さ」

印刷に使用する用紙の幅と高さ

「データサイズ」

印刷データの容量

「状況」

（正常な場合は特に何も表示もされません）

[閉じる]ボタン

ドキュメント詳細ダイアログを終了します。

管理ツール

DS Magic 上にある各種ファイルを消去する、いくつかのサービスを起動させる、停止させるといった作業を行います。

注意

このウィンドウでの操作は管理者（Administratrs）権限のユーザでログインして操作して下さい。

このウィンドウは 8 つの“タブ”から構成されています。

■ **ドキュメントタブ**…RIP 上のドキュメントの確認、削除を行います。

■ **レイアウト設定タブ**…DS Magic に保存されているレイアウト設定ファイルの確認、削除を行います。

■ **ドキュメント設定タブ**…DS Magic に保存されているドキュメント設定ファイルの確認、削除を行います。

■ **色調整タブ**…DS Magic に保存されている色調整ファイルの確認、削除を行います。

■ **スクリーン設定タブ**…DS Magic に保存されているスクリーン設定ファイルの確認、削除を行います。

■ **メンテナンスタブ**…DS Magic の操作や RIP の関連ファイルの消去を行います。

■ **ＯＰＩ 設定タブ**…OPI サービスの設定や OPI 関連ファイルの操作を行います。

■ **フォントダウンロードタブ**…フォントダウンロードサービスを操作します。

管理ツールウィンドウは次の操作をしたときに開きます。

・[印刷設定]→「オプション設定ウィンドウ」の[▼]ボタン→[管理ツール]ボタンを押した時

・DS Magic スタート画面の[管理ツール]ボタンを押した時

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

ドキュメントタブ

DS Magic にあるドキュメントの確認､削除を行います。

[ドキュメント]

ドキュメント名

[オーナー]

ドキュメントを DS Magic へ送信したユーザーの名前

[日付　時間]

ドキュメントが DS Magic に送信された日付と時間

[状況]

そのドキュメントの現在の状況を表示。

■ プレビュー表示を準備中の場合→｢準備中｣と表示。

■ プレビュー表示準備完了の場合→それぞれのドキュメントの｢ファイルサイズ｣を表示。この状態でドキュメントの配置が可能です。

オプション設定ウィンドウで配置されたことがないドキュメントは､ドキュメント名の前に＊マークが表示されます。

■ ドキュメントのデータに不備があった場合→｢エラー｣と表示

■ RIP 済データの場合→｢再｣と表示

[ドキュメント詳細]ボタン

詳細をみたいドキュメントをクリックすると、下のボックスに選択されたドキュメント名が表示されます。それを確認した上で、[ドキュメント詳細]ボタンを押して下さい。

「ドキュメント詳細ダイアログ」がオープンし、選択されているドキュメントの詳細情報を表示します。データタイプ、レイアウトされたことがあるかどうか、ドキュメントの幅、高さ等を表示します。

[削除]ボタン

削除したいドキュメントをクリックすると、下のボックスに選択されたドキュメント名が表示されます。それを確認した上で、[削除]ボタンを押して下さい。

[更新]ボタン

強制的にリストのデータを更新することが出来ます。サーバからのデータ受信中に★マークが表示されます。

リストボックスでのドキュメント複数選択

リストボックスで複数のドキュメントをクリックすると、ドキュメントを複数選択する事が出来ます。「CTRL」キー+「A」キーを押すとリストボックスのドキュメントを全て選択する事が出来ます。

複数のドキュメントを選択した状態で、「削除」が可能です。「ドキュメント詳細」については選択されたドキュメントの中で、最上位に有るドキュメントに対する表示を行います。

リストボックスでのドキュメントの並び替え

リストボックス上の項目名がボタンになっています。

このボタンを押すことにより、各項目を基準としてリストボックス内のドキュメントをソート出来ます。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

レイアウト設定タブ

DS Magic に保存されているレイアウト設定ファイルの確認､削除を行います。

[設定ファイル]

DS Magic に保存されているレイアウト設定ファイル名

[オーナー]

レイアウト設定ファイルを保存したユーザ名

[日付　時間]

レイアウト設定ファイルが保存された日付と時間

[設定ファイル詳細]ボタン

詳細をみたいファイルをクリックし[設定ファイル詳細]ボタンを押して下さい｡｢レイアウト設定ファイル詳細ダイアログ｣がオープンし､選択されている既存の設定ファイルの詳細情報を表示します｡配置されているドキュメント数､名前､印刷用紙のサイズ等を見ることが出来ます。

[削除]ボタン

削除したいファイルをクリックし[削除]ボタンを押して下さい｡選択されているファイルが削除されます。

[更新]ボタン

強制的にリストのデータを更新することが出来ます｡サーバからのデータ受信中に★マークが表示されます。

ドキュメント設定タブ

DS Magic に保存されているドキュメント設定ファイルの確認､削除を行います。

[設定ファイル]

DS Magic に保存されているドキュメント設定ファイル名

[オーナー]

ドキュメント設定ファイルを保存したユーザ名

[日付　時間]

ドキュメント設定ファイルが保存された日付と時間

[削除]ボタン

削除したいファイルをクリックし[削除]ボタンを押して下さい。選択されているファイルが削除されます。

[更新]ボタン

強制的にリストのデータを更新することが出来ます。サーバからのデータ受信中に★マークが表示されます。

色調整タブ

DS Magic に保存されている色調整ファイルの確認､削除を行います｡

[設定ファイル]

DS Magic に保存されている色調整ファイル名

[オーナー]

色調整ファイルを保存したユーザ名

[日付　時間]

色調整ファイルが保存された日付と時間

[削除]ボタン

削除したいファイルをクリックし[削除]を押して下さい｡選択されているファイルが削除されます｡

[更新]ボタン

強制的にリストのデータを更新することが出来ます｡サーバからのデータ受信中に★マークが表示されます｡

スクリーン設定タブ

DS Magic に設定保存されているスクリーン設定ファイルの確認､削除を行います。

[設定ファイル]

すでに DS Magic に保存されているスクリーン設定ファイル名

[オーナー]

スクリーン設定ファイルを保存したユーザ名

[日付　時間]

スクリーン設定ファイルが保存された日付と時間

[削除]ボタン

削除したいファイルをクリックし[削除]ボタンを押して下さい。選択されているファイルが削除されます。

[更新]ボタン

強制的にリストのデータを更新することが出来ます。サーバからのデータ受信中に★マークが表示されます。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

メンテナンスタブ

DS Magic の操作や RIP 関連ファイルの消去を行います。

このタブの操作が出来るのはDS Magic をインストールしたOS 上で管理者(Adminstrators) 権限を持って登録されているユーザーの方のみです。管理者権限についてはOS のマニュアルをお読み下さい。

サービス管理ボックス

「サービス」

現在のサービス状況を表示しています。

■ **「動作中」**→ サービスを開始しています。
停止したい場合は**[停止]ボタン**を押して下さい。

■ **「停止」**→ サービスは停止しています。
開始したい場合は**[開始]ボタン**を押して下さい。

ファイルメンテナンスボックス

[PPD 更新]ボタン

PPD ファイルを更新するときに使用します。

ドライバプリントから色調整ファイルを指定する場合は、このボタンを押して PPD ファイルを更新して下さい。

[クリーンアップ]ボタン

DS Magic に残っている不要なファイルを削除します。

[初期化]ボタン

DS Magic のデータを全て消去し、初期状態に戻します。

注意

サーバに送信したドキュメントや、保存してある設定ファイルなどが全て消去されます。確認のため「初期化するとデータが全て消去されます。初期化してもいいですか？」というメッセージが出ますので、初期化したい場合は[はい]、したくない場合は[いいえ]を選択して下さい。初期化後は Web ブラウザを再起動して下さい。

メッセージバー

メンテナンスサービスに関する DS Magic の状況をメッセージ表示します。

■ DS Magic がサービス開始準備中→「サービスの開始中です。しばらくお待ちください」

■ DS Magic がサービス停止準備中→「サービスの停止中です。しばらくおまちください」

メッセージの表示中は処理中です。操作を行わないようにして下さい。

OPI 設定タブ

OPI サービスの設定や OPI 関連ファイルを操作します。このタブの操作が出来るのは DS Magic をインストールした OS 上で管理者 (Adminstrators) 権限を持って登録されているユーザーの方のみです。管理者権限については OS のマニュアルをお読み下さい。

「OPI サービス」

現在のサービス状況を表示しています。

■「**動作中**」→　サービスを開始しています。停止したい場合は[**停止**]**ボタン**を押して下さい。
サービスの動作中は OPI サービスの設定を変更することはできません。
設定を変更したい場合はサービスを停止させて下さい。

■「**停止**」→　サービスは停止しています。開始したい場合は[**開始**]**ボタン**を押して下さい。

■「**動作不可**」→ サービスに関し何らかのトラブルが発生しています。

この画面での操作はできません。画面を終了して下さい。

「OPI 登録」

OPI に登録されている高解像度画像のファイル数を表示します。

[OPI 登録ファイル消去]ボタン

OPI に登録されている高解像度画像ファイルを全て消去します。

確認のため「OPI 登録ファイルを全て消去します。」というメッセージが出ますので、消去したい場合は「はい」、したくない場合は「いいえ」を選択して下さい。

「使用ディスク」、「空きディスク」

OPI登録されているファイルのディスク総使用容量と、OPI登録に使用出来るディスクの残り容量をメガバイト単位で表示します。

「出力イメージ」

「フォーマット」

■「TIFF」を指定した場合

- JPEG,TIFF ファイルを登録すると、TIFF フォーマットの低解像度ファイルが作成されます。
- EPS ファイルを登録すると、EPS フォーマットの低解像度ファイルが作成されます。

■「EPS」を指定した場合

- JPEG,TIFF ファイルは登録できません。EPSファイルを登録すると、EPSフォーマットの低解像度ファイルが作成されます。

「縮小サイズ」

OPI機能により出力される編集用イメージファイル（低解像度画像）の縮小サイズを長い方の辺の画素数で入力します。

（100 ～ 2000 の間の整数値で入力して下さい）

メッセージバー

OPI サービスに関する DS Magic の状況をメッセージ表示します。

■ DS Magic がサービス開始準備中→「サービスの開始中です。しばらくお待ちください」

■ DS Magic がサービス停止準備中→「サービスの停止中です。しばらくおまちください」

■ DS Magic が OPI 登録ファイル、色調整済ファイルを消去中→

「ファイルの消去中です。しばらくおまちください」

メッセージの表示中は処理中です。操作を行わないようにして下さい。

フォントダウンロードタブ

フォントダウンロードサービスを操作します。このタブの操作が出来るのはこのタブの操作が出来るのは DS Magic をインストールした OS 上で管理者 (Adminstrators) 権限を持って登録されているユーザーの方のみです。管理者権限については OS のマニュアルをお読み下さい。

ボックスに現在のフォントダウンロードサービスの状況が表示されます。
そのメッセージを読んで、サービスの操作を行って下さい。

メッセージの種類

■「フォントダウンロードサービスが開始出来ます。」→
　サービスを開始したい場合は、**[開始]ボタン**を押して下さい。

■「印刷中のジョブが残っています。フォントダウンロードサービスは開始できません。」→
　印刷終了を待つか、印刷状況ウィンドウでドキュメントをすべて削除して下さい。

■「フォントダウンロードサービスは作動しています。プリンタ名は「DSMAG000FD」（000 はインストール時に設定した 3 桁の識別番号）です。」→
　フォントダウンロードサービスは作動しています。
　フォントに付属のダウンローダーを使用してフォントのダウンロードを行って下さい。
　サービスを停止させる場合は**[停止]ボタン**を押して下さい。

フォントダウンロードサービスが作動している間に印刷指示が出されたドキュメントは、サービスが終了するまで待機中になり、サービス停止とともに自動的に印刷が再開されます。

注意

サービスを停止するときには、はじめにクライアント PC からのフォントダウンロード処理が行われていないことを確認して下さい。フォントのダウンロード処理中にサービスを停止すると RIP に誤動作が発生することがあります。

ドロッププリント

ドロップフォルダ設定

ドロッププリント機能を使うためのドロップフォルダの作成や削除を行います。

DS Magic スタート画面から[ドロッププリント]を押すと開きます。

「印刷出力」「レイアウト設定」

ドロッププリントが指定された時のドキュメントの出力先を選びます。

■　**レイアウト設定をするために DS Magic にスプールしたい場合**

→「レイアウト設定」を選択します。

この場合、作成したドロップフォルダにファイルを入れても、「直接」印刷されません。一旦サーバにスプールされますのでスタート画面より[印刷設定]ボタンで「オプション設定ウィンドウ」を開き、そのファイルをドキュメント選択ダイアログで配置して各種オプションの設定を行って下さい。

■　**プリンタで直接印刷したい場合**

→「印刷出力」を選択し、以下の項目を設定して下さい。

この場合は、作成したドロップフォルダにファイルを入れるとすぐにプリンタに印刷されますので、印刷に関する設定はあらかじめこの画面でしておく必要があります。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

プリンタ

印刷に使用する「プリンタ」「解像度」「インク」「メディア」「四辺フチなし」「用紙種類」「用紙トレイ」「印刷方向」「多階調処理」を選択します。

この選択に基づき、DS Magic が自動的にプリンタプロファイルを決定します。

■ 「印刷枚数」…印刷したい枚数を入力して下さい。

■ 「四辺フチなし」…四辺フチなしで印刷を行います。このチェックボックスのほかに、プリンタのパネル設定が必要です。
（「第１０章　添付資料」の「DS Magic 対応プリンタ」を参照して下さい）

四辺フチなし」のチェックボックスは、四辺フチなし対応のプリンタのときのみに表示されます。 非対応のプリンタでは表示されません。

■ 「用紙トレイ」…用紙トレイを選択します。
自動、手差し、カセット１、カセット２の項目が選択可能です 。

「用紙トレイ」の項目は、用紙選択が可能なプリンタを選択しているときのみ表示されます。

用紙サイズ

■ 定型サイズの用紙に印刷したい場合

「用紙サイズ」

DS Magic に登録可能なプリンタで使うことの出来る用紙のサイズが一覧表示されます。自分が使いたい用紙のサイズを選択します。

「幅」、「高さ」

選択した用紙サイズに応じた幅、高さの数値が表示されます。

（表示の単位を「mm」「inch」「point」から選択出来ます。）

プリンタと解像度の選択によって使用可能な最大印刷用紙が変化します。

■ 定型サイズ以外の用紙に印刷したい場合

「幅」、「高さ」

印刷したい用紙の幅、高さを入力して下さい。

（表示の単位を「mm」「inch」「point」から選択出来ます。）

「用紙サイズ」

自動的に「カスタム」と表示されます。

スケーリング

印刷する際のドキュメントの拡大、縮小について指定します。

■「しない」

拡大、縮小せずそのまま印刷

「スケール」数値は表示されません（入力すると自動的に「カスタム」に切り替ります）。

■「用紙に合わせる」

縦横等倍で、用紙に印刷出来る最大のサイズに拡大、縮小します。

「スケール」数値は表示されません（入力すると自動的に「カスタム」に切り替ります）。

■「カスタム」

「スケール」に表示されているサイズに拡大、縮小します。

「スケール」に数値を入力して下さい。

■ 用紙中央印刷

「スケール」に表示されているサイズに拡大、縮小し、用紙の中央に印刷します。

階調方式

■ 誤差拡散方式で印刷したい場合

→「誤差拡散方式を選択し、誤差拡散の種類を選択して下さい。

- 「グラフィック用」

  強い濃淡差が存在する、グラフィック系のドキュメント印刷時に選択します。

- 「イメージ用」

  写真などの、イメージ系のドキュメント印刷時に選択します。

- 「高速用」

  1200dpi 以上の高解像度で高速印刷する場合に選択します。

■ ハーフトーンスクリーン方式で印刷したい場合

→「ハーフトーンスクリーン方式」を選択し、スクリーンの種類を次の 2 種類から選択して下さい。

- 「Traditional」
- 「Enhanced」

印刷方法

印刷方法についての指定をします。次の２種類から選んで下さい。

■「RIP 同時印刷」… RIP しながら印刷を行ないます。

■「RIP 後印刷」… すべての RIP を終了してから印刷を行ないます。
RIP 同時印刷に比べて印刷開始までの時間が長くなりますが、安定した品質が得られます。
但し、1 ページドキュメントの一部印刷しか対応していません。

補間方式

補間方式についての指定をします。次の５種類から選んで下さい。※

■「自動選択」…ドキュメントに最適な補間方式を自動で選択します。

■「最近傍法補間」…最近傍法補間でドット間を補います。

■「線形補間」…線形補間でドット間を補います。

■「双 3 次補間」…双３次補間でドット間を補います。

■「BR-interpolation」…独自の補間方式でドット間を補います

特に指定がない場合は、「自動選択」にしておくことをおすすめします。

OPI 印刷

OPI 印刷についての指定をします。次の３種類から選んで下さい。

■「OPI 印刷しない」…OPI 印刷機能を使いません。

■「低解像度を使う」…OPI 登録されている低解像度画像を使って印刷します。

■「高解像度を使う」…OPI 登録されている高解像度画像を使って印刷します。

オーバープリント

オーバープリント形式で印刷したい時には、チェックボックスをチェックして下さい。

オーバープリント形式で印刷するためには、オーバープリント機能に対応しているアプリケーションにてデータを作成しておく必要があります。

ネスティング

ネスティング印刷の設定を行います。

用紙を有効利用するため、連続してドロップされたファイルを用紙の横幅に配置可能な分だけ自動的に配置して印刷します。

横方向に配置できなくなると、または最後にドロップしてから「ネスティングのタイムアウト」で設定した時間が経過すると印刷が開始されます。

■「ネスティングする」…チェックするとネスティング処理を行います。

■「ネスティングのタイムアウト」…タイムアウト値を設定します。

注意

以下の場合、ネスティング機能は利用できません。

■「スケーリング」で、「用紙に合わせる」または「用紙中央印刷」を選択している場合

■「トリミングする」を選択している場合

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

トリミング

ドキュメントのトリミング領域を設定します。

トリミングする領域の左上の座標と、幅と高さを指定します。

幅または高さが０のときは、左上の座標のみ指定したことになります。

色調整方法

色調整方法についての指定をします。次の３種類から選んで下さい。

■「色調整しない」

「色変換」「色調調整」「階調調整」「インク総量規制」を無効にします。

ただし、RGB → CMYK 変換、K → CMY 変換、CMYK → CMYKLcLm 変換、キャリブレーションは実行されます。

■「自動設定」

環境設定ツールのカラーマネージャタブの設定に従って色調整を行ないます。

環境設定ツールにおいて「色調整パラメータを自動変更」がチェックされていない場合、またはデフォルトの変換方式に「プルーフ変換」「デバイスリンク変換」を選択した場合は、印刷できない場合があります。

■「色調整ファイル優先」

指定された色調整ファイルの設定に従って印刷を行ないます。

色調整ファイル

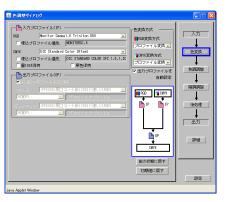
保存されている色調整ファイルを指定します。色調整方法で「色調整ファイルを使用」が選択された場合に指定された色調整ファイルの設定に従って印刷されます。

■ [新規]ボタン…色調整ファイルを新規に作成します。初期値は環境設定ツールのカラーマネージャの設定に従います。

■ [編集]ボタン…選択されている色調整ファイルを編集します。

新規、編集ボタンを押すと、色調整ダイアログが開きます。

色調整ファイルを作成する場合には、色調整ダイアログの[保存]ボタンを押します。すると色調整ファイル保存ダイアログが開きますので、そこで名前を付けて[保存]ボタンを押します。

色調整ファイルを作成しないときには、[閉じる]ボタンを押して、色調整ダイアログを閉じます。

印刷時のオプション
「枠を付ける」、「トンボを付ける」、「ミラー印刷する」する場合はチェックします。
回転印刷する場合は、回転方法を選択します。

テキストの貼付
「レイアウト:ラベル」タブの説明を参照して下さい。

ドキュメントの貼付
予めドキュメントを登録しておき、そのドキュメントをラベルとして印刷します。
貼付したい場合はチェックし、貼付位置を指定して下さい。

> **注意**
>
> 「スケーリング」で、「用紙に合わせる」または「用紙中央印刷」を選択している場合は、「テキストの貼付」および「ドキュメントの貼付」機能は利用できません。
> また、貼付ドキュメントは本体ドキュメントと同じ誤差拡散方式で印刷されます。
> 但し、本体ドキュメントがハーフトーンスクリーン方式で指定されている場合は、グレーアウト表示されている誤差拡散方式で印刷され、ハーフトーンスクリーン方式では印刷されません。

1Bit TIFF 入力対応
1Bit TIFF ファイルを受け取り、指定された出力品質の滑らかさに従って印刷する場合にチェックします。
チェックした場合、通常のドロップフォルダで対応しているファイル形式に加えて、1Bit TIFF ファイルをドロップフォルダで受け取ることが可能になります。
対応フォーマットは以下の通りです。
　非圧縮、PackBits 圧縮、G3 圧縮、G4 圧縮、LZW 圧縮

線数
スクリーン線数を入力します。
単位は１インチあたりの線数（lpi=line per inch）です。

中間解像度
デスクリーニングの際の解像度を指定します。
中間解像度を上げると、より精細なデスクリーニングが行えますが、上げ過ぎると処理時間がかかります。
プリンタの解像度に対して半分を目安に設定して下さい。

平滑化レベル

印刷結果の平滑化のレベルを「硬調」、「やや硬調」、「標準」、「やや軟調」、「軟調」から選択します。

印刷結果をよりシャープの効いた状態にする場合は「やや硬調」「硬調」を選択して下さい。一方、印刷結果をより滑らかな状態にする場合は「やや軟調」「軟調」を選択して下さい。

ジョブタイプ

ドロップフォルダで受け付ける 1Bit TIFF ファイルの名前の種類を指定します。

DS Magic では 1Bit TIFF のファイル名を参照することで、そのファイルが C,M,Y,K のどの版か、そしてどのファイルを組み合わせて合成するかを判断します。

詳細は後述する《ファイル名の規則》を参照してください。

各版ごと出力

1Bit TIFF ファイルを各版ごとに印刷する場合はチェックします。

チェックを外した場合は「入力版設定」でチェックされている版を使って、合成して印刷します。

入力版設定

1Bit TIFF の入力として使用する版をチェックします。

使用しない版はチェックを外して下さい。

但し、少なくともいづれか 1 つの版はチェックしておく必要があります。

また、「各版ごと出力」をチェックした場合は、「入力版設定」は無効になります。

墨単色出力

「各版ごと出力」をチェックした時、入力された 1Bit TIFF データのカラースペースに関係なく常に K 版として印刷したい場合にチェックします。

従って、この場合に限って C,M,Y,K 以外のカラースペースを持つ 1Bit TIFF ファイルを受け付けます。

チェックを外した場合は、入力ファイル名に応じた版で印刷します。

また、「各版ごと出力」のチェックがない場合は、「墨単色出力」は無効になります。

注 意

「墨単色出力」をチェックした場合であっても、DS Magic の色変換によって印刷はコンポジットの K で出力されます。そのため Black インクだけで印刷したい場合には、専用の色調整ファイルを作成する必要があります。

- ■ ドロップフォルダの「色調整ファイル」の[新規]を押し、色調整ダイアログの[詳細]を選択します。
- ■ 「色変換を有効にする」と「K を CMY に変換する処理を有効にする」のチェックを外して色調整ファイルを作成します。
- ■ ドロップフォルダの「色調整ファイル」で、作成した色調整ファイルを選択してドロップフォルダを作成します。

これで、Black インクだけを使った印刷が可能となります。

《ファイル名の規則》

各ジョブタイプにおいて、受け付け可能なファイル名の規則と、その場合の出力ファイル名（印刷ログに記録されるファイル名）について解説します。

各ジョブタイプの説明の前に命名規則を表す記号を定義します。

■ string:1 文字以上の任意の文字列を表します。

■ number:10 桁まで半角数字を表します。

■ ext :拡張子を表します（半角ピリオドを含みます）。

■ color :色識別文字を表します。

　次の文字列に対応しています。

- c, cyan, シアン
- m, magenta, マゼンタ
- y, yellow, イエロー
- k, black, b, ブラック

但し、アルファベットは半角、大 / 小文字に対応、カタカナは全角文字のみに対応。

■ sep :区切り文字を表します。

　次の区切文字に対応しています。

　_-()[]{}

以下の説明において、DS Magic で必須な文字に関しては上記の記号を[]で囲み、DS Magic で付加可能な文字に関しては上記の記号を <> で囲んで表現することとします。

例えば、[string][color]<ext> と書いた場合、

[string]と[color]は必須で、“nameC.tif”、“名前 cyan”などの文字列を意味します。

DS Magicでは「各版ごと出力」がOFFの場合、色識別文字以外がすべて一致した場合のみ同一のジョブと判断して処理を行います。

先程の例で言うと、

nameC.tif、nameM.tif、nameY.tif、nameK.tif を一組として

名前 cyan、名前 magenta、名前 yellow、名前 black を一組として、

４つのファイルを一つのジョブとして処理します。

（「入力版設定」ですべてをチェックした場合）

■「通常タイプ」

以下のような命名規則の 1Bit TIFF ファイルを受け取ります。

[string][color]<number><ext>

又は

<string>[color][number]<ext>

対応する出力ファイル名は次のようになります。

[string]<number><ext>

又は

<string>[number]<ext>

ドロップフォルダで受け取り可能なファイル名と、対応する出力ファイル名の例を以下に挙げます。

(受取可能ファイル名)	→	(出力ファイル名)
nameC00.tif	→	name00.tif
nameMagenta	→	name
Yellow0123456789.tif	→	0123456789.tif
名前ブラック 00.tif	→	名前 00.tif

■「区切文字タイプ」

以下のような命名規則の 1Bit TIFF ファイルを受け取ります。

[string1][sep][color][sep]<string2><ext>

又は

<string1>[sep][color][sep][string2]<ext>

対応する出力ファイル名は次のようになります。

[string1]<string2><ext>

又は

<string1>[string2]<ext>

ドロップフォルダで受け取り可能なファイル名と、対応する出力ファイル名の例を以下に挙げます。

(受取可能ファイル名)	→	(出力ファイル名)
name[C]00.tif	→	name00.tif
name-magenta-	→	name
(yellow)name.tif	→	name.tif
名前 { ブラック }.tif	→	名前 .tif
_C_name	→	name

■「拡張子タイプ」

以下のような命名規則の 1Bit TIFF ファイルを受け付けます。

[string].[color]

対応する出力ファイル名は次のようになります。

[string].tif

ドロップフォルダで受け取り可能なファイル名と、対応する出力ファイル名の例を以下に挙げます。

（受取可能ファイル名）	→	（出力ファイル名）
name00.c	→	name00.tif
name.magenta	→	name.tif
名前 . ブラック	→	名前 .tif

[フォルダ一覧] ボタン

「ドロップフォルダ一覧ダイアログ」が開き、既存のドロップフォルダの一覧を表示します。

ドロップフォルダの削除もこのダイアログからおこないます。

[フォルダ作成] ボタン

「ドロップフォルダ作成ダイアログ」が開きますので、そこでフォルダを作成して下さい。

[終了] ボタン

ドロッププリントの設定を終了し、ウィンドウを閉じます。

ドロップフォルダ作成

「ドロップフォルダ設定」画面で、[フォルダ作成]を押してドロップフォルダ作成ダイアログを表示させ、ドロップフォルダの作成と詳細の確認を行います。

[フォルダ名]

すでに作成されているドロップフォルダ名

[短縮名]

各ドロップフォルダに付けられている短縮名

Windows 系のクライアントの場合、この名前がドロップフォルダ名として表示されます。

[オーナー]

ドロップフォルダを作成したユーザの名前

[日付　時間]

ドロップフォルダが作成された日付と時間

[更新]ボタン

強制的にリストのデータを更新出来ます。

サーバからのデータ受信中に★マークが表示されます。

[フォルダ詳細]ボタン

選択されているドロップフォルダの内容を表示します。

[作成]ボタン

ドロップフォルダを作成します。

[閉じる]ボタン

ドロップフォルダを作成せずに、このダイアログを閉じます。

■ ドロップフォルダを作成したい場合

- ドロップフォルダのボックスに作成するフォルダ名を英数字 27 文字(全角 13 文字)以内で入力し、**[作成]ボタン**を押して下さい。「短縮名入力ダイアログ」がオープンします。

- 短縮名を変更したい場合→短縮名を入力し、**[決定]ボタン**を押して下さい。
- 短縮名を変更しない場合→そのまま**[決定]ボタン**を押して下さい。
- 新しいドロップフォルダが作成され、「ドロップフォルダ作成ダイアログ」は終了します。

注意

《フォルダ名・短縮名に関する注意》

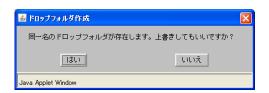
ドロップフォルダ名の先頭あるいは末尾に空白文字は使用できません。

以下の文字も使用できませんのでご注意下さい。

|　\　/　:　*　?　<　>

短縮名は英数字 12 文字(全角 6 文字)以内で入力して下さい。

■ 同じドロップフォルダ名に上書きしたい場合

上書きしたいドロップフォルダ名を選択して、「作成」を押して下さい。

「同一名のドロップフォルダが存在します。上書きしてもいいですか？」のメッセージが開きます。上書きするときには[はい]を、しないときには[いいえ]を押して下さい。

■ **既存のドロップフォルダの詳細を確認したい場合**

詳細を見たいドロップフォルダ名をクリックし、[**フォルダ詳細**]**ボタン**を押して下さい。
「ドロップフォルダ詳細ダイアログ」がオープンし、ドロップフォルダに設定した情報が確認出来ます。

ドロップフォルダ一覧表示

「ドロップフォルダ設定」画面で、[フォルダ一覧]を押してドロップフォルダ一覧ダイアログを表示させ、ドロップフォルダの詳細の確認、オープン、削除を行います。

[フォルダ名]

すでに作成されているドロップフォルダ名

[短縮名]

各ドロップフォルダに付けられている短縮名

Windows 系のクライアントの場合、この名前がドロップフォルダ名として表示されます。

[オーナー]

ドロップフォルダを作成したユーザの名前

[日付　時間]

ドロップフォルダが作成された日付と時間

[更新]ボタン

強制的にリストのデータを更新出来ます。

サーバからのデータ受信中に★マークが表示されます。

[フォルダ詳細]ボタン

詳細を見たいドロップフォルダ名をクリックすると、選択されたドロップフォルダ名がドロップフォルダのボックスに表示されます。

フォルダ名を確認し、**[詳細]ボタン**を押して下さい。「ドロップフォルダ詳細ダイアログ」がオープンしドロップフォルダに設定した情報が確認出来ます。

[開く]ボタン

オープンしたいドロップフォルダ名をクリックすると、選択されたドロップフォルダ名がドロップフォルダのボックスに表示されます。

フォルダ名を確認し、**[開く]ボタン**を押して下さい。「ドロッププリント設定ウィンドウ」がオープンし、フォルダの内容がドロップフォルダ設定ウィンドウに読み込まれます。ここでの操作はパラメータの内容をウィンドウに読み込むのみで、オープンしたドロップフォルダに影響を与えません。

[削除]ボタン

削除したいドロップフォルダ名をクリックすると、選択されたドロップフォルダ名がドロップフォルダのボックスに表示されます。

フォルダ名を確認し、**[削除]ボタン**を押して下さい。選択されているフォルダが削除されます。

[閉じる]ボタン

ドロップフォルダ一覧ダイアログを閉じ、作業を中止します。

ログ管理

RIP の使用状況を見るための作業を行います。

スタート画面から[ログ管理]ボタンを押すと「ログ管理ウィンドウ」が現れます。このウィンドウでは次の内容を表示します。

- ■ プリントログ
- ■ 設定ファイルログ
- ■ OPI ログ
- ■ エラーログ
- ■ ドロッププリントログ
- ■ FTP ツールログ

プリントログ

[プリント]を押すとプリントログ画面が表示されます。

「プリントログ画面」はアプリケーションからのドキュメント送信あるいは DS Magic での印刷のログを表示します。

日付	時間	ユーザー	種別	ジョブ名	結果	出力デバイス	横幅長	縦幅長	印刷枚数
2007/12/07	11:53:57	SYSTEM	V	WS0001.BMP	正常				
2007/12/07	11:54:01	SYSTEM	V	WS0003.BMP	正常				
2007/12/07	11:54:05	SYSTEM	V	WS0004.BMP	正常				

「日付」

印刷された日付(年月日)

「時間」

印刷された時間(時分秒)

「ユーザー」

アプリケーションからのドキュメント送信の場合→

Windows では Windows へのログイン名を表示

Macintosh ではマシン名を表示

DS Magic での印刷の場合→

Web ブラウザで DS Magic へログインした時のログイン名を表示

以下の場合は例外として次のように表示されます。

■ ドロップフォルダを使ったドキュメント送信→

Windows、Macintosh 関係なく「SYSTEM」と表示

■ アプリケーションからの直接印刷→

アプリケーションからのドキュメント送信の場合と同じユーザー名

「種別」

「V」…サーバにドキュメント送信

「L」…プリンタで印刷

「ジョブ名」

印刷ジョブの名前

「結果」

「正常」…正常に印刷完了

「エラー」…RIP 展開時、または印刷時にエラーが発生

「キャンセル」…印刷の途中でキャンセル

「出力デバイス」

(種別が L の時)出力したプリンタ名

「横幅長」

(種別が L の時)出力した用紙の横幅

「縦幅長」

(種別が L の時)出力した用紙の縦の長さ

「印刷枚数」

(種別が L の時)出力した枚数

[削除]ボタン

プリントログ画面に表示されているログが全て削除されます。

「削除しました」のメッセージが出ます。その文字をクリックするとプリントログ画面に戻ります。

[保存]ボタン

プリントログ画面に表示されているログをローカルディスクに保存します。

保存の手順

■ Windows の場合

（サーバ上及び Windows クライアントから作業を行う場合）

1. ［保存］ボタンにマウスのポイントを合わせ右クリックします。
2. 「対象をファイルに保存」あるいは「リンクを名前をつけて（別名で）保存」を選び保存先を指定します。

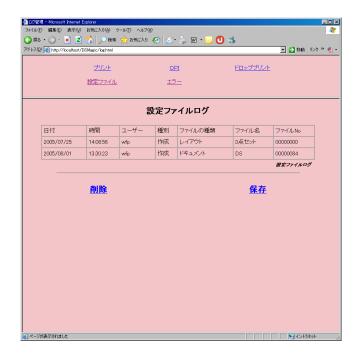
■ Macintosh の場合

（Macintosh クライアントから作業を行う場合）

1. ［保存ボタン］にマウスのポイントを合わせ、そのまましばらく合わせているとポップアップメニューが表示されます。
2. あとは Windows の場合と同様に操作して下さい。

設定ファイルログ

[設定ファイル]を押すと設定ファイルログ画面が表示されます。

「設定ファイルログ画面」はユーザー設定ファイルの保存、削除のログを表示します。

「日付」

設定ファイルが作成 / 削除された日付(年月日)

「時間」

設定ファイルが作成 / 削除された時間(時分秒)

「ユーザー」

作成 / 削除の指示を出したユーザー名

「種別」

次の 2 種類を区別して表示します。

■ 「作成」…ユーザー設定ファイルとして登録されたもの

■ 「削除」…ユーザー設定ファイルから削除されたもの

「ファイルの種類」

次の 4 種類を区別して表示します。

■ 「レイアウト」…レイアウト設定ファイル

■ 「ドキュメント」…ドキュメント設定ファイル

■ 「スクリーン」…スクリーン設定ファイル

■ 「色調整」…色調整ファイル

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

「ファイル名」

ユーザーが設定した設定ファイル名

「ファイル No.」

設定ファイルに設定されたファイル番号

（内部的な値ですので通常は気にしていただく必要はありません。）

[削除]ボタン

設定ファイルログ画面に表示されているログが全て削除されます。

「削除しました」のメッセージが出ます。その文字をクリックすると設定ファイルログ画面に戻ります。

[保存]ボタン

設定ファイルログ画面に表示されているログをローカルディスクに保存します。

保存の手順

■ Windows の場合

（サーバ上及び Windows クライアントから作業を行う場合）

1. [保存]ボタンにマウスのポイントを合わせ右クリックします。
2. 「対象をファイルに保存」あるいは「リンクを名前をつけて（別名で）保存」を選び、保存先を指定します。

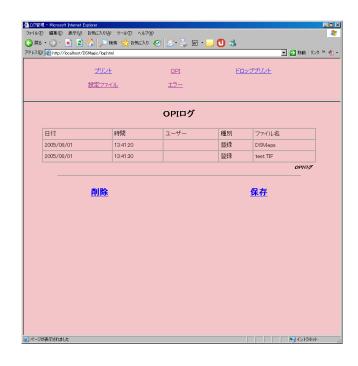
■ Macintosh の場合

（Macintosh クライアントから作業を行う場合）

1. [保存]ボタンにマウスのポイントを合わせ、そのまましばらく合わせているとポップアップメニューが表示されます。
2. あとは Windows の場合と同様に操作して下さい。

OPI ログ

[OPI]を押すと OPI ログ画面が表示されます。

「OPI ログ画面」は OPI 印刷用イメージデータの登録、削除、印刷のログを表示します。

「日付」

OPI イメージが登録 / 削除 / 印刷された、または OPI サービスが開始 / 停止された日付(年月日)

「時間」

OPI イメージが登録 / 削除 / 印刷された、または OPI サービスが開始 / 停止された時間(時分秒)

「ユーザー」

(印刷の時のみ表示)

印刷指示を出したユーザー名

「種別」

次の 6 種類を区別して表示します。

- 「登録」…OPI として登録されたもの
- 「削除」…OPI から削除されたもの
- 「印刷(高)」…高解像度イメージで印刷
- 「印刷(低)」…低解像度イメージで印刷
- 「開始」…OPI サービスを開始
- 「停止」…OPI サービスを停止

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

「ファイル名」

登録や削除をした“ファイル名”を表示。

印刷に“使用したイメージデータのファイル名”を表示。

サービスの開始や停止は“サービス”と表示

［削除］ボタン

OPI ログ画面に表示されているログが全て削除されます。

「削除しました」のメッセージが出ます。その文字をクリックすると OPI ログ画面に戻ります。

［保存］ボタン

OPI ログ画面に表示されているログをローカルディスクに保存します。

保存の手順

■ Windows の場合

（サーバ上及び Windows クライアントから作業を行う場合）

1. ［保存］ボタンにマウスのポイントを合わせ右クリックします。
2. 「対象をファイルに保存」あるいは「リンクを名前をつけて（別名で）保存」を選び、保存先を指定します。

■ Macintosh の場合

（Macintosh クライアントから作業を行う場合）

1. ［保存］ボタンにマウスのポイントを合わせ、そのまましばらく合わせているとポップアップメニューが表示されます。
2. あとは Windows の場合と同様に操作して下さい。

エラーログ

[エラー]を押すとエラーログ画面が表示されます。

「エラーログ画面」はシステムエラーのログを表示します。

「日付」

エラーが発生した日付(年月日)

「時間」

エラーが発生した時間(時分秒)

「ユーザー」

エラーが発生した動作を指示したユーザー名

システムで判別できない場合はブランクになることもあります。

「種別」

次の 2 種類を区別して表示します。

■ 「警告」

正常な動作は実行できませんでしたが、システムのデフォルト設定を利用することにより動作は継続し終了しました。ただし、この場合アウトプットがユーザー設定と異なったものになることもあります。

■「エラー」

動作が正しく終了しませんでした。

「モジュール」

エラーが発生したモジュール名

「概要」

エラーの概要

[削除]ボタン

エラーログ画面に表示されているログが全て削除されます。

「削除しました」のメッセージが出ます。その文字をクリックするとエラーログ画面に戻ります。

[保存]ボタン

エラーログ画面に表示されているログをローカルディスクに保存します。

保存の手順

■ Windows の場合

（サーバ上及び Windows クライアントから作業を行う場合）

1. [保存]ボタンにマウスのポイントを合わせ右クリックします。
2. 「対象をファイルに保存」あるいは「リンクを名前をつけて（別名で）保存」を選び、保存先を指定します。

■ Macintosh の場合

（Macintosh クライアントから作業を行う場合）

1. [保存]ボタンにマウスのポイントを合わせ、そのまましばらく合わせているとポップアップメニューが表示されます。
2. あとは Windows の場合と同様に操作して下さい。

ドロッププリントログ

「ドロッププリント」を押すとドロッププリントログ画面が表示されます。

「ドロッププリントログ画面は」ドロップフォルダの作成、削除、印刷のログを表示します。

「日付」

ドロップフォルダが作成 / 削除されたり、ドロップフォルダを使って印刷された日付

「時間」

ドロップフォルダが作成 / 削除されたり、ドロップフォルダを使って印刷された時間

「ユーザー」

（ドロップフォルダの作成 / 削除の時のみ表示）

作成 / 削除の指示を出したユーザー名

「種別」

次の 3 種類を区別して表示します。

■ 「作成」…ドロップフォルダとして作成されたもの

■ 「削除」…ドロップフォルダから削除されたもの

■ 「印刷」…ドロップフォルダを使い印刷されたもの

「ファイル名」

ドロッププリントされたファイル名

（印刷の時のみ表示）

「フォルダ名」

印刷に使用されたドロップフォルダ名

「フォルダ No.」

ドロップフォルダに設定されたフォルダ番号

（内部的な値ですので通常は気にしていただく必要はありません。）

［削除］ボタン

ドロッププリントログ画面に表示されているログが全て削除されます。

「削除しました」のメッセージが出ます。その文字をクリックするとドロップブリントログ画面に戻ります。

［保存］ボタン

ドロップブリントログ画面に表示されているログをローカルディスクに保存します。

保存の手順

■ Windows の場合

（サーバ上及び Windows クライアントから作業を行う場合）

1. ［保存］ボタンにマウスのポイントを合わせ右クリックします。
2. 「対象をファイルに保存」あるいは「リンクを名前をつけて（別名で）保存」を選び、保存先を指定します。

■ Macintosh の場合

（Macintosh クライアントから作業を行う場合）

1. ［保存］ボタンにマウスのポイントを合わせ、そのまましばらく合わせているとポップアップメニューが表示されます。
2. あとは Windows の場合と同様に操作して下さい。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

FTP ツールログ

このログは FTP ツールがインストールされているときのみ表示可能です。

「FTP ツール」を押すと FTP ツールログの画面が表示されます。

「FTP ツールログ画面」は FTP ツールの動作状況ログを表示します。

「日付」「時間」

FTP ツールでファイルが転送された時間、設定変更した時間、エラーが発生した日時を表示します。

「ファイル名」

転送したファイルのファイル名を表示します。「FTP 環境設定登録」の時には FTP 環境設定が変更されたことを示します。

「設定名」

転送したファイルがどの設定で転送されたかを示します。

または、どの設定においてエラーが発生したかを示します。

「種別」

正常、エラーの種別を表示します。

「概要」

エラーのときにそのエラーの説明を表示します。

[削除]ボタン

FTP ツールログ画面に表示されているログが全て削除されます。

「削除しました」のメッセージが出ます。その文字をクリックすると FTP ツールログ画面に戻ります。

[保存]ボタン

FTP ツールログ画面に表示されているログをローカルディスクに保存します。

保存の手順

■ Windows の場合

（サーバ上及び Windows クライアントから作業を行う場合）

1. ［保存］ボタンにマウスのポイントを合わせ右クリックします。
2. 「対象をファイルに保存」あるいは「リンクを名前をつけて（別名で）保存」を選び、保存先を指定します。

■ Macintosh の場合

（Macintosh クライアントから作業を行う場合）

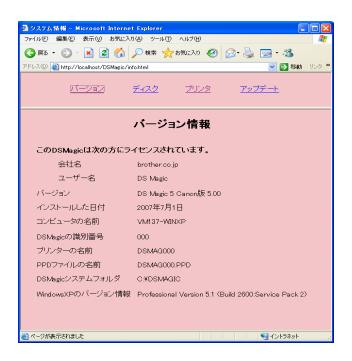
1. ［保存］ボタンにマウスのポイントを合わせ、そのまましばらく合わせているとポップアップメニューが表示されます。
2. あとは Windows の場合と同様に操作して下さい。

システム情報

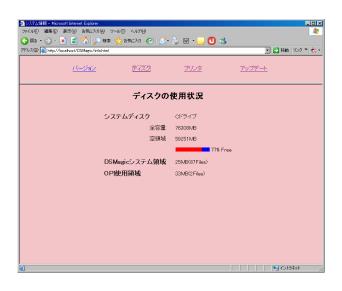
スタート画面から[システム情報]ボタンを押すと「システム情報ウィンドウ」が現れます。
このウィンドウでは次の内容を表示します。

■ バージョン情報
■ ディスクの使用状況
■ プリンター一覧
■ アップデート情報

バージョン情報

[バージョン]を押すとバージョン情報の画面が表示されます。
DS Magic のインストール情報を表示します。

ディスクの使用状況

[ディスク]を押すとディスクの使用状況の画面が表示されます。

DS Magic がインストールされているディスクとプリントスプールに設定されているディスクなどの使用状況を表示します。

プリンター覧

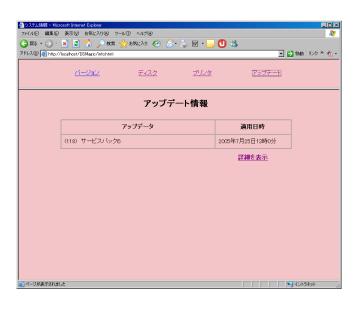
[プリンタ]を押すとプリンター覧の画面が表示されます。

インストールされているプリンタの情報を表示します。最大印字幅や印刷方向設定の対応の可否、解像度、インク、メディアを表示します。

また印刷可能な解像度､インク､メディアの組み合わせを対応表として表示します。

アップデート情報

[アップデート]を押すとアップデート情報の画面が表示されます。

逐次リリースされる不具合修正や機能追加のためのアップデータの適用履歴を表示します。

設定ファイル保存

スタート画面から[設定ファイル保存]ボタンを押すと「設定ファイル保存ウィンドウ」が現れます。サーバ管理者がシステムを初期化する場合のバックアップをとったり、他のサーバ環境で設定ファイルを使う場合に開きます。

ユーザー設定ファイルには以下の 4 種類があります。

■「レイアウト設定ファイル」

■「ドキュメント設定ファイル」

■「色調整ファイル」

■「スクリーン設定ファイル」

このうち

■「ドキュメント設定ファイル」

■「色調整ファイル」

■「スクリーン設定ファイル」

の 3 種類に関してはクライアント PC のローカルディスクに保存し、さらに一旦保存したファイルをサーバにリストアする（戻す）ことが出来ます。

それぞれの項目がボタンになっているので、見たい項目を直接押して選びます。

ファイルの保存とリストア

ユーザー設定ファイルのローカルディスクへの保存、またサーバへのリストアは、どのユーザー設定ファイルも同じ方法で行うため、以下にその共通手順を説明します。

■ ローカルディスクへの保存方法

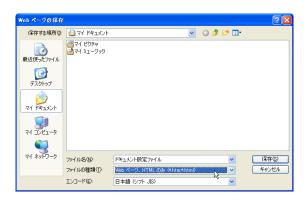
1. [ドキュメント設定][スクリーン][色調整]をクリックすると、それぞれのユーザー設定ファイルの一覧が表示されます。
2. 保存したい設定ファイル名をクリックするとファイル保存 & リストア画面がオープンします。

ここでも、基本的な操作方法がわかるよう保存やリストアの手順、また使い方のヒントが書かれています。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

3. **保存する方法は通常のホームページをファイルとして保存する方法と同じです。**

次の要領にそって保存して下さい。

- ファイルメニューから「名前をつけて保存」を選びます。
- ダイアログがオープンします

「ファイルの種類」→「HTML ファイル」

「保存する場所」→「保存したいフォルダ」

「ファイル名」→拡張子（.html）をつける

ファイルを保存する際は必ず HTML 形式で保存して下さい

- 設定が終わったら[保存]を押します。

■ **サーバへのリストア方法**

1. **Web ブラウザから DS Magic を起動させます。**
2. - **Windows の場合**

     ファイルメニューから「ファイルを開く」を選び、リストアしたい HTML ファイル（ローカルディスクに保存した設定ファイル）を開きます。

   - **Macintosh の場合**

     ファイルメニューから「ブラウザでファイルを開く」を選び、リストアしたい HTML ファイル（ローカルディスクに保存した設定ファイル）を開きます。

3. **ローカルディスクへの保存時にオープンしたファイル保存 ＆ リストア画面が表示されます。**

表示されたファイル名が、サーバ上に設定ファイル名として保存されますのでもし変更したい場合は変更して下さい。

4. 画面上部にある[リストア]を押して下さい。

- リストアが完了すると、「ドキュメント(スクリーン、色調整)設定ファイルを保存しました」というメッセージが表示されます。これでリストアは完了です。
- サーバ上にすでに同一名の設定ファイルが存在する場合は、「同名のファイルがあります」と表示されますので、名前の変更を行って下さい。

■ 以前のサーバ PC とは異なるサーバ PC にリストアしたい場合
リストアしたいサーバPCと異なる PC 上でリストア作業を行う場合のみ、以下の作業を行って下さい。

- 保存した HTML ファイルをテキストエディタ等でオープンします。
- 冒頭部分にある
  <FORM action=http://localhost:80/scripts/CADSave.exe METHOD=POST>
  を、以下のように変更します。
  <FORM action=http:// リストアしたいサーバ PC 名 :80/scripts/CADSave.exe METHOD=POST>
  もしくは、
  <FORM action=http:// リストアしたいサーバ PC の IP アドレス :80/scripts/CADSave.exe METHOD=POST>

■ 以前の設定ファイル名とは異なる名前でリストアしたい場合には、リストア時に「設定ファイル名」の欄に表示されている名前を変更して下さい。ローカルディスクに保存する際に変更しても、その名前は反映されませんのでご注意下さい。

第 7 章

便利な使い方

カラープロファイルを使った印刷

カラープロファイル

RGB、CMYKの入力データは、標準的な色（Lab、XYZ）への変換を介して意図した色に変換され、プリンタに出力されます。その変換手続きを定義したファイルを「カラープロファイル」と呼んでいます。
「カラープロファイル」は「入力プロファイル」と「出力プロファイル」に大別され、それぞれのファイルを RIP 画面で選択して印刷することにより、モニタに表示されている画像やスキャナで読み取った原稿とプリンタの出力をより近いものに合わせます。
DS Magic には CMYK 入力プロファイルとして、本書の「第１０章　添付資料」-「DS Magic 添付プロファイルについて」に記載のプロファイルが標準登録され、出力プロファイルとして、対応したメディアに対するプロファイルが標準登録されています。

カラープロファイルの登録

標準登録以外の「カラープロファイル」をご使用登録になりたい場合は、DS Magic に ICC 準拠のカラープロファイルを追加登録していただく必要があります。

Windows クライアントの場合

1. DS Magic のインストールされたコンピュータの共有フォルダを開きます。

標準的な設定の Windows Vista の場合
「スタート」メニューから「ネットワーク」をクリックします。
表示されるコンピュータの一覧から、DS Magic のインストールされたコンピュータを開きます。

■ 標準的な設定の Windows XP の場合
「スタート」メニューから「マイネットワーク」をクリックして「マイネットワーク」ウインドウを開きます。
さらに「ネットワークタスク」の「ワークグループのコンピュータを表示する」をクリックして表示されるコンピュータの一覧から、DS Magic のインストールされたコンピュータを開きます。

■ その他の Windows の場合
デスクトップから「ネットワークコンピュータ」を開き、DS Magic のインストールされたコンピュータを開きます。

2. DS Magicのインストールされたコンピュータのフォルダ一覧の中から「ColorProf」を開きます。
3. その中に登録したいカラープロファイルのファイルをコピーします。

ファイル名に全角（日本語）文字の入ったファイルは使用できません。

4. コピーしたカラープロファイルの表示が「ColorProf」フォルダ内から消えたら、フォルダ内の「profilelist.txt」ファイルをテキストエディタで開いて下さい。
先程コピーしたファイルの記述があれば登録完了です。

Macintosh クライアントの場合

1. DS Magic のインストールされたコンピュータの共有フォルダを開きます。

■ MacOS 9.X の Macintosh クライアントの場合
アップルメニューから「セレクタ」を選び、「AppleShare」をクリックします。「ファイルサーバの選択」から DS Magic のインストールされたコンピュータを選び、[ＯＫ]を押します。

■ MacOS X の Macintosh クライアントの場合
Finder の移動メニューから「サーバへ接続･･･」を選び、DS Magic のインストールされたコンピュータを選び、[接続]を押します。

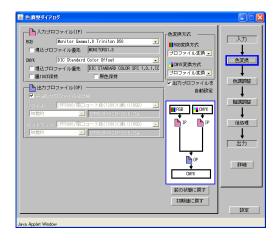
2. DS Magic のインストールされたコンピュータのリストから「ColorProf(000)」を選択し[ＯＫ]を押します。
3. デスクトップ上にできた「ColorProf(000)」フォルダをダブルクリックして開きます。
4. その中に登録したいカラープロファイルのファイルをコピーします。
ファイル名に次の特殊文字、及び全角（日本語）文字の入ったファイルは使用できません。
（￥/ : ＊ ？ ” ＜ ＞ ｜）
5. コピーしたカラープロファイルの表示が「ColorProf(000)」フォルダ内から消えたら、フォルダ内の「profilelist.txt」ファイルをテキストエディタで開いて下さい。先程コピーしたファイルの記述があれば登録完了です。

大切なファイルを「ColorProf」フォルダに移動した場合

DS Magic には Trash（Macintosh では Trash(000)）という専用のごみ箱フォルダが作成されています。「ColorProf」フォルダにカラープロファイル以外のファイルをコピーまたは移動させると、DS Magic はファイルをこのごみ箱に移動させます。ごみ箱に移されたファイルは約 1 時間後に自動的に削除されるまではそこに入ったままになっていますので 1 度中を確認してみて下さい。
まだごみ箱の中に残っていればそこから取り出すことが出来ます。
但し、FAT ファイルシステムでお使いの場合は、システム上の制限のために、ごみ箱フォルダに移動されたファイルはただちに削除されます。

登録したカラープロファイルを使った印刷

■ レイアウト設定して印刷する場合

1. DS Magic を起動して[印刷設定]を押し、印刷するドキュメントを配置します。
2. [ドキュメント]タブを選択し、[色調整]タブを押して[設定]を押します。
3. 「色調整ダイアログ」の[色変換]ボタンを押します。
4. 「色変換方式」で「プロファイル変換」を選択し、登録したカラープロファイルを指定して、[設定]を押します。
5. 印刷します。

■ アプリケーションから直接印刷する場合

アプリケーションからの直接印刷で登録したカラープロファイルを指定するためには、登録したカラープロファイルを使用するように設定された「色調整ファイル」を使用する方法と、「環境設定ツール」で設定して使用する方法があります。

• 「色調整ファイル」を使用する方法

プリンタドライバから保存した色調整ファイルを指定して印刷します。

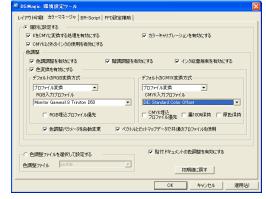
1. 上記「レイアウト設定して印刷する場合」の 1. ～ 4. を実行します。
2. [色調整]タブで[保存]を押し、色調整ファイル名を指定し[保存]を押します。
3. DS Magic のスタート画面にある[管理ツール]を押し、[メンテナンス]タブを選択して[PPD 更新]を押します。

   これにより、PPD ファイルが更新されるため、本書の「第 3 章　印刷する前に」-「PPD ファイルの更新とクライアント PC への登録」を参照して、更新された PPD ファイルをクライアント PC へ登録して下さい。
4. アプリケーションの印刷の設定画面において、「色調整方法」で「色調整ファイルを使用」を選択し、「色調整ファイル」で保存した色調整ファイルを選択して、印刷して下さい。

   PPDファイルに色調整ファイルが 1 つしか登録されていないと、印刷の設定画面に「色調整ファイル」の項目が表示されないことがあります。

- 「環境設定ツール」を使用する方法

  DS Magic で使用する標準的な色調整方法を環境設定ツールで設定しておき、その設定をプリンタドライバから指定して、印刷します。

1. 上記「レイアウト設定して印刷する場合」の 1. ～ 4. を実行します。
2. [色調整]タブで[保存]を押し、色調整ファイル名を指定し[保存]を押します。
3. 環境設定ツールを起動し、「カラーマネージャ」タブを選択します。
4. 「色調整ファイルを選択して設定する」を選択し、保存した色調整ファイルを選択し、[ＯＫ]を押します。
5. アプリケーションの印刷の設定画面において、「色調整方法」で「標準の設定を使用」を選択し、印刷します。

■ ドロッププリントから直接印刷する場合

ドロッププリントからの直接印刷でカラープロファイルを指定するためには、登録したカラープロファイルを使用するように設定された「色調整ファイル」を使用する方法と、「環境設定ツール」で設定して使用する方法があります。

- 「色調整ファイル」を使用する方法

  保存した色調整ファイルを指定したドロップフォルダを使用して印刷します。

1. 上記「レイアウト設定して印刷する場合」の 1. ～ 4. を実行します。
2. [色調整]タブで[保存]を押し、色調整ファイル名を指定し[保存]を押します。
3. DS Magic のスタート画面にある[ドロッププリント]を押し、「色調整方法」で「色調整ファイルを優先」を選択し、「色調整ファイル」で保存した色調整ファイルを選択します。他の項目も設定します。
4. [フォルダ作成]を押し、ドロップフォルダ名を入力して[作成]を押します。[決定]を押します。[終了]を押します。
5. 作成したドロップフォルダにファイルをコピーして印刷します。

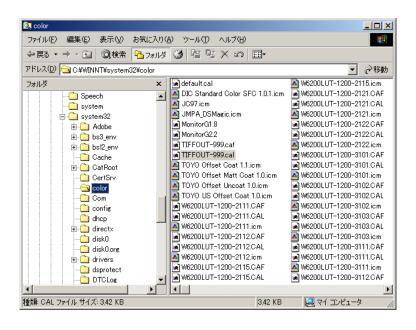
- 「環境設定ツール」を使用する方法

  DS Magic で使用する標準的な色調整の方法を環境設定ツールで設定しておき、それを指定したドロップフォルダを使用して印刷します。

1. 上記、「アプリケーションから直接印刷する場合 -「環境設定ツール」を使用する方法」の 1. ～ 4. を実行します。
2. DS Magic のスタート画面にある［ドロッププリント］を押し、「色調整方法」で「自動設定」を選択します。他の項目も設定します。
3. ［フォルダ作成］を押し、ドロップフォルダ名を入力して［作成］を押します。［決定］を押します。［終了］を押します。
4. 作成したドロップフォルダにファイルをコピーして印刷します。

登録済みのカラープロファイルを削除する方法

DS Magic に登録済みのカラープロファイルを削除するには、DS Magic のインストールされている PC で次のように操作します。

1. カラープロファイルの登録を確認するときに用いた「ColorProf」フォルダの中の「Profilelist.txt」というファイルをメモ帳で開き、削除したいカラープロファイルのファイル名を確認します。
2. エクスプローラで Windows のシステムディレクトリの下にある「SYSTEM32\COLOR」というディレクトリを開きます。
3. この COLOR ディレクトリの中から、1. で確認したファイルを削除します。

フォントダウンロード

フォントダウンロード機能について

付属フォント以外に市販のフォントをDS Magicのハードディスク上にダウンロードしておき、使用することが出来ます。ダウンロード可能なフォントは「Macintosh から PostScript プリンタ(RIP)へダウンロードが可能な PS フォント」です。

注 意

Windows Server 2003 (R2) Standard Edition 上に DS Magic をインストールした場合にのみ、Macintosh からのフォントダウンロードに対応します。

ダウンロードの注意事項

印刷中はフォントダウンロードを行わず、フォントダウンロード中はダイレクト印刷もレイアウト印刷も行わないで下さい。

フォントダウンロード後は、Macintosh の PPD ファイルを更新して下さい。

また、フォントダウンロードを行う前には、万一に備えてフォントのバックアップを行って下さい。

ダウンロードの方法

■ フォントのバックアップ

1. デスクトップにある「DSMagic」アイコンをダブルクリックします。
2. 管理者 (Administrators) 権限を持つユーザー名とパスワードを入力し、[このパスワードを保存する]にチェックを入れて、[ＯＫ]を押します。
3. [管理ツール]を押します。
4. [メンテナンス]タブを押し、「サービス管理」の[停止]を押します。
5. 「サービス管理」の表示が「停止」になるのを確認します。
6. Windows のシステムディレクトリの「system32」にある“disk0”フォルダ全体
   (例:C:\WINNT\system32\disk0)を適当な場所にコピーします。
   コピー先にできた“disk0”フォルダがバックアップデータとなります。
7. 「サービス管理」の[開始]を押します。
8. 「サービス管理」の表示が「動作中」になるのを確認します。

これでフォントのバックアップ作業は完了です。

■ フォントダウンロードサービスの起動

1. デスクトップにある「DS Magic」アイコンをダブルクリックします。
2. 管理者 (Administrators) 権限を持つユーザー名とパスワードを入力し、「このパスワードを保存する」にチェックを入れて、[OK] を押します。
3. [管理ツール] を押します。
4. [フォントダウンロード] タブを押します。
5. 「フォントダウンロードサービスが開始出来ます」と表示されていることを確認します。

   「印刷中のジョブが残っています。フォントダウンロードサービスは開始できません」と表示されている場合は、DS Magic スタート画面の [印刷状況] を押し、「印刷状況ダイアログ」で、表示されている全てのドキュメントの印刷が終了するのを待つか、全てのドキュメントを削除してリストを空にして下さい。
6. [開始] を押します。

   「フォントダウンロードサービスは作動しています。プリンタ名は DAMAG000FD です。」と表示されれば、起動は完了です。

> **注意**
>
> フォントダウンロード用の「DSMag000FD」プリンタには決して印刷データを送らないで下さい。

■ Macintosh からのフォントダウンロード

Macintosh OS 9 の場合

7. 「アップル」メニューから「セレクタ」を開きます。
8. ‘LaserWriter8’ を選択し、“DSMAG000FD”を選択します。
9. インストールしたいフォントを、そのフォントの取り扱い説明書に記述された手順にそって、ダウンロードします。但し、手順に「フォントのキャッシュの削除」の項目があっても行わないで下さい（DS Magic においては「フォントのキャッシュの削除」を行う必要はありません）。
10. ダウンロードが終了したら、インストールプログラムを終了します。

■ フォントダウンロードサービスの停止

1. デスクトップにある「DS Magic」アイコンをダブルクリックします。
2. 管理者 (Administrators) 権限を持つユーザー名とパスワードを入力し、「このパスワードを保存する」にチェックを入れて、[OK] を押します。

3. ［管理ツール］を押します。
4. ［フォントダウンロード］タブを押します。
5. ［停止］を押します。
6. Macintosh からのフォントダウンロード処理が終了していることを確認し、［はい］を押します。
7. 「フォントダウンロードサービスが開始出来ます。」が表示されるのを確認します。
   フォントダウンロードサービス終了時に PPD ファイルが更新され、フォントダウンロードサービスの停止までに数分から数十分要することがあります。

■ PPD ファイルの更新

- DS Magic での PPD ファイルの更新
  新しくフォントをダウンロードした場合、PPD ファイルが自動的に更新されます。
  新しい PPD ファイルをシステムに認識させるためサーバを再起動します。
- クライアント PC における PPD ファイルの更新
  「第 3 章　印刷する前に」-「PPD ファイルの更新とクライアント PC への登録」を参照して、クライアント PC の PPD ファイルを更新して下さい。

バックアップフォントのもどし方

フォントダウンロード中にトラブルが発生しDS Magicが正常に動作しなくなった時、フォントダウンロードを行う前の状態に戻すことが出来ます。

1. デスクトップにある「DS Magic」アイコンをダブルクリックします。
2. 管理者 (Administrators) 権限を持つユーザー名とパスワードを入力し、［このパスワードを保存する］にチェックを入れて、［ＯＫ］を押します。
3. ［管理ツール］を押します。
4. ［メンテナンス］タブを押し、「サービス管理」の［停止］を押します。
5. 「サービス管理」の表示が「停止」になるのを確認します。
6. Windows のシステムディレクトリの「system32」にある“disk0”フォルダを削除します。
7. バックアップとして保管した“disk0”フォルダ全体を、Windows のシステムディレクトリの「system32」へ移動します。
8. 「サービス管理」の［開始］を押します。
9. 「サービス管理」の表示が「動作中」になるのを確認します。

これでバックアップしたフォントをもどす作業は完了です。

OPI 機能を使った印刷

OPI 機能とは

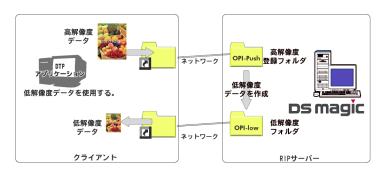
数 MB から数十 MB といった容量の大きい高解像度画像をローカル(クライアント PC)のアプリケーションで編集するとメモリ量が足りなくなったり、処理速度が遅くなったりします。そのような時、編集などの作業時には実際のものより低解像度のデータを用い、印刷時には高解像度データに差し替えて印刷することが出来るのが OPI 機能です。

注意

この機能は OPI 機能をサポートしているアプリケーションに限ります。

OPI 印刷機能を使うには、まず DS Magic へのデータ送信の際に「OPI 機能を使います」というメッセージをもった OPI コメント(画像変換用の情報)が同時に送られるようアプリケーション側から指示を出しておかなければいけません。指定方法に関しては各アプリケーションごとに異なりますのでそれぞれのアプリケーションのマニュアルをご覧下さい。

OPI 機能イメージ図

編集時

印刷時

OPI 機能の使い方

高解像度画像ファイルをサーバに登録すると自動的に低解像度画像ファイルが作成されます。アプリケーション上でファイルを編集する際には、この自動作成された低解像度画像ファイルを使います。実際に印刷する際に、どの画像を使って印刷したいのかを指定し(一般的には高解像度画像)印刷指示を出します。

■ 高解像度画像登録フォルダと低解像度画像フォルダのリンク

• Windows の場合

1. Windows の起動画面にある「ネットワークコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、DS Magic のインストールされたコンピュータの中にある「OPI-push(高解像度画像登録フォルダ)」を探し、このショートカットをデスクトップ上に作ります。
2. 同様に同じ DS Magic のインストールされたコンピュータの中にある「OPI-low(低解像度画像フォルダ)」のショートカットをデスクトップ上に作ります。

• Macintosh の場合

1. Macintosh OS X では、Finder の「移動」-「サーバーへ接続」を使用し、OS 9 では、アップルメニューの「セレクタ」ー「AppleShare」を使用して、DS Magic のインストールされたコンピュータの中にある「OPI-push(高解像度画像登録フォルダ)」と「OPI-low(低解像度画像フォルダ)」を選択します。
2. デスクトップ上に 2 つのフォルダができていることを確認し、開いたセレクタ画面を閉じて下さい。

■ サーバへの高解像度画像ファイルの登録

登録出来るデータフォーマットは JPEG、TIFF、EPS の 3 種類です。

登録したい高解像度画像ファイルをデスクトップ上に作成した「OPI-push(高解像度画像登録フォルダ)」フォルダにコピーします。

登録が正常に行われるとコピーしたファイルは、しばらくした後この「OPI-push」フォルダ内から消えます。同時に「OPI-low(低解像度画像フォルダ)」内にコピーした高解像度画像に対する低解像度画像ファイルが作成されます。

注意

《高解像度画像登録時の注意》

登録するファイル名に注意して下さい。

■ 一旦登録したファイル名は変更できません。また、すでに同じ名前の高解像度画像ファイルが登録されている場合は、同名での登録はできませんので名前を変更してから登録して下さい。

■ TIFF、JPEG フォーマットで識別子がないファイルが登録された場合、作成される低解像度OPIファイルのファイル名は登録した高解像度画像ファイルのファイル名と同一になります。

識別子に“.tif”（TIFF），“.jpg”（JPEG）が付いたファイルが登録された場合、作成される低解像度 OPI ファイルのファイル名には出力フォーマットに一致した識別子（“.tif”“.jpg”）が付きます。

- **登録作業をしたのに低解像度ファイルが作成されないという場合**

  「OPI-low」フォルダにエラーログファイルが作成されます。登録しようとした高解像度画像ファイル名“.log”の名前のファイルを開き状況を確認して下さい。

- **登録した画像を削除するには**

  OPI サービスを開始した状態で「OPI-low（低解像度画像フォルダ）」に表示されている低解像度画像ファイルを削除すると、それに関連する高解像度画像ファイルも削除されます。

■ サーバで作成された低解像度画像のアプリケーション上での使用

OPI機能に対応したアプリケーションを使用する際に「OPI-low（低解像度画像フォルダ）」にある低解像度画像ファイルを直接読み込んで使用します。

注意

《低解像度画像使用時の注意》

必ずフォルダから直接読み込んで下さい。フォルダからローカル（クラインアント PC）にコピーして使用していると、登録した画像が知らないうちに消去された場合、アプリケーションでの作業は支障なく進めることができても実際の印刷はできないという可能性があります。

■ OPI 機能を使った印刷

OPI 機能の指定はアプリケーションから直接印刷を行なう場合は「OPI 印刷」の項目で設定します。
レイアウト印刷を行う場合は「印刷形式」ダイアログで設定します。

OPI 機能は次の 3 つの印刷形式が指定可能です。

※ 指定した解像度データが見つからない場合は、印刷データ中に含まれるイメージデータを使用します。

- 高解像度を使用 …… 登録された高解像度データを使用します。(デフォルト設定)
- 低解像度を使用 …… 指定された低解像度データを使用します。
- OPI 機能を使用しない ・ 高解像度データも低解像度データも使用しません。

OPI 機能の各設定と印刷データの関係を次の図に示します。

OPI 印刷の概念図	OPI コメントがない場合	OPI コメントのみの場合	両方存在する場合
	イメージ	OPI コメント	OPI コメント & イメージ
OPI 印刷しない	イメージ	空白	イメージ
低解像度 OPI を使用	イメージ	低解像度 OPI イメージ	低解像度 OPI イメージ
高解像度 OPI を使用	イメージ	高解像度 OPI イメージ	高解像度 OPI イメージ

「イメージ」はアプリケーションでリンク(読み込み又は配置)されたビットイメージデータを示します。「OPI コメント」はアプリケーションで印刷データをサーバに送信する場合または EPS ファイルとして保存する場合に、OPI 指定を行なった場合に生成される OPI 専用のコメントです。通常は意識する必要はありませんが OPI 機能使用時の印刷結果には影響します。

■ 対応アプリケーション

OPI 機能に対応しているアプリケーションの一覧を以下に記載します。

Windows	OPI 機能対象となるリンクファイルの形式
PageMaker 6.5J	TIFF
CorelDraw 7J、8J、9J	TIFF
Illustrator 7.0J、8.0J　※	EPS

Macintosh	OPI 機能対象となるリンクファイルの形式
FreeHand 5.0J、7.0J、8.0J	TIFF
PageMaker 6.5J	TIFF
QuarkXpress 3.3J、4.1J	TIFF、EPS
Illustrator 7.0J、8.0J　※	EPS

※ Illustrator は OPI 機能を備えていませんが、DS Magic により OPI と同等の機能を実現しています。Illustrator で OPI 機能を使用する場合は、「リンク」で画像を配置し、「配置した画像を含む」をチェックしないで印刷を行って下さい。

尚、Illustrator 9.0 以降のバージョンには対応しておりません。

サーバ管理者の方へ

OPI サービスの設定を変更するには以下の手順を踏んで下さい。

1. サーバで提供する OPI サービスを停止します。

DS Magic のスタート画面にある[管理ツール]を押し、「OPI 設定」タブを選択します。

そこで「OPI サービス」[停止]ボタンを押します。

2. スタート画面で OPI サービスの設定内容を変更します。

3. サーバで提供する OPI サービスを再開します。

DS Magic のスタート画面にある[管理ツール]を押し、「OPI 設定」タブを選択します。

そこで「OPI サービス」の[開始]ボタンを押します。

第８章

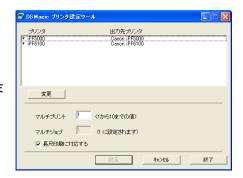
ツール

プリンタ設定ツール

プリンタ設定ツールを使用することにより、DSプリンタ（DS Magicにインストールされているプリンタ）と出力先プリンタとの対応関係を設定することが出来ます。

DS Magic for Canon Premiumの場合、TIFFOUT ドライバの設定も行えます。この設定については、320ページの「TIFFOUT ドライバ」を参照して下さい。

プリンタ設定ツールの起動

1. DS Magicで印刷していないことを確認してください。
2. Windowsの「スタート」-「プログラム」-「DSMagic」-「プリンタ設定ツール」を選択します。

■ **プリンタ**

DS Magicにインストールされているプリンタです（DSプリンタと呼びます）。

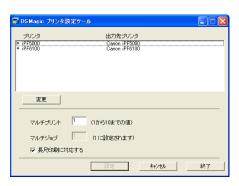
プリンタ名の左の「*」印は、「PPDファイルに表示する」がチェックされていることを表します。

■ **出力先プリンタ**

RIP 済みデータを出力する出力先プリンタを表示します（Windows の「スタート」-「設定」-「プリンタ」のウィンドウで設定されているプリンタ名が表示されています）。

パラレル接続用の出力先プリンタは「DSMagicOut」と表示されます。

出力先ポートの変更方法

1. Windows の「スタート」-「プログラム」-「DSMagic」-「プリンタ設定ツール」を選択します。

2. 設定するDSプリンタを選択し、[変更]を押します。

3. 「PPD ファイルに表示する」のチェックを確認します。

   このチェックにより、プリンタが対応しているインク名とメディア名などが PPD ファイルに書き込まれるので、アプリケーションから印刷するときのオプション選択リストにインク名などが表示されます。

4. 出力先プリンタを選択します。(パラレル接続の場合は「DSMagicOut」を選択します。)
5. [ＯＫ]を押します。
6. 出力先プリンタが選択したものになっていること、DS プリンタ名の左側に「＊」印が表示されていることを確認して[設定]を押して下さい。

   「＊」印が表示されていない場合は、上記３の「PPD ファイルに表示する」がチェックされていません。再度上記３からやり直して下さい。

DS Magic インストール直後、もしくは、「PPD ファイルに表示する」のチェックを切り替えた時は更に、PPD ファイルの更新と、PPD ファイルのクライアント PC へ登録が必要です。

■ **マルチプリント**

同時に駆動する出力プリンタの数を指定します。

設定可能な最大値は[10]です。

■ **マルチジョブ**

並列処理させるジョブの数を指定します。

設定可能な数値はマルチプリントの倍数で最大値は[10]です。

マルチジョブは、設定されたマルチプリントに均等に割り当てられます。

(例)マルチプリント＝2、マルチジョブ＝6の場合は、設定された２つのプリンタで各々３つのジョブが並列処理されます。

DS Magic for Canon では、マルチプリント、マルチジョブ共に「１」を設定して下さい。

■ **長尺印刷に対応する**

長尺印刷が可能になります。

長尺を有効にすると、マルチジョブの数は、マルチプリントと同じになります。

「出力先プリンタ」にジョブが存在すると、「マルチプリント」、「マルチジョブ」、「長尺印刷に対応する」の切り替えはできません。

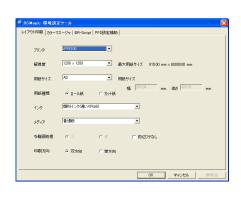
環境設定ツール

環境設定ツールを使用することにより、DS Magic 起動時の初期動作を設定することが出来ます。
Windows の「スタート」-「プログラム」-「DS Magic」-「環境設定ツール」を選択して、「環境設定ツール」を起動します。
設定値を変更し[ＯＫ]ボタンを押すと設定値が記憶され、以降の印刷処理で有効となります。(PC の再起動は必要ありません。)

注意

DS Magic動作中(RIP中、印刷中など)に環境設定ツールを使用するとトラブルの原因になります。
動作していないことを確認の上、本ツールを使用して下さい。

レイアウト印刷

印刷設定のデフォルトを設定します。
プリンタ、解像度、インク、メディアの組み合わせで多階調処理が一方(「入」または「切」)にしか対応していない場合には、多階調処理は対応している設定が選択された状態でグレーアウトされます。
印刷方向の設定に対応していないプリンタでは、印刷方向は「プリンタの設定で印刷する」と表示されます。
「四辺フチなし」のチェックボックスは、「四辺フチなし」対応のプリンタのときのみ表示されます。非対応のプリンタでは表示されません。

「用紙トレイ」の設定は、用紙トレイ対応のプリンタのときのみ表示されます。

非対応のプリンタでは表示されません。

カラーマネージャ

DS Magic の色調整機構の動作について設定します。

オプション設定ウィンドウなどで変更しなければ、ここでの設定が常に有効になります。

また、「ドロッププリント」の色調整方法で「自動設定」を選んだ場合や、「ドライバ印刷」の色調整方法で「標準の設定を使用」を選んだ場合は、ここでの設定が有効になります。

■　**個別に設定する**

　これを選択すると項目内の詳細設定が可能になります。

■　**色調整ファイルを選択して設定する**

　これを選択すると指定した色調整ファイルの設定が有効になります。

■　**デフォルトの RGB ／ CMYK 変換方式**

　「プルーフ変換」「デバイスリンク変換」を指定した場合アプリケーションからの直接印刷、ドロップフォルダからの直接印刷がエラーとなり印刷できません。

■　**貼付ドキュメントの色調整を有効にする**

　ドロップフォルダに設定した貼付ドキュメントに対して、配置されたドキュメントと同等の色調整を行うことが出来ます。

BR-Script

BR-Script（PostScript 対応のインタープリタ）について設定を行います。

■ **イメージモード**

「ディスク」: イメージ処理にハードディスクを使用します。
拡大率の大きなサイン系の出力を行う場合に指定します。

「メモリ」: イメージ処理にメモリを使用します。
等倍以下のプルーフ印刷系の出力を行う場合に指定します。

■ **パターンキャッシュ**

通常変更する必要はありません。

■ **バンド幅**

マルチジョブを行う場合は、ジョブ当たりのメモリ使用量を抑える為にバンド幅を小さく設定して下さい。最大値は 64 です。

■ **カラーレンダリング辞書**

CIE 色変換に、DS Magic カラーマネジメントを使用しない場合は「使用しない」を指定します。
通常は「使用しない」に設定しておきます。

■ **トランスファ関数**

「ON」にすると、PS データ内のトランスファ関数が有効になります。
ただし、DS Magic の色変換／色調整を有効にすると、「トランスファ関数＝OFF」として処理されます。
通常は「OFF」に設定しておきます。

■ **グラデーション品質**

グラデーションオブジェクトの印刷には多くのメモリを必要とします。
品質よりも省メモリ処理を優先したい場合は、標準（省メモリ）に設定して下さい。

■ **EPS ドキュメント余白**

ドロップフォルダにドロップされた EPS ファイルに対して、ドキュメントの上下左右に余白を設定出来ます。最大値は 50mm です。

PPD 設定補助

PPD を正しく認識しないアプリケーションからドライバ印刷を行う場合は、DS Magic は PPD 設定補助の設定を使用して印刷を行います。

「用紙サイズ」で「カスタム」を選択すると「幅」と「縦」が有効になり自由なサイズを設定出来ます。

「用紙トレイ」の設定は、用紙トレイ対応のプリンタのときのみ表示され、非対応のプリンタでは表示されません。

「四辺フチなし」の設定は、四辺フチなし対応のプリンタのときのみ表示され、非対応のプリンタでは表示されません。

＜ DS Magic「環境設定ツール」設定項目一覧＞

項目	設定範囲	初期値	説明
レイアウト印刷			
プリンタ	インストール済プリンタ		
解像度	対応解像度		
用紙サイズ	対応用紙サイズ	A0	
幅	139.7 〜対応サイズ	841.02	用紙サイズが「カスタム」時に有効
高さ	139.7 〜 200,000mm	1,186.86	用紙サイズが「カスタム」時に有効
インク	対応インク		
メディア	対応メディア		
多階調処理	入／切		対応プリンタの時に有効
印刷方向	双方向／単方向		対応プリンタの時に有効
四辺フチなし	ON/OFF	OFF	対応プリンタの時に有効
用紙トレイ	対応カセット	自動	対応プリンタの時に有効
カラーマネージャ			
個別に設定する／色調整ファイルを選択して設定する	一方を選択	個別に設定する	
K を CMY に変換する処理を有効にする	ON/OFF	ON	
カラーキャリブレーションを有効にする	ON/OFF	ON	
CMYK 以外のインクの使用を有効にする	ON/OFF	ON	
色調調整を有効にする	ON/OFF	ON	
階調調整を有効にする	ON/OFF	ON	
インク総量規制を有効にする	ON/OFF	ON	
色変換を有効にする	ON/OFF	ON	
デフォルトの RGB 変換方式	・プロファイル変換 ・プルーフ変換 ・デバイスリンク変換 ・墨版調整変換	プロファイル変換	「デバイスリンク変換」は カラーマネージメントソフト 「ColorSymphONy」使用時に有効。
RGB 入力プロファイル		MonitorGamma 1.8	
RGB 埋込プロファイル優先	ON/OFF	OFF	
デフォルトの CMYK 変換方式	・プロファイル変換 ・プルーフ変換 ・デバイスリンス変換 ・無変換	プロファイル変換	デバイスリンク変換」は カラーマネージメントソフト ColorSymphony」使用時に有効。
CMYK 入力プロファイル		DIC Standard Sheet-Fed Mat Coated 1.0.3	
CMYK 埋込プロファイル優先	ON/OFF	OFF	
色調整パラメータを自動変更	ON/OFF	ON	
ベクトルとビットマップデータで共通のプロファイルを使用	ON/OFF	ON	
色調整ファイル	保存済ファイル		

BR-Script			
イメージモード	ディスク / メモリ	ディスク	
パターンキャッシュ	0 〜 500,000	0	
バンド幅	16 〜 64	64	
カラーレンダリング辞書	使用する / 使用しない	使用しない	
トランスファ関数	ON/OFF	OFF	
グラデーション品質	高品質 / 標準(省メモリ)	高品質	
EPS ドキュメント余白	0 〜 50	0	
PPD 設定補助			
レイアウト設定	ON/OFF	OFF	
プリンタ	インストール済プリンタ		
解像度	対応解像度		
用紙サイズ		A0	
幅	139.7 〜対応サイズ	841.02	用紙サイズが「カスタム」時に有効
高さ	139.7 〜 200,000mm	1,186.86	用紙サイズが「カスタム」時に有効
用紙種類	ロール紙 / カット紙	ロール紙	
用紙トレイ	対応カセット	自動	対応プリンタの時に有効
四辺フチなし	入 / 切	切	対応プリンタの時に有効
インク	対応インク		
メディア	対応メディア		
多階調処理	入 / 切		対応プリンタの時に有効
印刷方向	双方向 / 単方向	双方向	
色調整方法	・色調整しない ・標準の設定を使用 ・色調整ファイルを使用	標準の設定を使用	
色調整ファイル	保存済ファイル		
階調方式	・誤差拡散 ・ハーフトーンスクリーン	誤差拡散	
誤差拡散方式	・グラフィック用 ・イメージ用 ・高速用	グラフィック用	
ハーフトーンスクリーン方式	・Enhanced Screen ・Traditional Screen ・アプリケーションの設定優先	Enhanced Screen	
印刷方法	・RIP 同時印刷 ・RIP 後印刷	RIP 同時印刷	
補間方式	・自動選択 ・最近傍法補間 ・線形補間 ・双 3 次補間 ・BR-Interpolation	自動選択	
OPI 印刷	・しない ・低解像度を使う ・高解像度を使う	高解像度を使用	
PS オーバープリント	しない / する	しない	

Calibrator

Calibrator は、DS Magic のカラーキャリブレーションをおこなうソフトです。
プリンタ本体は、温度・湿度などの環境により印刷時の色合いが変動する場合があります。また、プリンタの個体差により印刷時の色合いが違う場合があります。これら印刷時の色合いの変動や個々のプリンタの色合いの違いを吸収することをカラーキャリブレーションといいます。
カラーキャリブレーションを行うことにより、プリンタによる印刷時の色合いを常に一定に保つことが出来ます。

注意

iPF5000、iPF8000、iPF9000、iPF6100、iPF5100 プリンタでは、RGB インクを使用する印刷モードでは本 Calibrator は使用できません。

Calibrator の操作方法

カラーキャリブレーションのデータはプリンタ、解像度、インク、メディアごとに準備する必要がありますので、キャリブレーション機能をお使いの場合は、「いつ」「どの組み合わせ」でキャリブレーションのデータを DS Magic に組み込んだか管理する必要があります。作業を行う場合は、設定状態を必ず確認してから操作を行って下さい。
キャリブレーションは、特にインク交換されたときやプリンタをしばらく使わなかったとき、または印刷時の色に変化があったときなど、期間を決めてご使用下さい。
Calibrator ではキャリブレーションの設定を行い、DS Magic を経由して測色データ（カラーチャート）を印刷します。その測色データを測色計で測色し、Calibrator で直接読み込むか測色計の付属ソフトでデータをテキストファイルとして一旦保存し、Calibrator で読み込んでキャリブレーションを行います。

カラーキャリブレーション手順

1. スタートメニューの「DS Magic」-「Calibrator」を選びます。

2. **「初期画面」で[キャリブレーション開始]を押します。**

   何も行わず、キャリブレーションを終了する場合は、[キャンセル]を押して下さい。

3. **「キャリブレーション実行」画面で、プリンタ、解像度、インク、メディア、多階調処理などを選択します。次に、ご使用の測色計を選択します。**

   選択が間違いのないことを確認して[設定完了]を押して下さい。

   前の画面に戻る場合は、[戻る]を押して下さい。何も行わず、キャリブレーションを終了する場合は、[キャンセル]を押して下さい。

4. **プリンタの印刷準備が完了したら[印刷開始]を押します。**

   すでに印刷されている場合は[次へ]を押し、7.へ進みます。

   前の画面に戻る場合は、[戻る]を押して下さい。

   何もおこなわず、キャリブレーションを終了する場合は、[キャンセル]を押して下さい。

5. **[はい]を押します。**

   これで測色用カラーチャートが印刷されます。

6. **カラーチャートの印刷が終了したことを確認し、[確認]を押します。**

   (この段階では、「次へ」は[確認]と同じ動作をします)

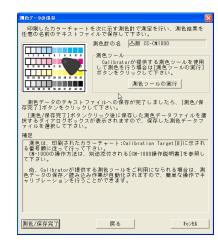
   前の画面に戻る場合は、[戻る]を押して下さい。

   何も行わず、キャリブレーションを終了する場合は、[キャンセル]を押して下さい。

7. **「測色データの保存」画面が開きます。**

   以降は、測色計によって操作方法が異なります。

   次頁以降の測色計毎の操作方法に従って作業を続けて下さい。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

CS-CM1000 の場合

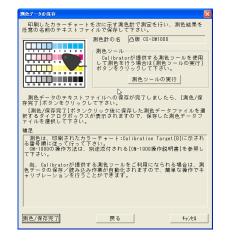
以下のような｢測色データの保存｣画面が表示されます。

CS-CM1000 の場合､測色データファイルを作成して読み込む方法と､測色計から直接測色データを読み込む方法があります。

測色計から直接データを読み込む場合

1. 測色計を PC に接続します。
2. [測色ツールの実行]を押します。

   前の画面に戻る場合は､[戻る]を押して下さい。

   何も行わず､キャリブレーションを終了する場合は､[キャンセル]を押して下さい。

3. 測色計自体のキャリブレーションを行います。

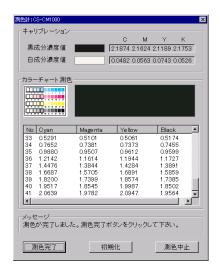
   測色計に付属している測色パッチの｢黒｣の中心を測色し､｢黒成分濃度値｣ラベルの横に CMYK の数値が入力されたことを確認して下さい。

   次に､測色計に付属している測色パッチの｢白｣の中心を測色し､｢白成分濃度値｣ラベルの横に CMYK の数値が入力されたことを確認して下さい。

4. **印刷した測色用カラーチャートを測色し､キャリブレーションを行います。**

カラーチャートが充分乾燥し､汚れのないことを確認した上で､印刷されている番号の1番から順番に測色計で測色を行って下さい。

DS Magic for Canon で対応しているプリンタは4色印刷なので､41個の測色が必要です。

順番通り測色が 終わりましたら[測色完了]を押して下さい。

注意

測色の順番が違っていたり､カラーチャートが汚れていると正常なキャリブレーションが行えないので､充分注意して行って下さい。

また測色の途中で､パッチ分の測色をやり直したい場合は､測色しなおしたいパッチの No. の行(単一行)をマウスの左クリックで選択し､白黒反転表示させた状態でその No. パッチを再度測色することが出来ます。(選択解除は右クリック)

はじめから測色をやり直したい場合は､[初期化]を押して下さい。測色データがすべて削除されます。

測色を中止したい場合は､[測色中止]を押して下さい。｢測色データ保存｣画面に戻ります。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

5. 「測色完了」を押します。

6. ［終了］を押します。

   これでキャリブレーションは完了しました。

   DS Magic が動作している状態でキャリブレーションを行った場合は、必ずDS Magic を再起動して下さい。

測色データファイルを読み込む場合

1. 測色計に付属の説明書に従って、印刷した測色用カラーチャートを用いて測色データファイルを作成して下さい。

2. ［測色 / 保存完了］を押します。

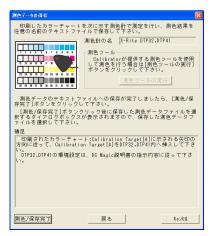
   前の画面に戻る場合は、［戻る］を押して下さい。

   何も行わず、キャリブレーションを終了する場合は、［キャンセル］を押して下さい。

3. 測色データファイルを選択し、［開く］を押します。

4. ［終了］を押します。

   これでキャリブレーションは完了しました。

   DS Magic が動作している状態でキャリブレーションを行った場合は、必ずDS Magic を再起動して下さい。

GretagMacbeth SpectroScan の場合

以下のような「測色データの保存」画面が表示されます。

GretagMacbeth Spectroscan の場合、測色データファイルを作成して読み込む方法と、測色計から直接測色データを読み込む方法があります。

測色計から直接測色データを読み込む場合

1. 測色計を以下の様に設定し、PC に接続します。

SpectroScan の DIP スイッチの設定								
(通信速度 9600bps、ハンドシェイクなし)								
DIP No.	1	2	3	4	5	6	7	8
	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
ON Line に設定して下さい								

2. 測色用カラーチャートが充分乾燥し、汚れのないことを確認した上で、測色データを枠線の位置で切り取り、X ／ Y 自動測定テーブルの原点にカラーチャートの左上端(赤の矢印)を位置にあわせて下さい。

3. [測色ツールの実行]を押します。

   前の画面に戻る場合は、[戻る]を押して下さい。

   何も行わず、キャリブレーションを終了する場合は、[キャンセル]を押して下さい。

4. 「白成分パッチ番号」は、SpectroScan の白成分パッチがセットされた番号を選択します。
5. [キャリブレーションと測色の実行]を押します。

   測色計自体の自動キャリブレーション後、測色データの結果(DS Magic for Canon では 41 個)が自動的に入力されます。

   キャリブレーションを中止する場合は[測色中止]を押して下さい。「測色データ保存」画面に戻ります。

6. ［測色完了］を押します。
7. ［終了］を押します。

   これでキャリブレーションは完了しました。

   DS Magic が動作している状態でキャリブレーションを行った場合は、必ずDS Magic を再起動して下さい。

測色データファイルを読み込む場合

CS-CM1000 の場合と同様に行います。

CS-CM1000 の「測色データファイルを読み込む場合」を参照して行って下さい。

X-Rite DTP32 の場合

以下のような「測色データの保存」画面が表示されます。

X-Rite DTP32 の場合、測色データファイルを作成して読み込みます。

1. 本章の「測色データファイル作成」の「X-Rite　DTP32　の場合」を参照して、印刷した測色用カラーチャートを用いて、測色データファイルを作成して下さい。

2. 測色データファイルが作成できたら［測色／保存完了］を押します。

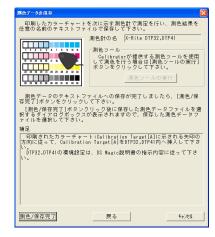
   前の画面に戻る場合は、［戻る］を押して下さい。

   何もおこなわず、キャリブレーションを終了する場合は、［キャンセル］を押して下さい。

3. 測色データファイルを選択し、［開く］を押します。

4. ［終了］を押します。

   これでキャリブレーションは完了しました。

   DS Magic が動作している状態でキャリブレーションを行った場合は、必ずDS Magicを再起動して下さい。

X-Rite DTP41 の場合

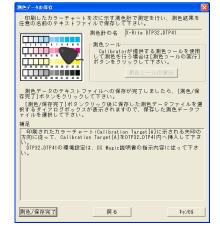
以下のような「測色データの保存」画面が表示されます。

X-Rite DTP41 の場合、測色データファイルを作成して読み込みます。

1. 本章の「測色データファイル作成」の「X-Rite　DTP41　の場合」を参照して、印刷した測色用カラーチャートを用いて、測色データファイルを作成して下さい。

2. 測色データファイルが作成できたら［測色／保存完了］を押します。

   前の画面に戻る場合は、［戻る］を押して下さい。

   何もおこなわず、キャリブレーションを終了する場合は、［キャンセル］を押して下さい。

3. 測色データファイルを選択し、［開く］を押します。

4. ［終了］を押します。

   これでキャリブレーションは完了しました。

   DS Magic が動作している状態でキャリブレーションを行った場合は、必ずDS Magicを再起動して下さい。

Other の測色計の場合

CS-CM1000、GretagMacbeth Spectroscan、X-Rite DPT32、X-Rite DTP41 以外の測色計の場合は、測色データファイルを作成して読み込みます。

1. **以下の手順に従って、印刷したカラーチャートを用いて測色データファイルを作成して下さい。**

   1) 測色計を Other にして、印刷すると下記のような印刷物が得られます。

   2) 下記の表のような順で測色し、主成分濃度をテキストエディタ（メモ帳など）に記録します。

   番号が 1 番で、主成分がシアンという場合には、1 番のパッチを測色してシアンの濃度をテキストエディタに記録する。ことを意味します。

順番	パッチ番号	主成分	順番	パッチ番号	主成分	順番	パッチ番号	主成分
１	１	シアン	１２	１２	マゼンタ	２３	２３	イエロー
２	２	シアン	１３	１３	マゼンタ	２４	２４	イエロー
３	３	シアン	１４	１４	マゼンタ	２５	２５	イエロー
４	４	シアン	１５	１５	マゼンタ	２６	２６	イエロー
５	５	シアン	１６	１６	マゼンタ	２７	２７	イエロー
６	６	シアン	１７	１７	マゼンタ	２８	２８	イエロー
７	７	シアン	１８	１８	マゼンタ	２９	２９	イエロー
８	８	シアン	１９	１９	マゼンタ	３０	３０	イエロー
９	９	シアン	２０	２０	マゼンタ	３１	３１	イエロー
１０	１０	シアン	２１	２１	マゼンタ	３２	３２	イエロー
１１	１１	シアン	２２	２２	マゼンタ	３３	３３	イエロー

順番	バッチ番号	主成分
３４	３４	ブラック
３５	３５	ブラック
３６	３６	ブラック
３７	３７	ブラック
３８	３８	ブラック
３９	３９	ブラック
４０	４０	ブラック
４１	４１	ブラック
４２	４２	ブラック
４３	４３	ブラック
４４	４４	ブラック

3)　すると、下記のような結果が得られます。
これを、拡張子を「.dat」として保存します。

行	データ	行	データ	行	データ	行	データ
1	０．０７３	１２	０．０６３	２３	０．０４１	３４	０．０６６
2	０．２９３	１３	０．２５３	２４	０．１９５	３５	０．３２７
3	０．５１８	１４	０．４２８	２５	０．３２３	３６	０．５８４
4	０．７２９	１５	０．６０４	２６	０．４３	３７	０．８５５
5	０．９４５	１６	０．７６２	２７	０．５１９	３８	１．０８８
6	１．０７	１７	０．９０９	２８	０．５９８	３９	１．２１３
7	１．３７７	１８	１．１０８	２９	０．６７４	４０	１．５７８
8	１．５７４	１９	１．２６８	３０	０．７４６	４１	１．７３１
9	１．６３６	２０	１．４４４	３１	０．８１５	４２	２．０２８
１０	２．１１９	２１	１．５７２	３２	０．８７３	４３	２．１９７
１１	２．３１３	２２	１．６６４	３３	０．９２６	４４	２．２６４

2. Calibratorに戻り、[測色/保存完了]を押します。

前の画面に戻る場合は、[戻る]を押して下さい。
何もおこなわず、キャリブレーションを終了する場合は、[キャンセル]を押して下さい。

3. 測色データファイルを選択し、[開く]を押します。

4. [終了]を押します。

これでキャリブレーションは完了しました。
DS Magicが動作している状態でキャリブレーションを行った場合は、必ずDS Magicを再起動して下さい。

測色データファイル作成

X-Rite DTP32 の場合

測色計本体（ケーブル類を含む）の他、この測色計で測色したデータを Windows 2000/XP に取り込むソフト「ArvineThrow2」が必要です。X-Rite を購入されるときに同時にご購入下さい。

■ 準備

Calibrator ツールで印刷した測色用カラーパッチが乾燥したことを確認し、黒線に従って切り取って下さい。矢印方向先端部分、挿入方向先は黒線の内側で切り取って下さい。

■ 測色計の設定

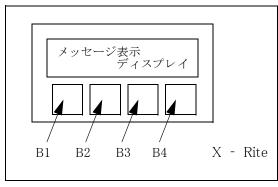
測色計に付属する説明書に従って設定して下さい。

設定手順例を次に記載しておきますので、参考にして下さい。

- 設定手順例

1. 測色計の電源を入れて下さい。
2. [B3]、[B4]を同時に押し、「Main Menu」を表示させる。
3. [B1]を数度押して、「P3 cnfg edit」を表示させる。
4. [B3（edit）]を押し、「EDIT MENU」を表示させる。
5. [B2（PAP）]を押し、「PAP EDIT ＊＊＊」を表示させる。
6. [B4（GO）]を押し、「NAME ＊＊＊」と表示するので、[B2]、[B3]を操作して、任意の設定ファイル名を入力する。[B1（NEXT）]を押して確定する。
7. 以降設定を[B2]、[B3]の操作で次の様に行う。それぞれの確定は[B1（NEXT）]で行う。

OF PASSES ＝ 1
Options（[B4]を押す）
N － Factor ＝ 1.000
OUTPUT ORDER ＝ rev
MIN ／ MAX ＝ default
MINUS PAPER ＝ off
EXTRA STEPS ＝ off
PASS 1 NAME ＊＊＊
（任意の設定ファイル名…手順 6 と同等の手順にて設定可能）
MESURE TYPE　den
COLOR　auto
STEPS ／ PASS　41
STOP LOCATION　15
DATA OUTPUT　all

測色計

8. 「EDIT　COMPLETE」と表示されるので、[B4(save)]を押して、設定完了。一度この作業を行って、以降は今回設定した任意の設定ファイル名を利用することが出来ます。

■ 測色計と PC との接続

設定手順測色計の「マニュアル」の「出力モード」の項目を参照して下さい。設定手順例を次に記載しておきますので、参考にして下さい。

- 設定手順例

1. [B3]、[B4]を同時に押して、「Main Menu」を表示させる。
2. [B1]を数度押して、「P3 cnfg edit」を表示させる。[B2(cnfg)]を押すと「P1 LANG TONETYPE」が表示されます。LANG、TONE、TYPE をそれぞれ設定します。P2 ～ P5 で同様に設定します。設定の内容は次の通りです。

   P1:LANG(ENG)、TONE(Loud)、TYPE(ser)

   P2:BAUD(9600)、HAND(Xon)、AXMT(AXMT)

   P3:DPT(DPT)、SEP(spc)、DILM(crlf)

   P4:DEF(DEF)、X10(X10)、DAP(DAP)

   P5:M ／ M(off)、KBDr(med)
3. [B1]、[B2]を押して、save して下さい。
4. 以降は設定を変えない限り、この設定で動作します。

■ ARVINE THROUGH2 の設定例(Windows 2000 上での設定例)

1. ARVINE　THROUGH2 を立ち上げて下さい。(インストールの方法は該当ソフトのマニュアルに従って、行って下さい。)
2. Communication Setting の設定

PORT	＊＊＊
SPEED	9600
DATA Length	8
Stop Bit	1
Parity	None
Flow Control	Xon/Xoff
Poring Method	Event

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

3. Preference

Ignore Null Line、Number only、Strict number only、Compress white space はチェックをする。

Join Lines one Line by　1

Replace White Space to　Space

Insert After New Line　None

Key Stroke interval　25

■ 測色および測色データファイルの作成

測色計と Windows 2000/XP の PC が接続されており、他の設定が終了している必要があります。

また、測色計自体のキャリブレーションを行って下さい。

（方法はこの測色計のマニュアルを確認して下さい。）

1. ARVINE THROUGH2 が立ち上がっていて、Communication setting、Preference の設定画面が閉じている状態にする。
2. データを取り込むアプリケーションソフトを立ち上げる。ここでは、Windows のアクセサリソフト「メモ帳」を使います。「メモ帳」を立ち上げます。（カーソルは左上端原点位置において下さい。「メモ帳」をアクティブの状態にして下さい。）
3. 測色計の[B3]、[B4]を同時に押し、Main Menu にし、[B1]を押して「P1 PAP」を表示させ、[PAP]（B2））を選択する。
4. [B4]を押して、測色計の設定、手順 6. で入力したファイル名を表示させる。
5. Calibrator ツールで印刷した測色用カラーパッチを矢印の方向に測色計に読み込ませます。自動読み込みですので、読み込みが終了するまで、無理に引っ張ったり、押し込んだりしないで下さい。読み込みが終了すると、「メモ帳」の画面に 4 列の数字が、4 色印刷では 41 行、6 色印刷では 61 行表示されます。
6. 数字の書き込みが終了したら、拡張子に[.dat]をつけた任意のファイル名で保存します。

これで測色データファイルの作成は完了です。

X-Rite DTP41 の場合

測色計本体(ケーブル類を含む)の他、この測色計で測色したデータを Windows PC に取り込むソフト「ToolCrib」が必要です。

■ X-Rite 社の ToolCrib の入手およびインストール

測色計の販売店に問い合わせるか、X-Rite 社のホームページからダウンロードしてインストールして下さい。

X-Rite 社のホームページからダウンロードしてインストールする方法を以下に記述します。

2007/09/21 現在の方法です。

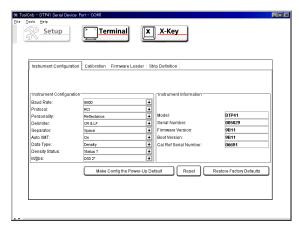
1. Web ブラウザ(インターネットエクスプローラなど)を用いて、http://www.xrite.com を開きます。
2. [Support]をクリックします。
3. 右側グレーの部分から[Downloads]をクリックします。
4. 「Products Downloads」リストの中から、「ToolCrib for Windows & Mac OSX」をクリックします。
5. 「Software Downloads」リストの中から、最新の[ToolCrib for Windows & Mac OSX]をクリックします。
6. 「Download」項目の[PC Version]をクリックします。
7. ファイルのダウンロードでは[開く]または[実行]ボタンを押します。
   Windows XP では再度ダイアログが開くので[実行する]ボタンを押します。
8. 「Unzip to folder:」でファイルの展開先を指定して[Unzip]ボタンを押します。
9. 「1 file(s) unzipped successfully」を確認し[ＯＫ]ボタンを押します。
10. あとは画面の指示通りにインストールを続行します。

■ 測色および測色データファイルの作成

ToolCrib の起動前に、DTP41 を Serial ポートに接続します。

以下、ToolCrib バージョン 5.0.9 の説明です。

1. Windows の「スタート」－「プログラム」－「X-Rite」-「 Tools」-「ToolCrib 5」を選択します。
2. DTP41 を選択し、[Go]を押します。
3. 「Instrument Connection Parameters」ダイアログが開くので右図のように設定して、[Connect]を押します。

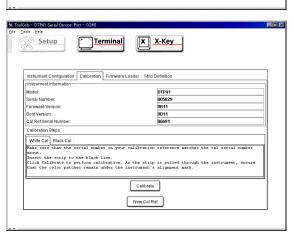
4. 「Instrument　Configuration」タブに移動して右図のように設定します。

5. 「Strip Definition」タブに移動します。

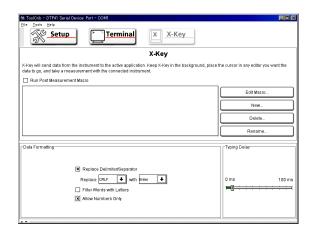
横幅が A3 サイズのプリンタ以外では、右図のように設定し、[Define Strips]を押します。

横幅が A3 サイズのプリンタでは、右図のように設定し、[Define Strips]を押します。

6. 「Calibration」タブに移動します。

Calibration 用のストリップを DTP41 に挿入し、ToolCrib の[Calibrate]ボタンを押します。

Calibration用のストリップが自動で搬送されて Calibration が行われます。

7. ［X-Key］ボタンを押します。

右図のように設定します。

8. Windows の「スタート」―「プログラム」―「アクセサリ」―「メモ帳」を選択します。

（メモ帳は常にアクティブな状態にして下さい。）

9. DS Magic の Calibrator で印刷したカラーパッチを DTP41 に挿入し、DTP41 のボタンを押します。

測色が終了すると、測色値がメモ帳に書き込まれていきます。

注意

■ 印刷後にはパッチの外枠線に沿って切り取ってご使用下さい。

■ DTP32 と DTP41 ではパッチの挿入方向が違うのでご注意下さい。

■ 2 列以上のパッチ列の場合には上段から測色して下さい。

10. 測色が終了したら、拡張子に .dat をつけた任意のファイル名に保存します。

ToolCrib を終了します。

これで測色データファイル作成は完了です。

Calibrator のその他の機能

前回の設定に戻す

カラーキャリブレーションを実行終了後、操作ミスなどの不具合によりキャリブレーション後の結果がおかしくなった場合、キャリブレーション実行１回前の状態に復元する場合に使用します。

1. 「初期画面」で[前回の設定に戻す]を押します。

   「前回の設定内容に戻す」画面が表示されます。

2. 「前回の設定内容に戻す」画面で、プリンタ、解像度、インク、メディア、多階調処理などを選択し、[設定を戻す]を押します。

   上記組み合わせでデータを管理していますので、正確に入力して下さい。

3. [はい]を押します。

工場出荷状態に戻す

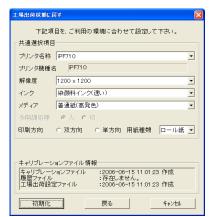
カラーキャリブレーションを実行終了後、操作ミスなどの不具合によりキャリブレーション後の結果がおかしくなった場合、工場出荷時の状態を復元する場合に使用します。

1. 「初期画面」で[工場出荷状態に戻す]を押します。

   「工場出荷状態に戻す」画面が表示されます。

2. 「工場出荷状態に戻す」画面で、プリンタ、解像度、インク、メディア、多階調処理などを選択し、[初期化]を押します。

   上記組み合わせでデータを管理していますので、正確に入力して下さい。

3. [はい]を押します。

キャリブレーションファイル情報の見方

■ **キャリブレーションファイル**

現在使用しているキャリブレーションデータファイル。

■ **履歴ファイル**

前回使用していたキャリブレーションデータファイル。

「前回の設定に戻す」機能を使うとこのデータがキャリブレーションファイルになります。

■ **工場出荷設定ファイル**

工場出荷時に準備されているキャリブレーションデータファイル。

「工場出荷状態に戻す」機能を使うとこのデータがキャリブレーションファイルになります。

TIFFOUT ドライバ

TIFFOUT ドライバは、印刷データを TIFF 形式に変換し、ファイル書き出しを行うためのドライバソフトウエアです。

本ドライバは DS Magic for Ｃanon Premium でのみインストールすることが出来ます。

基本仕様は以下のとおりです。

- ■ CMYK（32bit）フルカラーTIFF を出力
- ■ 出力解像度として、72/180/200/300/360/400/600/720dpi を選択可能
- ■ 出力ファイルは、非圧縮及び PackBits 圧縮を選択可能
- ■ 出力ファイル名は、オリジナルのファイル名称にページ番号を自動的に付加
- ■ 出力先はリモート PC も含め、任意のディレクトリに出力可能
- ■ 複数の TIFFOUT ドライバをインストールすることで、出力先、圧縮方法を TIFFOUT ドライバごとに設定することが可能
- ■ メディア、インクが存在しないため、TIFFOUT 用カラープロファイルは不要
- ■ 色調整は有効

TIFFOUT ドライバのインストール

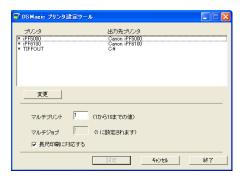
1. DS Magic の CD-ROM を挿入して下さい。
2. 「DS-Magic インストール」画面が表示されましたら、「プリンタの追加・削除」を押します。

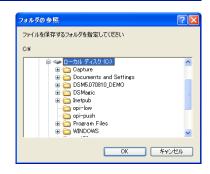
3. 「DSMagic　プリンタインストーラ」画面が表示されましたら、プリンタ機種リストから「TIFFOUT」を選択して下さい。
4. 「追加」を押します≫

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

TIFFOUT ドライバの設定

プリンタ設定ツールを用いて TIFFOUT ドライバの設定を行います。

1. DS Magic で印刷していないことを確認して下さい。
2. Windows の｢スタート｣-｢プログラム｣-｢DS Magic｣-｢プリンタ設定ツール｣を選択します。

3. ｢TIFFOUT｣プリンタを選択し、[変更]を押します。

4. [ファイル出力先]を押し、TIFF ファイルの出力先を指定し、[ＯＫ]を押すか、出力先のフォルダを直接入力して下さい。
   DS Magicのインストールされている PC以外のPC(リモートPC)に出力する場合は、以下の注意を参照して下さい。

5. 出力する TIFF ファイルの圧縮方法を指定します。
6. ｢ファイル出力先｣に同名ファイルが存在する場合に、上書きするならば｢既存ファイルに上書きする｣をチェックして下さい。
7. ｢PPD ファイルに表示する｣のチェックを確認します。
8. [ＯＫ]を押します。

注意

リモート PC へ出力する場合は､以下の設定を行って下さい。

1. リモート PC へファイルを出力するための権限の設定

   1) DS Magic のインストールされているコンピュータの｢コントロールパネル｣-｢管理ツール｣-｢サービス｣から､｢DropPrint Service｣のプロパティを開きます。

   2) ｢ログオン｣タブ内の｢アカウント｣をチェックし､アカウントとパスワード※を入力して｢ＯＫ｣を押します。

      ※ アカウントとパスワード:DS Magic のインストールされている PC とリモート PC の両方にログオン出来るユーザー名とパスワードを指定します。
      設定するアカウントには下記の権限を与えて下さい。
      ・DS Magic がインストールされている PC に対しての管理者(Administrators)権限
      ・TIFF ファイル出力先の共有フォルダに対しての書き込み権限

   3) 以下のメッセージが表示されますので､OK　を選択してダイアログを閉じます。

      ｢新しいログオン名はこのサービスを停止して再起動するまでは無効です｣

   4) ｢DropPrint Serivice｣を右クリックして､サービスを再起動させます。

2. フォルダの共有化

   出力先として指定するリモート PC 上のフォルダを､共有フォルダとしてネットワーク上に公開して下さい。

3. ｢ファイル出力先｣として､共有したフォルダを選択します。

ColorSymphony

ColorSymphony は DS Magic のカラーマネジメント機能を強化するユーティリティツールで、「ProfileEditor」と「MediaRegister」の２つのソフトウェアから構成されています。
DS Magic for Canon Premium をご使用の場合にのみインストールされます。
「ProfileEditor」は、より精密な色合わせのための各種色調整機能を搭載したデバイスリンクプロファイル作成用ソフトウエアです。
「MediaRegister」は、メディアを登録するツールです。メディアのプロファイルは別途作成する必要があります。
入力プロファイル・出力プロファイルと各種色調整機能を用い、デバイスリンクプロファイルを作成し、DS Magic のカラーマネジメント機構に適用することにより、一層高精度な色合わせを実現出来ます。
基本的な機能は以下のとおりです。

■ ProfileEditor について

- デバイスリンクプロファイル作成機能
  入力プロファイル、出力プロファイルの2つのプロファイルからデバイスリンクプロファイルを作成します。
  デバイスリンクプロファイルを作成する際、CMYK-CMYK のデバイスリンクプロファイルは、「墨 100% 保持」「墨版情報保持」「原色情報保持」の処理を追加出来ます。
- 色調整機能
  デバイスリンクプロファイルを編集します。
  ピンポイント調整
  ピンポイント色合わせ
  狙った色が正しく出力されるようにデバイスリンクプロファイルを編集します。
  画像プレビュー
  テスト用の画像を読み込み、修正したい色をマウスクリックで指定出来ます。
  デバイスリンクプロファイルを使ってテスト画像を色変換します。
  選択用カラーパッチ印刷（ベストチョイス機能）
- 色調調整
  CMYK のそれぞれの入力に対し、4 色をどのような割合で出力するかを指定します。
- 階調調整
  トーンカーブを利用して、階調調整をおこないます。（入力、出力の両方で階調調整が可能です）
  選択用カラーパッチ印刷（ベストチョイス機能）

- 特色対応ウィザード
  CMYK の 4 プレーンのそれぞれを、特色に割り当てたデバイスリンクプロファイルを作成します。
- デバイスリンクプロファイル対応
  ProfileEditor をインストールすると、DS Magic において「デバイスリンク変換」をおこなうことが出来るようになります。これにより、ProfileEditor で作成されたデバイスリンクプロファイルを用いて、DS Magic で、より高品質なカラーマッチングを実現出来るようになります。

■ MediaRegister について

- メディア情報追加機能
  DS Magic に任意のメディア情報を追加することが出来ます。
  （あらかじめそのメディアの ICC プロファイルを準備する必要が有ります。）
- メディア追加セット作成機能
  上記の「メディア情報追加機能」で追加したメディア情報を、他の DS Magic でも追加するための「メディア追加セット」を作成します。

ProfileEditor

ProfileEditor の起動

次の方法によって、ProfileEditor を起動します。

■ スタートメニューの「DS Magic」-「Profile Editor」を選びます。

ProfileEditor の終了

メニューの「デバイスリンクプロファイル」-「終了」の選択、及び、タイトルバーの[閉じる]ボタン、システムメニューの「閉じる」の選択によって ProfileEditor は終了します。

ProfileEditor のメイン画面説明

「タイトルバー」

編集中のデバイスリンクプロファイルのファイル名と、デスクリプション名が表示されます。

「メニューバー／ツールバー」

ColorSymphony の各種機能を選択します。一部の機能はツールバーのボタンから選択出来ます。

「TIFF 画像のタイトルバー」

表示している TIFF 画像のファイル名と拡大率を表示します。

メニュー項目

メニュー項目	メニューの説明
デバイスリンクプロファイル	
デバイスリンクプロファイルを作成	２つのカラープロファイルからデバイスリンクプロファイルを作成します。
デバイスリンクプロファイルを再作成	作成したときと同じ入出力のプロファイルを使用して、デバイスリンクプロファイルを再作成します。
デバイスリンクプロファイルを開く	既存のデバイスリンクプロファイルを開きます。
デバイスリンクプロファイルを閉じる	編集中のデバイスリンクプロファイルを閉じます。
デバイスリンクプロファイルを上書き保存	編集中のデバイスリンクプロファイルを上書き保存します。
デバイスリンクプロファイルに名前をつけて保存	編集中のデバイスリンクプロファイルに名前を付けて保存します。
デバイスリンクプロファイル情報	編集中のデバイスリンクプロファイルの情報を表示します。
終了	ProfieEditor を終了します。
画像	
画像を開く	TIFF 画像を開きます。
画像を閉じる	TIFF 画像を閉じます。
画像を色変換して保存	TIFF 画像を編集中のデバイスリンクプロファイルを使って色変換して保存します。
画像を拡大	TIFF 画像を拡大して表示します。
画像を縮小	TIFF 画像を縮小して表示します。
画像に反映	TIFF 画像を編集中のデバイスリンクプロファイルを使って色変換して表示します。
色調整	
ピンポイント調整	ピンポイント調整のダイアログを開きます。
色調調整	色調調整のダイアログを開きます。
入力階調調整	デバイスリンクプロファイルの入力に対して階調調整を行います。
出力階調調整	デバイスリンクプロファイルの出力に対して階調調整を行います。
墨 100% 保持、原色情報保持	墨 100% 保持、原色保持のダイアログを開きます。
特色刷りウィザード	特色刷りウィザードを開きます。
ツール	
オプション	ProfileEditor の設定を行います。
ヘルプ	
バージョン情報	ProfileEditor のバージョンを表示します。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

ProfileEditor の操作方法

デバイスリンクプロファイル

ProfileEditor のデバイスリンクプロファイル管理方法について、説明します。

ProfileEditor は下記のデバイスリンク管理機能を持っています。

■ デバイスリンクプロファイルを作成する。

入力プロファイル、出力プロファイルを選択し、デバイスリンクプロファイルを新規に作成します。

■ デバイスリンクプロファイルを再作成する。

作成したときと同じ入出力のプロファイルを使用して、デバイスリンクプロファイルを再作成します。

■ デバイスリンクプロファイルを開く。

ProfileEditor で作成したデバイスリンクプロファイルを編集用に開きます。

■ デバイスリンクプロファイルを（上書き／名前をつけて）保存する

ピンポイント色調整、色調調整、階調調整の各種色調整項目を、編集中のデバイスリンクプロファイルに反映して保存します。

■ デバイスリンクプロファイルの情報を表示する。

編集中のデバイスリンクプロファイルの情報を表示します。

デスクリプション名の編集も可能です。

以下、更に詳しい操作方法等、説明します。

■ デバイスリンクプロファイルを作成する

デバイスリンクプロファイルを、入力プロファイルと出力プロファイルの2つのプロファイルから作成します。

「ファイル」-「デバイスリンクプロファイルを作成」を選ぶか、[プロファイルを作成]ツールボタン を押すと、「デバイスリンクプロファイル作成」ダイアログが表示されます。

このダイアログボックスで、デバイスリンク作成時の項目を設定します。

「デバイスリンクプロファイル作成」ダイアログボックスは、[作成]ボタンを押し、デバイスリンクプロファイルが作成されたときか、[キャンセル]ボタンを押し、デバイスリンクプロファイルの作成を中止した場合に終了します。

- デバイスリンクプロファイルの作成手順

1. 入力プロファイルを選択します。

   入力プロファイルのカラースペースは､RGB,CMYK をサポートします。

2. 出力プロファイルを選択します。

   出力プロファイルのカラースペースは､CMYK をサポートします。

3. デバイスリンクプロファイル名を指定します。

   デスクリプション名を設定します。

4. レンダリングインテントを選択します。
5. 必要に応じて､墨版情報保持､原色情報保持､墨 100% 保持のチェックボックスを設定します。
6. [作成]ボタンを押します。

デバイスリンクプロファイル作成ダイアログ

入力プロファイルボックス

「ファイル名」

入力プロファイル名を表示します｡｢参照｣により選択されたプロファイルファイル名を表示します。

「デスクリプション名」

選択されたプロファイルのデスクリプション名を表示します。

「カラースペース」

選択されたプロファイルのカラースペースを表示します。

カラースペースはRGB,CMYKである必要があります。

［参照］ボタン

押すとファイル選択ウィンドウが開きます。デフォルトタイプ種類は、「.icm」です。

出力プロファイルボックス

「ファイル名」

出力プロファイル名を表示します。「参照」により選択されたプロファイルファイル名を表示します。

「デスクリプション名」

選択されたプロファイルのデスクリプション名を表示します。

「カラースペース」

選択されたプロファイルのカラースペースを表示します。

カラースペースはCMYKである必要があります。

［参照］ボタン

押すとファイル選択ウィンドウが開きます。デフォルトタイプ種類は、「.icm」です。

変換方法ボックス

「レンダリングインテント」

レンダリングインテントを選択します。

・知覚的

・彩度

・相対的な色域を維持

・絶対的な色域を維持

の項目から選択出来ます。

「墨版情報保持」

チェックすると、墨版情報を保持します。墨版情報保持とは「CMYが0%の時にK単色で出力する」機能です。スライダーを操作することにより、墨版情報保持を開始するKのパーセントを指定することが出来ます。

※ 実際の印刷時には、DS Magicの「色調整タブ」の「色調整ダイアログ」にて「詳細」設定より、「KをCMYに変換する処理を有効にする」のチェックをはずして下さい。

※ この機能は入力プロファイルのカラースペースがRGBの時には選択できません。

「墨100%保持」

チェックをすると、墨100%を保持します。墨100%保持とは、「CMYが0%かつK100%の時、K100%単色で出力する」機能です。この機能は、入力プロファイルのカラースペースがRGBの時には選択できません。

「原色情報保持」

チェックをすると、原色情報を保持します。原色情報保持とは、「CMYK のべた色の原色に、補色インクの混入を防止する」機能です。この機能は、入力プロファイルのカラースペースが RGB の時には選択できません。

デバイスリンクプロファイルボックス

「ファイル名」

デバイスリンクプロファイル名を表示します。「参照」により選択されたプロファイル名を表示します。

「デスクリプション名」

作成するプロファイルのデスクリプション名の表示、及び入力をおこないます。

「デスクリプション名を自動生成」

チェックをすると、自動的にデスクリプション名がつくられます。

チェックボックスのデフォルトの状態は「ツール」-「オプション」で定義することが出来ます。

オンのとき

入力プロファイルのデスクリプション名と出力プロファイルのデスクリプション名を合わせた名前および、レンダリングインテントから、デバイスリンクプロファイルのデスクリプション名が自動生成されます。

「墨版情報保持」選択時（50% から墨版情報保持を開始する場合）には、「（KK50）」「墨 100% 保持」選択時には「（BK）」、「原色情報保持」選択時には「（PK）」が付加されます。

（例）: 入力プロファイルのデスクリプション名が「Japan Color」、出力プロファイルのデスクリプション名が「PM9000C」であり、レンダリングインテントが「相対的」であり、「墨版情報保持」、「原色情報保持」選択時は、「デバイスリンクプロファイルのデスクリプション名は「Japan Color to PM9000C（相対的）（BK）（PK）」となります。

オフのとき

デスクリプション名は自由に入力することが出来ます。

[参照]ボタン

押すとファイル選択ウィンドウが開きます。デフォルトタイプ種類は、「.icm」および「.icc」です。

[作成]ボタン

押すとデバイスリンクプロファイルを作成します。

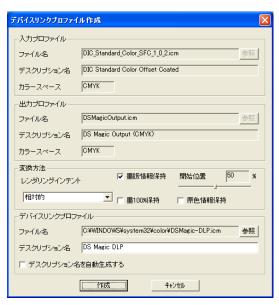
[キャンセル]ボタン

すべての設定項目を無視し、ウィンドウを閉じます。

■ デバイスリンクプロファイルを再作成

作成したときと同じ入出力のプロファイルを使用して、デバイスリンクプロファイルを再作成します。

入力プロファイルと、出力プロファイルはデバイスリンクプロファイルを作成したときのプロファイルが選択されており、変更することはできません。

変換方法、及び、デバイスリンクプロファイルのファイル名、デスクリプション名が変更可能です。

■ デバイスリンクプロファイルを開く

既存のデバイスリンクプロファイルを開きます。

「ファイル」-「デバイスリンクプロファイルを開く」を選ぶか、[プロファイルを開く]ツールボタンを押すと、「デバイスリンクプロファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。ここで、デバイスリンクプロファイルを選択します。

利用可能なデバイスリンクプロファイルは、RGB-CMYK 変換用、CMYK-CMYK 変換用です。

- **バックアップファイル**

  変更前のデータをバックアップファイルとして保存しておくことが出来ます。

  「ツール」-「オプション」-「デバイスリンクプロファイル」で「バックアップファイルを作成する」がオンの時には、開くときに、“.bak”をファイル名の末尾につけたファル名でバックアップファイルを作成します。

■ デバイスリンクプロファイルを上書き保存

デバイスリンクプロファイルを上書き保存します。

「ファイル」-「デバイスリンクプロファイルを上書き保存」を選ぶか、[プロファイルを上書き保存]ツールボタンを押すと、上書き保存されます。

■ デバイスリンクプロファイルを名前を付けて保存

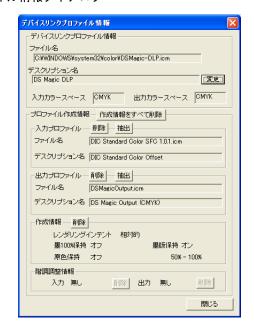
デバイスリンクプロファイルを別名で保存します。

「ファイル」-「デバイスリンクプロファイルを名前を付けて保存」を選ぶと、「デバイスリンクプロファイルに名前をつけて保存」ダイアログボックスが表示されます。「デバイスリンクプロファイルに名前をつけて保存」ダイアログボックスではデスクリプションも変更して保存することが出来ます。

■ デバイスリンクプロファイル情報の表示

開いているデバイスリンクプロファイルの情報を表示します。

「ファイル」-「 デバイスリンクプロファイル情報を表示」 を選ぶか、[プロファイルの情報]ツールボタン を押すと、「デバイスリンクプロファイル情報」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスは、「ファイル」-「デバイスリンクプロファイル情報を表示」を選ぶか、[プロファイルの情報]ツールボタン を押すと閉じます。また、デバイスリンクプロファイルを閉じた時も閉じます。

デバイスリンクプロファイル情報ダイアログ

デバイスリンクプロファイル情報ボックス

「ファイル名」

デバイスリンクプロファイル名を表示します。

「デスクリプション名」

デスクリプション名を表示します。

[変更]ボタン

デスクリプション名を変更します。

[変更]ボタンを押すと「デスクリプション名の変更」ダイアログが表示されます。

デスクリプション名を変更し、[ＯＫ]ボタンを押すと、デスクリプション名が変更されます。

[キャンセル]ボタンを押すと何も変更されません。

「入力カラースペース」

入力カラースペース名を表示します。

「出力カラースペース」

出力カラースペース名を表示します。

プロファイル作成情報ボックス

デバイスリンクプロファイルに、入力プロファイル、出力プロファイル、作成情報、階調調整の情報を作成情報として付加することが出来ます。この項目では、それぞれの情報を表示します。

プロファイル作成情報はColorSymphonyの独自の形式でデバイスリンクプロファイルに付加されているため、他のアプリケーションからは使用できません。

[作成情報をすべて削除]ボタン

デバイスリンクプロファイルに付加されているプロファイル作成情報をすべて削除します。

入力プロファイルまたは出力プロファイルの配布する権利に制限がある場合には、制限があるプロファイルは付加せずに削除して下さい。

入力プロファイルボックス

デバイスリンクプロファイルに付加されている入力プロファイルの情報を表示します。

「ファイル名」

入力プロファイル名が表示されます。

入力プロファイルの情報が付加されていないときには「無し」と表示されます。

「デスクリプション名」

入力プロファイルのデスクリプション名が表示されます。

[削除]ボタン

付加されている入力プロファイルを削除します。

[抽出]ボタン

付加されている出力プロファイルを抽出します。抽出ボタンを押すと、ファイル保存ダイアログが開きますので、抽出ファイルの名前を指定して、[保存]ボタンを押して下さい。

出力プロファイルボックス

デバイスリンクプロファイルに付加されている出力プロファイルの情報を表示します。

「ファイル名」

出力プロファイル名が表示されます。

出力プロファイルの情報が付加されていないときには「無し」と表示されます。

「デスクリプション名」

出力プロファイルのデスクリプション名が表示されます。

[削除]ボタン

付加されている出力プロファイルを削除します。

[抽出]ボタン

付加されている出力プロファイルを抽出します。抽出ボタンを押すと、ファイル保存ダイアログが開きますので、抽出ファイルの名前を指定して、[保存]ボタンを押して下さい。

作成情報ボックス

デバイスリンクプロファイルに付加されている作成情報（変換方法）を表示します。

[削除]ボタン

付加されている作成情報を削除します。

「レンダリングインテント」

レンダリングインテントを表示します

作成情報が付加されていないときには、「無し」と表示されます。

「墨 100%保持」

墨 100%保持が行われていればオン、行われていなければオフと表示されます。

「原色保持」

原色保持が行われていればオン、行われていなければオフと表示されます。

「墨版保持」

墨版保持が行われていればオン、行われていなければオフと表示されます。

また、墨版保持の範囲を下段に表示します。

階調調整情報ボックス

「入力」

入力階調調整情報があれば「有り」、無ければ「無し」と表示されます。

[削除]ボタン

デバイスリンクプロファイルに付加されている入力階調調整情報を削除します。

「出力」

出力階調調整情報があれば「有り」、無ければ「無し」と表示されます。

[削除]ボタン

デバイスリンクプロファイルに付加されている出力階調調整情報を削除します。

[閉じる]ボタン

デバイスリンクプロファイル情報ダイアログを終了します。

■ デバイスリンクプロファイルを閉じる

デバイスリンクプロファイルを閉じます。

デバイスリンクプロファイルが変更されている場合には、保持するかどうかを尋ねるダイアログボックスが開きます。

「ファイル」-「デバイスリンクプロファイルを閉じる」を選ぶか、[プロファイルを閉じる]ツールボタン を押すと、デバイスリンクプロファイルを閉じます。

画像

ProfileEditor の画像メニューについて説明します。

プレビュー用の画像データを開きます。ピンポイント色調整の部分で、画像をクリックしてピンポイント色調整を行う色を選択出来ます。また、編集中のデバイスリンクプロファイルを使用して、色変換を行うことも出来ます。

■ 画像データを開く

デバイスリンクプロファイルが開かれている状態で、「画像」-「画像を開く」を選ぶか、[画像を開く]ツールボタン を押すと、「開く」ダイアログボックスが表示されます。ここで、画像ファイルを選択します。

画像ファイル形式は、非圧縮 TIFF 形式と Packbits 圧縮 TIFF 形式をサポートします。また、同時に開くことの出来るファイル数は 1 つです。開いているデバイスリンクプロファイルと違うカラースペースの画像は開くことは出来ません。違っている場合には、警告のダイアログが表示されます。

「画像」-「画像を閉じる」を選ぶと画像を閉じます。

■ 画像の拡大・縮小

「画像」-「画像の拡大」を選ぶか、[拡大]ツールボタン を押す毎に画像を拡大表示します。

2 倍 ,3 倍 ,...,10 倍に拡大されます。

「画像」-「画像の縮小」を選ぶか、[縮小]ツールボタン を押す毎に画像を縮小表示します。

1/ 2,1/3,..,1/10 に縮小されます。

拡大は 10 倍まで、縮小は 1/10 倍までです。

■ **画像を色変換して保存**

画像を編集中のデバイスリンクプロファイルを使用して、色変換して保存します。

「画像」-「画像を色変換して保存」を選ぶか、[色変換]ツールボタン を押すと、「画像を色変換して保存」ダイアログボックスが表示されます。ここで、画像ファイルを選択します。ファイル保存形式は、非圧縮の TIFF 形式と Packbits 圧縮 TIFF 形式です。

■ **画像に反映**

デバイスリンクプロファイルが開かれている状態で、「画像」-「画面に反映」を選ぶか、[画面に反映]ツールボタン を押すと、編集中のデバイスリンクプロファイルを適用して画像を色変換して表示します。「ツール」-「オプション」-「プレビューのプロファイル変換」において、「プレビュー表示にプロファイル変換を行う」がチェックされている必要があります。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

色調整

デバイスリンクプロファイルの編集について説明します。

■ ピンポイント色調整

指定した一部の色を、所望の色に変換出来るようにデバイスリンクプロファイルを編集します。

■ 階調調整

トーンカーブを用いてデバイスリンクプロファイルを編集します。

デバイスリンクプロファイルの処理の入力時及び、出力時のそれぞれの階調を調整することが出来ます。

■ 色調調整

CMYK の入力に対する出力の割合を操作することによって、デバイスリンクプロファイルを編集します。

■ 墨 100% 保持、原色情報保持

編集中のデバイスリンクプロファイルに墨 100% 保持、原色情報保持の処理を行います。

■ ピンポイント色調整

「色調整」-「ピンポイント色調整」を選ぶか、[ピンポイント調整]ツールボタン を押すと、「ピンポイント色調整」ダイアログが表示されます。

「ピンポイント色調整」ダイアログボックスは、[OK]ボタンを押したときか、[キャンセル]ボタンを押した場合に終了します。

- ピンポイント色調整の操作手順

1. 「入力値」にピンポイント色調整を行いたい色を設定します。

入力が RGB の場合は 0 〜 255 レベルで、CMYK の場合は 0 〜 100%で設定します。

プレビュー画像が開かれていれば、スポイトボタンを押して、プレビュー画像をクリックすることによって指定出来ます。

「出力値(変更前)」には編集中のデバイスリンクプロファイルで「入力値」を変換した値が表示されます。

2. 「出力値(変更後)」または「差分」に変更量を設定します。

「出力値(変更前)」の値をどのように変更するかを設定します。

[パッチ作成]ボタンを押すとパッチを作成するダイアログが表示されます。

3. 影響範囲を設定します。

ピンポイント色調整の影響範囲を設定します。

影響範囲更新, 範囲設定によって、自動で影響範囲を設定します。

影響範囲のグラフをマウスで操作して、任意の影響範囲を作成出来ます。

4. ［実際の変更値を更新］ボタンを押します。

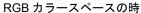
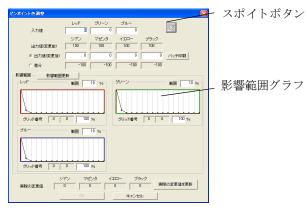
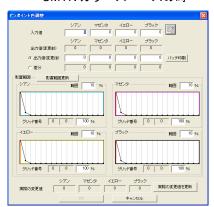
影響範囲のグラフの設定や、デバイスリンクプロファイルのグリッドの関係から、「出力値（変更後）」のとおりに設定できない場合があります。このボタンによって、実際にはどのような値に変更されるかを調べます。

5. ［ＯＫ］ボタンを押します。

［ＯＫ］ボタンを押すことによって、ピンポイント色調整が行われて、ピンポイント色調整ダイアログが閉じます。

なお、この状態ではまだファイルに保存されていません。「デバイスリンクプロファイル」「上書き保存」「名前をつけて保存」を選択してファイルに保存して下さい。

※ 入力値、出力値（変更後）、出力値（変更前）差分は小数点以下第２位まで入力出来ます。

ピンポイント調整ダイアログ

RGB カラースペースの時　　　　CMYK カラースペースの時

デバイスリンクプロファイルのカラースペースによって、RGB、CMYK 用のダイアログボックスが表示されます。

「入力値」

入力値を指定します。

RGB の時：　R、G、B 各々レベルで指定します。
　　　　　　指定範囲は、0 ～ 255 レベルです。

CMYK の時：C、M、Y、K 各々% で指定します。
　　　　　　指定範囲は、0 ～ 100% です。

連動して、「影響範囲」グラフの入力値線（赤線）が更新されます。

[スポイト]ボタン

これを押すと、カーソルがスポイト形状に変わり、画像上でクリックすると、そのデータ(RGB、CMYK)が「入力値」に入ります。

画像ウィンドウが開かれていない状態では使用できません。

カーソルがスポイト形状の時、[スポイト]ボタンを押すと元に戻ります。

「出力値(変更前)」

入力値を、現在開いているデバイスリンクプロファイルで色変換した時の値を表示します。これは入力値に連動して変更されます。

「出力値(変更後)」

入力値に対する、出力値を指定します。指定範は、0 〜 100 です。

「差分」

入力値に対する、出力値の差分を指定する。出力値(変更前)が 50% の時、出力値(変更後)を 70% にするには、差分は 20% になります。

指定範囲は、-100 〜 +100

出力値の変更は、「出力値(変更後)」「差分」のどちらかを使って行います。

[パッチ作成]ボタン(ベストチョイス機能)

出力値決定の目安とするためのカラーパッチを作成します。

[パッチ作成]ボタンを押すと、「パッチ印刷」ダイアログが表示されます。

「影響範囲」グラフ

入力値の値が薄いグレーの縦線はデバイスリンクプロファイルのグリッドを示しています。この線上の値のみ変更されます。

数値入力と、マウス入力の 2 つの方法で影響範囲を指定します。縦軸の単位は影響度%を示しています。

■ マウス入力

グリッドのグレーの線上をクリックするとその位置に影響範囲が変更されます。

グリッド位置(黒丸)をマウスで上下にドラッグして影響範囲を変更します。

変更中のグリッドは赤丸で表示され、グラフ下にグリッド番号とその時の値が表示されます(RGB は 0 〜 255,CMYK は 0 〜 100 で表示します)

■ 数値で入力

グリッドを選択し(赤丸表示)、その時の影響度を数値で入力します。

「範囲」

入力値を中心として、指定された範囲の台形に影響範囲グラフを変更します。

「影響範囲」グラフでの設定は、キャンセルされます。

[影響範囲更新]ボタン

入力値を中心として、指定された範囲の台形に影響範囲グラフを更新します。

「影響範囲」グラフでの設定は、キャンセルされます。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

[実際の変更値を更新]ボタン

影響範囲のグラフの設定や、デバイスリンクプロファイルのグリッドの関係から、「出力値（変更後）」のとおりに設定できない場合があります。このボタンのクリックによって、実際にはどのような値に変更されるかを調べます。

[ＯＫ]ボタン

[ＯＫ]ボタンを押すことによって、ピンポイント色調整が行われて、ピンポイント色調整ダイアログが閉じます。

なおこの状態では、ピンポイント色調整の内容はファイルに保存されていません。「デバイスリンクプロファイル」「上書き保存」「名前をつけて保存」を選択してファイルに保存して下さい。

[キャンセル]ボタン

ピンポイント色調整の結果を破棄してピンポイント色調整ダイアログを閉じます。

パッチ作成（ベストチョイス機能）

出力値（変更後）の設定をサポートするために、カラーパッチを作成します。

単色のカラーパッチと、プレビュー画像を色変換したパッチの 2 種類が作成されます。

作成されるファイル形式は、非圧縮 TIFF 形式です。

「ピンポイント色調整」ダイアログボックスの[パッチ印刷]ボタンを押すことによりダイアログボックスが表示されます。

パッチ作成の操作手順

1. 出力値（変更後）の値を設定します。

   「開始」-「終了」の間を、「間隔」分だけ数値を変化させます。

   （例）：開始＝ 50、終了＝ 60、間隔 3 のときには、50,53,56,59 の数値を使用します。

2. [パッチ一覧更新]ボタンを押します。

   シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの値をそれぞれ変動させてパッチ一覧を「パッチ一覧リスト」に表示します。「出力値（変更後）」には変動させた値を、「実際の変更値」には出力値（変更後）の値でデバイスリンクプロファイルを作成した時に、そのデバイスプロファイルを使用して、入力値を色変換した時の値を表示します。

3. [パッチファイル作成]ボタン、または[画像ファイル作成]ボタンを押します。

   「パッチファイル作成ダイアログ」、または、「画像ファイル作成ダイアログ」が表示されます。

   解像度、パッチサイズ、レイアウト数を選択し、[作成]ボタンを押します。

   パッチファイル作成の場合には、指定したフォルダに、Patch0.tif、Patch1.tif、Patch2.tif、… のファイルが作成されます。

   画像ファイル作成の場合には、指定したフォルダに、Image0.tif、Image1.tif、Image2.tif、… のファイルが作成されます。

4. **作成したパッチを DS Magic を使って印刷します。**

DS Magic のドロッププリント機能を利用することによって DS Magic にデータを送ることが出来ます。この時、色調整で CMYK 色変換を無変換にする必要があります。

詳しくは「第 6 章　操作の方法」-「印刷設定」-「オプション設定ウィンドウ」-「ドキュメントタブ：色調整タブ」を参照して下さい。

5. **出力値（変更後）を決定する。**

パッチを印刷して、その中からパッチを選びます。

そのパッチの項目をパッチ一覧から選択して、[修正値を適用]ボタンを押します。これにより、「パッチ作成ダイアログ」が閉じられ、ピンポイント色調整の「出力値（変更後）」の部分に値が設定されます。

パッチ印刷ダイアログ

「入力値」

「ピンポイント色調整」ウィンドウで設定してある入力値を表示します。

入力カラースペースがCMYKの時には、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの4つのエディットボックスを表示し、RGB の時にはレッド、グリーン、ブルーの 3 つのエディットボックスを表示します。

「出力値（変更前）」

「ピンポイント色調整」ウィンドウで設定してある出力値（変更前）を表示します。

「出力値（変更後）」

出力値（変更後）の設定をおこないます。

「開始」

出力値（変更後）の開始出力値の入力をおこないます。

シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各々について設定します。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

「終了」

出力値(変更後)の終了出力値を設定します。

「間隔」

出力値(変更後)の繰り返すステップ間隔を設定します。

開始、終了、間隔の数値の範囲は 0 ～ 100 です。

※「開始」、「終了」、「間隔」は小数点以下第 2 位まで入力出来ます。

[パッチ一覧更新]ボタン

開始、終了、間隔内容に基づき、パッチ一覧を作成します。

「開始」の値から始めて、「間隔」の値で、「終了」の値までのリストを作成します。

すでにパッチ一覧にリストが表示してある場合は、パッチ一覧にあった項目は全て削除して、新たにパッチ一覧を作成します。

[パッチファイル作成]ボタン

このボタンを押すと「パッチファイル作成ダイアログ」を表示します。

[画像ファイル作成]ボタン

このボタンを押すと「画像ファイル作成ダイアログ」を表示します。

画像が指定されていない場合は、使用できません。

「パッチ一覧リスト」

No の項目をクリックすると、リスト項目を選択出来ます。

コントロールキー、シフトキーを併用して複数選択出来ます。

[変更]ボタン

選択されている設定値を、設定値の編集エディットボックスの内容に変更します。またその時の実際の変換値も表示します。

[追加]ボタン

設定値の編集エディットボックスの内容を、選択されている項目の前に追加します。

[削除]ボタン

選択されている項目を削除します。

[修正値を適用]ボタン

パッチ一覧で選択されている値を、デバイスリンクプロファイルの「出力値(変更後)」の値に設定します。

[キャンセル]ボタン

すべての設定を無効とし、ダイアログを閉じます。

出力値(変更後)の例

	開始	終了	間隔
シアン	50	50	1
マゼンタ	40	50	5
イエロー	0	5	5
ブラック	2	3	1

上記出力値を設定して[パッチ一覧更新]ボタンを押すと、下記、図１、図２のようなパッチ一覧が作成されます。

シアン	マゼンタ	イエロー	ブラック
50	40	0	2
50	40	0	3
50	40	5	2
50	40	5	3
50	45	0	2
50	45	0	3
50	45	5	2
50	45	5	3
50	50	0	2
50	50	0	3
50	50	5	2
50	50	5	3

パッチ印刷ダイアログの詳細説明

パッチ一覧のすべての条件でパッチを作成します。

「パッチ数」

「パッチ印刷」ダイアログで設定されたパッチ数を表示します。

「解像度」

画像の印刷解像度を設定します。

選択項目の内容は「ツール」-「オプション」で設定出来ます。

「パッチサイズ」

1 つのパッチのサイズを mm 単位で設定します。範囲は、1 ～ 100 です。

「レイアウト」

各々のパッチをレイアウトする個数を設定します。範囲は、1 ～ 1000 です。

「ファイル数」

作成されるファイル数を表示します。

「ファイルサイズ」

作成されるファイルのサイズを Mbyte 単位で表示します。

「印刷サイズ」

1 つのファイルが印刷される大きさを mm 単位で表示します。

複数のファイルが作成される場合、全ファイルの中から最大のもののサイズを表示します。

[作成]ボタン

このボタンを押すと「パッチファイル名の指定」ダイアログが表示されます。パッチファイル名を指定します。

ファイル保存形式は、非圧縮の TIFF 形式と Packbits 圧縮 TIFF 形式です。

「パッチサイズ」で指定された大きさで、「レイアウト」で指定されたレイアウトでファイルを作成されます。各々のパッチには、「パッチ一覧リスト」の番号を付加されます。

(例) : ファイル名を patch.tif と指定した場合には、実際に作成されるファイルは、patch1.tif、patch2.tif、…となります。

[キャンセル]ボタン

すべての設定を無効とし、ダイアログを閉じます。

画像ファイル作成ダイアログ

パッチ一覧のすべての条件で色変換した画像を作成します。

「パッチ数」

「パッチ印刷」ダイアログで設定されたパッチ数を表示します。

「解像度」

画像の印刷解像度を設定します。

選択項目の内容は「ツール」-「オプション」で設定出来ます。

「パッチサイズ」

1 つのパッチのサイズを mm 単位で設定します。範囲は、1 ～ 100 です。

「レイアウト」

各々のパッチをレイアウトする個数を設定します。範囲は、1 ～ 1000 です。

「ファイル数」

作成されるファイル数を表示します。

「ファイルサイズ」

作成されるファイルのサイズを Mbyte 単位で表示します。

「印刷サイズ」

1 つのファイルが印刷される大きさを mm 単位で表示します。

複数のファイルが作成される場合、全ファイルの中から最大のもののサイズを表示します。

[作成]ボタン

このボタンを押すと「画像ファイル名の指定」ダイアログが表示されます。パッチファイル名を指定します。

ファイル保存形式は、非圧縮の TIFF 形式と Packbits 圧縮 TIFF 形式です。

「パッチサイズ」で指定された大きさで、「レイアウト」で指定されたレイアウトでファイルを作成します。各々のパッチには、「パッチ一覧リスト」の番号が付加されます。

（例）: ファイル名を image.tif と指定した場合には、実際に作成されるファイルは、image1.tif、image2.tif、… となります。

[キャンセル]ボタン

すべての設定を無効とし、ダイアログを閉じます。

画像ファイルの例

■ 階調調整

トーンカーブを用いて、デバイスリンクプロファイルを編集します。入力に対する階調調整および出力に対する階調調整を行うことが出来ます。

「色調整」-「入力階調調整」を選ぶか、[入力階調調整]ツールボタン を押すと「入力階調調整」ダイアログボックスが表示されます。タイトルバーに「入力階調調整」と表示されています。

「色調整」-「出力階調調整」を選ぶか、[出力階調調整]ツールボタン を押すと、「出力階調調整」ダイアログボックスが表示されます。タイトルバーに「出力階調調整」と表示されています。

「入力階調調整」「出力階調調整」の２つのダイアログボックスはほとんど同じ編集画面であり操作も同じですので、この項の説明は、入力、出力を区別せずに「階調調整」という用語を用います。

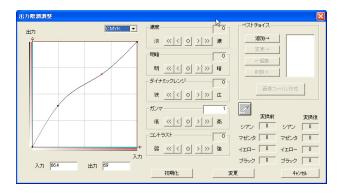
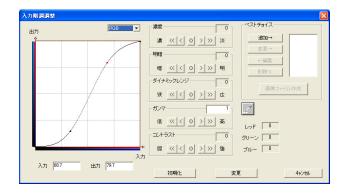
「階調調整」ダイアログボックスは、[変更]ボタンを押したときか、[キャンセル]ボタンを押した場合に終了します。

- **階調調整の操作手順**

1. **ボタン操作か、マウスで直接操作することにより、トーンカーブを編集します。**
2. **[変更]ボタンを押します。**

   なお[変更]ボタンを押しただけでは、階調調整の内容はファイルに保存されていません(編集中の状態です)。「デバイスリンクプロファイル」-「上書き保存」「名前をつけて保存」を選択してファイルに保存して下さい。

階調調整ダイアログ

出力階調調整ダイアログ

入力階調調整ダイアログ（入力がＲＧＢの場合）

CMYK の階調（トーンカーブ）を調整します。

次の 2 つの方法があります。

■　ボタン操作でおこなう方法

■　直接マウスで操作して変更する方法

「カラー選択」

変更するカラーを選択します。「CMYK」はCMYK 全色、「シアン」はシアン、「マゼンタ」はマゼンタ、「イエロー」はイエロー、「ブラック」はブラックを変更します。

RGB-CMYK のデバイスリンク編集中の入力階調調整では「RGB」「レッド」「グリーン」「ブルー」が選択出来ます。

■ ボタンで操作をおこなう方法

「<<」「>>」で大幅に変化し、「<」「>」で微妙に変化します。「□」で標準に戻ります。

濃度ボックス

濃度調整をおこないます。

明暗ボックス

全体的な明暗調整をおこないます。ハイライト部が濁っている、シャドウ部の締まりが無いという時に利用すると効果的です。

ダイナミックレンジボックス

再現階調幅の拡大縮小をおこないます。デジカメやスキャナで取得した画像のように、全ての階調を利用していない画像に対して階調幅の拡大をおこなうと、コントラストが向上した画像を得ることが出来ます。

ガンマボックス

ハイライト部やシャドウ部の階調欠落を防止しながら明暗調整をおこないます。すなわち中間調域に対する明暗調整ということも出来ます。

コントラストボックス

ハイライト部やシャドウ部の階調欠落を防止しながら、画像にコントラストをつけることが出来ます。すなわち中間調域のコントラストを調整するということも出来ます。

■ 直接マウスで操作して変更する方法

制御点を動かすことにより、曲線を制御します。動かしている制御点は赤点で表示され、その座標もキーボード入力で細かく設定出来ます。※

また、隣の制御点に近づけると制御点は消去されます。

※ 座標は 0 ～ 100 の範囲で小数点以下第 2 位まで入力出来ます

[スポイト]ボタン

これを押すと、カーソルがスポイト形状に変わり、画像上でクリックすると、そのデータ（RGB、CMYK）が取得出来ます。

カーソルがスポイト形状の時、「スポイト」ボタンを押すと元に戻ります。

入力階調調整のとき

入力階調調整は入力値に対して適用されるために、データは入力値に入り、トーンカーブ上に入力値を表示します。

出力階調調整のとき

出力階調調整はデバイスリンクプロファイルの変換後の値に対して適用されるため、データは「変換前」に入り、トーンカーブ上に変換後の値をそれぞれの色で表示します。

※ 画像ウィンドウが開かれていない状態では使用できません。

[初期化]ボタン

階調調整の設定値をデフォルトの値に戻します。

[変更]ボタン

変更した階調調整をデバイスリンクプロファイルに反映し、「階調調整」ダイアログを閉じます。

しかし[変更]ボタンを押しただけでは、階調調整の内容はファイルに保存されていません(編集中の状態です)。「デバイスリンクプロファイル」「上書き保存」「名前をつけて保存」を選択してファイルに保存して下さい。

[キャンセル]ボタン

変更内容を破棄し、「階調調整」ダイアログを閉じます。

ベストチョイスボックス

ベストチョイス機能

階調調整の調整内容をリストに保存します。その後、プレビュー画像に対して、リスト中の調整を適用した画像ファイルを作成することが出来ます。画像ファイル作成時にはプレビュー画像を開いている必要があります。

[追加→]ボタン

現在の編集内容を追加します。

[変更→]ボタン

リスト中の選択されている項目に、現在の階調調整を上書きします。

[編集←]ボタン

リスト中の選択されている項目の内容を、現在の階調調整にします。

[削除×]ボタン

リスト中の選択されている項目を削除します。

[画像ファイル作成]ボタン

このボタンを押すと「画像ファイル作成ダイアログ」を表示します。プレビュー画像が指定されていない場合は、使用できません。

「画像ファイル作成ダイアログ」の項目をご覧下さい。

■ 色調調整

CMYKのそれぞれの入力に対し、4色をどのような割合で出力するかを指定します。この値により、デバイスリンクプロファイルを編集します。

「色調整」-「色調調整」を選ぶか、[色調調整]ツールボタン を押すと、「色調調整」ダイアログボックスが表示されます。

「色調調整」ダイアログボックスは、[変更]ボタンを押したときか、[キャンセル]ボタンを押した場合に終了します。

- 色調調整の操作手順

1. CMYK のそれぞれの入力に対し、4 色をどのような割合で出力するかを指定します。
2. [変更]ボタンを押します。

なお「変更]ボタンを押しただけでは、色調調整の内容はファイルに保存されていません(編集中の状態です)。「デバイスリンクプロファイル」-「上書き保存」「名前をつけて保存」を選択してファイルに保存して下さい。

色調調整ダイアログ

色調調整

入力

出力	シアン	マゼンタ	イエロー	ブラック
シアン	100	0	0	0
マゼンタ	0	100	0	0
イエロー	0	0	100	0
ブラック	0	0	0	100

変更　キャンセル

テーブルではシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのそれぞれの入力に対し、4 色をどのような割合で混ぜて出力するかを指定します。プラス･マイナス何れの指定もおこなえます。マイナスの値は、ある原色に含まれるほかの原色の色味を押さえる役割をはたすものです。

[変更]ボタン

変更した色調調整をデバイスリンクプロファイルに反映し、「色調調整」ダイアログを閉じます。
しかし[変更]ボタンを押しただけでは、色調調整の内容はファイルに保存されていません(編集中の状態です)。「デバイスリンクプロファイル」-「上書き保存」「名前をつけて保存」を選択してファイルに保存して下さい。

[キャンセル]ボタン

変更内容を破棄し、「色調調整」ダイアログを閉じます。

■ 墨 100% 、原色情報保持

現在開かれているデバイスリンクプロファイルに対して、墨情報保持、原色情報保持の処理を実行します。

「色調整」-「墨情報原色情報保持」を選ぶと、「墨情報原色情報保持」ダイアログボックスが表示されます。

- 墨 100% 、原色情報保持の操作手順

1. 墨情報、原色情報保持の設定を行います。
2. [変更]ボタンを押します。

なお[変更]ボタンを押しただけでは、色調調整の内容はファイルに保存されていません(編集中の状態です)。「デバイスリンクプロファイル」-「上書き保存」「名前をつけて保存」を選択してファイルに保存して下さい。

墨 100%、原色情報保持ダイアログ

「墨 100% 保持」

「墨 100% 保持」をチェックすると墨 100% 保持の処理が行われます。

「原色情報保持」

「原色情報保持」をチェックすると原色情報保持の処理が行われます。

[変更]ボタン

墨 100% 保持、原色情報保持の処理結果をデバイスリンクプロファイルに反映し、「墨 100%、原色情報保持」ダイアログを閉じます。

しかし[変更]ボタンを押しただけでは、墨 100%、原色情報保持の内容はファイルに保存されていません(編集中の状態です)。「デバイスリンクプロファイル」－「上書き保存」「名前をつけて保存」を選択してファイルに保存して下さい。

[キャンセル]ボタン

変更内容を破棄し、「墨 100%、原色情報保持」ダイアログを閉じます。

■ 特色刷りウィザード

CMYK の 4 プレーンのそれぞれを、特色に割り当てたデバイスリンクプロファイルを作成します。「色調整」-「特色刷りウィザード」を選ぶか、[特色刷りウィザード]ツールボタン を押すと、「特色刷りウィザード」が表示されます。

特色刷りウィザードでは新たにデバイスリンクを作成しますので、編集中のデバイスリンクプロファイルがある場合には、そのファイルは閉じられます。デバイスリンクプロファイルが、「変更」状態にあるときには、ダイアログボックスが開き、保存するかどうかを指定します。

特色刷りウィザードでは､プレビュー画像に特色ウィザードの結果を反映することが出来ます。「ツール」-「オプション」-「プレビューのプロファイル変換」において､「プレビュー表示にプロファイル変換を行う」がチェックされている必要があります。
特色刷りウィザードで用いる画像は CMYK の画像です。RGB の画像が開かれている場合には､閉じられます。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

特色刷りウィザードの操作手順

特色刷りウィザードは 4 つのステップによって構成されています。

1. 出力プロファイルを選択します。
2. 使用する CMYK プレーンを選択し、特色を CMYK に変換します。ベストチョイス機能で、所望の色に近づけて変換出来ます。
3. 特色の階調を調整します。
4. デバイスリンクプロファイルとして保存します。

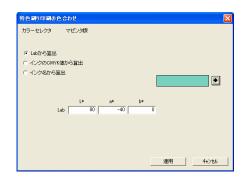
以降、操作手順の詳細を説明します。

1. 特色刷りウィザードの出力に使用するプロファイルを選択します。２つの選択方法があります。
   1) プリンタ、解像度、インク、メディア、多階調処理を選択すると、最適なプロファイルが ICC プロファイル欄に表示されます。[▼]ボタンを押すと、そのプロファイルが出力プロファイルの欄に適用されます。
   2) [参照]ボタンを押すと、「プロファイル選択」ダイアログが開きます。カラースペースが「CMYK」で、プロファイルの種類が「Output Device profile」のプロファイルを選択します。
   3) [次へ]ボタンを押すと、2. に移動します。

2. 使用するCMYKプレーンを選択し、特色をCMYKに変換します。ベストチョイス機能で、所望の色に近づけて変換出来ます。
   1) 特色に割り当てる版をチェックします。チェックした版はシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのボックスと、カラーセレクタ、ベストチョイスが押下出来るようになります。
   2) シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのボックスに値を設定します。カラーセレクタ機能、ベストチョイス機能によって、ターゲットによりマッチングした色を設定出来ます。チェックボックス横のボックスには、1.の出力プロファイルを適用した色が表示されます。
   3) [次へ]ボタンを押すと、3. に移動します。

カラーセレクタ機能

「Lab から算出」、「インクの CMYK 値から算出」、「インク名から算出」の 3 つの方法で CMYK の割り当てを指定することが出来ます。カラーセレクタの文字の右側には ,「シアン版」「マゼンタ版」「イエロー版」「ブラック版」の編集している版を表示します。

Lab から算出

「Lab」ボックス

L*,a*,b* の値を指定します。

※ L* は 0 〜 100、a* は -128 〜 127、b* は -128 〜 127 の範囲で指定します。

[◆]ボタン

L*,a*,b* の値に、Step1 の出力プロファイルを適用した色がボックスに表示されます。

[適用]ボタン

L*,a*,b* の値を Step1 の出力プロファイルで変換した CMYK 値がシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのボックスに適用されます。

[キャンセル]ボタン

このダイアログを閉じます。値は適用されません。

インクの CMYK 値から算出

「CMYK」ボックス

シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの値を 0 ～ 100 の範囲で指定します。

「プロファイル名」

シミュレーションしたいインク、印刷のプロファイルを指定します。「デスクリプション名」欄には、指定したプロファイルのデスクリプションが表示されます。

[◆]ボタンを押すと、Step1 の出力プロファイルを適用した色がボックスに表示されます。

[適用]ボタン

CMYK の値を、ここで指定したプロファイルと、Step1 の出力プロファイルで変換した CMYK 値がシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのボックスに適用されます。

[キャンセル]ボタン

このダイアログを閉じます。値は適用されません。

<u>インク名から算出</u>

リストボックスからインク名を指定して CMYK 値を指定します。指定したインクの L*,a*,b*, シアン , マゼンタ , イエロー, ブラックの値を表示します。

ボックスには、Step1 の出力プロファイルを適用した色が表示されます。

「インク名」

選択されているインク名を表示します。

「識別名」

インク名を文字列で指定します。

[適用]ボタン

インク名の値を、Step1 の出力プロファイルで変換した CMYK 値がシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのボックスに適用されます。

[キャンセル]ボタン

このダイアログを閉じます。値は適用されません。

ベストチョイス機能

割り当てた CMYK をよりターゲットの色にマッチングさせるために、CMYK の値を少しずつ変化させたパッチを複数作成し , その中から最もマッチングしている番号を選びます。

「開始」

値の変化の開始値を指定します。

シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各々について設定します。

「終了」

値の変化の終了値を指定します。

「間隔」

値の変化を繰り返すステップ間隔を設定します。

開始、終了の数値の範囲は 0.00 ～ 100.00、間隔の数値の範囲は 0.1 ～ 100.00 です。

[パッチ一覧更新]ボタン

開始、終了、間隔内容に基づき、パッチ一覧を作成します。

「開始」の値から始めて、「間隔」の値で、「終了」の値までのリストを作成します。

すでにパッチ一覧にリストが表示してある場合は、パッチ一覧にあった項目は全て削除して、新たにパッチ一覧を作成します。

[パッチファイル作成]ボタン

このボタンを押すと「パッチファイル作成」ダイアログを表示します。このダイアログの操作は、ピンポイント調整のパッチ印刷と同じ操作になります。

「パッチ一覧リスト」

リスト項目を選択出来ます。選択された項目は、リスト下のボックスに値が表示されます。コントロールキー、シフトキーを併用して複数選択出来ます。

[変更]ボタン

変更ボタンを押すことによって選択されている設定値を、設定値の編集エディットボックスの内容に変更します。またその時の実際の変換値も表示します。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

[追加]ボタン

設定値の編集エディットボックスの内容を、選択されている項目の前に追加します。

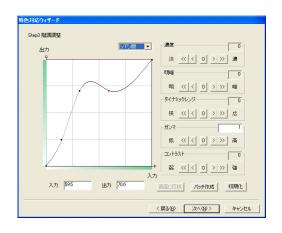
[削除]ボタン

選択されている項目を削除します。

[修正値を適用]ボタン

パッチ一覧で選択されている値を、Step2 の版の値に設定します。

[キャンセル]ボタン

このダイアログを閉じます。値は適用されません。

3. **それぞれの版の階調を調整することが出来ます。**

横軸,縦軸に付加されたグラデーションがそれぞれの版の色を表しますが、階調調整によって変化しません。

2. で、チェックされている版だけがトーンカーブ右上の選択肢に表示されます。

[パッチ作成]ボタン

階調調整の結果を確認するための TIFF ファイルを作成します。このボタンを押すと、ファイル保存ダイアログが開きますので、ファイル名を指定して下さい。

このファイルを DS Magic に登録し、DS Magic の CMYK の色変換は、**「無変換」**にして印刷を行います。

[画面に反映]ボタン

プレビュー画像に特色刷りウィザードの結果を反映することが出来ます。「ツール」-「オプション」-「プレビューのプロファイル変換」において、「プレビュー表示にプロファイル変換を行う」がチェックされている必要があります。

[次へ]ボタン

4. へ進みます。

4. 特色刷りウィザードで作成したデバイスリンクプロファイル名を指定します。

[参照]ボタン

ファイル保存ダイアログが開きます。デバイスリンクプロファイル名を指定します。

「デスクリプション名」

デスクリプション名を指定します。

[完了]ボタン

特色刷りウィザードを終了します。

ツール

以下の項目に関する設定をおこないます。

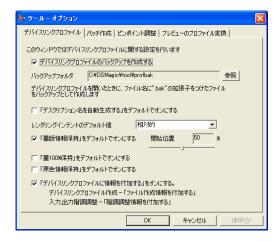
■ デバイスリンクプロファイル

■ パッチ作成

■ ピンポイント調整

■ プレビューのプロファイル変換

オプションダイアログ

デバイスリンクプロファイルタブ

「デバイスリンクプロファイルのバックアップを作成する」

デバイスリンクプロファイルを開いたときに、ファイル名に「.bak」をつけたファイルにバックアップを作成します。

バックアップフォルダはProfileEditorのファイルのあるフォルダのProfBakフォルダです。

「「デスクリプション名を自動生成する」をデフォルトでオンにする」

チェックボックスがオンであれば、デバイスリンクプロファイル作成ダイアログにおいて、「デスクリプション名を自動生成する」チェックボックスをデフォルトでオンにします。オフであれば、デフォルトでオフにします。

「レンダリングインテントのデフォルト値」

デバイスリンクプロファイル作成ダイアログのレンダリングインテントのデフォルトを設定します。

「「墨版情報保持」をデフォルトでオンにする」

デバイスリンクプロファイル作成ダイアログの、「墨版情報保持」チェックボックスと墨版保持開始の数値のデフォルトを設定します。チェックボックスがオンであれば、「墨版情報保持」チェックボックスをデフォルトでオンにして、オフであればデフォルトでオフにします。

「「墨 100% 保持」をデフォルトでオンにする」

デバイスリンクプロファイル作成ダイアログの、「墨 100% 保持」チェックボックスのデフォルトを設定します。

チェックボックスがオンであれば、「墨 100% 保持」チェックボックスをデフォルトでオンにして、オフであればデフォルトでオフにします。

「「原色情報保持」をデフォルトでオンにする」

デバイスリンクプロファイル作成ダイアログの、「原色情報保持」チェックボックスのデフォルトを設定します。

チェックボックスがオンであれば、「原色情報保持」チェックボックスをデフォルトでオンにして、オフであればデフォルトでオフにします。

入力、及び、出力階調調整の、階調調整情報をデバイスリンクプロファイルに付加します。

バッチ作成タブ

パッチファイル、画像ファイルの解像度の設定ボックス

解像度のリストの項目を、パッチファイル作成、画像ファイル作成ダイアログの解像度コンボボックスに表示します。

「解像度」のボックスに解像度の数値を入力し、[追加]ボタンを押すとその解像度が一覧に追加されます。

解像度の一覧から解像度を選択し、[削除]ボタンを押すと、その解像度が一覧から削除されます。

パッチサイズボックス

パッチサイズのデフォルト値を mm 単位で設定します。

バッチレイアウトボックス

パッチ、画像を縦横に並べる個数のデフォルトを設定します。

TIFF 出力ボックス

「TIFF を PackBits 圧縮する」チェックボックスをチェックすると、保存する TIFF 形式の画像ファイルを PackBits 圧縮します。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

ピンポイントタブ

「影響範囲のデフォルト値」

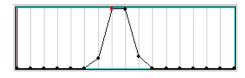
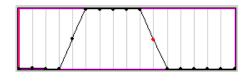
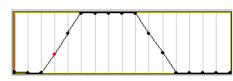
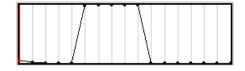
ピンポイント色調整の影響範囲のデフォルト値を設定する。

「影響範囲の形状」

影響範囲のグラフの形状を選択します。

・釣鐘状

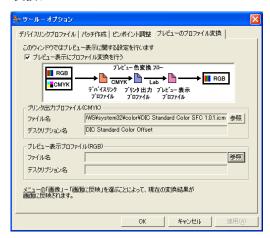
・台形（大）

・台形（中）

・台形（小）

「スポイト領域の半径」

領域内のピクセルの平均値がスポイトの値になります。この値が1 のときには、スポイト位置のみの値になります

「復元グリッド数」

入力 ，出力階調調整の結果がデバイスリンクプロファイルに保存されていますが、制御点の位置は保存されておりません。そのため、ここで指定した個数の制御点を均等間隔に配置します。

プレビューのプロファイル変換タブ

「プレビュー表示にプロファイル変換を行う」

チェックすると、プレビュー表示にプロファイルを用いて色変換をして、モニターにマッチングした色を表示します。

プリンタ出力プロファイル（ＣＭＹＫ）ボックス

出力に用いるプロファイルを選択します。デバイスリンクプロファイル作成時の出力プロファイルの使用を推奨します。

プレビュー表示プロファイル（ＲＧＢ）ボックス

プレビュー表示用のプロファイルを選択します。ご使用のモニタのプロファイルの使用を推奨します。

［ＯＫ］ボタン

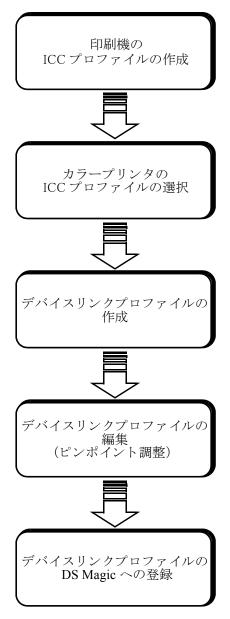
ダイアログの設定を有効にしてダイアログを閉じます。

［キャンセル］ボタン

ダイアログの設定を破棄して、ダイアログを閉じます。

印刷とのカラーマッチング

カラープリンタで、印刷出力のシミュレーション（カラープルーフ）をおこなう場合、以下のような手順でおこないます。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

印刷機のＩＣＣプロファイルの作成

ICC Profile 作成ツールを利用して、印刷機の ICC Profile（以下「本機 Profile」と称す）を作成します。

本機印刷における再現色は、利用される印刷条件に応じて通常変化致します。よって、本機 Profile は下記記載の様な印刷条件の組合わせ毎に用意する必要があります。

（代表的な印刷条件）

■ 印刷機の種類

■ プロセスインキの種類（DIC,TOYO 等）

■ 用紙の種類（コート紙、光沢フィルム等）

■ 印刷線数（175 線等）

■ 網点形状（スクエア、ラウンド、チェーン等）

また、上述の代表的な印刷条件の他にも、使用環境の温湿度や装置の経年変動等により、再現色が変動することがあります。印刷機にこのような経時変動を補正する（いわゆるキャリブレーション）機構が備わっている場合には、その機構を活用されることをお勧め致します。

> **注意**
>
> 本機 Profile の具体的な作成手順に関しましては、ICC Profile 作成ツールの取り扱い説明書をご参照下さい。

ColorSymphony をインストールすることにより、いくつかの印刷機用のプロファイルがインストールされます。印刷機のプロファイルを作成することができない場合は、その内の近い印刷条件のプロファイルを選択し、代用します。ただし、この場合正確なカラーマッチングは難しくなります。

カラープリンタのプロファイル選択

カラープリンタの ICC Profile（以下「Printer Profile」と称す）を選択して下さい。

各プロファイルは、DS Magic がインストールされているマシンの以下のフォルダにインストールされています。

Windows の“システムフォルダ \system32\color”

例えば、Windows Vista が C ドライブへインストールされている場合、

C:\Windows\system32\color となります。

DS Magic for Canon では、各種カラープリンタ毎にいくつかの ICC Profile を用意しています。

プリント条件に応じた ICC Profile を選択する必要があります。

（代表的なプリント条件）

■ プリンタの種類（iPF5000、iPF500、W8400 等）

■ インキの種類（染料インク , 顔料インク等）

■ 用紙の種類（普通紙、厚ロコート紙等）
■ プリント解像度（2400dpi、1200dpi 等）

注意

プリント解像度で、高解像度を選択しますと高品質の出力結果を期待出来ますが、プリント速度が低下し、作業効率は低下する場合があります。用途に応じて適切な解像度を選択されることをお勧めします。
プリント用紙の選択は、白地の色合の選択となります。本機印刷で御使用になられる用紙種と類似のプリント用紙をご利用になることをお勧めしております。
両者の用紙種の差異が激しい場合、適切なカラーマッチングがおこなえない場合があります。

デバイスリンクプロファイルの作成

ProfileEditor を利用して、「本機 Profile」と「Printer Profile」からデバイスリンクプロファイルを作成します。
ProfileEditor には、デバイスリンクプロファイル作成時に、次のような機能を利用することが出来ます。必要に応じて御活用下さい。

原色保持機能

印刷機で扱われるインクの原色とカラープリンタのインクの原色の発色は微妙に異なります。
そのため、カラーマッチングにおいて色合いのみを合わせようとすると、単色のグラデーションやベタ領域において、異色の混入が目につき、画質が劣化した様に感じることがあります。
例えば、イエロー単色のグラデーションにシアンが混入し、シアンの点がザラついて見えます。
この機能を有効にしますと、画像データの内、原色で構成される領域に異色の混入を防ぐことが出来ます。

墨版情報保持機能

チェックすると、墨版情報を保持します。墨版情報保持とは「CMY が 0% の時に K 単色で出力する」機能です。スライダーを操作することにより、墨版情報保持を開始する K のパーセントを指定出来ます。この機能を活用することにより、黒単色のグラデーションやモノクロ画像のグレーバランスを整えることが出来ます。

注意

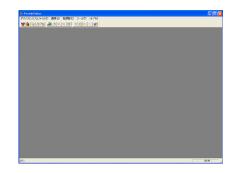
実際の印刷時には、DS Magic の「色調整タブ」の「色調整ダイアログ」にて「詳細」設定より、「K を CMY に変換する処理を有効にする」のチェックをはずして下さい。

墨 100% 保持機能

黒文字の様に墨単色で構成されている色領域において、CMY のような有彩色の混入を防ぎます。

この機能を活用することにより、黒文字エッジ部に色の滲みが発生したり、細線が太るといった現象を回避することが出来ます。

デバイスリンクプロファイル作成手順

1. ProfileEditor を起動します。
2. デバイスリンクプロファイル」-「デバイスリンクプロファイルを作成」を選び、「デバイスリンクプロファイル作成」ダイアログを開きます。

3. 入力プロファイルと出力プロファイルを指定します。

   入力プロファイルには、印刷機の ICC プロファイル(「印刷機の ICC プロファイルの作成」の項)を指定します。

   出力プロファイルには、カラープリンタの ICC プロファイル(「カラープリンタのプロファイル選択」)を指定します。
4. 必要に応じて、「墨100%保持」、「原色情報保持」「墨版情報保持」を選択します。
5. レンダリングインテントを選択します。

   正確なカラーマッチングをおこなう場合は、「絶対的」を選択します。ただし、印刷機用のメディア(本紙)とカラープリンタ用のメディアの白地が違う場合は、「相対的」を選択します。
6. デバイスリンクプロファイルのファイル名とデスクリプション名を指定します。

7. ［作成］ボタンを押すことにより、デバイスリンクプロファイルが作成されます。

ピンポイント調整

ProfileEditor のピンポイント調整機能で、デバイスリンクプロファイルを編集し、カラーマッチングの微調整をおこないます。

このピンポイント調整機能は、ICC Profile 作成ツールで作成された ICC プロファイルでは、再現しにくい、肌色やグレーの色等、微妙な色合いを調整することが出来ます。

また、所望の入力色及び対応する出力色をダイレクトに指定することにより、お望みの色再現を行うことが出来ます。

さらに、本機能の拡張機能である「ベストチョイス機能」は、複数の調整値を設定し、各々の調整値における画像再現見本を多種印刷出力出来ますので、印字出力された多数の色見本(実画像データの利用も可)の中から、所望の色合いを捜し出すだけで、容易に最適な調整値を得ることが出来ます。

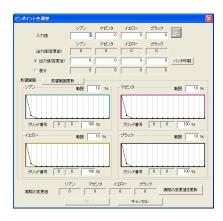
これにより、従来の試行錯誤的な調整工程を大幅に簡素化することが出来ます。

1. 色調整をおこなうために、画像データを開きます。

   この画像データは、編集したデバイスリンクプロファイルを使用し、色変換した場合、どのような色合いになるかの目安にするものです。

   画像データとして使用出来るファイル形式は、非圧縮の TIFF 形式のみです。

   「画像」-「画像を開く」を選び、画像データを開きます。

2. 「色調整」-「ピンポイント調整」を選び、「ピンポイント色調整」ダイアログを開きます。

3. **変更したい色を選択します。**

[スポイト]ボタンを押します。

開いている画像ダイアログ上で、変更したい色のところをクリックします。

クリックされたところの色情報(RGBかCMYKの値)が、「入力値」に表示されます。

次に、[影響範囲更新]ボタンを押します。

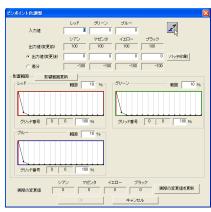
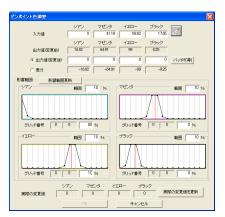
影響範囲グラフ上で、入力値線(赤線)を中心とした影響範囲(黒線)に更新されます。

4. **影響範囲を指定します。**

影響範囲をマウスで指定するか、%で指定します。

デフォルトは10%になっています(これは、ツールメニューで変更可能です)。

局所的に色を変更する場合は、影響範囲を小さくします。ただしこの場合、変更量が大きいと影響範囲外の色との連続性がなくなり、グラデーションが不連続になる場合があります。

逆に、広い範囲で色を変更する場合は、影響範囲を大きくします。ただしこの場合、指定した色以外にまで影響が及びます。

5. **ベストチョイス機能を開始します。**

[パッチ印刷]ボタンを押します。

「パッチ印刷」ダイアログが表示されます。

6. **出力値を変動させたパッチを作成します。**

例えば図のように入力値が(76,33,0,0)の時、現在の選択しているデバイスリンクプロファイルで変換した出力値が(47,25,0,0)である場合を説明します。

もう少しシアンを強くしたい場合、シアンを強くするパッチを複数作成します。

「開始」を現在の値とし、(47,25,0,0)を入力します。

「終了」を(80,25,0,0)とします。

「間隔」を(3,1,1,1)とします。

これは、シアンのみを3%刻みで80％まで増加するパッチを複数作成します。

次に[パッチ一覧更新]ボタンを押します。

7. **[画像ファイル作成]ボタンを押すと、「画像ファイル作成ダイアログ」が表示されます。**

ここで、カラープリンタの条件に合わせたパッチデータ(画像ファイル)を作成します。

カラープリンタの解像度に合わせた「解像度」を選択します(リストに無い場合は、ツールメニューで設定します)。

次に、「レイアウト」で複数のパッチの配置を決めます。

[作成]ボタンを押します。

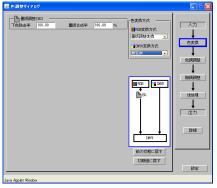
画像ファイル作成
パッチ数 12 解像度 360 DPI
パッチサイズ 幅 369 mm 高さ 467 mm
レイアウト 横 4 個 縦 3 個
ファイル数 1 個 ファイルサイズ 1682.52 Mbyte
印刷サイズ 1516mm - 1448mm
作成 キャンセル

画像ファイル名を指定すると、画像ファイルが作成されます。「レイアウト」設定条件により、複数のファイルが作成される場合は、「image1.tif」、「image2.tif」のようになります。(画像ファイル名を「image.tif」にした時の場合)

8. **パッチデータの印刷をおこないます。**

7. で作成した画像データを DS Magic でカラープリンタ印刷します。

この時、DS Magic の CMYK の色変換は、**「無変換」**にします。

詳しくは「第６章　操作の方法」-「印刷設定」-「オプション設定ウィンドウ」-「ドキュメントタブ：色調整タブ」を参照して下さい。

9. **印刷されたパッチから、所望を色合いになっているパッチを選択します。**

その番号に対応する、「パッチ一覧リスト」の「No.」を選択します。

右図は、7 番を選択した場合です。

次に、「修正値を適用」ボタンを押します。

これにより、デバイスリンクプロファイルに修正値が適用されます。

10. **必要であれば、他の色に対しても同様に行います。**

3. から 9. を繰り返します。

11. **編集したデバイスリンクプロファイルを保存します。**

「デバイスリンクプロファイル」-「デバイスリンクプロファイルを上書き保存」を選びます。

デバイスリンクプロファイルの DS Magic への登録

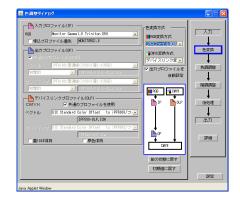
デバイスリンクプロファイルを DS Magic に登録します。

デバイスリンクプロファイルを DS Magic の ColorProf フォルダにコピーします。

DS Magic の操作方法は､｢第 7 章　便利な使い方｣の｢カラープロファイルを使った印刷｣を参照して下さい。

DS Magic でデバイスリンクプロファイルを使用して印刷をおこないます。

DS Magic の色変換で､｢デバイスリンク変換｣を選択し､作成したデバイスリンクプロファイルを選択します。

詳しくは｢第 6 章　操作の方法｣-｢印刷設定｣-｢オプション設定ウィンドウ｣-｢ドキュメントタブ:色調整タブ｣を参照して下さい。

MediaRegister

MediaRegister は DS Magic に新規メディアを追加するためのツールです。
このツールで作成されるメディア追加セットは、Ver.5 及び Ver.4.5 に対して適用することが出来ます。
本バージョンで作成されたメディア追加セットにはその旨を記載した Readme.txt が添付されます。
これにより旧バージョンで作成されたメディア追加セットと区別することが出来ます。

MediaRegister の起動

Windows の「スタート」-「DSMagic」-「Media Register」を選択します。

MediaRegister の終了

タイトルバーの[閉じる]または[終了]を押すことによって MediaRegister は終了します。

使用手順

1. ＩＣＣ プロファイルの用意

DS Magic において、ICC プロファイルメーカー提供の ICC プロファイル作成用パッチを印刷し、そのパッチと ICC プロファイルメーカーを使用して ICC プロファイルを作成します。

1) ICC プロファイル作成用パッチデータを「Layout」フォルダにコピーします。
2) DS Magic を起動し、[印刷設定]を押し、コピーしたパッチを配置します。
3) 「プリンタ」タブにおいて、新たに追加したいメディアの元となる設定を行います。
4) 「色調整」タブの[設定]を押します。
5) 右上の[色変換]を押します。
6) 「CMYK 色変換方式」を「無変換」に設定します。
7) 右側の[後処理]を押し、「インク総量規制を自動設定」のチェックを外します。
8) インク総量をメディアに応じて、印刷されるパッチがにじまない最大の値に設定します。
   設定値が求まるまで 4) ～ 10) の処理を繰り返し行います。
9) [設定]を押します。
10) [印刷]を押します。

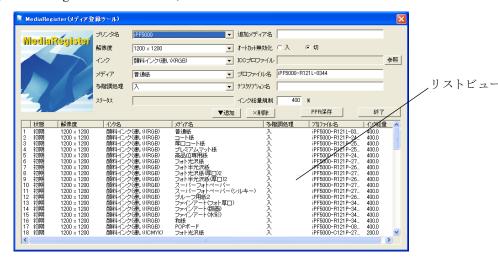
これでパッチが印刷されます。
ICC プロファイルメーカーを用いて、ICC プロファイルを作成して下さい。
作成方法については、プロファイルメーカーの説明書を参照して下さい。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

注意

ProfileEditor は、デバイスリンクプロファイルを作成するツールであって、ICC プロファイルは作成できません。

2. メディア追加セットの作成

1) MediaRegister を実行します。

リストビューボックス

状態欄

「初期」:初期設定から存在している設定です。削除できません。

「変更」:設定が変更、新規追加されたことを示します。

リストビューの項目削除

削除したい項目をリストビューから選び、[削除]を押します。

この設定を有効にするには、[PPR 保存]を押す必要があります。

削除されるものは、Mediaregister の実行されている DS Magic の PC のみです。

2) プリンタ , 解像度 , インク , メディア , 多階調処理を、新たに追加したいメディアの元となる設定にします。

3) 追加メディア名のエディットボックスに新たに追加したいメディア名を入力します。

4) ICC プロファイルの参照ボタンを押して、作成した ICC プロファイルを指定します。

5) プロファイル名を入力します。これはエクスプローラで表示される名前です。DS Magic では、｢プリンタ名－解像度－管理番号｣というルールで命名していますが、自由に名前を設定出来ます。ただし｢\ / : , ; * ? " < > |｣の文字は使用できません。
6) デスクリプションを設定します。DS Magic ではこの名前で選択します。
7) オートカット無効化の入／切を設定します。これはプリンタのパネル設定でオートカットがオンでも、オートカットを実行しない機能です。
8) インク総量を設定します。デフォルトでは、新たに追加したいメディアの元となる設定のものが表示されています。
9) ［追加］を押します。下部のリストビューに新たに項目が追加されます。複数のメディアを追加したいときには、2) ～ 7) を繰り返して行います。
10) ［PPR 保存］を押します。
フォルダ選択ダイアログが表示されて、メディア追加セットを作成するフォルダを選び、［ＯＫ］を押します。

11) 正常に作成されれば、完了ダイアログが表示されます。
［ＯＫ］を押します。

12) 終了するときには、［終了］を押します。
13) 2) ～ 9) にて指定されたフォルダに、pprlaunch.exe、pprupdate.exe、pprupdate4.exe、Readme.txt と prof フォルダが作成されていることを確認します。これらの組み合わせがメディア追加セットです。

3. メディア情報の追加

２で作成されたメディア追加セットを使用し別の DS Magic にメディア情報を追加する方法です。

1) メディアを追加したい PC に、メディア追加セットをコピーします。

2) pprlaunch.exe を実行します。

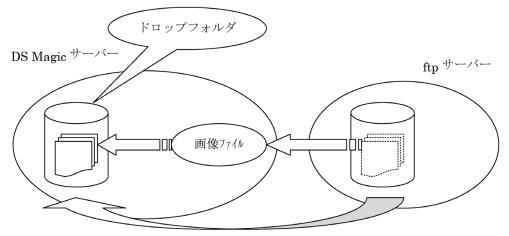
   但し、該当するプリンタが無いときには、画面は表示されずに何事も無く実行が終了します。

3) リストに追加するプリンタの名称が表示されます。

4) ［実行］を押します。

   正しく追加された場合には、終了ダイアログが表示されます。

FTP ツール

FTP ツールは、DS Magic がインストールされている PC 上で動作する、FTP サーバ機能を持った UNIX や Windows マシンからのドロップププリント機能を提供するソフトウェアです。
DS Magic for Canon Premium をインストールした場合のみ使用出来ます。
DS Magic に FTP クライアント機能を付加することにより FTP サーバにアクセスし、サーバ内のディレクトリにコピーされたドキュメントファイルを DS Magic のドロップフォルダに転送します。

FTP のインストール、設定、アンインストール

FTP ツールで ftp サーバ上のドキュメントファイルを DS Magic で印刷するためには、３つの作業が必要となります。

- ftp サーバの設定
- ドロップフォルダの作成
- FTP 環境設定ツールの設定

以下に順を追って説明します。

ftp サーバの設定

ftp サーバ上にドキュメントファイルをコピーするディレクトリを作成し、そのディレクトリを ftp でアクセス出来るように設定します。
DS Magic を使った印刷方法（レイアウト印刷とダイレクト印刷など）が複数ある場合は、ディレクトリもその数だけ作成します。

目次
概要
インストール
しましょう
印刷する
前に
印刷して
みましょう
機能の
紹介
操作の
方法
便利な
使い方
ツール
困った
ときに
添付資料

なおディレクトリ上のファイルは、FTPツールによってドロップフォルダにコピーされた後、削除されるかファイル名の変更がおこなわれます。このため、**ftp サーバ上のリモートディレクトリおよびドキュメントファイルは、ログインするユーザーによってファイル書き込み可能(削除可能)な状態にしておく必要があります。**

ftp サーバの設定については、ftp サーバシステムのマニュアル等をご覧下さい。

注意

日本語が使用されたファイルは FTP ツールでは使用できません。

注意

FTP ツールによってドロップフォルダにコピー中のファイル名には、一時的に PC 名と設定名が付加されます。従って ftp サーバとして使用するシステムの最大ファイル文字数の制限に注意して下さい。

ドロップフォルダの作成

ftp サーバ上のドキュメントファイルをコピーするドロップフォルダを作成します。

ドロップフォルダの作成方法については、「第 4 章　印刷してみましょう」を参照して下さい。

FTP 環境設定ツールの設定

FTP 環境設定ツールの設定手順について説明します。

設定における各ウインドウの詳細については、後述する「FTP 環境設定ツールの詳細設定」を参照して下さい。

1. Windows の「スタート」-「プログラム」-「DS Magic」-「FTP 環境設定」を選択します。

2. 接続情報設定

1) ［接続情報設定］を押します。
2) 接続情報の「設定名」、ftp　の「サーバ名」、ftp　の「ポート番号」、ftp　の「サーバのタイプ」、ftp サーバーの「ログイン名」と「パスワード」を入力し、［追加］を押します。
3) ［閉じる］を押します。

3. ［新規］を押します。

1) 「設定名」を入力し、「接続情報」リストから先に設定した接続情報の設定名を選択します。
2) 「リモートディレクトリ」で、ftp サーバ上でドキュメントファイルが置かれるディレクトリパスを設定します。
3) 「ドロップフォルダ」リストで、「リモートディレクトリ」に置かれたドキュメントファイルをコピーするドロップフォルダを選択します。
4) ファイル転送後の動作を設定します。
5) すべての設定が完了したら「接続チェック」を押します。

   FTP 環境設定された内容が正しいかどうか確認出来ます。
6) 「サーバに正しくアクセスできました」と表示され、リモートディレクトリに存在するファイル名が正しく表示された場合は、正しく接続できているので［ＯＫ］を押します。

次のようなメッセージが表示された場合は、以下の点を確認して下さい。

「接続できません」

このメッセージだけが表示されている場合は、サーバ名やポート番号が正しく指定されていない可能性があります。またサーバが起動しているかどうかやネットワークに接続されているかどうかも確認して下さい。

いくつかのログの後にこのメッセージが表示されている場合は、ログイン名やパスワードが正しく指定されていない可能性があります。

「ディレクトリに移動できません」

リモートディレクトリが正しく指定されているか確認して下さい。

「警告:指定のリモートディレクトリは、ファイルの書き込みができません」

リモードティレクトリに書き込み権限がありません。FTP サーバの設定を変更して下さい。
または書き込み権限のあるユーザでログインして下さい。

「サーバに正しくアクセスできました」

リモートディレクトリにあるはずのファイルの名前が表示されなかったり、ファイル名が文字化けして表示される場合は、「サーバのタイプ」を変更して下さい。

参考

「接続チェック」では次の内容をチェックします。

・サーバ名やログイン名、パスワードなどは正しいか
・リモートディレクトリの指定が正しいか
・サーバタイプの指定が正しいか(ファイル名を正しく認識出来るか)
・パッシブモードかどうか(パッシブモードのときに表示されます)

なお、指定された DS Magic のドロップフォルダの妥当性はチェックしません。
(表示されるメッセージは FTP サーバによって変わります。)

注意

リモートディレクトリ上のドキュメントファイルは、FTPツールによってドロップフォルダにコピーされた後、削除、ファイル名が変更、ファイルの移動のいずれかの処理が行われます。これは同じドキュメントファイルを何度もドロップフォルダにコピーしないためです。従って、ftp サーバ上のリモートディレクトリは、ログインするユーザーによってファイル書き込み可能(削除可能)な設定がなされている必要があります。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

4. 高度な設定

ディスク空き容量に応じた制御を行うなど、より高度な設定を行うことが出来ます。

以下の説明を参考に設定して下さい。

ディスク空き容量制限

「DS Magic システムディスク」と「Windows スプールディスク」の 2 つのドライブの空き容量をチェックし、双方の空き容量が設定容量以下であれば、FTP 転送を行いません。

それぞれ Mbytes 単位で設定します。

■ DS Magic システムディレクトリのあるドライブ。

デフォルトは 1000Mbyte です。

■ スプールフォルダのあるドライブ。

Windows のプリンタフォルダの「ファイル」メニューの「サーバのプロパティ」から確認出来ます。

デフォルトは 1000Mbyte です。

ポーリング時間

FTP のリモートディレクトリをチェックする間隔を設定します。

デフォルトは 15000 ミリ秒（15 秒）です。

転送モード

PASSIVE モードによる転送を行うかどうか設定します。

ルータや、ファイアウォールを使用していて、FTP 転送が行えないときに使用してみて下さい。

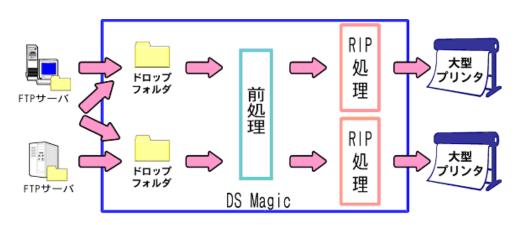
FTPはサーバからクライアントにリンクを張りますが、ルータ、ファイアウォールのセキュリティにより、外部からのリンクが許されない場合があります。そのときにPASSIVEモードを使用すると、クライアントからサーバにリンクを張りますので、セキュリティ問題を回避しやすくなります。

PASV モード / ファイアウォール（フレンドリ）モード /Proxy モードなどの用語で呼ばれることもあります。

フロー制御

ドロップフォルダのジョブ数、前処理のジョブ数、RIP 処理のジョブ数、の３つのフロー制御を行うことが出来ます。

チェックボックスをオンにすると、その部分のフロー制御を実行します。

最初にドロップしたドキュメントをなるべく早く出力したいときには、チェックボックスをすべてオンにして、ジョブ数をすべて０にします。そうすると、印刷が終了する（RIP 処理が完了する）まで、FTP は転送を行いません。

ドロップフォルダのジョブ数

ドロップフォルダに存在しているファイル数のことです。

（Macintosh 用のフォルダや、管理用のファイル「config.txt」は除かれます）

ここで設定した数値よりジョブ数が多いときにファイル転送を中止します。

FTP 環境設定で設定したフォルダを対象とします。

前処理のジョブ数

前処理として、DS Magic に登録する処理を行っています。ここに登録されているジョブ数のことです。ここで設定した数値よりジョブ数が多いときにファイル転送を中止します。

RIP 処理のジョブ数

RIP 処理は、DS Magic の印刷状況のウィンドウで見えるジョブ数のことです。

マルチプリントをされる場合には、マルチプリンタそれぞれのジョブ数になります。

ここで設定した数値よりジョブ数が多いときにファイル転送を中止します。ジョブ数はそれぞれのマルチプリンタごとにカウントされ、ひとつでもここで設定した値よりもジョブ数が多ければ、ファイル転送を中止します。

フォルダの属性確認をしない

この設定が OFF の場合、FTP ツールは設定された取込間隔毎に、リモートディレクトリに取込対象ファイルが存在しているか確認し、ファイルが存在している場合にはフォルダ属性を確認してから、対象ファイルの取り込み処理を行ないます。この設定がONの場合、上記確認処理の実行を抑止し、これにより FTP サーバのアクセス負荷を減らすことが出来ます。

但し、フォルダの属性確認は FTP ツールが正常な処理を行なう上で必要な処理ですから、FTP サーバ過負荷により処理が不安定にならない限り、この設定は OFF にしてご使用ください。

最大接続セッション数

同時に FTP サーバに対して接続することが出来るセッション数を設定します。初期設定では「5」が設定されます。FTP サーバ側の接続能力に余裕がある場合には、この数値を上げるとデータの取り込み速度を向上させる事が出来ます。FTP サーバへの接続クライアント数が多く過負荷状態になる場合には、この数値を減らしてください。

FTP 環境設定ツールの詳細設定

■ FTP 環境設定(メインウィンドウ)

起動直後のメインウインドウには現在保存されている設定の名前の一覧が表示されています。設定とはひとつの ftp サーバへのアクセスに必要なひと組の情報のことで、具体的には ftp サーバ名や ftp サーバのディレクトリ名、DS Magic のドロップフォルダ名などから構成されています。

「設定名」リストボックス

現在保存されている設定の名前が表示されると共に、その設定の現在の状態が名前の左側に表示されます。またメインウインドウの右側には、選択されている設定のおもな内容が表示されます。設定の状態には次の5つがあります。

- 【削除】　この設定は削除されます。削除を取り消したい時はその設定名を選択して復活ボタンを押します。
- 【無効】　この設定の内容では不十分であり、ftp サーバにアクセスできません。この表示があるときは、修正ボタンを押して設定し直す必要があります。
- 【新規】　新しい設定です。
- 【修正】　修正が加えられた設定です。
- 無表示　修正が加えられていない設定です。

「設定名」リストボックス

ひとつの設定だけが選択でき、その内容がウインドウの右側に表示されます。

「サーバ名」

設定された ftp サーバの名前が表示されます。

「リモートディレクトリ」

ftp サーバ上でファイルが置かれるディレクトリパスが表示されます。

（パスは ftp サーバが管理するエイリアスです。）

「ドロップフォルダ」

ファイルをコピーする DS Magic のドロップフォルダが表示されます。

［削除 / 復活］ボタン

［削除］ボタンを押と、「設定名」の前に“【削除】”と表示されます。

［削除］ボタンは［復活］ボタンに変わり、［修正］ボタンは無効になります。

削除を取り消すためには、FTP 環境設定（メインウインドウ）の「復活」ボタンを押します。ボタンを押すと、「設定名」の前に“【修正】”と表示されます。

［復活］ボタンは［削除］ボタンに戻ります。

削除属性がセットされた項目は、FTP 環境設定ツール終了時にその設定内容が削除されます。

［修正］ボタン

修正ウインドウでは「設定名」を修正することはできません。

［ＯＫ］ボタンを押すと、修正内容が保存されます。

正しく内容が修正された場合は、FTP 環境設定（メインウィンドウ）の設定名に“【修正】”が付加されます。

［新規］ボタン

ファイル転送設定ウィンドウが開きます。

［高度な設定］ボタン

高度な設定ウィンドウが開きます。

［接続情報設定］ボタン

接続情報設定ウィンドウが開きます。

［終了］ボタン

現在の設定内容を保存して終了します。

［保存せずに終了］ボタン

修正内容を破棄して終了します。

■ 接続情報設定

「接続情報リスト」

蓄積されている接続情報を表示します。

選択すると右側に設定内容が表示されます。

[新規]ボタン

新規に接続情報を設定する場合に使います。設定名、サーバ名、ログイン名、パスワードが空白に、ポート番号は 21、サーバのタイプは標準に初期化されます。

[追加]ボタン

設定名、サーバ名、ログイン名、パスワードに設定された内容を新たに登録します。(設定名が重複するときには上書きされます。)

[削除]ボタン

接続情報のリスト上で、選択されている接続情報設定を削除します。

「設定名」

接続情報の設定名を入力します。

「サーバ名」

画像ファイルが置かれる ftp サーバの名前又は IP アドレスを入力します。

「ポート番号」

ftp サーバのポート番号を指定します。

(初期値は標準的なポート番号が表示されます。)

「サーバのタイプ」

ftp サーバの種類を指定します。(初期値は"標準"が表示されます。接続チェック項目でリモートディレクトリのファイル名を正しく表示できない場合には、他のタイプに変更してみて下さい。)

「ログイン名」

ftp サーバにログインするアカウント名を指定します。「匿名でログイン」チェックボックスがチェックされた時には、「anonymous」と表示されます。

「匿名でログイン」

ftp サーバに匿名でログインするかどうかを指定します。

このチェックボックスがチェックされると、「ログイン名」には「anonymous」、「パスワード」には「DS Magic」と表示されます。またチェックが外されると、「ログイン名」と「パスワード」を空欄にし、さらに「パスワード」に入力された文字を「＊」文字に置き換えて表示します。

「パスワード」

「ログイン名」に指定されたftpサーバのアカウント名に対応したパスワードを指定します。「匿名でログイン」チェックボックスがチェックされた時には、「DS Magic」と表示されます。チェックが外されている時には、入力された文字を「＊」に置き換えて表示します。

■ ファイル転送設定

FTP 環境設定(メインウインドウ)の[新規]ボタンを押し、新規ウインドウを開いて ftp サーバから DS Magic ドロップフォルダへのファイル転送設定を行います。

「設定名」

FTP 環境設定の設定名を設定します。ここで設定された名称が FTP 環境設定(メインウィンドウ)のリストボックスに表示されます。

(他の設定名と重複しないように指定して下さい。)

「接続情報」

「接続情報の設定」項目で設定された接続情報の設定名の一覧がリスト表示されます。リストから必要な接続情報の設定名を選択します。

「リモートディレクトリ」

ftp サーバ上で画像ファイルが置かれるディレクトリパスを指定します。

「ドロップフォルダ」

ftp サーバ上の画像ファイルをコピーする DS Magic のドロップフォルダをリストから選択します。DS Magic で作成したドロップフォルダ名の一覧がリスト表示されます。

ファイル転送後の動作ボックス

「ファイルを残す」

チェックされていると､｢転送済みファイルの拡張子名｣で指定した拡張子を追加したファイル名に名前変更されます。

(例)： チェックがオフ､転送済みファイルの拡張子名を sumi とした場合

｢test.tif｣というファイルを｢test.tif.sumi｣に名前変更します。

｢tset.tif｣という名前のファイルが再びftpサーバにはいってきた場合には､｢test.tif.sumi｣に上書きして名前変更します。

仮に｢test.sumi｣というファイルがはいってきた場合にはこのファイルはドロップフォルダへコピーされません。

「ファイルを消去する」

チェックされていると､ftp サーバからドロップフォルダへファイルをコピーしたあとに､ftp サーバのファイルを消去します。

「ファイルを移動」

チェックされていると､ftpサーバからドロップフォルダへファイルをコピーしたあとに､指定されたリモートディレクトリにファイルを移動します。ただし､ftpサーバがWindowsの場合には同じドライブのみに移動出来ます。ftp サーバがUNIX系のOSの時には同じパーティションのみに移動出来ます。

(例)： Windows 系 OS の場合

下記のように､絶対パスとエイリアスが割り当てられているとします。

	絶対パス	エイリアス
1	C:￥test	/ftp/ctest
2	C:￥test2	/ftp/ctest2
3	D:￥testf	/ftp/dtest

このとき､1から2へ移動は出来ますが､3はドライブが違うため移動できません。

また､2から1へ移動は出来ますが､3はドライブが違うため移動できません。

UNIX 系 OS の場合

df コマンドで次のようにパーティションの割り当てを調べることが出来ます。

%df

Filesystem	1024-blocks	Used	Available	Capacity	Mounted on
/dev/md/dsk/d0	28959	23090	2979	89%	/
/dev/md/dsk/d20	441271	344591	52560	87%	/usr
/dev/md/dsk/d40	7755272	4556972	3120748	59%	/var
/dev/dsk/c0t0d0s7	294935	24443	241002	9%	/export
/dev/md/dsk/d30	985446	942440	33152	97%	/opt

このときに、下記のように、絶対パスとエイリアスが割り当てられているとします。

	絶対パス
1	/usr/test
2	/usr/rest2
3	/var/test

このとき、１から２へ移動は出来ますが、３はパーテーションが違うため移動できません。

また、２から１へ移動は出来ますが、３はパーテーションが違うため移動できません。

［ＯＫ］ボタン

新規ウインドウでの設定内容を保存して新規ウインドウを閉じます。

必要な欄がすべて指定されていると、メインウインドウの「設定名」リストボックスの該当項目の前には“【新規】”と表示されます。

（未指定の欄があると“【無効】”と表示されます。）

［接続チェック］ボタン

このウインドウに表示された内容で ftp サーバにアクセス試行し、その結果を表示します。

（(6)「接続チェック」項目へ）

［キャンセル］ボタン

このウインドウの設定内容を破棄してウインドウを閉じます。

第９章

困ったときに

こんなことがしたいときには

Windows OS のインストール

ここでご紹介する Windows OS のインストールは、DS Magic を動作させるための標準的かつ簡単なセットアップ手順です。

セットアップ手順は PC の機種や使用パーツの違い、OS やそのプレインストール状態の違い、ドライバやアプリケーションなどの違いにより異なります。

従って、本書では「参考例」を紹介するのみとさせていただきます。

Windows OS やネットワーク環境設定等については、如何なるご質問、問い合わせにもお応えしかねますので予めご了承下さい。

Q1.　Windows OS をインストールしたい

A.　1. Windows OS のインストール

・Windows OS のインストール CD を CD-ROM ドライブにセットして PC を起動し、画面に表示される指示に従って作業を続けます。

・ハードディスクのフォーマット
NTFS 形式でフォーマットします。

2. Windows OS のセットアップ

・管理者（Administrator）用のパスワードは必ず設定して下さい(空パスワードにしないで下さい)。

・必要なソフトウェアの追加

・「第 2 章　インストールしましょう」の「ソフトウェア環境」に記載のソフトウェアを追加して下さい。

目次
概要
インストール
しましょう
印刷する
前に
印刷して
みましょう
機能の
紹介
操作の
方法
便利な
使い方
ツール
困った
ときに
添付資料

― IP アドレスについて ―

すでにネットワークを使用している場合には、管理者に使用出来るアドレスを確認して下さい。不適当なアドレスを設定すると、ネットワーク全体が動作しなくなることがあります。ネットワークを使用していない場合には、IP アドレスは「192.168.1.1」、サブネットマスクは「255.255.255.0」と設定して下さい。

３. C: ドライブ以外のフォーマット

C:ドライブ以外にもドライブを作成する場合には、「コントロールパネル」－「管理ツール」－「コンピュータの管理」－「記憶域」－「ディスクの管理」でパーティションの作成およびフォーマットを行います。フォーマットは NTFS 形式で行います。

CD-ROM のドライブ文字を変更する

D: ドライブがすでに CD−ROM ドライブに割当てられている場合、新しく作ったパーティションは E: ドライブになります。D: ドライブに変更したい時は、上記「ディスクの管理」で「CDROM(D:)」と表示されている部分をクリックして、メニューの「操作」－「すべてのタスク」－「ドライブ文字とパスの変更」を起動します。「編集」ボタンを押して、「ドライブ文字の割り当て」で他のドライブ文字に変更出来ます。

４. 環境の設定

・ プリンタのスプールフォルダの移動

C:ドライブの空容量が小さく印刷に失敗する場合には、以下の方法でスプールフォルダを他のドライブに移動することが出来ます。

例えば D:ドライブに移動する場合、D:ドライブに「Spool」フォルダを作成します。

Vista の場合には、「スタート」－「コントロールパネル」を起動し「プリンタ」をダブルクリックします。画面が表示後にキーボードの「F10」キーを押すと画面上部にメニュー表示が追加されます。このメニューから「ファイル」－「管理者として実行」－「サーバのプロパティ」をクリックします。「詳細設定」タブの「スプールフォルダ」に先程作成した Spool フォルダの位置「D:¥Spool」を設定します。

その他の OS では「スタート」－「設定」－「プリンタ」を起動し、メニューから「ファイル」－「サーバのプロパティ」をクリックします。「詳細設定」タブの「スプールフォルダ」に先程作成した Spool フォルダの位置「D:¥Spool」を設定します。

<Windows Server 2003 (R2)>

・「サーバの最適化」の設定

「マイ　ネットワーク」アイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」を選択して「プロパティ」を押します。

「最適化」で、「ネットワークアプリケーションのデータスループットを最大にする」に設定します。

５. Internet Explorer の設定（例はバージョン 6.0SP1）

・「インターネット一時ファイル」の設定

「コントロールパネル」-「インターネットオプション」を起動します。

「全般」タブの「インターネット一時ファイル」から「設定」ボタンを押します。

「インターネット一時ファイルのフォルダ」の「使用するディスク領域」を最小値に変更します。

「詳細設定タブ」の「セキュリティ」-「ブラウザを閉じた時、[Temporary InternetFiles]フォルダを空にする」にチェックを入れます。

フォントのインストール

Q1.　付属フォントをクライアントへインストールしたい

A．Windows の場合

①「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」-「フォント」をダブルクリックします。

②「ファイル」-「新しいフォントのインストール」を選択します。

③ DS Magic の CD-ROM をドライブへ入れ、「Client¥Font」を指定します。

④ インストールしたいフォントを選択し［ＯＫ］ボタンを押します。

Macintosh の場合

① DS Magic の CD-ROM をドライブへ入れます。

② CD-ROM から「Font」フォルダを開き、インストールしたいフォントを「システムフォルダ」へコピーします。

③ コンピュータを再起動します。

Q2.　付属フォントをクライアントからアンインストールしたい

A．Windows の場合

①「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」-「フォント」をダブルクリックします。

② 削除したいフォントを選択し、「ファイル」から「削除」を選択します。

Macintosh の場合

①「システムフォルダ」-「フォントフォルダ」を開きます。

② 削除したいフォントを「ごみ箱」へドラッグします。

Q3.　Macintosh から市販のフォントを DS Magic へダウンロードしたい

A．① DS Magic 「スタート画面」より［管理ツール］-「フォントダウンロード」を開きます。

②「フォントダウンロードサービス」より［開始］を押します。

③「フォントダウンロードサービスは作動していますプリンタ名は○○です。」と表示されていることを確認し、フォントに付属のマニュアルに従ってダウンロードを行って下さい。

※ マルチジョブ、マルチプリント環境においては、並行して処理可能な本数分のフォントライセンスを必要とする場合があります。市販フォントをマルチジョブ、マルチプリント環境で使用する前に、そのフォントのライセンス条件についてご確認下さい。

サーバにあるドキュメントの使用

Q1.　サーバにあるドキュメントをレイアウトしたい

Ａ．① DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を押します。

② 開いた「ドキュメント選択ダイアログ」からレイアウトしたいドキュメントを選択します。

③「オプション設定ウィンドウ」でレイアウト設定を行います。

Q2.　サーバにあるドキュメントを一覧で見たい

Ａ．DS Magic「スタート画面」より[管理ツール]の中の「ドキュメントタブ」を開きます。

Q3.　サーバにあるドキュメントの詳細情報をみたい

Ａ．2通りあります。

・① DS Magic「スタート画面」より[管理ツール]の中の「ドキュメントタブ」を開きます。
②詳細を見たいドキュメントを選択し、[ドキュメント詳細]を押します。

・① DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を押します。
②「ドキュメント選択ダイアログ」が開きます。
③詳細を見たいドキュメントを選択し、「ドキュメント詳細」を押します。

Q4.　サーバにあるドキュメントを削除したい

Ａ．① DS Magic「スタート画面」より[管理ツール]の中の「ドキュメントタブ」を開きます。

② 削除したいドキュメントを選択し、[削除]を押します。

Q5.　レイアウトする用紙を選択したい

Ａ．① DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を押します。

②「レイアウトタブ」の「用紙タブ」を選択し、レイアウトする用紙を選択します。

Q6.　レイアウトしたすべての状態をファイルに保存したい

Ａ．① DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を押します。

②「オプション設定」-「レイアウトタブ」-「ファイルタブ」を開きます。

③「レイアウト設定ファイル」-[名前をつけて保存]を押します。

④「レイアウト設定ファイル保存ダイアログ」が開きます。名前をつけて保存します。

Q7. レイアウトしたすべての状態をファイルに読み込みたい

A. ① DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を押します。

② 「オプション設定」-「レイアウトタブ」-「ファイルタブ」を開きます。

③ 「レイアウト設定ファイル」-[開く]を押します。

④ 「レイアウト設定ファイル選択ダイアログ」より必要な設定ファイルを読み込みます。

選択したドキュメントに対するオプション設定

Q1.　１つのドキュメントに対する設定だけをファイルに保存したい

A．① DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を押します。
② 「オプション設定ウィンドウ」-「レイアウトタブ」-「ファイルタブ」を開きます。
③ 「ドキュメント設定ファイル」より[保存]を押します。
④ 「ドキュメント設定ファイル保存ダイアログ」が開きます。名前をつけて保存します。

Q2.　１つのドキュメントにだけファイルから設定を読み込みたい

A．① DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を押します。
② 「オプション設定ウィンドウ」-「レイアウトタブ」-「ファイルタブ」を開きます。
③ 「ドキュメント設定ファイル」より[開く]を押します。
④ 「ドキュメント設定ファイル選択ダイアログ」より必要な設定ファイルを読み込みます。

Q3.　ドキュメントの配置を変更したい

A．① DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を押します。
② 印刷したいドキュメントを配置します。
③ 「オプション設定ウィンドウ」-「ドキュメントタブ」-「配置タブ」を開きます。
④ 必要に応じて配置を変更します。

Q4.　ドキュメントから不要部分を取り除きたい

A．① DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を押します。
② 印刷したいドキュメントを配置します。
③ 「オプション設定ウィンドウ」-「ドキュメントタブ」-「トリミングタブ」を開きます。
④ 不要な部分をトリミングでカットします。

Q5.　大きなドキュメントを分割して印刷したい

A．① DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を押します。
② 印刷したいドキュメントを配置します。
③ 「オプション設定ウィンドウ」-「ドキュメントタブ」-「タイリングタブ」を開きます。
④ 必要に応じてサイズ、分割数、位置などを設定します。

Q6. ドキュメントの色調整をしたい

A. ① DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を押します。
② ドキュメントを配置します。
③「オプション設定ウィンドウ」-「ドキュメントタブ」-「色調整タブ」を開きます。
④「色調整パラメータ」の[設定]を押します。
⑤ 必要に応じて「色調整ダイアログ」の各項目を設定します。

Q7. 色調整の設定をファイルに保存したい

A. ①「色調整タブ」-「色調整ダイアログ」で色調整を行います。
②「色調整ファイル」の[保存]を押します。
③「色調整ファイル保存ダイアログ」が開きます。名前をつけて保存します。

Q8. 色調整の設定をファイルから読み込みたい

A. ① DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を押します。
② ドキュメントを配置します。
③「オプション設定ウィンドウ」-「ドキュメントタブ」-「色調整タブ」を開きます。
④「色調整ファイル」の[開く]を押します。
⑤「色調整ファイル選択ダイアログ」より、必要な設定ファイルを読み込みます。

Q9. 印刷の仕方を指定したい

A. ① DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を押します。
② ドキュメントを配置します。
③「オプション設定ウィンドウ」-「ドキュメントタブ」-「印刷形式タブ」を開きます。
④ 必要に応じて設定を行います。

Q10. ドキュメントごとに裁断用の印を付けて印刷したい

A. ① DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を押します。
② ドキュメントを配置します。
③「オプション設定ウィンドウ」-「ドキュメントタブ」-「印刷形式タブ」を開きます。
④「ドキュメントの裁断線」の「トンボを付ける」または「枠を付ける」にチェックします。

印刷

Q1.　レイアウト印刷したい

Ａ．① DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を押します。
② 印刷したいドキュメントを配置し、必要に応じてオプション設定します。
③「オプション設定ウィンドウ」より[印刷]を押します。
④「印刷ダイアログ」において必要に応じてオプション設定し[印刷]を押します。

Q2.　印刷するプリンタを選択したい

Ａ．① DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を押します。
②「オプション設定ウィンドウ」-「レイアウトタブ」-「プリンタタブ」を開きます。
③ 印刷に使用したいプリンタを選択します。

Q3.　繰り返し印刷したい

Ａ．① DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を押します。
② 印刷したいドキュメントを配置します。
③「オプション設定ウィンドウ」より[印刷]を押します。
④「印刷ダイアログ」「くり返し印刷」で必要な設定を行います。
リピート：横方向　ステップ：縦方向　それぞれに回数指定出来ます。

Q4.　テスト印刷したい

Ａ．① DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を押します。
②「オプション設定ウィンドウ」-「プリンタタブ」より[テスト印刷]を押します。

Q5.　タイリングで分割したドキュメントをまとめて印刷したい

Ａ．① DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を押します。
② 印刷したいドキュメントを配置します。
③「オプション設定ウィンドウ」-「ドキュメントタブ」-「タイリングタブ」を開きます。
④ タイリング設定を行った後、[一括印刷]を押します。
⑤「一括印刷ダイアログ」で設定確認した後、[一括印刷]を押します。

Q6. 印刷したレイアウトで再度印刷したい

※この再プリントデータは加工修正することができません。

A. ｉ)出力時に再プリントデータを作成する

①DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を押します。

②印刷したいドキュメントを配置します。

③「オプション設定ウィンドウ」より[印刷]を押します。

④「印刷ダイアログ」-「再プリント」の「再プリントデータを残す」をチェックします。

⑤[印刷]を押します。

ⅱ)再プリントデータを選択し印刷する

①DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を押します。

②「オプション設定ウィンドウ」左下にある[▼]を押します。

③[再プリント]を押します。

④「再プリントデータ選択ダイアログ」が開きます。

⑤印刷したいデータを選択、確認した後[印刷]を押します。

Q7. 複数ページのドキュメントを印刷したい

A. ダイレクト印刷により印刷します(レイアウト印刷では１ページ目のみ印刷されます)。

・アプリケーションから、印刷オプションで「レイアウトしない」で印刷して下さい。

・ドロップフォルダの作成で「印刷出力」を選択し、ドロップ印刷して下さい。

Q8. 長尺印刷したい

A. 「プリンタ設定ツール」で「長尺印刷に対応する」をチェックします。

Q9. ドキュメントの印刷状況を知りたい

A. ①DS Magic「スタート画面」より「印刷状況」を押します。

②確認したいプリンタ、ドキュメントを選択し状況を確認します。

Q10. ドキュメントの印刷を一時停止したい

A. ①DS Magic「スタート画面」より「印刷状況」を押します。

②停止したいドキュメントを選択し、[一時停止]を押します。

Q11. ドキュメントの印刷を中止したい

A. ①DS Magic「スタート画面」より「印刷状況」を押します。

②停止したいドキュメントを選択し、[削除]を押します。

③プリンタのリセットを行って下さい。

Ｑ12. 用紙に裁断線を付けたい

Ａ. ① DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を開きます。

② 「オプション設定ウィンドウ」–「レイアウトタブ」–「ラベルタブ」を開きます。

③ 「用紙の裁断線」で必要に応じて「トンボを付ける」、「枠を付ける」をチェックします。

Ｑ13. 用紙にラベルを付けたい

Ａ. ① DS Magic「スタート画面」より[印刷設定]を開きます。

② 「オプション設定ウィンドウ」–「レイアウトタブ」–「ラベルタブ」を開きます。

③ 必要に応じてラベルを指定します。

Ｑ14. カラープロファイル機能を使って印刷したい

カラープロファイルを使って印刷するには以下の手順で作業します。

Ａ. ⅰ)カラープロファイルを DS Magic に登録する

① クライアントから RIP に接続し、「ColorProf」を開きます。

② 登録したいカラープロファイルを「ColorProf」へコピーします。

ⅱ)登録したプロファイルを使って印刷する

登録したカラープロファイルを使用して印刷します。

※「第７章　便利な使い方」の「カラープロファイルを使った印刷」を参照して下さい。

Ｑ15. Illustrator からのスクリーン印刷で、DS Magic の形状を使用したい

Ａ. Illustrator CS/CS2/CS3 から分版印刷するときにのみ指定出来ます。

メニューの「ファイル」–「プリント」を選択し、「色分解」で「色分解(Illustrator)」を指定したときにドットの形状を選択することが出来ます。

ドットの形状は次の通りです。

Illustrator CS/CS2 の場合

名称	形状	解説
1-ROUND	●● ●●	一般的に使用される円状のドット形状です。
2-LINE	＝	万線のドット形状です。
3-ELLIPSE	●● ●●	楕円のドット形状です。
4-CROSS	＃	十字のドット形状です。
5-SQUARE	■■ ■■	四角のドット形状です。

Illustrator CS3 の場合

名称	形状	解説
DOT	●● ●●	一般的に使用される円状のドット形状です。
ELLIPSE	●● ●●	楕円のドット形状です。
LINE	＝	万線のドット形状です。

但し、以下の条件で印刷する必要があります。

・「階調方式」で「ハーフトーンスクリーン」を選択する。

・「ハーフトーンスクリーン方式」で、「アプリケーションの設定優先」を選択する。

・「多階調処理」で、「切」を選択する。

ドロッププリント

Q1.　ドロップフォルダを作成したい

A．① DS Magic「スタート画面」より［ドロッププリント］を押します。

② 「ドロップフォルダ設定ウィンドウ」でドロップフォルダを作成します。

※「第６章　操作の方法」の「ドロッププリント」を参照して下さい。

Q2.　ドロッププリント機能を使って印刷したい

A．① 使用するクライアント PC から「DS Magic」へ接続します。

② 印刷に使用するドロップフォルダに接続し、デスクトップに開きます。

③ 印刷したいドキュメント（EPS JPEG TIFF BMP PDF）をドロップフォルダにコピーします。

④ レイアウト印刷設定の場合はDS Magicの操作画面でオプション設定を行い印刷します。

Q3.　既存のドロップフォルダの内容を書き換えたい

A．①「スタート」画面から［ドロッププリント］-［フォルダ一覧］を押します。

② 変更したいドロップフォルダを選択し［開く］を押します。

③ 設定内容を変更し、［フォルダ作成］を押します。

④ 先ほど開いたフォルダ名を選択して［作成］を押します。

⑤ 上書きの確認画面で［はい］を押します。

Q4.　ドロップフォルダに間違えてドロップしたファイルを取り戻したい。

A．DS Magic は独自のごみ箱フォルダをもっています。

（ネットワーク上の共有名は、Windows からは Trash、Macintosh からは Trash(000)

ドロップフォルダにドロップされたファイルは、ファイルの末尾にタイムスタンプの文字列が付加され、このごみ箱に移動され、約１時間後に自動的に削除されます。

大切なファイルを間違えてドロップフォルダに移動させた場合は、一度このごみ箱を確認し、ファイルが残っていればごみ箱からファイルを取り出して下さい。

但し、FAT ファイルシステムでお使いの場合は、システム上の制限のためにゴミ箱フォルダに移動されたファイルはただちに削除されます。

OPI

Q1.　OPI 機能を使って印刷したい

A．① クライアント PC から「DS Magic」へ接続します。

② 「OPI-Push」及び「OPI-Low」をデスクトップに開きます。

③ 実際の印刷に使用する高解像度画像（EPS TIFF JPEG）を「OPI-Push」へコピーします。

④ 「OPI-Low」にできた低解像度画像を作業用データとしてアプリケーションで使用します。

⑤ 印刷する際には「OPI 印刷しない」「低解像度 OPI を使用」「高解像度 OPI を使用」の中から選択し印刷します。

Q2.　OPI 機能のための画像ファイル登録について設定内容を変更したい

A．① DS Magic「スタート画面」より[管理ツール]を押します。

② 「OPI 設定」を開き、必要な項目に関し設定内容を変更します。

Q3.　OPI サービスを開始／停止したい

A．① DS Magic「スタート画面」より[管理ツール]を押し、「OPI 設定」を開きます。

② 「OPI サービス」項目の[開始]又は[停止]を押します。

Q4.　OPI 登録されている高解像度画像ファイルを消去したい

A．① DS Magic「スタート画面」より[管理ツール]を押し、「OPI 設定」を開きます。

② 「OPI 登録」項目の[OPI 登録ファイル消去]を押します。

※ OPI 登録されている高解像度画像ファイルがすべて消去されます。ご注意下さい。

Q5.　OPI 登録ファイル数、ディスクの総使用量、残りのディスク量を確認したい

A．① DS Magic「スタート画面」より[管理ツール]を押し、「OPI 設定」を開きます。

② 「OPI 登録」、「使用ディスク」、「空ディスク」項目で確認します。

サーバ管理

Q1. 保存してあるドキュメント設定ファイルを削除したい

A. ① DS Magic「スタート画面」より[管理ツール]を押し、「ドキュメント設定タブ」を開きます。
② リストから削除したいドキュメント設定ファイルを選択し[削除]を押します。

Q2. サーバに保存してあるレイアウト設定ファイルを削除したい

A. ① DS Magic「スタート画面」より[管理ツール]を押し、「レイアウト設定タブ」を開きます。
② リストから削除したいレイアウト設定ファイルを選択し[削除]を押します。

Q3. 保存してある色調整ファイルを削除したい

A. ① DS Magic「スタート画面」より[管理ツール]を押し、「色設定タブ」を開きます。
② リストから削除したい色設定ファイルを選択し[削除]を押します。

Q4. 保存してあるハーフトーンスクリーン設定ファイルを削除したい

A. ① DS Magic「スタート画面」より[管理ツール]を押し、「スクリーン設定タブ」を開きます。
② リストから削除したいスクリーン設定ファイルを選択し[削除]を押します。

Q5. サーバ上の設定ファイルのバックアップをとりたい

A. バックアップの出来る設定ファイルは以下の通りです。
「ドキュメント設定ファイル」
「色調整ファイル」
「スクリーン設定ファイル」
① クライアントからサーバの DS Magic に接続します。
② DS Magic「スタート画面」より[設定ファイル保存]を押します。
③ 保存したい設定ファイルの種類をクリックします。
④ 表示されたリストから保存したいファイルをクリックします。
⑤ 保存画面に表示される指示に従いファイルメニューから html 形式で保存します。

Q6. バックアップした設定ファイルをサーバ上にリストアしたい

A. ① クライアントからサーバの DS Magic に接続します。
② バックアップしたファイルを Web ブラウザで開きます。
③ リストア画面が表示されます。名前を変えたい場合は新しい名前を入力して下さい。
④ [リストア]を押すと、設定ファイルがリストアされます。

Q7.　サーバ上のデータをすべて消去し、初期状態に戻したい

Ａ．① クライアントからサーバのDS Magicに接続します。

② DS Magic「スタート画面」より[管理ツール]を押し、「メンテナンスタブ」を開きます。

③「ファイルメンテナンス」より[初期化]を押します。

※「初期化」を行うと、ドキュメントや設定ファイル、ログなどすべてのデータが削除されます。注意して使用して下さい。

Q8.　サーバ上に溜まった不要なファイルを消去したい

Ａ．① クライアントからサーバのDS Magicに接続します。

② DS Magic「スタート画面」より[管理ツール]を押し、「メンテナンスタブ」を開きます。

③「ファイルメンテナンス」より[クリーンアップ]を押します。

※「クリーンアップ」では「初期化」と違いドキュメント等のファイルは削除されません。ハードディスクの空き容量が少なくなってきた時などに使用すると効果があります。

Q9.　サーバのシステムディスクの使用状況を知りたい

Ａ．① クライアントからサーバのDS Magicに接続します。

② DS Magic「スタート画面」より[システム情報]を押します。

③「システム情報ウインドウ」-「ディスク」を表示します。

Q10.　サーバでのエラーの発生状況を知りたい

Ａ．① クライアントからサーバのDS Magicに接続します。

② DS Magic「スタート画面」より[ログ管理]を押します。

③「ログ管理ウィンドウ」-「エラー」を表示します。

Q11.　サーバ上のファイルに関する操作履歴を見たい

Ａ．① クライアントからサーバのDS Magicに接続します。

② DS Magic「スタート画面」より[ログ管理]を押します。

③「ログ管理ウィンドウ」-「設定ファイル」を表示します。

Q12.　OPI機能に関する操作履歴を見たい

Ａ．① クライアントからサーバのDS Magicに接続します。

② DS Magic「スタート画面」より[ログ管理]を押します。

③「ログ管理ウィンドウ」-「OPI」を表示します。

Q13. ドロップフォルダ機能に関する履歴を見たい

A. ① クライアントからサーバの DS Magic に接続します。
② DS Magic「スタート画面」より[ログ管理]を押します。
③「ログ管理ウィンドウ」-「ドロッププリント」を表示します。

Q14. 印刷に関する履歴が見たい

A. ① クライアントからサーバの DS Magic に接続します。
② DS Magic「スタート画面」より[ログ管理]を押します。
③「ログ管理ウィンドウ」-「プリント」を表示します。

Q15. FTP ツールの操作履歴を見たい

A. ① クライアントからサーバの DS Magic に接続します。
② DS Magic「スタート画面」より[ログ管理]を押します。
③「ログ管理ウィンドウ」-「FTP ツール」を表示します。

Q16. PPD ファイルの名前を調べたい

A. ① クライアントからサーバの DS Magic に接続します。
② DS Magic「スタート画面」より[システム情報]を押します。
③「システム情報ウインドウ」-「バージョン」を表示します。

Q17. DS Magic のバージョンを調べたい

A. ① クライアントからサーバの DS Magic に接続します。
② DS Magic「スタート画面」より「システム情報」を押します。
③「システム情報ウインドウ」-「バージョン」を表示します。

Q18. 印刷可能なインク、メディアの組み合わせを調べたい

A. ① クライアントからサーバの DS Magic に接続します。
② DS Magic「スタート画面」より[システム情報]を押します。
③「システム情報ウインドウ」-「プリンタ」を表示し、調べたいプリンタ名をクリックします。

Q19. インストールしたパッチ(アップデートモジュール)を調べたい

A. ① クライアントからサーバの DS Magic に接続します。
② DS Magic「スタート画面」より[システム情報]を押します。
③「システム情報ウインドウ」-「アップデート」を表示します。

トラブルシューティング

インストール時

Q1.　インストールプログラムが見つからない。

A．インストール用の CD-ROM が CD-ROM のドライブに入っていますか？
インストール用の CD-ROM を入れて下さい。

Q2.　インストールの最中にエラーがでる。

A．・ディスクの容量は十分にありますか？
インストールにはおよそ 60MB のディスク容量が必要です。不要なファイルを消してディスクを空けて下さい。

・Windows のファイルシステムは壊れていませんか？
サーバの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、Windows のインストールされているドライブを選択します。「プロパティ」を開いて「ツール」タブを選び、エラーチェックで「チェックする」を押します。チェックディスクオプションの項目にチェックし、「開始」を押します。
（さらに詳細を知りたい場合は、Windows のマニュアルをご覧下さい。）

・他のアプリケーションが動作していませんか？
すべてのアプリケーションを終了してからインストールを行って下さい。

・複数のハードウェアキーが装着されていませんか？
ハードウェアキーが複数装着されていると誤動作を起こすことがあります。
DS Magic のハードウェアキーだけにしてインストールして下さい。

Q3.　クライアントマシンにフォントがインストールできない。

A．本章の「こんなことがしたいときには」の「フォントのインストール／Q.付属のフォントをクライアントへインストールしたい」を参照して下さい。

Q4.　使用するプリンタの登録時にエラーが発生する。

Ａ. ・ CD-ROMが認識できていますか？

CD-ROMを入れたすぐ後ではCD-ROMを認識できません。

10秒ほど待ち、エクスプローラでCD-ROMにアクセスし、CD-ROMにアクセス出来る事を確認して下さい。

・ ハードウェアキーは装着されていますか？

サーバにハードウェアキーが装着されていなければ、プリンタは登録できません。

・「プロテクトキーに正常に書き込めませんでした」というエラーメッセージが出た場合は、裏表紙に記載の《お客様相談窓口（コールセンター）》までお問い合わせ下さい。

Q5.　アンインストールで削除できないファイルがあった。

Ａ. 他のアプリケーションが動作していませんか？

すべてのアプリケーションを終了してからアンインストールを行って下さい。既にアンインストールしてしまった場合には、削除できなかったファイルを直接削除してもかまいません。

Web ブラウザ関係

Q1.　DS Magic 起動時に入力するユーザー名とパスワードが保存されない。

Ａ．この不具合を解消するには、マイクロソフト社のサポートドキュメントに従い Windows のレジストリの編集を行う必要があります。
マイクロソフト社のホームページより文書番号「JP264672」を参照して下さい。

また、レジストリの編集作業によって生じた不具合等につきまして、ブラザーおよびマイクロソフト社のいずれも一切サポート保証いたしかねます。
レジストリ編集作業を行う場合は、文書に記述されている内容、注意事項を必ず確認し、レジストリのバックアップを取った後、全て自己の責任において行って下さい。

Q2.　ページは表示されるが、ボタンが表示されない。

Ａ．・使っている Web ブラウザは Internet Explorer 6 以降のバージョンですか？
「Java(TM)6 Update2」以降の Java Runtime EnVironment がインストールされているかどうかを確認して下さい。
確認方法は、「スタート」-「コントロールパネル」を開いて下さい。そこに「Java」というボタンがあれば起動して、基本タブ中の「バージョン情報」を押して下さい。ここで表示される画面中のバージョン項目の値が 1.6.0 以上であることを確認して下さい。
「Java」ボタンが存在していないか、またはバージョンが 1.6.0 未満の場合には CD-ROM を挿入して、インストール画面中の「Sun の Java のインストール」を押して下さい。

・ネットワーク環境下にない DNS が設定されていませんか？
存在する場合は、その DNS を削除して下さい。

・Web ブラウザの設定で「JAVA を有効にする」設定になっていますか？
「JAVA を有効にする」設定にして下さい。

・ブラウザの起動か、コントロールパネルの起動に失敗したおそれがあります。
ブラウザを再起動して下さい。

Q3.　URL を設定しても「DS Magic スタート画面」のページが表示されない。

Ａ.・設定した URL は正しいですか？
もう一度確認をして下さい。

・サーバは稼動していますか？
サーバの電源が入っていることを確認して下さい。
入っていない場合はサーバの電源を入れ起動して下さい。

・IP アドレスが正しく設定されていますか？
サーバとクライアント PC の TCP/IP の設定を確認し、正しい設定にして下さい。

Q4.　ユーザ認証に失敗する。

Ａ.・ユーザ名とパスワードは正しいですか？
パスワードはアルファベットの大文字と小文字を区別します。
確認してもう一度入力してみて下さい。

Windows XP に DS Magic をインストールしている場合、空のパスワードは使えません。確認して下さい。

・プロキシサーバを経由してサーバに接続していませんか？

インターネットエクスプローラの場合

①「コントロールパネル」-「インターネットオプション」を起動し、「接続」タブを開きます。
②「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」の[LAN の設定]ボタンを押します。
③「プロキシサーバを使用する」のチェックをオフにします。または、[詳細]ボタンを押して「プロキシの設定」ダイアログボックスを開き、「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない」の欄にそのサーバのアドレスを記述します。

ネットスケープコミュニケータの場合

① メニューの「編集」-「設定」を押します。
②「カテゴリ」のツリーから、「詳細」-「プロキシ」をクリックします。
③「インターネットに直接接続する」を選択します。または、「手動でプロキシを設定する」を選択し、[表示]ボタンをおして「手動でプロキシを設定」ダイアログボックスを開き、「次ではじまるドメインにはプロキシサーバを使用しない」の欄にそのサーバのアドレスを記述します。

・IISのパスワード認証の設定は正しく行われていますか？

①Windowsの「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」で「管理ツール」-「インターネットサービスマネージャ」を起動します。

②ウインドウ左側の「サーバの名前」をクリックし、さらに右側の「既定の Web サイト」をダブルクリックします。

③「DSMagic」を選択し、メニューの「操作」-「プロパティ」をクリックします。

④「ディレクトリセキュリティ」タブを開き、「匿名アクセスおよび認証コントロール」の[編集]ボタンを押します。

「匿名アクセス」:オフ

「基本認証」:オン

「Windowsドメインサーバーでダイジェスト認証を使用する」:オフ

「統合Windows認証」:オフ

に設定し、[ＯＫ]ボタンを押して「認証方法」のダイアログを閉じます。

⑤[ＯＫ]ボタンをおして「プロパティ」のダイアログも閉じます。

⑥上記③～⑤の操作を「DSMagic」にかわって「Script」と「Preview」に対しても行います。

Q5.　操作に対して急に反応が悪くなることがある。

Ａ．Webブラウザを再起動して下さい。

これで改善されない場合は、Webブラウザのキャッシュがいっぱいになっている可能性があるため、キャッシュをクリアして下さい。

ブラウザの種類により、「インターネット一時ファイルの削除」、「ディスクキャッシュのクリア」といった項目がありますので、これを使用して下さい。

Q6.　プレビュー画面が表示されない。

Ａ．以下の作業を行って下さい。

①C(Windows OSがインストールされた)ドライブに次のフォルダが存在するか確認し、存在する場合は「preview」フォルダを削除します。

C:¥Inetpub¥wwwroot¥preview

②DS Magicを上書きインストールします。

③ブラウザを起動し、インターネット一時ファイルを削除します。

④DS Magicを起動します。

クライアントからのドキュメントの送信／印刷

全般

Q1.　印刷したドキュメントが送信できない。

A.・サーバのディスク容量は十分にありますか？

「システム情報」でディスクの使用状況を確認して下さい。ドキュメントを送信するためにはサーバにドキュメントと同程度の空き容量が必要です。

・お使いのアプリケーションが、PPD ファイルを正しく使用せずに印刷している可能性があります。

環境設定ツールの「PPD 設定補助」で値を設定して、アプリケーションから印刷して下さい。

Q2.　追加したプリンタがオプション設定の「出力プリンタ」に表示されない。

A.・PPD ファイルは更新しましたか？

クライアント PC からお使いの場合は、「第 3 章　印刷する前に」の「PPD ファイルの更新とクライアント PC への登録」を参照して PPD ファイルを更新・登録して下さい。

・ネットワーク内にある DS Magic の識別番号が重なっていませんか？

識別番号が重なっている DS Magic を再インストールし、識別番号を変更して下さい。

Windows の場合

Q1.　プリンタの詳細設定において、プリンタ、インクなど表示されない項目がある。

A. 各項目において、選択肢が１つしか存在しない場合は表示されません。

そのままご使用下さい。

Macintosh で LaserWriter8.4.2 を使った場合

Q1.　「各プリンタ別オプション」の項目が表示されない。

A．LaserWriter8.4.2の解析ファイルに問題が発生しています。他のバージョンのLaserWriterを使用するか、以下の要領で LaserWriter8.4.2 の設定を行って下さい。

①「セレクタ」を開いて、別に PPD ファイル（例：General）を選択して下さい。

②「セレクタ」を閉じ、「システムフォルダ」-「初期設定」-「プリント初期設定」-「解析済みPPD フォルダ」にある DS Magic 用 PPD ファイルと同じ名前の付いた解析ファイルを削除して下さい。「システムフォルダ」-「初期設定」にある「LaserWriter8.4 設定」を削除して下さい。

③「セレクタ」を開いて、DS Magic 用 PPD ファイルを選択し直して下さい。

Q2.　追加したプリンタが「各プリンタ別オプション」の「出力プリンタ」に表示されない。

A．PPD ファイルは更新しましたか？

管理ツールのメンテナンスタブ［ PPD 更新］ボタンを押すと、PPD ファイルの更新が行われます。

「PPD 更新」を行った後、OS を再起動して下さい。

LaserWriter8.4.2 をご使用の場合、解析ファイルが更新されない場合があります。

①「システムフォルダ」-「初期設定」-「プリント初期設定」-「解析済みPPDフォルダ」にある DS Magic 用 PPD ファイルと同じ名前の付いた解析ファイルを削除して下さい。
「システムフォルダ」-「初期設定」にある「LaserWriter8.4 設定」を削除して下さい。

②「セレクタ」を開いて DS Magic 用 PPD ファイルを選択し直して下さい。

Q3.　各インク、メディア名が PPD ファイルに表示されない。

A．プリンタ設定ツールで「PPD ファイルに表示する」を設定した後、管理ツールの［PPD 更新］ボタンを押して PPD ファイルの更新を行い、PPD ファイルをクライアント PC に登録して下さい。

Q4.　カスタムページサイズが設定できない。

A．LaserWriter8.4.2 にはカスタムページサイズの設定機能がありません。

ドキュメントより大きな用紙を選択してサーバに送信し、レイアウト後にトリミングで不要な部分を削除して下さい。

印刷する時

Q1. 印刷できない。

A. ・エラーログが出ていませんか？

DS Magic のスタート画面から[ログ管理]を押し、「エラー」ログを表示して印刷エラーが発生していないか確認して下さい。

・サーバはサービスを開始していますか？

「管理ツール」ダイアログボックスを開き、「メンテナンス」タブを押して、サービスが動作中であることを確認して下さい。

サービスが停止している場合は、[開始]ボタンを押してサービスを開始して下さい。

・サーバのディスク容量は十分にありますか？

「システム情報」で、空ディスクの使用状況を確認して下さい。

印刷時に必要となるディスク容量は印刷条件により大きく異なりますが、DS Magic を安定してお使いいただくためには4 GB 程度以上の空容量の確保をお願いします。

・プリンタ設定ツールで正しく出力先プリンタが設定されていますか？

・出力先プリンタが一時停止になっていませんか？

・プリンタ本体との接続状況は正常ですか？

① サーバ上で Windows の「スタート」-「設定」-「プリンタ」を選択します。

② プリンタ設定ツールで設定してある出力先プリンタを選択し、ダブルクリックします。

③「プリンタ」メニューの「プロパティ」を選択します。

④「全般」タブの[テストページの印刷]を押します。

印刷できれば、正しく接続できています。

・出力プリンタの選択が、サーバに接続されているプリンタと異なっていませんか？

レイアウト設定して印刷した場合

「オプション設定ウインドウ」の「レイアウト」タブにある「プリンタ」タブ画面で「プリンタ名」のところに表示されている名前が、サーバに接続されているプリンタの名前と同一のものであるかを確認して下さい。

違っている場合は、サーバに接続されているプリンタ名を選択して下さい。

アプリケーションから直接印刷した場合

「プリンタ」の「オプション設定」の出力プリンタメニューでサーバに接続されているプリンタの名前と同一のものを選択して再度印刷を行って下さい。

Q2. 印刷が始まらない。

A. ・プリンタの電源は入っていますか？

プリンタの電源が入っていることを確認して下さい。入っていない場合は、電源を入れ、起動して下さい。

・プリンタはサーバと正しく接続されていますか？

サーバとプリンタを繋いでいるケーブルがはずれていないことを確認して下さい。また、間違った端子にケーブルを繋いでいないか確認して下さい。はずれていたり、間違った端子に繋いでいる場合は正しく繋ぎ直して下さい。

・プリンタの消耗品は足りていますか？

プリンタが用紙切れ、あるいはインク切れでないことを確認して下さい。プリンタに不足した用紙やインクを補給して、印刷待機の状態にして下さい。

・プリンタは正常に稼動していますか？

プリンタがエラーを出していたり、ハングアップしていないことを確認して下さい。プリンタがエラーを出したり、ハングアップした原因を取り除き印刷待機の状態にして下さい。

印刷中のドキュメントを削除した場合、プリンタが次のデータを受信しなくなることがあります。

その場合はプリンタをリセットして下さい。

・印刷状況ウインドウでドキュメントの状態が待機中ですか？

次項の「印刷状況」を参照して下さい。

・サーバの RealPrintSpool プリンタは動作していますか？

「印刷状況」ボタンで印刷状況ウィンドウを開き、ウィンドウ中央の「プリンタの停止」ボタンが「プリンタの再開」と表示されていないか確認して下さい。もし、「プリンタの再開」と表示されている場合は、RealPrintSpool プリンタが停止しています。その場合にはこのボタンを押し、表示を「プリンタの停止」にして下さい。

・フォントダウンロードサービスは停止していますか？

「管理ツールウインドウ」を開き、「フォントダウンロード」タブを選択しフォントダウンロードサービスが停止中であることを確認して下さい。

フォントダウンロードが実行中の場合は、フォントダウンロードが終了するまでお待ち下さい。

フォントダウンロードが実行されていない場合は、「管理ツールウインドウ」の「フォントダウンロード」タブを開き、[停止]ボタンを押してサービスを停止させて下さい。

Q3.　印刷が終わらない。

A．プリンタは正常に稼動していますか？

プリンタが動作していることを確認します。

① サーバの「スタート」メニューで「設定」サブメニュから「プリンタ」を選び、プリンタウインドウを開きます。

② 「RealPrintSpool」アイコンで「RealPrintSpool」ウインドウを開き、「プリンタ」メニューで「一時停止」を選択します。

③ 印刷中で止まっているドキュメントを選択した状態で「ドキュメント」メニューで「キャンセル」を選びます。

④ プリンタを再起動させ、正常に動作出来ることを確認します。

⑤ 「RealPrintSpool」ウインドウで、印刷中で止まっていたドキュメントが消えていることを確認し、「プリンタ」メニューで「一時停止」を解除しドキュメントを再度印刷します。

Q4.　メモリ不足で印刷できない。

A．印刷に必要なメモリサイズはユーザーが直接制御することができないため、以下のいくつかの方法を試みて下さい。

・グラデーション品質を変更する。

グラデーションを多く含むドキュメントのドライバ印刷、もしくはEPS/PDFのドロップ印刷の場合、「環境設定ツール」-「BR-Script」の「グラデーション品質」を「標準(省メモリ)」に変更して下さい。

・印刷条件を変更する。
印刷時の解像度を下げて印刷して下さい。

・データフォーマットを変更する。
TIFF などのビットマップ系のデータに変換してドロップ印刷するとメモリ消費量を抑えることが出来ます。
但し、ビットマップですからフォントなどがガタガタになる可能性もあります。

Ｑ5.　カット紙を指定してプリンタで印刷すると、エラーがプリンタパネルに表示される。

Ａ. プリンタ本体に設定した「用紙の種類」「用紙サイズ」と、DS Magic から印刷するときに設定した「メディア」「用紙サイズ」が一致していますか？

Ｑ6.　印刷された色がおかしい。

Ａ. ・プリンタ本体において、装着したメディアと装着時にプリンタ本体のパネルで設定したメディアの種類が一致していますか？
(プリンタ本体の種類によっては、設定が不要な場合もあります)。

・プリンタ本体に装着したメディアの種類と、DS Magic からの印刷時に指定したメディアの種類が一致していますか？

・プリンタ本体は正常ですか？
プリンタ本体の機能を使用してテスト印刷し、印字品質を確認して下さい。
かすれなどが発生する場合はヘッドクリーニングなどを行って下さい。

・ 色調整方法が間違っていませんか？

・ 色調整ファイルを使用したダイレクト印刷の場合、色調整ファイルの設定内容（解像度、メディアなど）と印刷時の設定内容が一致していますか？

・ 経時変動によりプリンタ本体側で色が変わっていませんか？
Calibrator ツールを使用して修正して下さい。
詳細は「第８章　ツール」の「Calibrator」を参照して下さい。

Q7.　(C,M,Y,K)＝(0,0,0,100%)の色を持つオブジェクトが、(0,0,0,100%)で印刷できない。

A．「色調整」タブで、「墨 100％保持」を ON にして印刷して下さい。

Q8.　Cyan のみ色情報を持つオブジェクトで、Cyan 以外にも色がつく。
（Magenta、Yellow も同様）

A．「色調整」タブで、「原色保持」を ON にして印刷して下さい。

Q9.　Black のみ色情報を持つオブジェクトで、Black 以外にも色がつく。

A．プロファイルエディタを使って、「墨版保持」を ON にしてデバイスリンクプロファイルを作成し、印刷時にはその作成したデバイスリンクプロファイルを使用して印刷して下さい。

Q10.　印刷すると画像の右端が切れる。

A．DS Magic で設定した用紙サイズが、プリンタ本体に装着した用紙サイズより大きくなっていませんか？
プリンタ本体の印字可能範囲が、装着した用紙サイズの横幅から特定のマージンを差し引いたサイズになる場合がありますが、DS Magic ではプリンタ本体に装着された用紙サイズと無関係に用紙サイズを設定出来ます。
従って、DS Magic において印字可能範囲に収まるように、用紙サイズもしくはドキュメントを調整して下さい。

Ｑ11．金赤（M100、Y100）を印刷すると茶色くくすんで印刷される

Ａ．DS Magic のデフォルトの色変換を行うと、使用するメディアによっては、プリンタによる色再現域とターゲットの色域とが著しく異なるため、赤金（M100、Y100）が茶色くくすんで印刷されることがあります。下記方法をお試し下さい。

・「ドキュメントタブ」－「色調整タブ」－「設定」－「色変換方式」－「CMYK 変換方式」を「無変換」にして下さい。

・ メディアを、フォト光沢紙／フォト半光沢紙／プルーフ用紙２に変更して下さい。

印刷設定時

Q1. レイアウト設定するためにサーバに送信したドキュメントが配置できない。

A．「ドキュメント選択ダイアログボックス」に表示されたドキュメントの状況欄に準備中、あるいはエラーと表示されていないか確認して下さい。

準備中のファイルはプレビューイメージの作成およびエラーのチェックを実行中ですので、それが終了するまでは配置できません。準備中の表示がファイルサイズの表示に変わるまでお待ち下さい。

Q2. プレビューが表示されない。

A．「オプション設定ウインドウ」の「ドキュメント」タブにある「配置」タブで「イメージを表示しない」チェックボックスがチェックされていないか確認して下さい。

チェックされている場合は、それをはずして下さい。

Q3. リピート、ステップ印刷が選択できない。

A．複数のドキュメントが用紙上に配置されていないことを確認して下さい。

「オプション設定ウインドウ」の「ドキュメント」タブにある「ファイル」タブ画面で「配置ドキュメント」リストボックスにドキュメントが1つしかないことを確認して下さい。

複数ある場合は、リピート、ステップ印刷したいドキュメント1つだけを残し、他のドキュメントはすべて閉じて下さい。閉じたいドキュメントを選択し、[閉じる]を押すとそのドキュメントを閉じることが出来ます。

Q4. 一括印刷できない。

A．複数のドキュメントが用紙上に配置されていないことを確認して下さい。

「オプション設定ウインドウ」の「ドキュメント」タブにある「ファイル」タブ画面で「配置ドキュメント」リストボックスにドキュメントが1つしかないことを確認して下さい。

複数ある場合は、一括印刷したいドキュメント1つだけを残し、他のドキュメントはすべて閉じて下さい。閉じたいドキュメントを選択し、[閉じる]を押すとそのドキュメントを閉じることが出来ます。

Q5. 色調整しても印刷結果が変わらない。

A．色調整が有効に設定されていることを確認して下さい。

「オプション設定ウインドウ」の「ドキュメント」タブにある「色調整」タブ画面の[設定]ボタンを押し「色調整ダイアログ」を開きます。[詳細]ボタンを押して、色調整を行った機能のチェックボックスがチェックされていることを確認して下さい。

チェックされていない場合は、チェックします。

Q6.　印刷済みで必要のないドキュメントがサーバに溜まってしまう。

Ａ. 印刷時に「印刷」ダイアログボックスで「ドキュメントを消去する」チェックボックスをチェックして下さい。印刷終了後にドキュメントは削除されます。

「管理ツールウインドウ」を開き、「ドキュメント」タブを選択し、必要なくなったドキュメントを削除して下さい。

印刷状況

Q1. 印刷モニタで一覧を取得できない。

A. サーバはサービスを開始していますか？

「管理ツールウィンドウ」を開き、「メンテナンス」タブを押して、サービスが動作中であることを確認して下さい。

サービスが停止している場合は、[開始]を押してサービスを開始して下さい。

Q2. ドキュメントの印刷状況でグラフが表示されない。

A. 印刷中のドキュメントを選択していますか？

選択しているドキュメントの状況が印刷中であるか確認して下さい。グラフが表示されるのは印刷中のドキュメントに対してのみです。

Q3. ドキュメントの印刷状況が待機中である。

A. 印刷中のドキュメントがすでに存在し、かつ、Windowsスプールフォルダのあるハードディスクの空容量が4 GB未満の時に待機します。

すでに行われている印刷が完了するまで待つか、ハードディスクの空容量を4 GB以上にして下さい。

Q4. 削除したドキュメントが消えない。

A. 印刷中のドキュメントを削除した場合、削除のタイミングによって「削除中のドキュメント」が長時間消えなくなることがあります。そのような場合はサービスを一旦停止させ、再びサービスを開始させて下さい。

管理ツール

Q1.　リストのデータがなかなか更新されない。

A．一定時間の間隔で更新を行っているため、操作結果がすぐには反映されないことがあります。

ダイアログボックスの右上に[更新]ボタンがあります。このボタンを押すと強制的にリストの更新を行うことが出来ます。

Q2.　管理ツールで操作できないものがある。

A．ログインしたアカウントは管理者（administrators）権限を持っていますか？

一部の操作は管理者（administrators）権限を持ってサーバに登録されているユーザしかできないものがあります。管理者（administrators）権限については、Windows のマニュアルをご覧下さい。

その操作を行いたい場合は、管理者（administrators）権限を持つアカウントでLOGINし直してご利用下さい。

Q3.　ドキュメントを削除してもディスクの空き容量が増えない。

A．レイアウト設定ファイル内に、削除したドキュメントが含まれていませんか？

レイアウト設定ファイル内に含まれるドキュメントは、レイアウト設定ファイルが存在する限りディスク内から削除されません。

「管理ツールウィンドウ」-「レイアウト設定」タブを開きます。リストボックス内に表示されているレイアウト設定ファイルを選択し、「設定ファイル詳細」を押して下さい。表示される「レイアウト設定ファイル詳細ダイアログ」内の「レイアウトドキュメント」リストに、削除したドキュメントが含まれているか確認し、削除したドキュメントが含まれるレイアウト設定ファイルを削除して下さい。これにより、ドキュメントが削除されディスクの空き領域が増加します。

ドロップフォルダ

Q1.　ドロップフォルダにコピーしたファイルが印刷されない。

A.・コピーしたファイルフォーマットは、ドロップ印刷対応フォーマットですか？
「第 11 章　添付資料」の「対応ファイル形式」を参照して下さい。

・サーバはサービスを開始していますか？
「管理ツールウィンドウ」を開き、「メンテナンス」タブを押して、サービスが動作中であることを確認して下さい。
サービスが停止している場合は、[開始]を押してサービスを開始して下さい。

Q2.　1 bit TIFF ファイルをドロップ印刷したらモアレが発生する。

A．中間解像度の設定を変更することでモアレを解消出来ます。
使用したドロップフォルダを開き、「中間解像度」の値を変更して、上書きで作成して下さい。

OPI

Q1.　OPI-PUSH フォルダに置いたファイルが登録されない。

Ａ．OPI サービスは開始していますか？

「管理ツールウィンドウ」を開き、「メンテナンス」タブを押して、OPIサービスが動作中であることを確認して下さい。

サービスが停止している場合は、[開始]を押してサービスを開始して下さい。

Q2.　OPI 機能を使ったドキュメントに付けたイメージが印刷されない。

Ａ．イメージデータが削除されていませんか？

ドキュメントに付けたイメージのファイル名と同じ名前のイメージファイルが OPI-LOW フォルダにあるか確認して下さい。

削除されている場合は、ドキュメントに付けたイメージの高解像度イメージファイルを OPI-PUSH フォルダに置き、再度 OPI 機能に登録して下さい。

Q3.　OPI 機能を使ったドキュメントに付けたイメージに、違うイメージが印刷される。

Ａ．イメージデータが変更されていませんか？

OPI-LOW フォルダにあるイメージファイルで、ドキュメントに付けたイメージのファイル名と同じ名前のものを開いて、違うイメージが登録されていないか確認して下さい。

変更されていた場合は、違うイメージを登録したユーザに許可を得た上で、そのイメージファイルを削除し、ドキュメントに付けたイメージの高解像度イメージファイルを OPI-PUSH フォルダに置き、再度 OPI 機能に登録して下さい。

削除の許可が得られない場合は、高解像度のイメージファイルを直接ドキュメントに貼りつけるか、別の名前で OPI 機能に登録してドキュメントに付け直して下さい。

プロファイル

Q1.　ColorProf フォルダに置いたプロファイルが登録されない。

Ａ．サーバはサービスを開始していますか？

「管理ツールウィンドウ」を開き、「メンテナンス」タブを押して、サービスが動作中であることを確認して下さい。

サービスが停止している場合は、[開始]を押してサービスを開始して下さい。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

ダイアログボックス

Q1. リストのデータがなかなか更新されない。

A. 一定時間の間隔で更新を行っているため、操作結果がすぐには反映されないことがあります。

ダイアログボックスの右上に[更新]があります。このボタンを押すと強制的にリストの更新を行うことが出来ます。

ログの表示

Q1. ログの表示が乱れる。

A. コンマ(,)をファイル名に使用していませんか？

コンマ(,)はデータの区切り記号として使用されているため、ドキュメント名や印刷ダイアログで付けるレイアウト名にコンマ(,)を使用している場合、誤った位置でデータが区切られログの表示が乱れる場合があります。

Q2. 古いログが削除されている。

A. 約500件以上になると古いログから自動的に削除されます。

第１０章

添付資料

DS Magic 対応プリンタ

対応プリンター覧

Canon 社製 iPF8100、iPF9100、iPF8000S、iPF9000S、iPF5100、iPF6100、iPF5000、iPF8000、iPF9000、iPF510、iPF610、iPF710、iPF500、iPF600、iPF700、W8400 顔料モデル、W8400 染料モデル、W6400

※ プリンタをご使用いただく前に、「プリンタ別補足事項」を必ずご覧下さい。

プリンタ別補足事項

キヤノン株式会社

ｉＰＦ８１００

■ サポート範囲

Canon 社製 iPF8100 プリンタで使用可能。

DS Magic でのプリンタ名称は、「iPF8100」。

■ 印字モード

DS Magic 表示解像度	印字解像度（dpi）	DS Magic 表示インク	色数	多階調処理
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	8	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	8	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	11	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	11	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	8	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	8	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	11	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	11	入

- 解像度は［ヘッド移動方向］×［用紙送り方向］
- インク名の「（速い）」、「（標準）」、「（きれい）」は印刷品質を示し、印刷品質が切り替えられる。
- インク名の「（RGB）」、「（CMYK）」は RGB インクの使用の有無を切り替えられる。
  「（RGB）」では RGB インクを含む 11 色のインクを使用し、「（CMYK）」では、RGB インクを除く 8 色のインクが使用されます。

■ 必須パネル設定

印刷設定画面の用紙タブ、ドロップフォルダ設定の画面にて、ロール紙／カット紙を正しく選択し、プリンタのパネル設定と一致させて下さい。

iPF8100 プリンタのパネルで、セットされているメディアの種類を設定する必要があります。

下記に DS Magic のメディア選択と、iPF8100 プリンタのパネル設定の対応を示します。

DS Magic のメディア選択	iPF8100 のパネル設定
普通紙	普通紙
厚口コート紙	厚口コート紙
フォト光沢紙	フォト光沢紙
フォト半光沢紙	フォト半光沢紙
フォト光沢紙（厚口）２	フォト光沢紙（厚口）２
フォト半光沢紙（厚口）２	フォト半光沢紙厚口２
フォト半光沢紙（ポスター）	フォト半光沢紙ポスター
合成紙（糊無し）	合成紙（糊無し）
合成紙（糊付き）	合成紙（糊付き）
バックライトフィルム	バックライトフィルム
プルーフ用紙 2	プルーフ用紙 2
新聞プルーフ用紙 2	新聞プルーフ用紙 2
ファインアート（フォト厚口）	ファインアート フォト厚口
和紙	和紙

■ 対応メディア

・普通紙
・厚口コート紙
・フォト光沢紙
・フォト半光沢紙
・フォト光沢紙（厚口）２
・フォト半光沢紙（厚口）２
・フォト半光沢紙（ポスター）
・合成紙（糊無し）
・合成紙（糊付き）
・バックライトフィルム
・ プルーフ用紙２
・ 新聞プルーフ用紙２
・ファインアート（フォト厚口）
・ 和紙

■ フチなし印刷対応

以下の条件で四辺フチなし印刷に対応します。

• フチなし印刷対応メディアで、ロール紙を使用するときのみ、フチなし印刷が可能です。
  厚口コート紙、フォト光沢紙、フォト半光沢紙、フォト光沢紙（厚口）２、
  フォト半光沢紙（厚口）２、フォト半光沢紙（ポスター）、ファインアート（フォト厚口）

- 印刷設定画面の「レイアウト」タブ、ドロップフォルダ設定では「四辺フチなし」をチェックします。アプリケーションからのダイレクト印刷では、プリントオプション設定項目の「四辺フチなし」を「入」にします。
- フチなし印刷では上下左右が 3mm ずつカットされます。
  従って、DS Magic の設定用紙サイズは、出来上がりサイズよりも幅、高さそれぞれ 6mm 大きなサイズを設定して下さい。
- DS Magic での設定用紙幅が以下の場合のみ、左右がフチなしで印刷されます。
  下記以外の用紙幅では、例え四辺フチなし印刷を設定しても左右がフチなしで印刷されません。
  254.0mm、355.6mm、406.4mm、515.0mm、594.8mm、609.6mm、841.0mm、914.4mm、1030.0mm、1066.8mm

■ 推奨出力環境

- USB による接続

■ 注意事項

- メディアによって対応している解像度は異なります。選択可能な組み合わせについては、DS Magic スタート画面の「システム情報」−「プリンタ」で「iPF8100」を選択し、対応表をご覧下さい。
- プリンタ設定ツールのメディア詳細設定
  プリンタ設定ツールで設定可能な「印刷オプション」と「メディア詳細設定」の項目は、プリンタのパネルで設定した値より優先されます。
- プリンタ設定ツールの出力方法の設定
  プリンタ設定ツールで、「出力方法」の項目を変更することにより、印刷の際、プリンタのハードディスクの使用方法が変更されます。設定とプリンタの処理の詳細は、プリタ付属 CD のマニュアルにある「機能と使い方の一覧」→「ハードディスクを使用する」の各項目を参照して下さい。
- 印字最小カット長
  iPF8100 プリンタには印字最小カット長が存在します。
  印字最小カット長より短いドキュメントを印刷した場合においても、印字最小カット長分の紙送り（印字長を含む）が行われます。
  また、この印字最小カット長は用紙節約モードの値により異なります。
- カット紙印刷で手差しで給紙する場合、縦置きの用紙サイズが使用可能です。横置きの用紙サイズはサポートされません。
- インク名に「（RGB）」と記載のある印字モードでは、DS Magic によるキャリブレーションは
  使用できません。プリンタ本体に搭載されるキャリブレーション機能をご利用ください。

ｉＰＦ９１００

■ サポート範囲

Canon 社製 iPF9100 プリンタで使用可能。

DS Magic でのプリンタ名称は、「iPF9100」。

■ 印字モード

DS Magic 表示解像度	印字解像度（dpi）	DS Magic 表示インク	色数	多階調処理
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	8	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	11	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	11	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	8	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	8	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	11	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	11	入

- 解像度は[ヘッド移動方向]×[用紙送り方向]
- インク名の「（速い）」、「（標準）」、「（きれい）」は印刷品質を示し、印刷品質が切り替えらる。
- インク名の「（RGB）」、「（CMYK）」は RGB インクの使用の有無を切り替えられる。
  「（RGB）」では RGB インクを含む 11 色のインクを使用し、「（CMYK）」では、RGB インクを除く 8 色のインクが使用されます。

■ 必須パネル設定

印刷設定画面の用紙タブ、ドロップフォルダ設定の画面にて、ロール紙／カット紙を正しく選択し、プリンタのパネル設定と一致させて下さい。

iPF9100 プリンタのパネルで、セットされているメディアの種類を設定する必要があります。

下記に DS Magic のメディア選択と、iPF9100 プリンタのパネル設定の対応を示します。

DS Magic のメディア選択	iPF9100 のパネル設定
普通紙	普通紙
厚口コート紙	厚口コート紙
フォト光沢紙	フォト光沢紙
フォト半光沢紙	フォト半光沢紙
フォト光沢紙（厚口）２	フォト光沢紙（厚口）２
フォト半光沢紙（厚口）２	フォト半光沢紙厚口２
フォト半光沢紙（ポスター）	フォト半光沢紙ポスター
合成紙（糊無し）	合成紙（糊無し）
合成紙（糊付き）	合成紙（糊付き）
バックライトフィルム	バックライトフィルム
プルーフ用紙 2	プルーフ用紙 2
ファインアート（フォト厚口）	ファインアート フォト厚口
和紙	和紙

■ 対応メディア

・普通紙
・厚口コート紙
・フォト光沢紙
・フォト半光沢紙
・フォト光沢紙（厚口）２
・フォト半光沢紙（厚口）２
・フォト半光沢紙（ポスター）
・合成紙（糊無し）
・合成紙（糊付き）
・バックライトフィルム
・ プルーフ用紙２
・ファインアート（フォト厚口）
・ 和紙

■ フチなし印刷対応

以下の条件で四辺フチなし印刷に対応します。

- フチなし印刷対応メディアで、ロール紙を使用するときのみ、フチなし印刷が可能です。
  厚口コート紙、フォト光沢紙、フォト半光沢紙、フォト光沢紙（厚口）２、
  フォト半光沢紙（厚口）２、フォト半光沢紙（ポスター）、ファインアート（フォト厚口）

- 印刷設定画面の「レイアウト」タブ、ドロップフォルダ設定では「四辺フチなし」をチェックします。アプリケーションからのダイレクト印刷では、プリントオプション設定項目の「四辺フチなし」を「入」にします。
- フチなし印刷では上下左右が 3mm ずつカットされます。
  従って、DS Magic の設定用紙サイズは、出来上がりサイズよりも幅、高さそれぞれ 6mm 大きなサイズを設定して下さい。
- DS Magic での設定用紙幅が以下の場合のみ、左右がフチなしで印刷されます。
  下記以外の用紙幅では、例え四辺フチなし印刷を設定しても左右がフチなしで印刷されません。
  254.0mm、355.6mm、406.4mm、515.0mm、594.8mm、609.6mm、841.0mm、914.4mm、1030.0mm、1066.8mm

■ 推奨出力環境

USB による接続。

■ 注意事項

- メディアによって対応している解像度は異なります。選択可能な組み合わせについては、DS Magic スタート画面の「システム情報」－「プリンタ」で「iPF9100」を選択し、対応表をご覧下さい。
- プリンタ設定ツールのメディア詳細設定
  プリンタ設定ツールで設定可能な「印刷オプション」と「メディア詳細設定」の項目は、プリンタのパネルで設定した値より優先されます。
- プリンタ設定ツールの出力方法の設定
  プリンタ設定ツールで、「出力方法」の項目を変更することにより、印刷の際、プリンタのハードディスクの使用方法が変更されます。設定とプリンタの処理の詳細は、プリタ付属 CD のマニュアルにある「機能と使い方の一覧」→「ハードディスクを使用する」の各項目を参照して下さい。
- 印字最小カット長
  iPF9100 プリンタには印字最小カット長が存在します。
  印字最小カット長より短いドキュメントを印刷した場合においても、印字最小カット長分の紙送り（印字長を含む）が行われます。
  また、この印字最小カット長は用紙節約モードの値により異なります。
- カット紙印刷で手差しで給紙する場合、縦置きの用紙サイズが使用可能です。横置きの用紙サイズはサポートされません。
- インク名に「（RGB）」と記載のある印字モードでは、DS Magic によるキャリブレーションは
  使用できません。プリンタ本体に搭載されるキャリブレーション機能をご利用ください。

ｉＰＦ８０００Ｓ

■ サポート範囲

Canon 社製 iPF8000S プリンタで使用可能。

DS Magic でのプリンタ名称は、「iPF8000S」。

■ 印字モード

DS Magic 表示解像度	印字解像度（dpi）	DS Magic 表示インク	色数	多階調処理
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（速い）	7	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（標準）	7	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（標準）	7	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（きれい）	7	入

- 解像度は[ヘッド移動方向]×[用紙送り方向]
- インク名に含まれる「（速い）」、「（標準）」、「（きれい）」は印刷品質を示し、印刷品質が切り替えられます。

■ 必須パネル設定

印刷設定画面の用紙タブ、ドロップフォルダ設定の画面にて、ロール紙／カット紙を正しく選択し、プリンタのパネル設定と一致させて下さい。

iPF8000S プリンタのパネルで、セットされているメディアの種類を設定する必要があります。

下記に DS Magic のメディア選択と、iPF8000S プリンタのパネル設定の対応を示します。

DS Magic のメディア選択	iPF8000S のパネル設定
普通紙	普通紙
厚口コート紙	厚口コート紙
フォト光沢紙	フォト光沢紙
フォト半光沢紙	フォト半光沢紙
フォト光沢紙(厚口)２	フォト光沢紙(厚口)２
フォト半光沢紙(厚口)２	フォト半光沢紙厚口２
フォト半光沢紙(ポスター)	フォト半光沢紙ポスター
合成紙(糊無し)	合成紙(糊無し)
ファインアート(フォト厚口)	ファインアート フォト厚口
プルーフ用紙 2	プルーフ用紙 2

■ 対応メディア

・普通紙
・厚口コート紙
・フォト光沢紙
・フォト半光沢紙
・フォト光沢紙(厚口)２
・フォト半光沢紙(厚口)２
・フォト半光沢紙(ポスター)
・合成紙(糊無し)
・ファインアート(フォト厚口)
・プルーフ用紙２

■ フチなし印刷対応

以下の条件で四辺フチなし印刷に対応します。

- フチなし印刷対応メディアで、ロール紙を使用するときのみ、フチなし印刷が可能です。
  厚口コート紙、フォト光沢紙、フォト半光沢紙、フォト光沢紙(厚口)２、
  フォト半光沢紙(厚口)２、フォト半光沢紙(ポスター)、ファインアート(フォト厚口)
- 印刷設定画面の「レイアウト」タブ、ドロップフォルダ設定では「四辺フチなし」をチェックします。アプリケーションからのダイレクト印刷では、プリントオプション設定項目の「四辺フチなし」を「入」にします。
- フチなし印刷では上下左右が 3mm ずつカットされます。
  従って、DS Magic の設定用紙サイズは、出来上がりサイズよりも幅、高さそれぞれ 6mm 大きなサイズを設定して下さい。
- DS Magic での設定用紙幅が以下の場合のみ、左右がフチなしで印刷されます。

下記以外の用紙幅では、例え四辺フチなし印刷を設定しても左右がフチなしで印刷されません。
254.0mm、355.6mm、406.4mm、515.0mm、594.8mm、609.6mm、841.0mm、914.4mm、1030.0mm、1066.8mm

■ 推奨出力環境

- USB による接続

■ 注意事項

- メディアによって対応している解像度は異なります。選択可能な組み合わせについては、DS Magic スタート画面の「システム情報」ー「プリンタ」で「iPF8000S」を選択し、対応表をご覧下さい。
- プリンタ設定ツールのメディア詳細設定
  プリンタ設定ツールで設定可能な「印刷オプション」と「メディア詳細設定」の項目は、プリンタのパネルで設定した値より優先されます。
- プリンタ設定ツールの出力方法の設定
  プリンタ設定ツールで、「出力方法」の項目を変更することにより、印刷の際、プリンタのハードディスクの使用方法が変更されます。設定とプリンタの処理の詳細は、プリタ付属 CD のマニュアルにある「機能と使い方の一覧」→「ハードディスクを使用する」の各項目を参照して下さい。
- 印字最小カット長
  iPF8000S プリンタには印字最小カット長が存在します。
  印字最小カット長より短いドキュメントを印刷した場合においても、印字最小カット長分の紙送り(印字長を含む)が行われます。
  また、この印字最小カット長は用紙節約モードの値により異なります。
- カット紙印刷で手差しで給紙する場合、縦置きの用紙サイズが使用可能です。横置きの用紙サイズはサポートされません。

ｉＰＦ９０００Ｓ

■ サポート範囲

Canon 社製 iPF9000S プリンタで使用可能。

DS Magic でのプリンタ名称は､｢iPF9000S｣。

■ 印字モード

DS Magic 表示解像度	印字解像度（dpi）	DS Magic 表示インク	色数	多階調処理
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（速い）	7	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（標準）	7	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（標準）	7	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（きれい）	7	入

- 解像度は[ヘッド移動方向]×[用紙送り方向]
- インク名に含まれる｢（速い）｣､｢（きれい）｣は印刷品質を示し､印刷品質が切り替えられます。

■ 必須パネル設定

印刷設定画面の用紙タブ､ドロップフォルダ設定の画面にて､ロール紙／カット紙を正しく選択し､プリンタのパネル設定と一致させて下さい。

iPF9000S プリンタのパネルで､セットされているメディアの種類を設定する必要があります。

下記に DS Magic のメディア選択と､iPF9000S プリンタのパネル設定の対応を示します。

DS Magic のメディア選択	iPF9000S のパネル設定
普通紙	普通紙
厚口コート紙	厚口コート紙
フォト光沢紙	フォト光沢紙
フォト半光沢紙	フォト半光沢紙
フォト光沢紙(厚口) 2	フォト光沢紙(厚口) 2
フォト半光沢紙(厚口) 2	フォト半光沢紙厚口 2
フォト半光沢紙(ポスター)	フォト半光沢紙ポスター
合成紙(糊無し)	合成紙(糊無し)
ファインアート(フォト厚口)	ファインアート フォト厚口
プルーフ用紙 2	プルーフ用紙 2

■ 対応メディア

・普通紙
・厚口コート紙
・フォト光沢紙
・フォト半光沢紙
・フォト光沢紙(厚口) 2
・フォト半光沢紙(厚口) 2
・フォト半光沢紙(ポスター)
・合成紙(糊無し)
・ファインアート(フォト厚口)
・プルーフ用紙 2

■ フチなし印刷対応

以下の条件で四辺フチなし印刷に対応します。

- フチなし印刷対応メディアで、ロール紙を使用するときのみ、フチなし印刷が可能です。
  厚口コート紙、フォト光沢紙、フォト半光沢紙、フォト光沢紙(厚口) 2、
  フォト半光沢紙(厚口) 2、フォト半光沢紙(ポスター)、ファインアート(フォト厚口)
- 印刷設定画面の「レイアウト」タブ、ドロップフォルダ設定では「四辺フチなし」をチェックします。アプリケーションからのダイレクト印刷では、プリントオプション設定項目の「四辺フチなし」を「入」にします。
- フチなし印刷では上下左右が 3mm ずつカットされます。
  従って、DS Magic の設定用紙サイズは、出来上がりサイズよりも幅、高さそれぞれ 6mm 大きなサイズを設定して下さい。
- DS Magic での設定用紙幅が以下の場合のみ、左右がフチなしで印刷されます。

下記以外の用紙幅では、例え四辺フチなし印刷を設定しても左右がフチなしで印刷されません。
254.0mm、355.6mm、406.4mm、515.0mm、594.8mm、609.6mm、841.0mm、914.4mm、1030.0mm、1066.8mm

■ 推奨出力環境

- USB による接続

■ 注意事項

- メディアによって対応している解像度は異なります。選択可能な組み合わせについては、DS Magic スタート画面の「システム情報」－「プリンタ」で「iPF9000S」を選択し、対応表をご覧下さい。
- プリンタ設定ツールのメディア詳細設定
  プリンタ設定ツールで設定可能な「印刷オプション」と「メディア詳細設定」の項目は、プリンタのパネルで設定した値より優先されます。
- プリンタ設定ツールの出力方法の設定
  プリンタ設定ツールで、「出力方法」の項目を変更することにより、印刷の際、プリンタのハードディスクの使用方法が変更されます。設定とプリンタの処理の詳細は、プリタ付属 CD のマニュアルにある「機能と使い方の一覧」→「ハードディスクを使用する」の各項目を参照して下さい。
- 印字最小カット長
  iPF9000S プリンタには印字最小カット長が存在します。
  印字最小カット長より短いドキュメントを印刷した場合においても、印字最小カット長分の紙送り（印字長を含む）が行われます。
  また、この印字最小カット長は用紙節約モードの値により異なります。
- カット紙印刷で手差しで給紙する場合、縦置きの用紙サイズが使用可能です。横置きの用紙サイズはサポートされません。

ｉＰＦ５１００

■ サポート範囲

Canon 社製 iPF5100 プリンタで使用可能。

DS Magic でのプリンタ名称は、「iPF5100」。

■ 印字モード

DS Magic 表示解像度	印字解像度（dpi）	DS Magic 表示インク	色数	多階調処理
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	8	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	8	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	11	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	11	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	8	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	8	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	11	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	11	入

- 解像度は[ヘッド移動方向]×[用紙送り方向]
- インク名に含まれる「（速い）」、「（標準）」、「（きれい）」は印刷品質を示し、印刷品質が切り替えられます。
- インク名に含まれる「（RGB）」、「（CMYK）」は使用するインクの種類を示し、「（RGB）」では、RGB インクを含む 11 色のインクを使用し、「（CMYK）」では、RGB インクを除く 8 色のインクを使用します。

■ 必須パネル設定

印刷設定画面の用紙タブ、ドロップフォルダ設定の画面にて、ロール紙／カット紙を正しく選択し、プリンタのパネル設定と一致させて下さい。

iPF5100 プリンタのパネルで、セットされているメディアの種類を設定する必要があります。

下記に DS Magic のメディア選択と、iPF5100 プリンタのパネル設定の対応を示します。

DS Magic のメディア選択	iPF5100 のパネル設定
普通紙	フツウシ
厚口コート紙	アツクチコートシ
フォト光沢紙	フォトコウタクシ
フォト半光沢紙	フォトハンコウタクシ
フォト光沢紙(厚口)２	フォトコウタクシアツクチ２
フォト半光沢紙(厚口)２	フォトハンコウタクシアツクチ２
フォト半光沢紙(ポスター)	フォトハンコウタクポスター
バックライトフィルム	バックライトフィルム
プルーフ用紙２	プルーフヨウシ２
和紙	ワシ
ファインアート(フォト厚口)	ファインアート フォトアツクチ

■ 対応メディア

・普通紙
・厚口コート紙
・フォト光沢紙
・フォト半光沢紙
・フォト光沢紙(厚口)２
・フォト半光沢紙(厚口)２
・フォト半光沢紙(ポスター)
・バックライトフィルム
・プルーフ用紙２
・和紙
・ファインアート(フォト厚口)

■ フチなし印刷対応

以下の条件で四辺フチなし印刷に対応します。

- フチなし印刷対応メディアで、ロール紙を使用するときのみ、フチなし印刷が可能です。
  厚口コート紙、フォト光沢紙、フォト半光沢紙、フォト光沢紙(厚口)２、フォト半光沢紙(厚口)２、フォト半光沢紙(ポスター)、ファインアート(フォト厚口)
- 印刷設定画面の「レイアウト」タブ、ドロップフォルダ設定では「四辺フチなし」をチェックします。アプリケーションからのダイレクト印刷では、プリントオプション設定項目の「四辺フチなし」を「入」にします。
- フチなし印刷では上下左右が 3mm ずつカットされます。
  従って、DS Magic の設定用紙サイズは、出来上がりサイズよりも幅、高さそれぞれ 6mm 大きなサイズを設定して下さい。

- DS Magic での設定用紙幅が以下の場合のみ、左右がフチなしで印刷されます。
  下記以外の用紙幅では、例え四辺フチなし印刷を設定しても左右がフチなしで印刷されません。
  254.0mm、257.0mm、329.0mm、355.6mm、406.4mm、420.0mm（※）、431.8mm
  ※ フチなし印刷では、プリンタのロール紙フォルダにスペーサをセットする必要があります。

■ 推奨出力環境

- USB による接続

■ 注意事項

- メディアによって対応している解像度は異なります。選択可能な組み合わせについては、DS Magic スタート画面の「システム情報」ー「プリンタ」で「iPF5100」を選択し、対応表をご覧下さい。
- プリンタ設定ツールのメディア詳細設定
  プリンタ設定ツールで設定可能な「印刷オプション」と「メディア詳細設定」の項目は、プリンタのパネルで設定した値より優先されます。
- 印字最小カット長
  iPF5100 プリンタには印字最小カット長が存在します。
  印字最小カット長より短いドキュメントを印刷した場合においても、印字最小カット長分の紙送り（印字長を含む）が行われます。
  また、この印字最小カット長は用紙節約モードの値により異なります。
- カット紙印刷で手差しで給紙する場合、縦置きの用紙サイズが使用可能です。横置きの用紙サイズはサポートされません。
- インク名に「（ＲＧＢ）」と記載のある印字モードでは、DS Magic によるキャリブレーションは使用できません。プリンタ本体にあるキャリブレーション機能をご利用下さい。用紙トレイの選択が可能です。
- 用紙トレイの選択が可能です
  次の 3 箇所で、用紙トレイの設定が出来ます。
  　印刷設定画面のプリンタタブ
  　ドロップフォルダ印刷
  　アプリケーションの印刷設定
  実際の給紙方法は、「用紙トレイ」と「用紙種類」の設定の組み合わせで決定されます。
  組み合わせは下記のとおりです。

用紙トレイ	ロール紙 / カット紙	実際の給紙
自動	ロール紙	ロール紙
	カット紙	本体カセット
手差し	ロール紙	ロール紙
	カット紙	手差し
カセット１	ロール紙	ロール紙
	カット紙	本体カセット
カセット２	ロール紙	ロール紙
	カット紙	本体カセット

- ドライバ印刷でカット紙を使用する場合、給紙方法に応じて用紙サイズに「（iPF5100 手差し）」または「（iPF5100 カセット）」と記載のあるものを選択して下さい。これらはカット紙の余白に合わせて調整された用紙サイズです。(※)
- レイアウト印刷でカット紙を選択した際、プレビュー画面に表示される余白はカセットから給紙する場合の余白です。手差しで給紙する場合は、下端マージンが 20mm 追加されます。
- カット紙印刷でカセットから給紙する場合、縦置きの定型サイズのみが使用可能です。横置きの定型サイズやカスタム用紙サイズはサポートされません。
- カット紙印刷で手差しで給紙する場合、縦置きの定型サイズまたは縦長のカスタム用紙サイズが使用可能です。横置きの定型サイズや横長のカスタム用紙サイズはサポートされません。
- インク名に「（RGB）」と記載のある印字モードでは、DS Magic の Calibrator ツールによるキャリブレーションはできません。

※ 普通紙は、手差しの場合もカセット給紙と同じマージンで印刷可能です。これらのメディアへ手差し給紙でドライバ印刷ダイレクトされる場合は、用紙サイズ名に「～ (iPF5100 カセット」) を含む用紙サイズを選択して下さい。

ｉＰＦ６１００

■ サポート範囲

Canon 社製 iPF6100 プリンタで使用可能。

DS Magic でのプリンタ名称は、「iPF6100」。

■ 印字モード

DS Magic 表示解像度	印字解像度（dpi）	DS Magic 表示インク	色数	多階調処理
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	8	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	8	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	11	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	11	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	8	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	8	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	11	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	11	入

- 解像度は［ヘッド移動方向］×［用紙送り方向］
- インク名に含まれる「（速い）」、「（標準）」、「（きれい）」は印刷品質を示し、印刷品質が切り替えられます。
- インク名に含まれる「（RGB）」、「（CMYK）」は使用するインクの種類を示し、「（RGB）」では、RGB インクを含む 11 色のインクを使用し、「（CMYK）」では、RGB インクを除く 8 色のインクを使用します。

■ 必須パネル設定

印刷設定画面の用紙タブ、ドロップフォルダ設定の画面にて、ロール紙／カット紙を正しく選択し、プリンタのパネル設定と一致させて下さい。

iPF6100 プリンタのパネルで、セットされているメディアの種類を設定する必要があります。

下記に DS Magic のメディア選択と、iPF6100 プリンタのパネル設定の対応を示します。

DS Magic のメディア選択	iPF6100 のパネル設定
普通紙	普通紙
厚口コート紙	厚口コート紙
フォト光沢紙	フォト光沢紙
フォト半光沢紙	フォト半光沢紙
フォト光沢紙(厚口)２	フォト光沢紙(厚口)２
フォト半光沢紙(厚口)２	フォト半光沢紙厚口２
フォト半光沢紙(ポスター)	フォト半光沢紙ポスター
バックライトフィルム	バックライトフィルム
合成紙(糊無し)	合成紙(糊無し)
合成紙(糊付き)	合成紙(糊付き)
プルーフ用紙２	プルーフ用紙２
新聞プルーフ用紙２	新聞プルーフ用紙２
和紙	和紙
ファインアート(フォト厚口)	ファインアート フォト厚口

■ 対応メディア

・普通紙
・厚口コート紙
・フォト光沢紙
・フォト半光沢紙
・フォト光沢紙(厚口)２
・フォト半光沢紙(厚口)２
・フォト半光沢紙(ポスター)
・バックライトフィルム
・合成紙(糊無し)
・合成紙(糊付き)
・プルーフ用紙２
・新聞プルーフ用紙２
・和紙
・ファインアート(フォト厚口)

■ フチなし印刷対応

以下の条件で四辺フチなし印刷に対応します。

- フチなし印刷対応メディアで、ロール紙を使用するときのみ、フチなし印刷が可能です。
  厚口コート紙、フォト光沢紙、フォト半光沢紙、フォト光沢紙(厚口)２、
  フォト半光沢紙(厚口)２、フォト半光沢紙(ポスター)、ファインアート(フォト厚口)

- 印刷設定画面の「レイアウト」タブ、ドロップフォルダ設定では「四辺フチなし」をチェックします。アプリケーションからのダイレクト印刷では、プリントオプション設定項目の「四辺フチなし」を「入」にします。
- フチなし印刷では上下左右が 3mm ずつカットされます。
  従って、DS Magic の設定用紙サイズは、出来上がりサイズよりも幅、高さそれぞれ 6mm 大きなサイズを設定して下さい。
- DS Magic での設定用紙幅が以下の場合のみ、左右がフチなしで印刷されます。
  下記以外の用紙幅では、例え四辺フチなし印刷を設定しても左右がフチなしで印刷されません。
  254.0mm、257.0mm、329.0mm、355.6mm、406.4mm、420.0mm（※）、431.8mm、515.0mm、594.0mm（※）、609.6mm
  ※ フチなし印刷では、プリンタのロール紙フォルダにスペーサをセットする必要があります。

■ 推奨出力環境

- USB による接続

■ 注意事項

- メディアによって対応している解像度は異なります。選択可能な組み合わせについては、DS Magic スタート画面の「システム情報」ー「プリンタ」で「iPF6100」を選択し、対応表をご覧下さい。
- プリンタ設定ツールのメディア詳細設定
  プリンタ設定ツールで設定可能な「印刷オプション」と「メディア詳細設定」の項目は、プリンタのパネルで設定した値より優先されます。
- 印字最小カット長
  iPF6100 プリンタには印字最小カット長が存在します。
  印字最小カット長より短いドキュメントを印刷した場合においても、印字最小カット長分の紙送り（印字長を含む）が行われます。
  また、この印字最小カット長は用紙節約モードの値により異なります。
- カット紙印刷で手差しで給紙する場合、縦置きの用紙サイズが使用可能です。横置きの用紙サイズはサポートされません。
- インク名に「（ＲＧＢ）」と記載のある印字モードでは、DS Magic によるキャリブレーションは使用できません。プリンタ本体にあるキャリブレーション機能をご利用下さい。

ｉＰＦ５０００

■ サポート範囲

Canon 社製 iPF5000 プリンタで使用可能。

DS Magic でのプリンタ名称は､「iPF5000」。

■ 印字モード

DS Magic 表示解像度	印字解像度(dpi)	DS Magic 表示インク	色数	多階調処理
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク(速い)(CMYK)	8	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	8	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク(速い)(RGB)	11	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	11	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク(標準)(CMYK)	8	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク(きれい)(CMYK)	8	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク(標準)(RGB)	11	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク(きれい)(RGB)	11	入

- 解像度は[ヘッド移動方向]×[用紙送り方向]
- インク名に含まれる「(速い)」､「(標準)」､「(きれい)」は印刷品質を示し､印刷品質が切り替えられます。
- インク名に含まれる「(RGB)」､「(CMYK)」は使用するインクの種類を示し､「(RGB)」では､RGB インクを含む 11 色のインクを使用し､「(CMYK)」では､RGB インクを除く 8 色のインクを使用します。

■ 必須パネル設定

印刷設定画面の用紙タブ､ドロップフォルダ設定の画面にて､ロール紙／カット紙を正しく選択し､プリンタのパネル設定と一致させて下さい。

iPF5000 プリンタのパネルで､セットされているメディアの種類を設定する必要があります。

下記に DS Magic のメディア選択と､iPF5000 プリンタのパネル設定の対応を示します。

DS Magic のメディア選択	iPF5000 のパネル設定
普通紙	フツウシ
コート紙	コートシ
厚口コート紙	アツクチコートシ
プレミアムマット紙	プレミアムマットシ
高品位専用紙	コウヒンイセンヨウシ
フォト光沢紙	フォトコウタクシ
フォト半光沢紙	フォトハンコウタクシ
フォト光沢紙(厚口)	フォトコウタクシ　アツクチ
フォト半光沢紙(厚口)	フォトハンコウタクシ　アツクチ
スーパーフォトペーパー	スーパーフォトペーパー
スーパーフォトペーパー(シルキー)	スーパーフォト　シルキー
プルーフ用紙２	プルーフヨウシ２
新聞プルーフ用紙３	シンブンプルーフ３
ファインアート(フォト厚口)	ファインアートフォトアツクチ
ファインアート(版画)	ファインアートハンガ
ファインアート(水彩)	ファインアートスイサイ
フォト光沢紙 (厚口) ２	フォトコウタクシアツクチ２
フォト半光沢紙 (厚口) ２	フォトハンコウタクシアツクチ２
和紙	ワシ
ＰＯＰ ボード	ＰＯＰ ボード

■ 対応メディア

・普通紙	・コート紙	・厚口コート紙
・プレミアムマット紙	・高品位専用紙	・フォト光沢紙
・フォト半光沢紙	・フォト光沢紙(厚口)	・フォト半光沢紙(厚口)
・スーパーフォトペーパー	・スーパーフォトペーパー(シルキー)	
・プルーフ用紙２	・新聞プルーフ用紙３	
・ファインアート(フォト厚口)	・ファインアート(版画)	・ファインアート(水彩)
フォト光沢紙 (厚口) ２	フォト半光沢紙 (厚口) ２	和紙
ＰＯＰ ボード		

■ フチなし印刷対応

以下の条件で四辺フチなし印刷に対応します。

- フチなし印刷対応メディアで、ロール紙を使用するときのみ、フチなし印刷が可能です。
  厚口コート紙、プレミアムマット紙、フォト光沢紙、フォト半光沢紙、フォト光沢紙(厚口)、フォト半光沢紙(厚口)、ファインアート(フォト厚口)、ファインアート(版画)、ファインアート(水彩)、フォト光沢紙 (厚口) ２、フォト半光沢紙 (厚口) ２
- 印刷設定画面の「レイアウト」タブ、ドロップフォルダ設定では「四辺フチなし」をチェックします。アプリケーションからのダイレクト印刷では、プリントオプション設定項目の「四辺フチなし」を「入」にします。
- フチなし印刷では上下左右が 3mm ずつカットされます。
  従って、DS Magic の設定用紙サイズは、出来上がりサイズよりも幅、高さそれぞれ 6mm 大きなサイズを設定して下さい。
- DS Magic での設定用紙幅が以下の場合のみ、左右がフチなしで印刷されます。
  下記以外の用紙幅では、例え四辺フチなし印刷を設定しても左右がフチなしで印刷されません。
  254.0mm、257.0mm、329.0mm、355.6mm、406.4mm、420.0mm(※)、431.8mm
  ※ フチなし印刷では、プリンタのロール紙フォルダにスペーサをセットする必要があります。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

■ 推奨出力環境

- USB による接続
- ネットワークカードによる接続

■ 注意事項

- メディアによって対応している解像度は異なります。選択可能な組み合わせについては、DS Magic スタート画面の「システム情報」ー「プリンタ」で「iPF5000」を選択し、対応表をご覧下さい。
- プリンタ設定ツールのメディア詳細設定

  プリンタ設定ツールで設定可能な「印刷オプション」と「メディア詳細設定」の項目は、プリンタのパネルで設定した値より優先されます。
- 印字最小カット長

  iPF5000 プリンタには印字最小カット長が存在します。

  印字最小カット長より短いドキュメントを印刷した場合においても、印字最小カット長分の紙送り（印字長を含む）が行われます。

  また、この印字最小カット長は用紙節約モードの値により異なります。用紙トレイの選択が可能です。
- 用紙トレイの選択が可能です

  次の 3 箇所で、用紙トレイの設定が出来ます。

  印刷設定画面のプリンタタブ

  ドロップフォルダ印刷

  アプリケーションの印刷設定

  実際の給紙方法は、「用紙トレイ」と「用紙種類」の設定の組み合わせで決定されます。

  組み合わせは下記のとおりです。

用紙トレイ	ロール紙 / カット紙	実際の給紙
自動	ロール紙	ロール紙
	カット紙	本体カセット
手差し	ロール紙	ロール紙
	カット紙	手差し
カセット１	ロール紙	ロール紙
	カット紙	本体カセット
カセット２	ロール紙	ロール紙
	カット紙	本体カセット

- ドライバ印刷でカット紙を使用する場合、給紙方法に応じて用紙サイズに「(iPF5000 手差し)」または「(iPF5000 カセット)」と記載のあるものを選択して下さい。これらはカット紙の余白に合わせて調整された用紙サイズです。(※)
- レイアウト印刷でカット紙を選択した際、プレビュー画面に表示される余白はカセットから給紙する場合の余白です。手差しで給紙する場合は、下端マージンが 20mm 追加されます。
- カット紙印刷でカセットから給紙する場合、縦置きの定型サイズのみが使用可能です。横置きの定型サイズやカスタム用紙サイズはサポートされません。
- カット紙印刷で手差しで給紙する場合、縦置きの定型サイズまたは縦長のカスタム用紙サイズが使用可能です。横置きの定型サイズや横長のカスタム用紙サイズはサポートされません。
- インク名に「(RGB)」と記載のある印字モードでは、DS Magic の Calibrator ツールによるキャリブレーションはできません。

※ 普通紙、コート紙、高品位専用紙、スーパーフォトペーパー、スーパーフォトペーパー (シルキー) は、手差しの場合もカセット給紙と同じマージンで印刷可能です。これらのメディアへ手差し給紙でドライバ印刷ダイレクトされる場合は、用紙サイズ名に「～(iPF5000 カセット」) を含む用紙サイズを選択して下さい。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

ｉＰＦ８０００

■ サポート範囲

Canon 社製 iPF8000 プリンタで使用可能。

DS Magic でのプリンタ名称は、「iPF8000」。

■ 印字モード

DS Magic 表示解像度	印字解像度（dpi）	DS Magic 表示インク	色数	多階調処理
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	8	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	8	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	11	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	11	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	8	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	8	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	11	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	11	入

- 解像度は[ヘッド移動方向]×[用紙送り方向]
- インク名に含まれる「（速い）」、「（標準）」、「（きれい）」は印刷品質を示し、印刷品質が切り替えられます。
- インク名に含まれる「（RGB）」、「（CMYK）」は使用するインクの種類を示し、「（RGB）」では、RGB インクを含む 11 色のインクを使用し、「（CMYK）」では、RGB インクを除く 8 色のインクを使用します。

■ 必須パネル設定

印刷設定画面の用紙タブ、ドロップフォルダ設定の画面にて、ロール紙／カット紙を正しく選択し、プリンタのパネル設定と一致させて下さい。

iPF8000 プリンタのパネルで、セットされているメディアの種類を設定する必要があります。

下記に DS Magic のメディア選択と、iPF8000 プリンタのパネル設定の対応を示します。

DS Magic のメディア選択	iPF8000 のパネル設定
普通紙	普通紙
コート紙	コート紙
厚口コート紙	厚口コート紙
プレミアムマット紙	プレミアムマット紙
フォト光沢紙	フォト光沢紙
フォト半光沢紙	フォト半光沢紙
フォト光沢紙(厚口)	フォト光沢紙(厚口)
フォト半光沢紙(厚口)	フォト半光沢紙厚口
合成紙(糊無し)	合成紙(糊無し)
バックライトフィルム	バックライトフィルム
防炎クロス	防炎クロス
ポンジクロス	ポンジクロス
プルーフ用紙２	プルーフ用紙２
新聞プルーフ用紙３	新聞プルーフ用紙３
ファインアート(フォト厚口)	ファインアート フォト厚口
ファインアート(版画)	ファインアート(版画)
ファインアート(水彩)	ファインアート(水彩)
フォト光沢紙 (厚口) ２	フォト光沢紙 (厚口) ２
フォト半光沢紙 (厚口) ２	フォト半光沢紙厚口２
和紙	和紙

■ 対応メディア

・普通紙
・コート紙
・厚口コート紙
・プレミアムマット紙
・フォト光沢紙
・フォト半光沢紙
・フォト光沢紙(厚口)
・フォト半光沢紙(厚口)
・合成紙(糊無し)
・バックライトフィルム
・防炎クロス
・ポンジクロス
・プルーフ用紙２
・新聞プルーフ用紙３
・ファインアート(フォト厚口)
・ファインアート(版画)
・ファインアート(水彩)
・フォト光沢紙(厚口)２
・フォト半光沢紙(厚口)２
・和紙

■ フチなし印刷対応

以下の条件で四辺フチなし印刷に対応します。

- フチなし印刷対応メディアで、ロール紙を使用するときのみ、フチなし印刷が可能です。
  厚口コート紙、プレミアムマット紙、フォト光沢紙、フォト半光沢紙、フォト光沢紙(厚口)フォト半光沢紙(厚口)、防炎クロス、ポンジクロス、ファインアート(フォト厚口)、ファインアート(版画)、ファインアート(水彩)、フォト光沢紙(厚口)２、フォト半光沢紙(厚口)２
- 印刷設定画面の「レイアウト」タブ、ドロップフォルダ設定では「四辺フチなし」をチェックします。アプリケーションからのダイレクト印刷では、プリントオプション設定項目の「四辺フチなし」を「入」にします。
- フチなし印刷では上下左右が 3mm ずつカットされます。
  従って、DS Magic の設定用紙サイズは、出来上がりサイズよりも幅、高さそれぞれ 6mm 大きなサイズを設定して下さい。
- DS Magic での設定用紙幅が以下の場合のみ、左右がフチなしで印刷されます。
  下記以外の用紙幅では、例え四辺フチなし印刷を設定しても左右がフチなしで印刷されません。
  254.0mm、355.6mm、406.4mm、515.0mm、594.8mm、609.6mm、841.0mm、914.4mm、1030.0mm、1066.8mm

■ 推奨出力環境

USB による接続

■ 注意事項

- メディアによって対応している解像度は異なります。選択可能な組み合わせについては、DS Magic スタート画面の「システム情報」ー「プリンタ」で「iPF8000」を選択し、対応表をご覧下さい。
- プリンタ設定ツールのメディア詳細設定
  プリンタ設定ツールで設定可能な「印刷オプション」と「メディア詳細設定」の項目は、プリンタのパネルで設定した値より優先されます。
- 印字最小カット長
  iPF8000 プリンタには印字最小カット長が存在します。
  印字最小カット長より短いドキュメントを印刷した場合においても、印字最小カット長分の紙送り（印字長を含む）が行われます。
  また、この印字最小カット長は用紙節約モードの値により異なります。
- カット紙印刷で手差しで給紙する場合、縦置きの用紙サイズが使用可能です。横置きの用紙サイズはサポートされません。
- インク名に「（RGB）」と記載のある印字モードでは、キャリブレーションできません。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

ｉＰＦ９０００

■ サポート範囲

Canon 社製 iPF9000 プリンタで使用可能。

DS Magic でのプリンタ名称は、「iPF9000」。

■ 印字モード

DS Magic 表示解像度	印字解像度（dpi）	DS Magic 表示インク	色数	多階調処理
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（速い）（CMYK）	8	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	8	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（速い）（RGB）	11	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	11	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（標準）（CMYK）	8	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（きれい）（CMYK）	8	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（標準）（RGB）	11	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（きれい）（RGB）	11	入

- 解像度は［ヘッド移動方向］×［用紙送り方向］
- インク名に含まれる「（速い）」、「（標準）」、「（きれい）」は印刷品質を示し、印刷品質が切り替えられます。
- インク名に含まれる「（RGB）」、「（CMYK）」は使用するインクの種類を示し、「（RGB）」では、RGB インクを含む 11 色のインクを使用し、「（CMYK）」では、RGB インクを除く 8 色のインクを使用します。

■ 必須パネル設定

印刷設定画面の用紙タブ、ドロップフォルダ設定の画面にて、ロール紙／カット紙を正しく選択し、プリンタのパネル設定と一致させて下さい。

iPF9000 プリンタのパネルで、セットされているメディアの種類を設定する必要があります。

下記に DS Magic のメディア選択と、iPF9000 プリンタのパネル設定の対応を示します。

DS Magic のメディア選択	iPF9000 のパネル設定
普通紙	普通紙
コート紙	コート紙
厚口コート紙	厚口コート紙
プレミアムマット紙	プレミアムマット紙
フォト光沢紙	フォト光沢紙
フォト半光沢紙	フォト半光沢紙
フォト光沢紙(厚口)	フォト光沢紙(厚口)
フォト半光沢紙(厚口)	フォト半光沢紙厚口
合成紙(糊無し)	合成紙(糊無し)
バックライトフィルム	バックライトフィルム
防炎クロス	防炎クロス
ポンジクロス	ポンジクロス
プルーフ用紙２	プルーフ用紙２
ファインアート(フォト厚口)	ファインアート フォト厚口
ファインアート(版画)	ファインアート(版画)
ファインアート(水彩)	ファインアート(水彩)
フォト光沢紙(厚口)２	フォト光沢紙 (厚口)２
フォト半光沢紙(厚口)２	フォト半光沢紙 厚口２
和紙	和紙

■ 対応メディア

・普通紙	・コート紙	・厚口コート紙
・プレミアムマット紙	・フォト光沢紙	・フォト半光沢紙
・フォト光沢紙（厚口）	・フォト半光沢紙（厚口）	・合成紙（糊無し）
・バックライトフィルム	・防炎クロス	・ポンジクロス
・プルーフ用紙２	・ファインアート（フォト厚口）	
・ファインアート（版画）	・ファインアート（水彩）	
・フォト光沢紙（厚口）２	・フォト半光沢紙（厚口）２	・和紙

■ フチなし印刷対応

以下の条件で四辺フチなし印刷に対応します。

- フチなし印刷対応メディアで、ロール紙を使用するときのみ、フチなし印刷が可能です。
  厚口コート紙、プレミアムマット紙、フォト光沢紙、フォト半光沢紙、フォト光沢紙（厚口）、フォト半光沢紙（厚口）、防炎クロス、ポンジクロス、ファインアート（フォト厚口）、ファインアート（版画）、ファインアート（水彩）、フォト光沢紙（厚口）２、フォト半光沢紙（厚口）２
- 印刷設定画面の「レイアウト」タブ、ドロップフォルダ設定では「四辺フチなし」をチェックします。アプリケーションからのダイレクト印刷では、プリントオプション設定項目の「四辺フチなし」を「入」にします。
- フチなし印刷では上下左右が 3mm ずつカットされます。
  従って、DS Magic の設定用紙サイズは、出来上がりサイズよりも幅、高さそれぞれ 6mm 大きなサイズを設定して下さい。
- DS Magic での設定用紙幅が以下の場合のみ、左右がフチなしで印刷されます。
  下記以外の用紙幅では、例え四辺フチなし印刷を設定しても左右がフチなしで印刷されません。
  254.0mm、355.6mm、406.4mm、515.0mm、594.8mm、609.6mm、841.0mm、914.4mm、1030.0mm、1066.8mm

■ 推奨出力環境

USB による接続

■ 注意事項

- メディアによって対応している解像度は異なります。選択可能な組み合わせについては、DS Magic スタート画面の「システム情報」－「プリンタ」で「iPF9000」を選択し、対応表をご覧下さい。
- プリンタ設定ツールのメディア詳細設定
  プリンタ設定ツールで設定可能な「印刷オプション」と「メディア詳細設定」の項目は、プリンタのパネルで設定した値より優先されます。
- プリンタ設定ツールの出力方法の設定
  プリンタ設定ツールで、「出力方法」の項目を変更することにより、印刷の際、プリンタのハードディスクの使用方法が変更されます。設定とプリンタの処理の詳細は、プリンタ付属 CD のマニュアルにある「機能と使い方の一覧」－「ハードディスクを使用する」の項目を参照して下さい。
- 印字最小カット長
  iPF9000 プリンタには印字最小カット長が存在します。
  印字最小カット長より短いドキュメントを印刷した場合においても、印字最小カット長分の紙送り（印字長を含む）が行われます。
  また、この印字最小カット長は用紙節約モードの値により異なります。
- カット紙印刷で手差しで給紙する場合、縦置きの用紙サイズが使用可能です。横置きの用紙サイズはサポートされません。
- インク名に「（RGB）」と記載のある印字モードでは、キャリブレーションできません。

ｉＰＦ５１０

■ サポート範囲

Canon 社製 iPF510 プリンタで使用可能。

DS Magic でのプリンタ名称は､｢iPF510｣。

■ 印字モード

DS Magic 表示解像度	印字解像度(dpi)	DS Magic 表示インク	色数	多階調処理
1200 × 1200	1200 × 1200	染顔料インク(速い)	4	入
1200 × 1200	1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	4	切

- 解像度は[ヘッド移動方向]×[用紙送り方向]
- インク名に含まれる｢(速い)｣､｢(きれい)｣は印刷品質を示し､印刷品質が切り替えられます。

■ 必須パネル設定

印刷設定画面の用紙タブ､ドロップフォルダ設定の画面にて､ロール紙／カット紙を正しく選択し､プリンタのパネル設定と一致させて下さい。

iPF510 プリンタのパネルで､セットされているメディアの種類を設定する必要があります。
下記に DS Magic のメディア選択と､iPF510 プリンタのパネル設定の対応を示します。

DS Magic のメディア選択	iPF510 のパネル設定
普通紙(高発色)	フツウシコウハッショク
コート紙	コートシ
厚口コート紙	アツクチコートシ
高品位専用紙	コウヒンイセンヨウシ
フォト光沢紙	フォトコウタクシ
フォト半光沢紙	フォトハンコウタクシ
プルーフ用紙２	プルーフヨウシ２
フォト光沢紙(厚口)２	フォトコウタクシアツクチ２
フォト半光沢紙(厚口)２	フォトハンコウタクシアツクチ２
フォト半光沢紙 (ポスター) ２	フォトハンコウタクポスター２
ＰＯＰ ボード	ＰＯＰ ボード

■ 対応メディア

・普通紙	・コート紙	・厚口コート紙
・高品位専用紙	・フォト光沢紙	・フォト半光沢紙
・プルーフ用紙２	・フォト光沢紙（厚口）２	・フォト半光沢紙（厚口）２
・フォト半光沢紙（ポスター）２	・ＰＯＰ ボード	・

■ フチなし印刷対応

以下の条件で四辺フチなし印刷に対応します。

- フチなし印刷対応メディアで、ロール紙を使用するときのみ、フチなし印刷が可能です。
  厚口コート紙、フォト光沢紙、フォト半光沢紙、フォト光沢紙（厚口）、フォト光沢紙（厚口）２、フォト半光沢紙（厚口）２
- 印刷設定画面の「レイアウト」タブ、ドロップフォルダ設定では「四辺フチなし」をチェックします。アプリケーションからのダイレクト印刷では、プリントオプション設定項目の「四辺フチなし」を「入」にします。
- フチなし印刷では上下左右が 3mm ずつカットされます。
  従って、DS Magic の設定用紙サイズは、出来上がりサイズよりも幅、高さそれぞれ 6mm 大きなサイズを設定して下さい。
- DS Magic での設定用紙幅が以下の場合のみ、左右がフチなしで印刷されます。
  下記以外の用紙幅では、例え四辺フチなし印刷を設定しても左右がフチなしで印刷されません。
  254.0mm、257.0mm、329.0mm、355.6mm、406.4mm、420.0mm（※）、431.8mm、
  ※ フチなし印刷では、プリンタのロール紙フォルダにスペーサをセットする必要があります。

■ 推奨出力環境

- USB による接続
- ネットワークカードによる接続

■ 注意事項

- メディアによって対応している解像度は異なります。選択可能な組み合わせについては、DS Magic スタート画面の「システム情報」－「プリンタ」で「iPF510」を選択し、対応表をご覧下さい。
- プリンタ設定ツールのメディア詳細設定
  プリンタ設定ツールで設定可能な「印刷オプション」と「メディア詳細設定」の項目は、プリンタのパネルで設定した値より優先されます。
- 印字最小カット長
  iPF510 プリンタには印字最小カット長が存在します。

印字最小カット長より短いドキュメントを印刷した場合においても、印字最小カット長分の紙送り（印字長を含む）が行われます。

また、この印字最小カット長は用紙節約モードの値により異なります。

- 用紙トレイの選択が可能です。

次の 3 箇所で、用紙トレイの設定が出来ます。

印刷設定画面のプリンタタブ

ドロップフォルダ印刷

アプリケーションの印刷設定

実際の給紙方法は、「用紙トレイ」と「用紙種類」の設定の組み合わせで決定されます。

組み合わせは下記のとおりです。

用紙トレイ	ロール紙 / カット紙	実際の給紙
自動	ロール紙	ロール紙
	カット紙	本体カセット
手差し	ロール紙	ロール紙
	カット紙	手差し
カセット１	ロール紙	ロール紙
	カット紙	本体カセット
カセット２	ロール紙	ロール紙
	カット紙	本体カセット

- ドライバ印刷でカット紙を使用する場合、給紙方法に応じて用紙サイズに「（iPF510　手差し）」または「（iPF510 カセット）」と記載のあるものを選択して下さい。これらはカット紙の余白に合わせて調整された用紙サイズです。（※）
- レイアウト印刷でカット紙を選択した際、プレビュー画面に表示される余白はカセットから給紙する場合の余白です。手差しで給紙する場合は、下端マージンが 20mm 追加されます。（※）
- カット紙印刷でカセットから給紙する場合、縦置きの定型サイズのみが使用可能です。横置きの定型サイズやカスタム用紙サイズはサポートされません。
- カット紙印刷で手差しで給紙する場合、縦置きの定型サイズまたは縦長のカスタム用紙サイズが使用可能です。横置きの定型サイズや横長のカスタム用紙サイズはサポートされません。

※ 普通紙（高発色）、コート紙、高品位専用紙は、手差しの場合もカセット給紙と同じマージンで印刷可能です。これらのメディアへ手差し給紙でドライバ印刷ダイレクトされる場合は、用紙サイズ名に「～（iPF510 カセット）」を含む用紙サイズを選択して下さい。

ｉＰＦ６１０

■ サポート範囲

Canon 社製 iPF610 プリンタで使用可能。

DS Magic でのプリンタ名称は、「iPF610」。

■ 印字モード

DS Magic 表示解像度	印字解像度(dpi)	DS Magic 表示インク	色数	多階調処理
1200 × 1200	1200 × 1200	染顔料インク(速い)	4	入
1200 × 1200	1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	4	切

- 解像度は[ヘッド移動方向]×[用紙送り方向]
- インク名に含まれる「(速い)」、「(きれい)」は印刷品質を示し、印刷品質が切り替えられます。

■ 必須パネル設定

印刷設定画面の用紙タブ、ドロップフォルダ設定の画面にて、ロール紙／カット紙を正しく選択し、プリンタのパネル設定と一致させて下さい。

iPF610 プリンタのパネルで、セットされているメディアの種類を設定する必要があります。
下記に DS Magic のメディア選択と、iPF610 プリンタのパネル設定の対応を示します。

DS Magic のメディア選択	iPF610 のパネル設定
普通紙(高発色)	フツウシコウハッショク
コート紙	コートシ
厚口コート紙	アツクチコートシ
フォト光沢紙	フォトコウタクシ
フォト半光沢紙	フォトハンコウタクシ
プルーフ用紙２	プルーフヨウシ２
フォト光沢紙(厚口)２	フォトコウタクシアツクチ２
フォト半光沢紙(厚口)２	フォトハンコウタクシアツクチ２
フォト半光沢紙 (ポスター) ２	フォトハンコウタクポスター２

■ 対応メディア

- 普通紙
- コート紙
- 厚口コート紙
- フォト光沢紙
- フォト半光沢紙
- フォト光沢紙(厚口)２
- フォト半光沢紙(厚口)２
- フォト半光沢紙(ポスター)２
- プルーフ用紙２

■ フチなし印刷対応

以下の条件で四辺フチなし印刷に対応します。

- フチなし印刷対応メディアで、ロール紙を使用するときのみ、フチなし印刷が可能です。
  厚口コート紙、フォト光沢紙、フォト半光沢紙、フォト光沢紙(厚口)２、フォト半光沢紙(厚口)２、フォト半光沢紙(ポスター)２
- 印刷設定画面の「レイアウト」タブ、ドロップフォルダ設定では「四辺フチなし」をチェックします。アプリケーションからのダイレクト印刷では、プリントオプション設定項目の「四辺フチなし」を「入」にします。
- フチなし印刷では上下左右が 3mm ずつカットされます。
  従って、DS Magic の設定用紙サイズは、出来上がりサイズよりも幅、高さそれぞれ 6mm 大きなサイズを設定して下さい。
- DS Magic での設定用紙幅が以下の場合のみ、左右がフチなしで印刷されます。
  下記以外の用紙幅では、例え四辺フチなし印刷を設定しても左右がフチなしで印刷されません。
  254.0mm、257.0mm、329.0mm、355.6mm、406.4mm、420.0mm(※)、431.8mm、515.0mm、594.0mm(※)、609.6mm
  ※ フチなし印刷では、プリンタのロール紙フォルダにスペーサをセットする必要があります。

■ 推奨出力環境

- USB による接続
- ネットワークカードによる接続

■ 注意事項

- メディアによって対応している解像度は異なります。選択可能な組み合わせについては、DS Magic スタート画面の「システム情報」－「プリンタ」で「iPF610」を選択し、対応表をご覧下さい。
- プリンタ設定ツールのメディア詳細設定
  プリンタ設定ツールで設定可能な「印刷オプション」と「メディア詳細設定」の項目は、プリンタのパネルで設定した値より優先されます。
- 印字最小カット長
  iPF610 プリンタには印字最小カット長が存在します。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

印字最小カット長より短いドキュメントを印刷した場合においても、印字最小カット長分の紙送り（印字長を含む）が行われます。

また、この印字最小カット長は用紙節約モードの値により異なります。

- 用紙トレイの選択が可能です。

次の 3 箇所で、用紙トレイの設定が出来ます。

印刷設定画面のプリンタタブ

ドロップフォルダ印刷

アプリケーションの印刷設定

実際の給紙方法は、「用紙トレイ」と「用紙種類」の設定の組み合わせで決定されます。

組み合わせは下記のとおりです。

用紙トレイ	ロール紙 / カット紙	実際の給紙
自動	ロール紙	ロール紙
	カット紙	本体カセット
手差し	ロール紙	ロール紙
	カット紙	手差し
カセット１	ロール紙	ロール紙
	カット紙	本体カセット
カセット２	ロール紙	ロール紙
	カット紙	本体カセット

- ドライバ印刷でカット紙を使用する場合、給紙方法に応じて用紙サイズに「（iPF610　手差し）」または「（iPF610 カセット）」と記載のあるものを選択して下さい。これらはカット紙の余白に合わせて調整された用紙サイズです。（※）
- レイアウト印刷でカット紙を選択した際、プレビュー画面に表示される余白はカセットから給紙する場合の余白です。手差しで給紙する場合は、下端マージンが 20mm 追加されます。（※）
- カット紙印刷でカセットから給紙する場合、縦置きの定型サイズのみが使用可能です。横置きの定型サイズやカスタム用紙サイズはサポートされません。
- カット紙印刷で手差しで給紙する場合、縦置きの定型サイズまたは縦長のカスタム用紙サイズが使用可能です。横置きの定型サイズや横長のカスタム用紙サイズはサポートされません。

※ 普通紙（高発色）、コート紙、高品位専用紙は、手差しの場合もカセット給紙と同じマージンで印刷可能です。これらのメディアへ手差し給紙でドライバ印刷ダイレクトされる場合は、用紙サイズ名に「～（iPF610 カセット）」を含む用紙サイズを選択して下さい。

ｉＰＦ７１０

■ サポート範囲

Canon 社製 iPF710 プリンタで使用可能。

DS Magic でのプリンタ名称は、「iPF710」。

■ 印字モード

DS Magic 表示解像度	印字解像度(dpi)	DS Magic 表示インク	色数	多階調処理
1200 × 1200	1200 × 1200	染顔料インク(速い)	4	入
1200 × 1200	1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	4	切

- 解像度は[ヘッド移動方向]×[用紙送り方向]
- インク名に含まれる「(速い)」、「(きれい)」は印刷品質を示し、印刷品質が切り替えられます。

■ 必須パネル設定

印刷設定画面の用紙タブ、ドロップフォルダ設定の画面にて、ロール紙／カット紙を正しく選択し、プリンタのパネル設定と一致させて下さい。

iPF710 プリンタのパネルで、セットされているメディアの種類を設定する必要があります。
下記に DS Magic のメディア選択と、iPF710 プリンタのパネル設定の対応を示します。

DS Magic のメディア選択	iPF710 のパネル設定
普通紙(高発色)	フツウシコウハッショク
コート紙	コートシ
厚口コート紙	アツクチコートシ
高品位専用紙	コウヒンイセンヨウシ
フォト光沢紙	フォトコウタクシ
フォト半光沢紙	フォトハンコウタクシ
プルーフ用紙２	プルーフヨウシ２
フォト光沢紙(厚口)２	フォトコウタクシアツクチ２
フォト半光沢紙(厚口)２	フォトハンコウタクシアツクチ２
フォト半光沢紙(ポスター)２	フォトハンコウタクポスター２

■ 対応メディア

・普通紙
・コート紙
・厚口コート紙
・高品位専用紙
・フォト光沢紙
・フォト半光沢紙
・プルーフ用紙２
・フォト光沢紙(厚口)２
・フォト半光沢紙(厚口)２
・フォト半光沢紙(ポスター)２

■ フチなし印刷対応

以下の条件で四辺フチなし印刷に対応します。

- フチなし印刷対応メディアで、ロール紙を使用するときのみ、フチなし印刷が可能です。
  厚口コート紙、フォト光沢紙、フォト半光沢紙、フォト光沢紙(厚口)２、フォト半光沢紙(厚口)２、フォト半光沢紙(ポスター)２
- 印刷設定画面の「レイアウト」タブ、ドロップフォルダ設定では「四辺フチなし」をチェックします。アプリケーションからのダイレクト印刷では、プリントオプション設定項目の「四辺フチなし」を「入」にします。
- フチなし印刷では上下左右が 3mm ずつカットされます。
  従って、DS Magic の設定用紙サイズは、出来上がりサイズよりも幅、高さそれぞれ 6mm 大きなサイズを設定して下さい。
- DS Magic での設定用紙幅が以下の場合のみ、左右がフチなしで印刷されます。
  下記以外の用紙幅では、例え四辺フチなし印刷を設定しても左右がフチなしで印刷されません。
  254.0mm、355.6mm、406.4mm、515.0mm、594.8mm、609.6mm、841.0mm、914.4mm

■ 推奨出力環境

- USB による接続
- ネットワークカードによる接続

■ 注意事項

- メディアによって対応している解像度は異なります。選択可能な組み合わせについては、DS Magic スタート画面の「システム情報」－「プリンタ」で「iPF710」を選択し、対応表をご覧下さい。
- プリンタ設定ツールのメディア詳細設定
  プリンタ設定ツールで設定可能な「印刷オプション」と「メディア詳細設定」の項目は、プリンタのパネルで設定した値より優先されます。
- 印字最小カット長
  iPF710 プリンタには印字最小カット長が存在します。

印字最小カット長より短いドキュメントを印刷した場合においても、印字最小カット長分の紙送り（印字長を含む）が行われます。

また、この印字最小カット長は用紙節約モードの値により異なります。

- 用紙トレイの選択が可能です。

  次の 3 箇所で、用紙トレイの設定が出来ます。

  印刷設定画面のプリンタタブ

  ドロップフォルダ印刷

  アプリケーションの印刷設定

  実際の給紙方法は、「用紙トレイ」と「用紙種類」の設定の組み合わせで決定されます。

  組み合わせは下記のとおりです。

用紙トレイ	ロール紙 / カット紙	実際の給紙
自動	ロール紙	ロール紙
	カット紙	本体カセット
手差し	ロール紙	ロール紙
	カット紙	手差し
カセット１	ロール紙	ロール紙
	カット紙	本体カセット
カセット２	ロール紙	ロール紙
	カット紙	本体カセット

- ドライバ印刷でカット紙を使用する場合、給紙方法に応じて用紙サイズに「（iPF710　手差し）」または「（iPF710 カセット）」と記載のあるものを選択して下さい。これらはカット紙の余白に合わせて調整された用紙サイズです。（※）
- レイアウト印刷でカット紙を選択した際、プレビュー画面に表示される余白はカセットから給紙する場合の余白です。手差しで給紙する場合は、下端マージンが 20mm 追加されます。（※）
- カット紙印刷でカセットから給紙する場合、縦置きの定型サイズのみが使用可能です。横置きの定型サイズやカスタム用紙サイズはサポートされません。
- カット紙印刷で手差しで給紙する場合、縦置きの定型サイズまたは縦長のカスタム用紙サイズが使用可能です。横置きの定型サイズや横長のカスタム用紙サイズはサポートされません。

※ 普通紙（高発色）、コート紙、高品位専用紙は、手差しの場合もカセット給紙と同じマージンで印刷可能です。これらのメディアへ手差し給紙でドライバ印刷ダイレクトされる場合は、用紙サイズ名に「～（iPF710 カセット）」を含む用紙サイズを選択して下さい。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

ｉＰＦ５００

■ サポート範囲

Canon 社製 iPF500 プリンタで使用可能。

DS Magic でのプリンタ名称は、「iPF500」。

■ 印字モード

DS Magic 表示解像度	印字解像度（dpi）	DS Magic 表示インク	色数	多階調処理
1200 × 1200	1200 × 1200	染顔料インク（速い）	4	入
1200 × 1200	1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	4	切

- 解像度は［ヘッド移動方向］×［用紙送り方向］
- インク名に含まれる「（速い）」、「（きれい）」は印刷品質を示し、印刷品質が切り替えられます。

■ 必須パネル設定

印刷設定画面の用紙タブ、ドロップフォルダ設定の画面にて、ロール紙／カット紙を正しく選択し、プリンタのパネル設定と一致させて下さい。

iPF500 プリンタのパネルで、セットされているメディアの種類を設定する必要があります。

下記に DS Magic のメディア選択と、iPF500 プリンタのパネル設定の対応を示します。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

DS Magic のメディア選択	iPF500 のパネル設定
普通紙(高発色)	フツウシコウハッショク
コート紙	コートシ
厚口コート紙	アツクチコートシ
高品位専用紙	コウヒンイセンヨウシ
フォト光沢紙	フォトコウタクシ
フォト半光沢紙	フォトハンコウタクシ
フォト光沢紙(厚口)	フォトコウタクシ　アツクチ
プルーフ用紙２	プルーフヨウシ２
新聞プルーフ用紙３	シンブンプルーフ３
フォト光沢紙(厚口)２	フォトコウタクシアツクチ２
フォト半光沢紙(厚口)２	フォトハンコウタクシアツクチ２
ＰＯＰ ボード	ＰＯＰ ボード

■ 対応メディア

・普通紙
・コート紙
・厚口コート紙
・高品位専用紙
・フォト光沢紙
・フォト半光沢紙
・フォト光沢紙(厚口)
・プルーフ用紙２
・新聞プルーフ用紙３
・フォト光沢紙(厚口)２
・フォト半光沢紙(厚口)２
・ＰＯＰ ボード

■ フチなし印刷対応

以下の条件で四辺フチなし印刷に対応します。

- フチなし印刷対応メディアで、ロール紙を使用するときのみ、フチなし印刷が可能です。
  厚口コート紙、フォト光沢紙、フォト半光沢紙、フォト光沢紙(厚口)、フォト光沢紙(厚口)２、フォト半光沢紙(厚口)２
- 印刷設定画面の「レイアウト」タブ、ドロップフォルダ設定では「四辺フチなし」をチェックします。アプリケーションからのダイレクト印刷では、プリントオプション設定項目の「四辺フチなし」を「入」にします。
- フチなし印刷では上下左右が 3mm ずつカットされます。

従って、DS Magicの設定用紙サイズは、出来上がりサイズよりも幅、高さそれぞれ6mm大きなサイズを設定して下さい。

- DS Magicでの設定用紙幅が以下の場合のみ、左右がフチなしで印刷されます。
  下記以外の用紙幅では、例え四辺フチなし印刷を設定しても左右がフチなしで印刷されません。
  254.0mm、257.0mm、329.0mm、355.6mm、406.4mm、420.0mm（※）、431.8mm
  ※ フチなし印刷では、プリンタのロール紙フォルダにスペーサをセットする必要があります。

■ 推奨出力環境

- USBによる接続
- ネットワークカードによる接続

■ 注意事項

- メディアによって対応している解像度は異なります。選択可能な組み合わせについては、DS Magicスタート画面の「システム情報」－「プリンタ」で「iPF500」を選択し、対応表をご覧下さい。
- プリンタ設定ツールのメディア詳細設定
  プリンタ設定ツールで設定可能な「印刷オプション」と「メディア詳細設定」の項目は、プリンタのパネルで設定した値より優先されます。
- 印字最小カット長
  iPF500プリンタには印字最小カット長が存在します。
  印字最小カット長より短いドキュメントを印刷した場合においても、印字最小カット長分の紙送り（印字長を含む）が行われます。
  また、この印字最小カット長は用紙節約モードの値により異なります。
- 用紙トレイの選択が可能です。
  次の3箇所で、用紙トレイの設定が出来ます。
  　印刷設定画面のプリンタタブ
  　ドロップフォルダ印刷
  　アプリケーションの印刷設定
  実際の給紙方法は、「用紙トレイ」と「用紙種類」の設定の組み合わせで決定されます。
  組み合わせは下記のとおりです。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

用紙トレイ	ロール紙 / カット紙	実際の給紙
自動	ロール紙	ロール紙
	カット紙	本体カセット
手差し	ロール紙	ロール紙
	カット紙	手差し
カセット１	ロール紙	ロール紙
	カット紙	本体カセット
カセット２	ロール紙	ロール紙
	カット紙	本体カセット

- ドライバ印刷でカット紙を使用する場合、給紙方法に応じて用紙サイズに「（iPF500　手差し）」または「（iPF500 カセット）」と記載のあるものを選択して下さい。これらはカット紙の余白に合わせて調整された用紙サイズです。（※）
- レイアウト印刷でカット紙を選択した際、プレビュー画面に表示される余白はカセットから給紙する場合の余白です。手差しで給紙する場合は、下端マージンが 20mm 追加されます。（※）
- カット紙印刷でカセットから給紙する場合、縦置きの定型サイズのみが使用可能です。横置きの定型サイズやカスタム用紙サイズはサポートされません。
- カット紙印刷で手差しで給紙する場合、縦置きの定型サイズまたは縦長のカスタム用紙サイズが使用可能です。横置きの定型サイズや横長のカスタム用紙サイズはサポートされません。

※ 普通紙（高発色）、コート紙、高品位専用紙は、手差しの場合もカセット給紙と同じマージンで印刷可能です。これらのメディアへ手差し給紙でドライバ印刷ダイレクトされる場合は、用紙サイズ名に「～（iPF500 カセット）」を含む用紙サイズを選択して下さい。

ｉＰＦ６００

■ サポート範囲

Canon 社製 iPF600 プリンタで使用可能。

DS Magic でのプリンタ名称は、「iPF600」。

■ 印字モード

DS Magic 表示解像度	印字解像度（dpi）	DS Magic 表示インク	色数	多階調処理
1200 × 1200	1200 × 1200	染顔料インク（速い）	4	入
1200 × 1200	1200 × 1200	染顔料インク（きれい）	4	切

- 解像度は［ヘッド移動方向］×［用紙送り方向］
- インク名に含まれる「（速い）」、「（きれい）」は印刷品質を示し、印刷品質が切り替えられます。

■ 必須パネル設定

印刷設定画面の用紙タブ、ドロップフォルダ設定の画面にて、ロール紙／カット紙を正しく選択し、プリンタのパネル設定と一致させて下さい。

iPF600 プリンタのパネルで、セットされているメディアの種類を設定する必要があります。

下記に DS Magic のメディア選択と、iPF600 プリンタのパネル設定の対応を示します。

DS Magic のメディア選択	iPF600 のパネル設定
普通紙(高発色)	フツウシコウハッショク
コート紙	コートシ
厚口コート紙	アツクチコートシ
高品位専用紙	コウヒンイセンヨウシ
フォト光沢紙	フォトコウタクシ
フォト半光沢紙	フォトハンコウタクシ
フォト光沢紙(厚口)	フォトコウタクシ　アツクチ
プルーフ用紙２	プルーフヨウシ２
新聞プルーフ用紙３	シンブンプルーフ３
フォト光沢紙(厚口)２	フォトコウタクチアツクチ２
フォト半光沢紙(厚口)２	フォトハンコウタクシアツクチ２
ＰＯＰ ボード	ＰＯＰ ボード

■ 対応メディア

- 普通紙
- コート紙
- 厚口コート紙
- 高品位専用紙
- フォト光沢紙
- フォト半光沢紙
- フォト光沢紙(厚口)
- プルーフ用紙２
- 新聞プルーフ用紙３
- フォト光沢紙(厚口)２
- フォト半光沢紙(厚口)２
- ＰＯＰ ボード

■ フチなし印刷対応

以下の条件で四辺フチなし印刷に対応します。

- フチなし印刷対応メディアで、ロール紙を使用するときのみ、フチなし印刷が可能です。
  厚口コート紙、フォト光沢紙、フォト半光沢紙、フォト光沢紙(厚口)、フォト光沢紙(厚口)２、フォト半光沢紙(厚口)２
- 印刷設定画面の「レイアウト」タブ、ドロップフォルダ設定では「四辺フチなし」をチェックします。アプリケーションからのダイレクト印刷では、プリントオプション設定項目の「四辺フチなし」を「入」にします。
- フチなし印刷では上下左右が 3mm ずつカットされます。

従って、DS Magicの設定用紙サイズは、出来上がりサイズよりも幅、高さそれぞれ6mm大きなサイズを設定して下さい。

- DS Magicでの設定用紙幅が以下の場合のみ、左右がフチなしで印刷されます。
  下記以外の用紙幅では、例え四辺フチなし印刷を設定しても左右がフチなしで印刷されません。
  254.0mm、257.0mm、329.0mm、355.6mm、406.4mm、420.0mm（※）、431.8mm、515.0mm、594.0mm（※）、609.6mm
  ※ フチなし印刷では、プリンタのロール紙フォルダにスペーサをセットする必要があります。

■ 推奨出力環境

- USBによる接続
- ネットワークカードによる接続

■ 注意事項

- メディアによって対応している解像度は異なります。選択可能な組み合わせについては、DS Magicスタート画面の「システム情報」ー「プリンタ」で「iPF600」を選択し、対応表をご覧下さい。
- プリンタ設定ツールのメディア詳細設定
  プリンタ設定ツールで設定可能な「印刷オプション」と「メディア詳細設定」の項目は、プリンタのパネルで設定した値より優先されます。
- 印字最小カット長
  iPF600プリンタには印字最小カット長が存在します。
  印字最小カット長より短いドキュメントを印刷した場合においても、印字最小カット長分の紙送り（印字長を含む）が行われます。
  また、この印字最小カット長は用紙節約モードの値により異なります。
- 用紙トレイの選択が可能です。
  次の3箇所で、用紙トレイの設定が出来ます。
  　印刷設定画面のプリンタタブ
  　ドロップフォルダ印刷
  　アプリケーションの印刷設定
  実際の給紙方法は、「用紙トレイ」と「用紙種類」の設定の組み合わせで決定されます。
  組み合わせは下記のとおりです。

用紙トレイ	ロール紙 / カット紙	実際の給紙
自動	ロール紙	ロール紙
	カット紙	本体カセット
手差し	ロール紙	ロール紙
	カット紙	手差し
カセット１	ロール紙	ロール紙
	カット紙	本体カセット
カセット２	ロール紙	ロール紙
	カット紙	本体カセット

- ドライバ印刷でカット紙を使用する場合、給紙方法に応じて用紙サイズに「(iPF600 手差し)」または「(iPF600 カセット)」と記載のあるものを選択して下さい。これらはカット紙の余白に合わせて調整された用紙サイズです。(※)
- レイアウト印刷でカット紙を選択した際、プレビュー画面に表示される余白はカセットから給紙する場合の余白です。手差しで給紙する場合は、下端マージンが 20mm 追加されます。(※)
- カット紙印刷でカセットから給紙する場合、縦置きの定型サイズのみが使用可能です。横置きの定型サイズやカスタム用紙サイズはサポートされません。
- カット紙印刷で手差しで給紙する場合、縦置きの定型サイズまたは縦長のカスタム用紙サイズが使用可能です。横置きの定型サイズや横長のカスタム用紙サイズはサポートされません。

※ 普通紙(高発色)、コート紙、高品位専用紙は、手差しの場合もカセット給紙と同じマージンで印刷可能です。これらのメディアへ手差し給紙でドライバ印刷ダイレクトされる場合は、用紙サイズ名に「〜(iPF600 カセット)」を含む用紙サイズを選択して下さい。

ｉＰＦ７００

■ サポート範囲

Canon 社製 iPF700 プリンタで使用可能。

DS Magic でのプリンタ名称は、「iPF700」。

■ 印字モード

DS Magic 表示解像度	印字解像度(dpi)	DS Magic 表示インク	色数	多階調処理
1200 × 1200	1200 × 1200	染顔料インク(速い)	4	入
1200 × 1200	1200 × 1200	染顔料インク(きれい)	4	切

- 解像度は[ヘッド移動方向]×[用紙送り方向]
- インク名に含まれる「(速い)」、「(きれい)」は印刷品質を示し、印刷品質が切り替えられます。

■ 必須パネル設定

印刷設定画面の用紙タブ、ドロップフォルダ設定の画面にて、ロール紙／カット紙を正しく選択し、プリンタのパネル設定と一致させて下さい。

iPF700 プリンタのパネルで、セットされているメディアの種類を設定する必要があります。

下記に DS Magic のメディア選択と、iPF700 プリンタのパネル設定の対応を示します。

DS Magic のメディア選択	iPF700 のパネル設定
普通紙(高発色)	普通紙(高発色)
コート紙	コート紙
厚口コート紙	厚口コート紙
フォト光沢紙	フォト光沢紙
フォト半光沢紙	フォト半光沢紙
フォト光沢紙(厚口)	フォト光沢紙(厚口)
プルーフ用紙２	プルーフ用紙２
新聞プルーフ用紙３	新聞プルーフ用紙３
フォト光沢紙(厚口)２	フォト光沢紙(厚口)２
フォト半光沢紙(厚口)２	フォト半光沢紙厚口２

■ 対応メディア

・普通紙
・コート紙
・厚口コート紙
・フォト光沢紙
・フォト半光沢紙
・フォト光沢紙(厚口)
・プルーフ用紙２
・新聞プルーフ用紙３
フォト光沢紙(厚口)２
フォト半光沢紙(厚口)２

■ フチなし印刷対応

以下の条件で四辺フチなし印刷に対応します。

- フチなし印刷対応メディアで、ロール紙を使用するときのみ、フチなし印刷が可能です。
  厚口コート紙、フォト光沢紙、フォト半光沢紙、フォト光沢紙(厚口)、フォト光沢紙(厚口)２、フォト半光沢紙(厚口)２
- 印刷設定画面の「レイアウト」タブ、ドロップフォルダ設定では「四辺フチなし」をチェックします。アプリケーションからのダイレクト印刷では、プリントオプション設定項目の「四辺フチなし」を「入」にします。
- フチなし印刷では上下左右が 3mm ずつカットされます。
  従って、DS Magic の設定用紙サイズは、出来上がりサイズよりも幅、高さそれぞれ 6mm 大きなサイズを設定して下さい。
- DS Magic での設定用紙幅が以下の場合のみ、左右がフチなしで印刷されます。
  下記以外の用紙幅では、例え四辺フチなし印刷を設定しても左右がフチなしで印刷されません。
  254.0mm、355.6mm、406.4mm、515.0mm、594.8mm、609.6mm、841.0mm、914.4mm

■ 推奨出力環境

- USB による接続
- ネットワークカードによる接続

■ 注意事項

- メディアによって対応している解像度は異なります。選択可能な組み合わせについては、DS Magic スタート画面の「システム情報」－「プリンタ」で「iPF700」を選択し、対応表をご覧下さい。
- プリンタ設定ツールのメディア詳細設定
  プリンタ設定ツールで設定可能な「印刷オプション」と「メディア詳細設定」の項目は、プリンタのパネルで設定した値より優先されます。
- 印字最小カット長
  iPF700 プリンタには印字最小カット長が存在します。
  印字最小カット長より短いドキュメントを印刷した場合においても、印字最小カット長分の紙送り（印字長を含む）が行われます。
  また、この印字最小カット長は用紙節約モードの値により異なります。
- カット紙印刷で手差しで給紙する場合、縦置きの定型サイズまたは縦長のカスタム用紙サイズが使用可能です。横置きの定型サイズや横長のカスタム用紙サイズはサポートされません。

Ｗ８４００顔料モデル

■ サポート範囲

Canon 社製 W8400 プリンタで使用可能。

DS Magic でのプリンタ名称は、「W8400」。

■ 印字モード

DS Magic 表示解像度	印字解像度（dpi）	DS Magic 表示インク	色数	多階調処理
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（PB）（速い）	6	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（PB）（標準）	6	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（PB）（標準）	6	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（PB）（きれい）	6	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（MB）（速い）	6	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（MB）（標準）	6	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（MB）（標準）	6	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（MB）（きれい）	6	入

- 解像度は[ヘッド移動方向]×[用紙送り方向]
- インク名の「（速い）」、「（標準）」、「（きれい）」は印刷品質を示し、印刷品質が切り替えられます。
- インク名の「（PB）」、「（MB）」はブラックインクの種類を示し、「（PB）」はフォトブラックインクがプリンタに装着されている場合に、「（MB）」はマットブラックインクが装着されている場合に選択します。

■ 必須パネル設定

印刷設定画面の用紙タブ、ドロップフォルダ設定の画面にて、ロール紙／カット紙を正しく選択し、プリンタのパネル設定と一致させて下さい。

W8400 プリンタのパネルで、セットされているメディアの種類を設定する必要があります。
下記に DS Magic のメディア選択と、W8400 プリンタのパネル設定の対応を示します。

DS Magic のメディア選択	W8400 のパネル設定
普通紙	フツウシ
普通紙（上質）	フツウシ　ジョウシツ
コート紙	コートシ
厚口コート紙	アツクチコートシ
特厚コート紙	トクアツコートシ
フォト光沢紙	フォトコウタクシ
フォト半光沢紙	フォトハンコウタクシ
フォト光沢紙（厚口）	フォトコウタクシ　アツクチ
フォト半光沢紙（厚口）	フォトハンコウタクシ　アツクチ
合成紙（糊無し）	ゴウセイシ
合成紙（糊付き）	ゴウセイシ　ノリツキ
バックライトフィルム	バックライトフィルム
防炎クロス	ボウエンクロス
クロス	クロス
プルーフ用紙２	プルーフヨウシ２
新聞プルーフ用紙１	シンブンプルーフヨウシ１
新聞プルーフ用紙２	シンブンプルーフヨウシ２
新聞プルーフ用紙３	シンブンプルーフヨウシ３
ファインアート（フォト）	ファインアート　フォト
ファインアート（フォト厚口）	ファインアート　フォトアツクチ
ファインアート（画材）	ファインアート　ガザイ
キャンバス（マット）	キャンバス　マット
キャンバス（半光沢）	キャンバス　ハンコウタク
和紙	ワシ

目次
概要
インストール しましょう
印刷する 前に
印刷して みましょう
機能の 紹介
操作の 方法
便利な 使い方
ツール
困った ときに
添付資料

■ 対応メディア

・普通紙
・普通紙(上質)
・コート紙
・厚口コート紙
・特厚コート紙
・フォト光沢紙
・フォト半光沢紙
・フォト光沢紙(厚口)
・フォト半光沢紙(厚口)
・合成紙(糊無し)
・合成紙(糊付き)
・バックライトフィルム
・防炎クロス
・クロス
・プルーフ用紙２
・新聞プルーフ用紙１
・新聞プルーフ用紙２
・新聞プルーフ用紙３
・ファインアート(フォト)
・ファインアート(フォト厚口)
・ファインアート(画材)
・キャンバス(マット)
・キャンバス(半光沢)
・和紙

■ フチなし印刷対応

以下の条件で四辺フチなし印刷に対応します。

- フチなし印刷対応メディアを使用するときのみ、フチなし印刷が可能です。

  カッター種類が平刃の場合:
  四辺フチなし印刷:
  厚口コート紙、特厚コート紙、フォト光沢紙、フォト半光沢紙、フォト光沢紙(厚口)、フォト半光沢紙(厚口)
  左右フチなし印刷(上下はカットされません):
  防炎クロス、クロス、ファインアート(フォト)、ファインアート(フォト厚口)、ファインアート(画材)、キャンパス(マット)

  カッター種類が丸刃(オプション)の場合:
  四辺フチなし印刷:
  厚口コート紙、特厚コート紙、フォト光沢紙、フォト半光沢紙、フォト光沢紙(厚口)、フォト半光沢紙(厚口)、ファインアート(フォト)、ファインアート(フォト厚口)、ファインアート(画材)、キャンパス(マット)
  左右フチなし印刷(上下はカットされません):
  防炎クロス、クロス

- 印刷設定画面の「レイアウト」タブ、ドロップフォルダ設定では「四辺フチなし」をチェックします。
  アプリケーションからのダイレクト印刷では、プリントオプション設定項目の「四辺フチなし」を「入」にします。

- プリンタのパネル設定のメインメニューの「ヨウシノショウサイセッテイ」でメディアを選択し、「ヒョウジュンカッター」を「＝シヨウ　スル」に設定します。
- フチなし印刷では上下左右が 3mm づつカットされます。
  従って、DS Magic の設定用紙サイズは、出来上がりサイズよりも幅、高さそれぞれ 6mm 大きなサイズを設定して下さい。
- DS Magic での設定用紙幅が以下の場合のみ、左右がフチなしで印刷されます。
  下記以外の用紙幅では、例え四辺フチなし印刷を設定しても左右がフチなしで印刷されません。
  260mm、361mm、412mm、521mm、600mm、615mm、847mm、920mm、1036mm、1072mm
  また、上下のフチなし印刷に関しては、設定用紙高さの制限はありませんが、W8400 プリンタには最小カット長が存在するため、最小カット長より短いドキュメントを印刷した場合は、四辺フチなし印刷を指定しても最小カット長分の紙送り（印字長を含む）をするので、下端がフチなしになりません。

■ 推奨出力環境

USB による接続

■ 注意事項

- メディアによって対応している解像度は異なります。選択可能な組み合わせについては、DS Magic スタート画面の「システム情報」－「プリンタ」で「W8400」を選択し、対応表をご覧下さい。
- プリンタ設定ツールのメディア詳細設定
  プリンタ設定ツールで設定可能な「メディア詳細設定」の項目は、プリンタのパネルで設定した値より優先されます。
- 印字最小カット長
  W8400 プリンタには印字最小カット長が存在します。
  印字最小カット長より短いドキュメントを印刷した場合においても、印字最小カット長分の紙送り（印字長を含む）が行われます。
  また、この印字最小カット長は、用紙節約モードの値、メディアの種類、カッターの種類により異なります。
- プリンタの色味調整機能
  W8400 プリンタには、印刷結果が全体に赤っぽかったり青っぽかったりした場合、操作パネル内の「インジチョウセイ」メニューの「イロミチョウセイ」より、簡易的なカラーバランスの調整を行う機能があります。この機能は、DS Magic の多階調処理が「入」の場合のみで有効になります。
  また、測色用のパッチなどを出力する場合は、色味調整を「ショキチニモドス」より、初期値に戻すことが必要になります。

Ｗ８４００染料モデル

■ サポート範囲

Canon 社製 W8400 染料モデルプリンタで使用可能。

DS Magic でのプリンタ名称は、「W8400 染料モデル」。

■ 印字モード

DS Magic 表示解像度	印字解像度(dpi)	DS Magic 表示インク	色数	多階調処理
1200 × 1200	1200 × 1200	染料インク(速い)	6	入
1200 × 1200	1200 × 1200	染料インク(標準)	6	入
2400 × 1200	2400 × 1200	染料インク(標準)	6	入
2400 × 1200	2400 × 1200	染料インク(きれい)	6	入

- 解像度は[ヘッド移動方向]×[用紙送り方向]
- インク名の「(速い)」、「(標準)」、「(きれい)」は印刷品質を示し、印刷品質が切り替えられます。

■ 必須パネル設定

印刷設定画面の用紙タブ、ドロップフォルダ設定の画面にて、ロール紙／カット紙を正しく選択し、プリンタのパネル設定と一致させて下さい。

W8400 染料モデルプリンタのパネルで、セットされているメディアの種類を設定する必要があります。

下記に DS Magic のメディア選択と、W8400 染料モデルプリンタのパネル設定の対応を示します。

DS Magic のメディア選択	W8400 のパネル設定
普通紙	フツウシ
普通紙(上質)	フツウシ　ジョウシツ
再生コート紙	サイセイコートシ
コート紙	コートシ
厚口コート紙	アツクチコートシ
特厚コート紙	トクアツコートシ
フォト光沢紙	フォトコウタクシ
フォト半光沢紙	フォトハンコウタクシ
プルーフ用紙２	プルーフヨウシ２

■ 対応メディア

・普通紙	・普通紙（上質）	・再生コート紙
・コート紙	・厚口コート紙	・特厚コート紙
・フォト光沢紙	・フォト半光沢紙	・プルーフ用紙２

■ フチなし印刷対応

以下の条件で四辺フチなし印刷に対応します。

- フチなし印刷対応メディアを使用するときのみ、フチなし印刷が可能です。
  厚口コート紙、特厚コート紙、フォト光沢紙、フォト半光沢紙
- 印刷設定画面の「レイアウト」タブ、ドロップフォルダ設定では「四辺フチなし」をチェックします。
  アプリケーションからのダイレクト印刷では、プリントオプション設定項目の「四辺フチなし」を「入」にします。
- プリンタのパネル設定のメインメニューの「ヨウシノショウサイセッテイ」でメディアを選択し、「ヒョウジュンカッター」を「＝シヨウスル」に設定します。
- フチなし印刷では上下左右が 3mm づつカットされます。
  従って、DS Magic の設定用紙サイズは、出来上がりサイズよりも幅、高さそれぞれ 6mm 大きなサイズを設定して下さい。
- DS Magic での用紙設定幅が以下の場合のみ、四辺フチなし印刷が可能です。
  260mm、361mm、412mm、521mm、600mm、615mm、847mm、920mm、1036mm、1072mm
  また、W8400 染料モデルプリンタには最小カット長が存在するため、最小カット長より短いドキュメントを印刷した場合は、四辺フチなし印刷を指定しても最小カット長分の紙送り（印字長を含む）をするので、下端がフチなしになりません。

■ 推奨出力環境

USB による接続

■ 注意事項

メディアによって対応している解像度は異なります。選択可能な組み合わせについては、DS Magic スタート画面の「システム情報」－「プリンタ」で「W8400 染料モデル」を選択し、対応表をご覧下さい。

- プリンタ設定ツールのメディア詳細設定
  プリンタ設定ツールで設定可能な「メディア詳細設定」の項目は、プリンタのパネルで設定した値より優先されます。

- 印字最小カット長
  W8400 染料モデルプリンタには印字最小カット長が存在します。
  印字最小カット長より短いドキュメントを印刷した場合においても、印字最小カット長分の紙送り(印字長を含む)が行われます。
  また、この印字最小カット長は、用紙節約モードの値、メディアの種類、カッターの種類により異なります。
- プリンタの色味調整機能
  W8400 染料モデルプリンタには、印刷結果が全体に赤っぽかったり青っぽかったりした場合、操作パネル内の「インジチョウセイ」メニューの「イロミチョウセイ」より、簡易的なカラーバランスの調整を行う機能があります。この機能は、DS Magic の多階調処理が「入」の場合のみで有効になります。
  また、測色用のパッチなどを出力する場合は、色味調整を「ショキチニモドス」より、初期値に戻すことが必要になります。

Ｗ６４００

■ サポート範囲

Canon 社製 W6400 モデルで使用可能。

DS Magic でのプリンタ名称は、「W6400」。

■ 印字モード

DS Magic 表示解像度	印字解像度（dpi）	DS Magic 表示インク	色数	多階調処理
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（PB）（速い）	6	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（PB）（標準）	6	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（PB）（標準）	6	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（PB）（きれい）	6	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（MB）（速い）	6	入
1200 × 1200	1200 × 1200	顔料インク（MB）（標準）	6	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（MB）（標準）	6	入
2400 × 1200	2400 × 1200	顔料インク（MB）（きれい）	6	入

- 解像度は、[ヘッド走査方向]×[用紙送り方向]
- インク名の「（速い）」、「（標準）」、「（きれい）」は印刷品質を示し、印刷品質が切り替えられる。
- インク名の「（PB）」、「（MB）」はブラックインクの種類を示し、「（PB）」はフォトブラックインクがプリンタに装着されている場合に、「（MB）」はマットブラックインクが装着されている場合に選択します。

■ 必須パネル設定

印刷設定画面の用紙タブ、ドロップフォルダ設定の画面にて、ロール紙・カット紙を正しく選択し、プリンタのパネル設定と一致させて下さい。

W6400 プリンタのパネルで、セットされているメディアの種類を設定する必要があります。
下記に DS Magic のメディア選択と、W6400 プリンタのパネル設定の対応を示します。

DS Magic のメディア選択	W6400 のパネル設定
普通紙	フツウシ
普通紙(上質)	フツウシ　ジョウシツ
コート紙	コートシ
厚口コート紙	アツクチコートシ
特厚コート紙	トクアツコートシ
フォト光沢紙	フォトコウタクシ
フォト半光沢紙	フォトハンコウタクシ
フォト光沢紙(厚口)	フォトコウタクシ　アツクチ
フォト半光沢紙(厚口)	フォトハンコウタクシ　アツクチ
合成紙(糊無し)	ゴウセイシ
合成紙(糊付き)	ゴウセイシ　ノリツキ
バックライトフィルム	バックライトフィルム
防炎クロス	ボウエンクロス
プルーフ用紙２	プルーフヨウシ２
新聞プルーフ用紙１	シンブンプルーフヨウシ１
新聞プルーフ用紙２	シンブンプルーフヨウシ２
新聞プルーフ用紙３	シンブンプルーフヨウシ３
ファインアート(フォト)	ファインアート　フォト
ファインアート(フォト厚口)	ファインアート　フォトアツクチ
ファインアート(画材)	ファインアート　ガザイ
キャンバス(半光沢)	キャンバス　ハンコウタク
和紙	ワシ

■ 対応メディア

- 普通紙
- 普通紙（上質）
- コート紙
- 厚口コート紙
- 特厚コート紙
- フォト光沢紙
- フォト半光沢紙
- フォト光沢紙（厚口）
- フォト半光沢紙（厚口）
- 合成紙（糊無し）
- 合成紙（糊付き）
- バックライトフィルム
- 防炎クロス
- プルーフ用紙２
- 新聞プルーフ用紙１
- 新聞プルーフ用紙２
- 新聞プルーフ用紙３
- ファインアート（フォト）
- ファインアート（フォト厚口）
- ファインアート（画材）
- キャンバス（半光沢）
- 和紙

■ フチなし印刷対応

以下の条件で四辺フチなし印刷に対応します。

- フチなし印刷対応メディアを使用するときのみ、フチなし印刷が可能です。

  カッター種類が平刃の場合:
  四辺フチなし印刷:
  　厚口コート紙、特厚コート紙、フォト光沢紙、フォト半光沢紙、フォト光沢紙（厚口）、
  　フォト半光沢紙（厚口）
  左右フチなし印刷（上下はカットされません）:
  　防炎クロス、ファインアート（フォト）、ファインアート（フォト厚口）、ファインアート（画材）

  カッター種類が丸刃（オプション）の場合:
  四辺フチなし印刷:
  　厚口コート紙、特厚コート紙、フォト光沢紙、フォト半光沢紙、フォト光沢紙（厚口）、
  　フォト半光沢紙（厚口）、ファインアート（フォト）、ファインアート（フォト厚口）、
  　ファインアート（画材）
  左右フチなし印刷（上下はカットされません）:
  　防炎クロス

- 印刷設定画面の「レイアウト」タブ、ドロップフォルダ設定では「四辺フチなし」をチェックします。
  アプリケーションからのダイレクト印刷では、プリントオプション設定項目の「四辺フチなし」を「入」にします。
- プリンタのパネル設定のメインメニューの「ヨウシノショウサイセッテイ」でメディアを選択し、「ヒョウジュンカッター」を「＝シヨウスル」に設定します。

- フチなし印刷では上下左右が 3mm づつカットされます。
  従って、DS Magic の設定用紙サイズは、出来上がりサイズよりも幅、高さそれぞれ 6mm 大きなサイズを設定して下さい。
- DS Magic での設定用紙幅が以下の場合のみ、左右のフチなし印刷が可能です。
  下記以外の用紙幅では左右のフチなし印刷ができません。
  また、上下のフチなし印刷に関しては、設定用紙高さの制限はありません。
  260mm、361mm、412mm、521mm、600mm、615mm

注意

W6400 プリンタには最小カット長が存在します。
最小カット長より短いドキュメントを印刷した場合は、四辺フチなし印刷を指定しても最小カット長分の紙送り（印字長を含む）をするので、下端がフチなしになりません。

■ 注意事項

- メディアによって対応している解像度は異なります。選択可能な組み合わせについては、DS Magic スタート画面の「システム情報」－「プリンタ」で「W6400」を選択し、対応表をご覧下さい。
- プリンタ設定ツールのメディア詳細設定
  プリンタ設定ツールで設定可能な「メディア詳細設定」の項目は、プリンタのパネルで設定した値より優先されます。
- 印字最小カット長
  W6400 プリンタには印字最小カット長が存在します。
  印字最小カット長より短いドキュメントを印刷した場合においても、印字最小カット長分の紙送り（印字長を含む）が行われます。
  また、この印字最小カット長は、用紙節約モードの値、メディアの種類、カッターの種類により異なります。
- プリンタの色味調整機能
  W6400 プリンタには、印刷結果が全体に赤っぽかったり青っぽかったりした場合、操作パネル内の「インジチョウセイ」メニューの「イロミチョウセイ」より、簡易的なカラーバランスの調整を行う機能があります。この機能は、DS Magic の多階調処理が「入」の場合のみで有効になります。
  また、測色用のパッチなどを出力する場合は、色味調整を「ショキチニモドス」より、初期値に戻すことが必要になります。

対応ファイル形式

DS Magic で印刷可能なファイルフォーマットは PS、TIFF、JPEG、BMP、EPS、PDF です。
ドロッププリント機能で印字可能なデータ形式には、以下の制限がありますのでご注意下さい。

EPS:　特に制限なし。

PDF:　Ver1.4 対応。
セキュリティー設定されたデータには未対応。
OPI、オーバープリントには未対応。
埋め込み ICC プロファイルはカラーイメージのみに対応。

TIFF:　16bit の CMYK、RGB、グレースケールの非圧縮、LZW 圧縮に対応。
8bit の CMYK、RGB、グレースケールの非圧縮、PackBits 圧縮、LZW 圧縮に対応。
1bit のモノクロの非圧縮、PackBits 圧縮、G3 圧縮、G4 圧縮、LZW 圧縮に対応（ダイレクト印刷のみ対応）

JPEG:　ベースラインフォーマットに対応。
プログレッシブフォーマットには未対応。

BMP:　RGB24bit の非圧縮に対応。

PC MACLAN アンインストール方法

旧バージョンでPC MACLANをお使いの場合は、以下の手順でPC MACLANをアンインストールして下さい。

PC MACLAN をアンインストールする前に、プリントサーバの削除と共有フォルダの解除を行います。

■ プリントサーバの削除

1. Windowsの「スタート」-「プログラム」-「PC MACLAN」-「プリントサーバ」を選択します。
2. 「DSMag000」を選択し、[停止]ボタン を押します。
3. [削除]ボタン を押します。
4. 「PC MACLANプリントサーバ」ウインドウ右上の[閉じる]ボタン を押します。

■ 共有フォルダの解除

1. Windowsの「スタート」-「プログラム」-「PC MACLAN」-「ファイルサーバ」を選択します。
2. [共有フォルダ]ボタン を押します。

3. 「共有中のフォルダ:」に表示されているフォルダを選択し、[解除]を押します。

4. 上記３の処理を、すべての共有されているフォルダに対して行います。
5. [閉じる]を押します。
6. 「PC MACLAN ファイルサーバ」ウインドウ右上の[閉じる]ボタン ☒ を押します。

続いて、PC MACLAN のアンインストールを行います。

1. Windows の「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択します。
2. 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。
3. 「PC MACLAN」を選択し[削除]を押します。
4. 画面の指示に従って、アンインストールします。

アプリケーションからの印刷に関する注意

全てのアプリケーションについて

ファイル書き出しデータ

プリントメニューでプリント先を「ファイル」として保存されたデータは、EPS データではありません(PS データです)。従って、このファイルをドロップフォルダにコピーしても印刷できません。

Adobe Illustrator 5.5J/7.0J/8.0J/9.0J/10.0/CS/CS2

代替フォント

作成されたデータにおいて使用されている日本語フォントが、RIP にダウンロードされていない場合には、斜体字で印刷されることがあります。
この場合、印刷時に「フォントをダウンロードする」を指定して印刷して下さい。

配置

EPSファイルなどの各種ファイルを配置する場合は、「リンク」を選択して下さい。選択しなかった場合は、画質や色が元ファイルと異なることがあります。

透明

■ Illustrator 9.0J

分割するアートワークを含んでいるデータを拡大して印刷した場合に、グラフィック図形がガタガタになることがあります。その場合には、メニューの「ファイル」-「書類設定」-「透明」で画質／速度を変更することで解消することが可能です。高画質／低速のほうに矢印を傾けると印刷は遅くなりますが、高品質の印刷が得られます。(初期設定では中間点を指定しています。)

■ Illustrator 10.0

分割するアートワークを含んでいるデータを印刷した場合に、印刷に大量の時間を要する場合があります。

その場合には、メニューの「ファイル」-「書類設定」-「透明」でラスタライズ／ベクトル設定を変更することで印刷にかかる時間を調節することが可能です。

ラスタライズの方に矢印を傾けると印刷は早くなります。ただし拡大率が高い場合に印刷の品質が悪くなります(初期設定ではベクトル 100%を指定しています)。

ラスタライズ／ベクトル設定はベクトル100%を設定してあっても、ラスタライズされる部分があります。

その場合はラスタライズ解像度が適用されます。ラスタライズ解像度はベクトル100%では変更できませんが、一旦、90%などに変更することで変更出来ます。

■ Illustrator CS

分割するアートワークを含んでいるデータを印刷した場合に、印刷に大量の時間を要する場合があります。

その場合には、メニューの「ファイル」-「書類設定」-「透明」-「書き出しとクリップボードにおける分割・統合」の[カスタム]のラスタライズ／ベクトルを変更することで印刷にかかる時間を調節することが可能です。

ラスタライズの方に矢印を傾けると印刷は早くなります。ただし拡大率が高い場合に印刷の品質が悪くなります。

ラスタライズ／ベクトル設定はベクトル100%を設定してあっても、ラスタライズされる部分があります。

■ Illustrator CS2

分割するアートワークを含んでいるデータを印刷した場合に、印刷に大量の時間を要する場合があります。

その場合には、メニューの「ファイル」-「ドキュメント設定」-「透明」-「書き出しとクリップボードにおける分割・統合」の[カスタム]のラスタライズとベクトルのバランスを変更することで印刷にかかる時間を調節することが可能です。

ラスタライズの方に矢印を傾けると印刷は早くなります。ただし拡大率が高い場合に印刷の品質が悪くなります。

ラスタライズ／ベクトル設定はベクトル100%を設定してあっても、ラスタライズされる部分があります。

Adobe PageMaker 6.5J/7.0J

プリンタドライバの選択

LaserWrite 8.4.2（Macintosh）を使用して印字を行なった場合、フォント化け、位置ずれが発生することが確認されています。他のバージョンを使用して下さい。

イメージの解像度

プリントのオプションで、イメージ解像度として幾つかのモードが選択可能ですが、以下の点に注意して下さい。

■ 「位置情報のみ」を選択した場合

割り付けられたイメージデータは送信されません。割り付けられたイメージデータと同一のファイル名をもったデータが OPI の高解像度データとして登録されている場合は、このデータによって印字が行なわれます。

■「最適化する」を選択した場合

割り付けられたデータ形式がTIFF,JPEG等のビットマップ系である場合、解像度に応じてイメージデータの削減が行なわれます。この状態でRIP側で拡大を行なうとイメージデータ部分の品質がかなり落ちますのでご注意下さい。EPS 形式の場合は削減は行なわれません。

影付き文字

「影付き文字」については、ディスプレイの表示と印字結果が異なり文字本体部分がディスプレイでは白抜きで表示されても印字は薄く色がつきます。これは、PageMaker の「影付き文字」の定義により生じていると思われますので、ご注意下さい。

代替フォント

RIP にインストールまたはダウンロードされていないフォントを使って印刷しようとすると、白抜き文字で印刷されます。

印刷時の設定

PageMaker から印刷する際には、以下の設定が必要です。

メニューの「ファイル」-「プリント」でプリントダイアログを立ち上げます。

プリントダイアログのプリンタで DSMag000 を選択して、同じく形式で DSMAG000 を選択する。

（000 はインストール時に設定した３桁の識別番号）

形式の選択肢に DSMAG000 が表示されない場合は、次のように PPD ファイルを所定のフォルダにコピーして下さい。

1. DS Magic の入っている PC の PPD フォルダにネットワークからアクセスして、DSMag000.ppd ファイルをローカルの PC にコピーします。
2. その PPD ファイルを Windows では PageMaker をインストールしたフォルダの下の \Rsrc
   \Japanese\ppd4 にコピーして下さい。Mac ではシステムフォルダ \ 機能拡張 \ プリンタ記述ファイルにコピーして下さい。

   ※ DS Magic の PPD を更新した際には同じ操作を行ってクライアント側の PPD ファイルを更新して下さい。

QuarkXPress 3.3J/4.1J

印刷位置

■ QuarkXPress 3.3J

印刷位置ずれが発生する場合、「用紙設定」における「用紙のオフセット」「用紙の幅」「ページ間隔」の値がそれぞれ「0 ㎜」「印刷用紙幅と等しい値」「0 ㎜」となっているか確認して下さい。

■ QuarkXpress 4.1J

印刷を行う前に、印刷ウインドウの設定タブで、「プリンタ記述」を「DSMAG000」に設定し、「用紙サイズ」を適切なものに設定して下さい。

また、「プリンタ」にて印刷オプションを設定して下さい。

InDesign 1.0J/2.0J

InDesignからのアプリケーション印刷ではプリンタドライバによって問題が起こる事が報告されています。

よってご使用される場合には InDesign のマニュアルの「印刷」-「プリンタドライバについて」という章をよく読んでプリンタドライバの設定を行って下さい。

目次
概要
インストールしましょう
印刷する前に
印刷してみましょう
機能の紹介
操作の方法
便利な使い方
ツール
困ったときに
添付資料

DS Magic 添付プロファイルについて

印刷用カラープロファイルの追加

DS Magic には、以下の印刷用のカラープロファイル(ICC プロファイル)を添付しております。

■ DIC 標準色プロファイル

DIC Standard Color SFC1.0.3

DIC Standard Color SFM1.0.3

DIC Standard Color SFU1.0.3

DIC Standard Color SFC1.0.2

DIC Standard Color WebC1.0.1

DIC Standard Color SFCFM1.0.2

DIC4C Wakimizu AM 1.2

DIC4C Wakimizu FM 1.2

■ 東洋インキ標準色プロファイル

TOYO Offset Coated 2.1

TOYO Offset Matte Coated 2.1

TOYO Offset Uncoated 2.1

■ 雑誌広告基準カラー

雑誌広告基準カラー(DS Magic)

「DIC 標準色プロファイル」について

「DIC 標準色プロファイル」は、ブラザー工業株式会社が大日本インキ化学工業(株)より、配布に関する許諾を受けた上で DS Magic に同梱するものです。

「DIC 標準色プロファイル」を使用されるお客様は、下記に記載されている「DIC 標準色プロファイル使用許諾契約」にご同意いただいたものと見なされます。

ブラザー工業(株)は、「DIC標準色プロファイル」に欠陥や瑕疵があった場合においても、お客様に対し何らの保証も致しません。更に、ブラザー工業(株)は、お客様による「DIC 標準色プロファイル」の使用に起因して発生した間接的、波及的損害(懲罰的損害、逸失利益を含む)につき、お客様に対し何らの責任も負いません。

DIC 標準色プロファイル使用許諾契約
本契約は、お客様（個人、法人の別を問いません）と日本国法人 大日本インキ化学工業株式会社（以下 DIC といいます）との間に締結される法的な契約です。お客様は、インストールを実行することにより、本契約の各条項に拘束されることに同意したことになります。お客様が本契約の条項に同意されない場合には、DIC 標準色プロファイル（DIC Standard Color SFC1.0.3、DIC Standard Color SFM1.0.3、DIC Standard Color SFU1.0.3、DIC Standard Color SFC1.0.2、DIC Standard Color WebC1.0.1、DIC Standard Color SFCFM1.0.2、DIC4C Wakimizu AM 1.2、DIC4C Wakimizu FM 1.2；以下総称してプロファイルといいます）を一切使用することはできません。お客様が本契約の各条項に同意されない場合には、インストールを中止して下さい。

１．使用許諾
DIC は、お客様に対して、本契約の各条項に定める条件に従ったプロファイルの使用のみを無償にて許諾します。お客様は、プロファイルが記録されている媒体の所有権を有しますが、プロファイルに関する商標権、著作権等その他の知的財産権を含む権利は DIC に留保され、本契約により許諾される範囲を超えてその利用を許諾するものではありません。

２．使用方法およびその制限
本契約により、お客様は、本ソフトウェア上でのみプロファイルをインストールし、かつ使用することができますが、ネットワーク環境での使用または異なるコンピュータ間での使用、複数端末での同時使用は行うことができません。
お客様は、プロファイルの全部またはその一部を、複製、修正、変換、再使用許諾、譲渡、貸与、リース、頒布等をすることはできません。また、お客様は、プロファイルの類似品を製作し、または何らかのソフトウェアを改良するために、プロファイルを利用することはできません。
プロファイルは、人身損害、重大な物理的損害または環境上の損害をもたらす可能性のある用途に使用されることを意図するものではないことをお客様は承認するとともに、このような用途にプロファイルを使用しません。
DIC は、お客様が本契約の各条項のいずれか１つにでも違反した場合、本契約を通知なく、お客様が違反した時点に遡って解除することができるものとします。この場合には、お客様は、速やかにプロファイルを全て破棄しなければなりません。

３．不保証
DIC は、お客様がプロファイルを無償で使用されることに鑑み、明示または黙示を問わず、プロファイルの商品価値および使用可能性、特定目的に対する適合性、ならびに第三者の権利侵害を侵害しないこと等その他一切の保証を行うことなく、プロファイルをお客様に提供します。これらについての一切のリスクはお客様のご負担とさせていただきます。DIC は、プロファイルに欠陥または瑕疵が発見された場合であっても、有償または無償を問わず、これらの欠陥または瑕疵の修正、修復を保証するものではありません。

４．免責
過失を含むいかなる場合であっても、DIC は、プロファイルに起因する、または関連する付随的、特別もしくは間接損害、または逸失利益の賠償責任等その他一切の責任を負いません。たとえ、DIC が、これらの損害の可能性について事前に知らされていた場合も同様です。

５．残存条項
第３条（不保証）および第４条（免責）の規定は、第２条（使用方法およびその制限）に基づき本契約が解除され、お客様がプロファイルを全て破棄された後もなお有効に存続するものとします。

６．準拠法、契約の分離性および管轄裁判所
本契約は、日本の法律に準拠し、同法律に従って解釈されます。何らかの理由により、管轄権を有する裁判所が本契約のいずれかの条項またはその一部について効力を失わせた場合であっても、本契約の他の条項は依然として完全な効力を有するものとします。また、本契約に関する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属合意管轄裁判所とします。

７．完全な合意
本契約は、プロファイルの使用について、お客様と DIC の取り決めのすべてを記載するものです。

以上

「東洋インキ標準色プロファイル」について

「東洋インキ標準色プロファイル」は、ブラザー工業株式会社が東洋インキ製造(株)より、配布に関する許諾を受けた上で DS Magic に同梱するものです。
ブラザー工業(株)は、「東洋インキ標準色プロファイル」に欠陥や瑕疵があった場合においても、お客様に対し何らの保証も致しません。更に、ブラザー工業(株)は、お客様による「東洋インキ標準色プロファイル」の使用に起因して発生した間接的、波及的損害(懲罰的損害、逸失利益を含む)につき、お客様に対し何らの責任も負いません。
ブラザー工業(株)は、「DIC標準色プロファイル」に欠陥や瑕疵があった場合においても、お客様に対し何らの保証も致しません。更に、ブラザー工業(株)は、お客様による「DIC 標準色プロファイル」の使用に起因して発生した間接的、波及的損害(懲罰的損害、逸失利益を含む)につき、お客様に対し何らの責任も負いません。

東洋インキ標準色プロファイル

東洋インキ標準色プロファイルは、ＩＣＣプロファイル規格に準拠したデバイスプロファイルで、東洋インキ製造株式会社が作成した標準オフセット印刷のプロファイルです。

■ 東洋インキ標準色プロファイルの使用条件および注意事項

1. 東洋インキ標準色プロファイルを使用して再現されたコンピュータビデオシミュレーションの色やカラープリンター等により出力された色は、「東洋インキ標準色」と必ずしも一致するものではありません。
2. 東洋インキ標準色プロファイルを使用し、または使用できなかったことにより生じた一切の損害に関して、東洋インキ製造株式会社はいかなる責任も負いかねます。
3. 東洋インキ標準色プロファイルの一切の著作権は東洋インキ製造株式会社が所有しており、東洋インキ製造株式会社の事前の書面による許可無く、本データを譲渡、提供、転貸、頒布、公開せず、第三者に使用させることもできません。
4. 東洋インキ標準色プロファイルに関して、東洋インキ製造株式会社はいかなる問い合わせも受けかねます。
5. ドキュメント中に記載されている会社名、製品名は、関係各社の商標または登録商標です。

本プロファイルは、東洋インキ製造株式会社が GretagMacbeth 社製ソフトウエア ProfileMaker を使用して作成し、頒布に関して GretagMacbeth 社の許諾を得ています。

「雑誌広告基準カラー」について

「雑誌広告基準カラー」は日本雑誌協会によってまとめられたもので、色を確認する色校正のための色基準です。

DS Magic 付属フォント一覧

ブラザー日本語フォント

フォント名	見本
和桜明朝M	美しく多彩な日本語書体
和桜明朝B	**美しく多彩な日本語書体**
美杉ゴシックL	美しく多彩な日本語書体
美杉ゴシックM	美しく多彩な日本語書体
美杉ゴシックB	**美しく多彩な日本語書体**
桃花丸ゴシックL	美しく多彩な日本語書体
香梅教科書	美しく多彩な日本語書体
蓮花行書	美しく多彩な日本語書体
柳雅ペン書	美しく多彩な日本語書体

ブラザー欧文フォント

フォント名	見本
Alaska	ABCDEFG abcdefg 0123
Alaska Extrabold	**ABCDEFG abcdefg 0123**
Antique Oakland	ABCDEFG abcdefg 0123
Antique Oakland Oblique	*ABCDEFG abcdefg 0123*
Antique Oakland Bold	**ABCDEFG abcdefg 0123**
Atlanta Book	ABCDEFG abcdefg 0123
Atlanta Book Oblique	*ABCDEFG abcdefg 0123*
Atlanta Demi	**ABCDEFG abcdefg 0123**
Atlanta Demi Oblique	***ABCDEFG abcdefg 0123***
Belgium	ABCDEFG abcdefg 0123
Bermuda Script	***ABCDEFG abcdefg 0123***
BR Dingbats	✡✢✣✤✥✦✧ ❀❁❂❃❄❅❆❇ ✎✑✒✓
BR Symbol	ΑΒΧΔΕΦΓ αβχδεφγ 0123
Brougham Regular	ABCDEFG abcdefg 0123
Brougham Oblique	*ABCDEFG abcdefg 0123*
Brougham Bold	**ABCDEFG abcdefg 0123**
Brougham Bold Oblique	***ABCDEFG abcdefg 0123***
Brussels Light	ABCDEFG abcdefg 0123
Brussels Light Italic	*ABCDEFG abcdefg 0123*
Brussels Demi	**ABCDEFG abcdefg 0123**
Brussels Demi Italic	***ABCDEFG abcdefg 0123***
Calgary Medium Italic	*ABCDEFG abcdefg 0123*
Cleveland Condensed	**ABCDEFG abcdefg 0123**
Connecticut	*ABCDEFG abcdefg 0123*
Copenhagen Roman	ABCDEFG abcdefg 0123
Copenhagen Italic	*ABCDEFG abcdefg 0123*

Copenhagen Bold	ABCDEFG abcdefg 0123
Copenhagen Bold Italic	ABCDEFG abcdefg 0123
Germany	ABCDEFG abcdefg 0123
Guatemala Antique	ABCDEFG abcdefg 0123
Guatemala Italic	ABCDEFG abcdefg 0123
Guatemala Bold	ABCDEFG abcdefg 0123
Guatemala Bold Italic	ABCDEFG abcdefg 0123
Helsinki Regular	ABCDEFG abcdefg 0123
Helsinki Oblique	ABCDEFG abcdefg 0123
Helsinki Bold	ABCDEFG abcdefg 0123
Helsinki Bold Oblique	ABCDEFG abcdefg 0123
Helsinki Narrow Regular	ABCDEFG abcdefg 0123
Helsinki Narrow Oblique	ABCDEFG abcdefg 0123
Helsinki Narrow Bold	ABCDEFG abcdefg 0123
Helsinki Narrow Bold Oblique	ABCDEFG abcdefg 0123
Istanbul	ABCDEFG abcdefg 0123
Letter Gothic	ABCDEFG abcdefg 0123
Letter Gothic Oblique	ABCDEFG abcdefg 0123
Letter Gothic Bold	ABCDEFG abcdefg 0123
Maryland	ABCDEFG abcdefg 0123
Oklahoma	ABCDEFG abcdefg 0123
Oklahoma Oblique	ABCDEFG abcdefg 0123
Oklahoma Bold	ABCDEFG abcdefg 0123
Oklahoma Bold Oblique	ABCDEFG abcdefg 0123
Portugal Roman	ABCDEFG abcdefg 0123
Portugal Italic	ABCDEFG abcdefg 0123
Portugal Bold	ABCDEFG abcdefg 0123
Portugal Bold Italic	ABCDEFG abcdefg 0123
San Diego	ABCDEFG abcdefg 0123
Tennessee Roman	ABCDEFG abcdefg 0123
Tennessee Italic	ABCDEFG abcdefg 0123
Tennessee Bold	ABCDEFG abcdefg 0123
Tennessee Bold Italic	ABCDEFG abcdefg 0123
US	ABCDEFG abcdefg 0123
Utah Regular	ABCDEFG abcdefg 0123
Utah Oblique	ABCDEFG abcdefg 0123
Utah Bold	ABCDEFG abcdefg 0123
Utah Bold Oblique	ABCDEFG abcdefg 0123
Utah Condensed	ABCDEFG abcdefg 0123
Utah Condensed Oblique	ABCDEFG abcdefg 0123
Utah Condensed Bold	ABCDEFG abcdefg 0123
Utah Condensed Bold Oblique	ABCDEFG abcdefg 0123

製品仕様

ドライバ印刷	Adobe PostScript Level3 対応
ドロップ印刷	EPS、TIFF、JPEG、BMP、PDF、1BitTIFF 対応
フォント	和文 9 書体欧文 68 書体
通信プロトコル	AppleTalk、TCP/IP、Windows ネットワーク
印刷形式	ハーフトーンスクリーニング方式、誤差拡散スクリーニング方式
拡大・縮小	１～ 10,000％
印刷機能	プレビュー機能、ドロッププリント機能、OPI 機能、マルチジョブ、マルチプリント
編集機能	レイアウト編集、トリミング、タイリング、色調整
管理機能	プリントスプーリング、ジョブ管理、印刷インジケータ、ログ表示機能
複数ページ印刷	ダイレクト印刷時にのみ対応 レイアウト印刷時は 1 ページ目のみ印刷
最大印刷長	60m（プリンタ本体に上限がある場合は除く）

索　引

Numerics

A

C

D

F

I

J

L

M

O

P

R

き

く

け

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

な

に

ね

は

ふ

ほ

ま

み

む

め

ゆ

よ

ら

り

れ

ろ